
高槻市
こども等に関するアンケート・意見聴取
結果報告書

令和8年3月

高 槻 市

目 次

I	ふだんの生活に関するアンケート調査結果	1
1	調査の概要.....	1
2	子育て当事者（小学5年生・中学2年生保護者）	2
3	小学5年生・中学2年生.....	66
4	15～39歳	147
II	市ホームページによる意見募集結果	242
III	対面による現場での意見聴取結果	246
1	就学前児童及びその保護者に対する意見聴取.....	246
2	不登校児童生徒支援室での意見聴取.....	254
3	青少年に対する意見聴取.....	257
IV	結果のまとめ・考察	269
1	「I ふだんの生活に関するアンケート調査結果」について（主だったもの） ..	269
2	「II 市ホームページによる意見募集結果」について.....	272
3	「III 対面による現場での意見聴取結果」について.....	274

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「高槻市こども計画（以下、「こども計画」といいます。）」の改定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に、ふだんの生活に関するアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

【小学5年生・小学5年生保護者】

高槻市在住の小学5年生およびその保護者（全数調査）

【中学2年生・中学2年生保護者】

高槻市在住の中学2年生およびその保護者（全数調査）

【15～39歳】

高槻市在住の15～39歳の市民から無作為抽出

(3) 調査期間

令和7年7月23日（水）～令和7年9月19日（金）

(4) 調査方法

郵送により告知文を配布し、Web アンケートを実施

(5) 配布数、有効回答数及び回答率

調査対象		配布数	有効回答数	有効回答率
子育て 当事者	小学5年生保護者	2,947件	981件	33.3%
	中学2年生保護者	2,992件	847件	28.3%
小学5年生		2,947件	1,090件	37.0%
中学2年生		2,992件	865件	28.9%
15～39歳		3,000件	615件	20.5%

(6) 調査結果の表示方法

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。また、「MA」は「Multiple Answer（複数回答）」の略で、1つの質問に対して複数の選択肢を提示し該当するものをすべて選んでもらう形式を指します。複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer=いくつでも）と記載しています。
- ② 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 全体欄の「約〇ポイント」「約〇～〇ポイント」は、5ポイントごとで表現しています。
- ④ 不明（無回答）はグラフから除いている場合があります。
- ⑤ 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしています。
- ⑥ 母数が少ない場合、分析から除外する場合があります。
- ⑦ 小学5年生と中学2年生の設問文及び選択肢については、代表例として小学5年生の内容を記載しています。また、漢字・ひらがな表記が異なる場合があります。
- ⑧ 必要に応じて分析区分を整理・分類したうえで、報告書に掲載しています。

2 子育て当事者（小学5年生・中学2年生保護者）

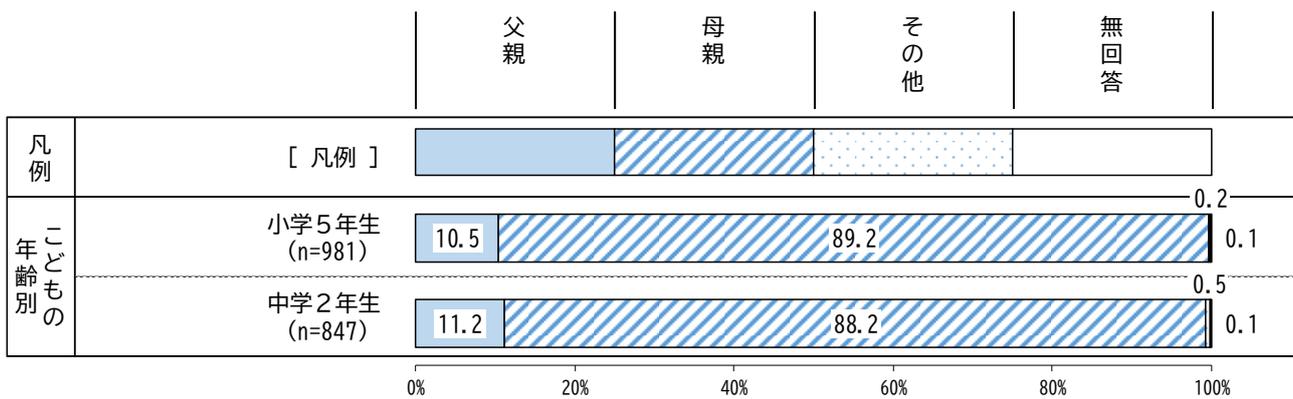
(1) 回答者

① ご回答いただく方はどなたですか。世帯のお子さんからみた関係でお答えください。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「母親」が 89.2%で最も多く、次いで「父親」が 10.5%、「その他」が 0.2%となっています。
- 中学2年生保護者では、「母親」が 88.2%で最も多く、次いで「父親」が 11.2%、「その他」が 0.5%となっています。

【回答者】



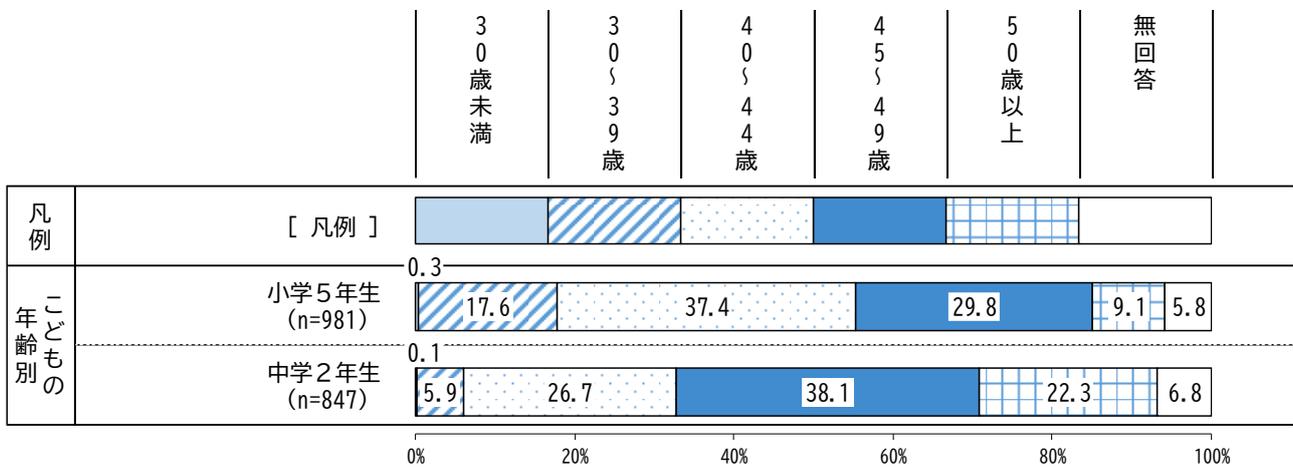
「その他」の内容		件数
中学2年生保護者		
家族		1
自営業者		1
その他		1

(2) 年齢

② 年齢をお聞かせください。(※数字で入力してください)

- 【全体】**
- 小学5年生保護者では、「40～44歳」が37.4%で最も多く、次いで「45～49歳」が29.8%、「30～39歳」が17.6%となっています。
 - 中学2年生保護者では、「45～49歳」が38.1%で最も多く、次いで「40～44歳」が26.7%、「50歳以上」が22.3%となっています。
 - 小学5年生保護者は「30～39歳」「40～44歳」が中学2年生保護者より約10ポイント多くなっています。中学2年生保護者は「45～49歳」「50歳以上」が小学5年生保護者より約10～15ポイント多くなっています。

【年齢】



(3) 就労状況

③ ご回答いただく方の状況をお答えください。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が34.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.1%となっています。「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」を合わせた“フルタイム”(以下、“フルタイム”といいます。)は41.4%となっています。「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」を合わせた“パート・アルバイト等”(以下、“パート・アルバイト等”といいます。)は35.2%となっています。
- 中学2年生保護者では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.1%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が13.9%となっています。“フルタイム”は42.7%となっています。“パート・アルバイト等”は39.9%となっています。
- 小学5年生保護者は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が中学2年生保護者より6.2ポイント多くなっています。中学2年生保護者は“パート・アルバイト等”が小学5年生保護者より4.7ポイント多くなっています。

【等価可処分所得※1別】

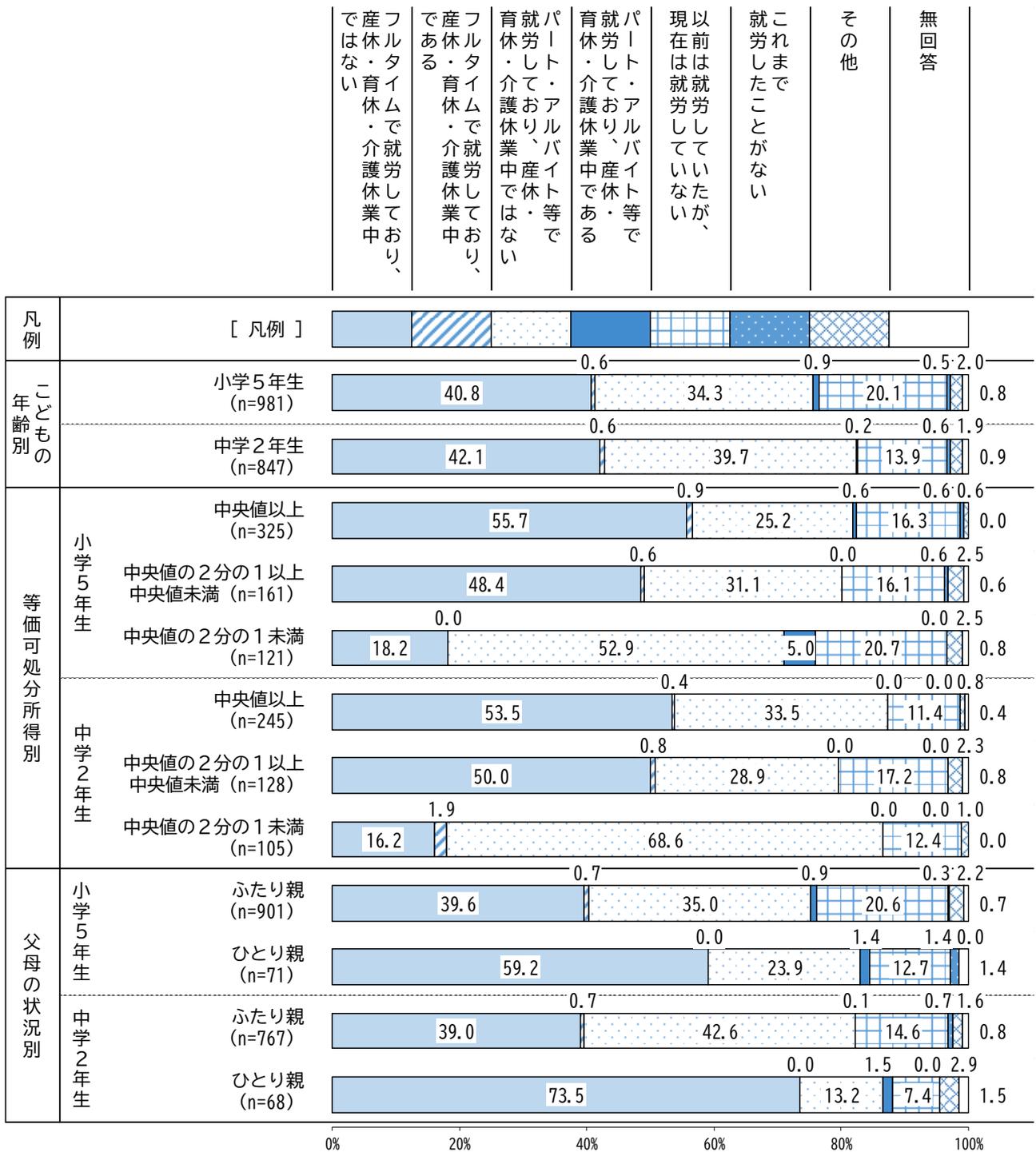
- 等価可処分所得別で見ると、小学5年生保護者・中学2年生保護者とも中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満は“フルタイム”、小学5年生保護者・中学2年生保護者とも中央値の2分の1未満は“パート・アルバイト等”が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値以上は“フルタイム”が小学5年生全体より15.2ポイント多くなっています。中央値の2分の1未満は“パート・アルバイト等”が小学5年生全体より22.7ポイント多くなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値以上は“フルタイム”が中学2年生全体より11.2ポイント多くなっています。中央値の2分の1未満は“パート・アルバイト等”が中学2年生全体より28.7ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生保護者のふたり親、ひとり親、中学2年生保護者のひとり親は“フルタイム”、中学2年生保護者のふたり親は“パート・アルバイト等”が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は“フルタイム”がふたり親より18.9ポイント多くなっています。
- 中学2年生保護者では、ふたり親は“パート・アルバイト等”がひとり親より28.0ポイント多くなっています。ひとり親は“フルタイム”がふたり親より33.8ポイント多くなっています。

※1 等価可処分所得：世帯収入から税金や社会保険料を差し引いた「可処分所得」を、世帯人数に応じて調整した指標。

【就労状況】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
自営業	4
時短勤務	3
家業従事者	1
専業主婦	1
その他	1
中学2年生保護者	
正社員	1
時短勤務	1
非正規社員	1
自営業	1
家業従事者	1
就労支援利用	1
求職中	1
学生	1

(4) 世帯収入

④ 前年(2024年)のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

(※数字で入力してください)

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

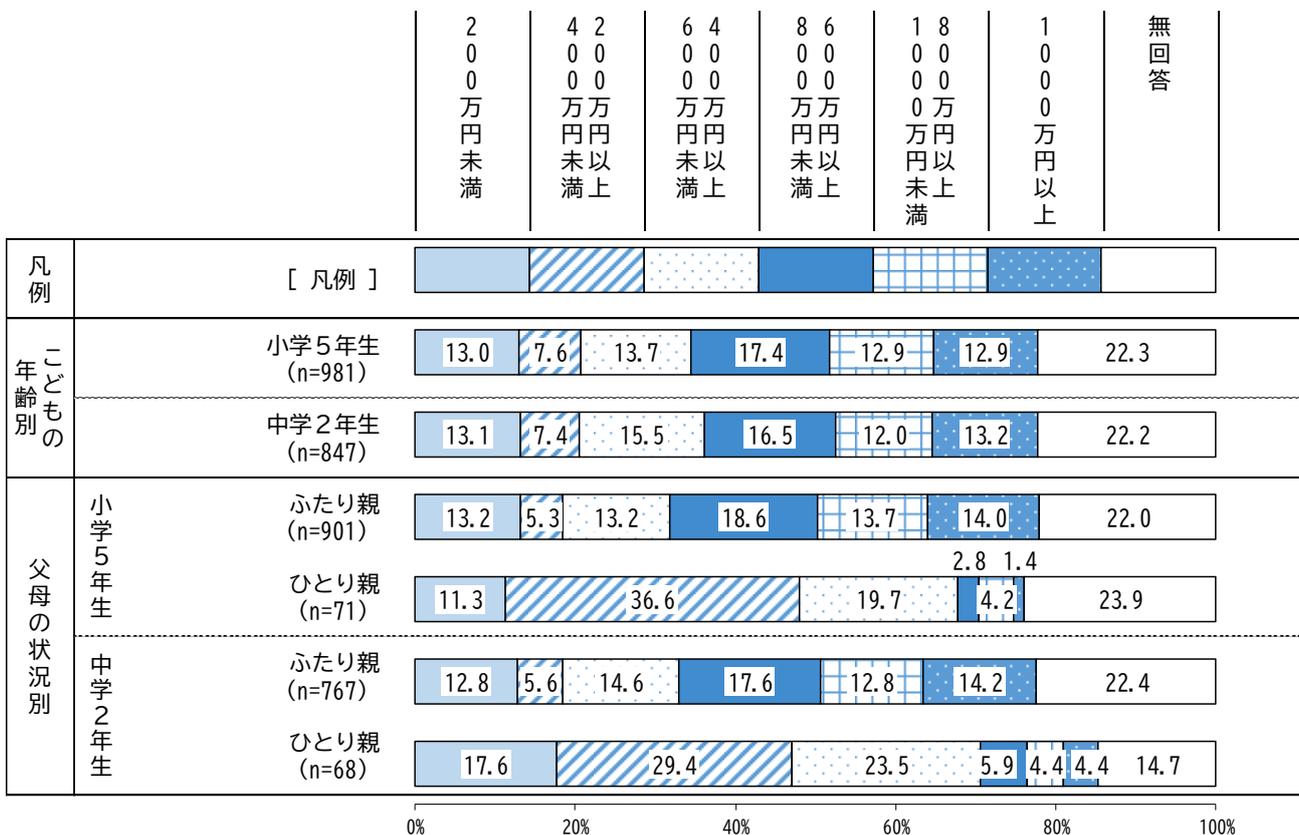
【全体】

- 小学5年生保護者では、「600万円以上 800万円未満」が17.4%で最も多く、次いで「400万円以上 600万円未満」が13.7%、「200万円未満」が13.0%となっています。
- 中学2年生保護者では、「600万円以上 800万円未満」が16.5%で最も多く、次いで「400万円以上 600万円未満」が15.5%、「1000万円以上」が13.2%となっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともふたり親は「600万円以上 800万円未満」、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともひとり親は「200万円以上 400万円未満」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「200万円以上 400万円未満」がふたり親より31.3ポイント多く、「600万円以上 800万円未満」「800万円以上 1,000万円未満」「1000万円以上」が約15~10ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「200万円以上 400万円未満」がふたり親より23.8ポイント多く、「600万円以上 800万円未満」「800万円以上 1,000万円未満」「1000万円以上」が約10ポイント少なくなっています。

【世帯収入】



○等価可処分所得

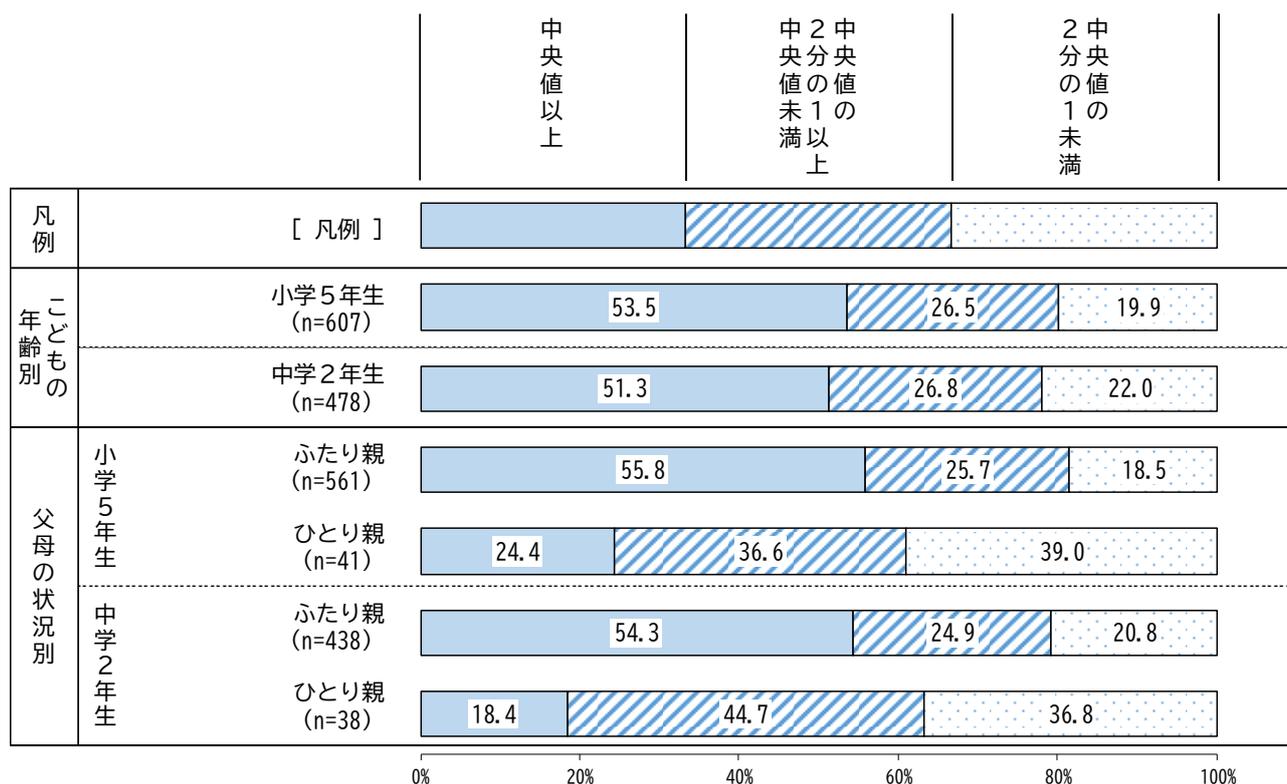
【全体】

- 小学5年生保護者では、「中央値以上」が53.5%で最も多く、次いで「中央値の2分の1以上中央値未満」が26.5%、「中央値の2分の1未満」が19.9%となっています。
- 中学2年生保護者では、「中央値以上」が51.3%で最も多く、次いで「中央値の2分の1以上中央値未満」が26.8%、「中央値の2分の1未満」が22.0%となっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともふたり親は「中央値以上」、小学5年生保護者のひとり親は「中央値の2分の1未満」、中学2年生保護者のひとり親は「中央値の2分の1以上中央値未満」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「中央値の2分の1未満」がふたり親より20.5ポイント多く、「中央値以上」が31.4ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値の2分の1未満」がふたり親より約15~20ポイント多く、「中央値以上」が35.9ポイント少なくなっています。

【等価可処分所得】※1



※1 不詳を除く

(5) 同居家族

⑤ お子さんが一緒に住んでいる方はどなたですか。父母の状況をお答えください。

※父母のいずれかが単身赴任や長期出張の場合は「父と母と一緒に住んでいる」で回答

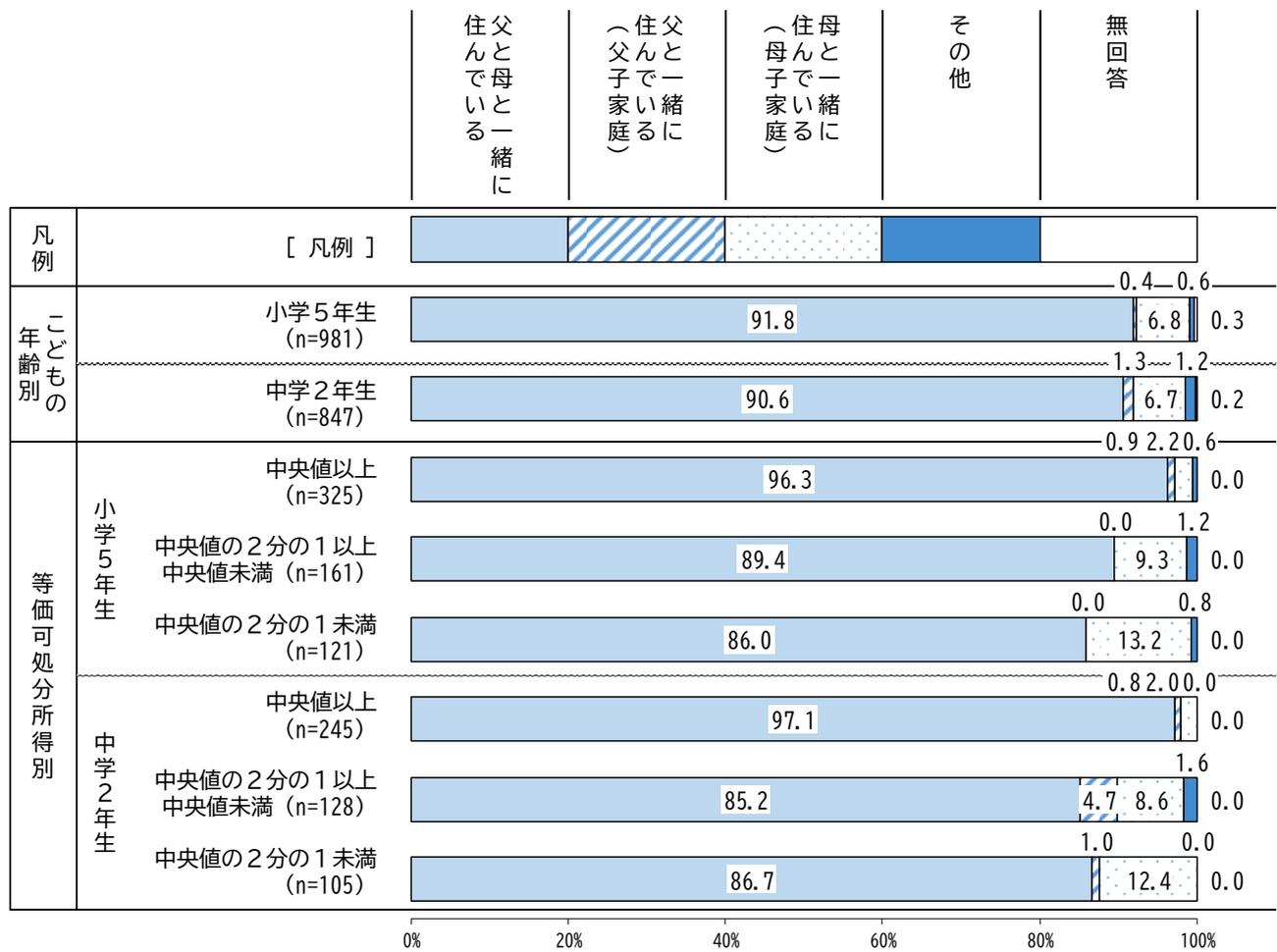
【全体】

- 小学5年生保護者では、「父と母と一緒に住んでいる」が 91.8%で最も多く、次いで「母と一緒に住んでいる（母子家庭）」が 6.8%、「その他」が 0.6%となっています。「父と一緒に住んでいる（父子家庭）」「母と一緒に住んでいる（母子家庭）」を合わせた“ひとり親家庭”（以下、“ひとり親家庭”といいます。）は7.2%となっています。
- 中学2年生保護者では、「父と母と一緒に住んでいる」が 90.6%で最も多く、次いで「母と一緒に住んでいる（母子家庭）」が 6.7%、「父と一緒に住んでいる（父子家庭）」が 1.3%となっています。“ひとり親家庭”は8.0%となっています。

【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「父と母と一緒に住んでいる」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値の2分の1未満は「母と一緒に住んでいる（母子家庭）」が小学5年生全体より 6.4 ポイント多く、「父と母と一緒に住んでいる」が 5.8 ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値以上は「父と母と一緒に住んでいる」が中学2年生全体より 6.5 ポイント多くなっています。中央値の2分の1未満は「母と一緒に住んでいる（母子家庭）」が中学2年生全体より 5.7 ポイント多くなっています。

【同居家族】



「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
親単身赴任	2
親別居	1
兄弟姉妹同居	1
中学2年生保護者	
親単身赴任	2
施設入所	2
祖父母同居	1

(6) 祖父母の居住状況

- ⑥ お子さんは祖父母と一緒に住んでいますか。または近所(概ね30分以内で行き来できる範囲)に住んでいますか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 小学5年生保護者では、「祖母が近所に住んでいる」が46.0%で最も多く、次いで「当てはまるものはない」が43.9%、「祖父が近所に住んでいる」が36.1%となっています。
- 中学2年生保護者では、「当てはまるものはない」が47.6%で最も多く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が41.3%、「祖父が近所に住んでいる」が33.9%となっています。
- 中学2年生保護者は「祖母が近所に住んでいる」が小学5年生保護者より4.7ポイント少なくなっています。

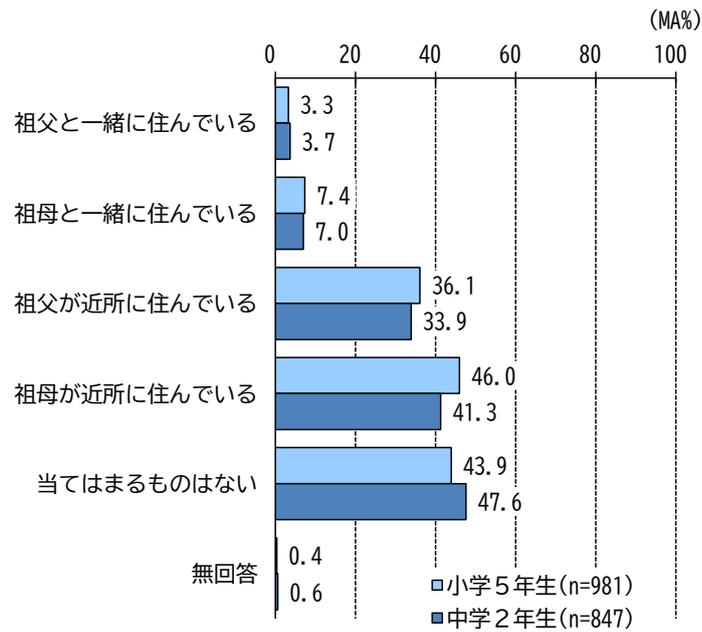
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者とも中央値以上、中央値の2分の1未満は「当てはまるものはない」、小学5年生保護者・中学2年生保護者とも中央値の2分の1以上中央値未満は「祖母が近所に住んでいる」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値の2分の1以上中央値未満は「祖父が近所に住んでいる」が小学5年生全体より7.4ポイント多く、「当てはまるものはない」が9.1ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値の2分の1以上中央値未満は「当てはまるものはない」が中学2年生全体より9.3ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者のふたり親は「祖母が近所に住んでいる」、小学5年生保護者のひとり親、中学2年生保護者のふたり親は「当てはまるものはない」、中学2年生保護者のひとり親は「祖母が近所に住んでいる」と「当てはまるものはない」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「祖母と一緒に住んでいる」がふたり親より22.3ポイント多く、「祖父が近所に住んでいる」「祖母が近所に住んでいる」が約15ポイント少なくなっています。

【祖父母の居住状況】



単位：MA%

		母数 (n)	祖父母の居住状況					無回答	
			住祖父と一緒に	住祖母と一緒に	住祖父が近い所に	住祖母が近い所に	の当てはまるもの		
こどもの年齢別	小学5年生	981	3.3	7.4	36.1	46.0	43.9	0.4	
	中学2年生	847	3.7	7.0	33.9	41.3	47.6	0.6	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	325	1.5	4.9	35.1	46.5	47.4	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	161	5.0	9.3	43.5	52.2	34.8	0.6
		中央値の2分の1未満	121	5.8	7.4	28.1	39.7	49.6	-
	中学2年生	中央値以上	245	-	2.9	34.7	43.3	50.6	0.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	128	6.3	10.2	39.8	48.4	38.3	-
		中央値の2分の1未満	105	2.9	7.6	26.7	36.2	53.3	-
父母の状況別	小学5年生	ふたり親	901	2.7	5.9	37.1	47.2	44.6	0.2
		ひとり親	71	11.3	28.2	23.9	31.0	38.0	-
	中学2年生	ふたり親	767	2.5	5.5	34.8	42.2	48.4	0.3
		ひとり親	68	14.7	22.1	27.9	36.8	36.8	1.5

(7) こどもの世話や看病について頼れる人の有無

⑦ あなたには、「こどもの世話や看病について頼れる人」がいますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「いる」が70.0%で最も多く、次いで「いない」が17.9%、「そのことでは人に頼らない」が11.9%となっています。
- 中学2年生保護者では、「いる」が64.0%で最も多く、次いで「いない」が22.4%、「そのことでは人に頼らない」が13.2%となっています。
- 小学5年生保護者は「いる」が中学2年生保護者より6.0ポイント多くなっています。

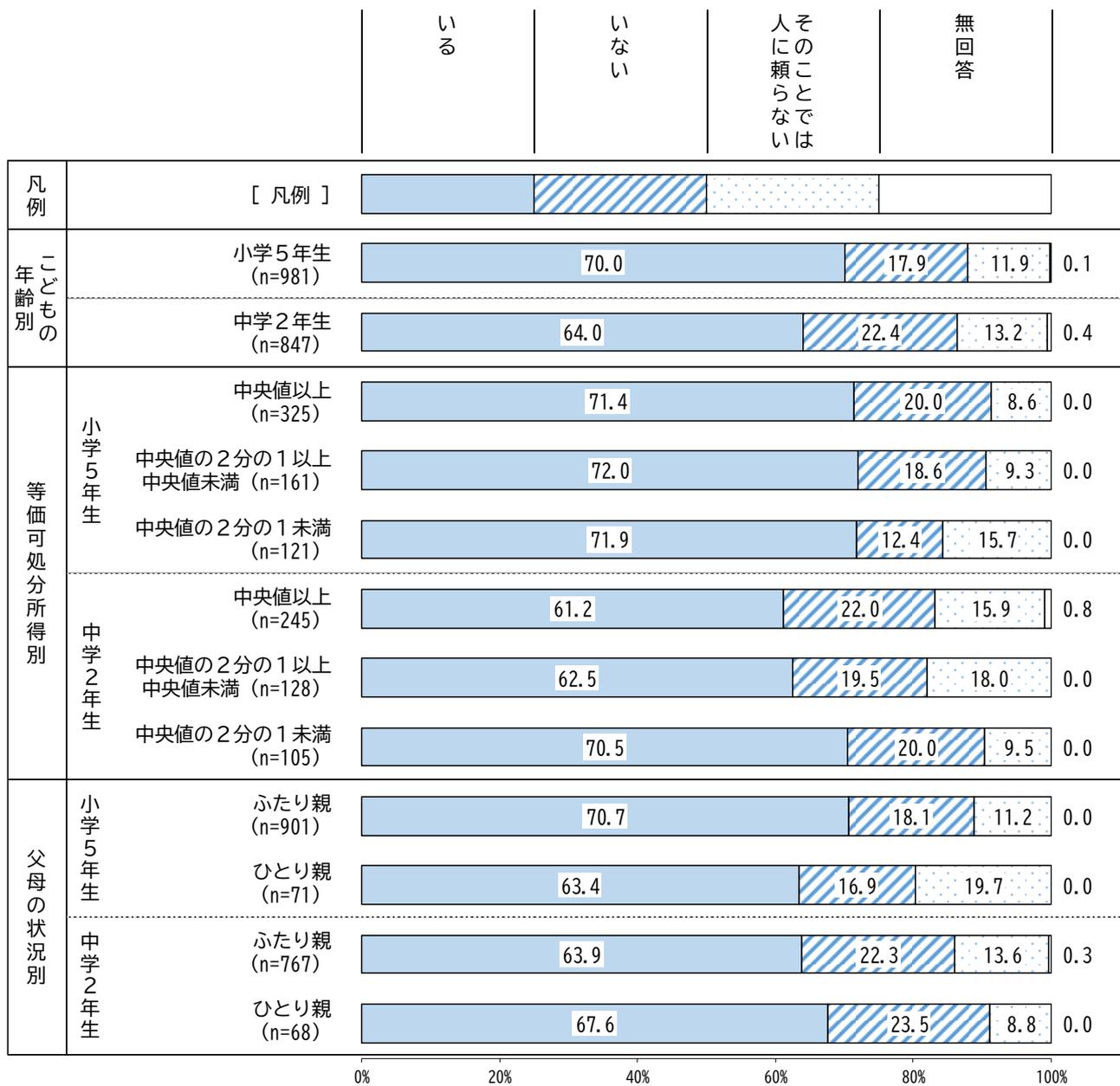
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「いる」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「いる」が最も多くなっています。

【こどもの世話や看病について頼れる人の有無】



(8) こどもの世話や看病について頼れる人

⑦-1 ⑦で「いる」と答えた人にお聞きします。その人は誰ですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 小学5年生保護者では、「祖父母等の親せき」が91.0%で最も多く、次いで「友人・知人」が20.2%、「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が4.9%となっています。
- 中学2年生保護者では、「祖父母等の親せき」が88.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が24.0%、「地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）」が4.8%となっています。

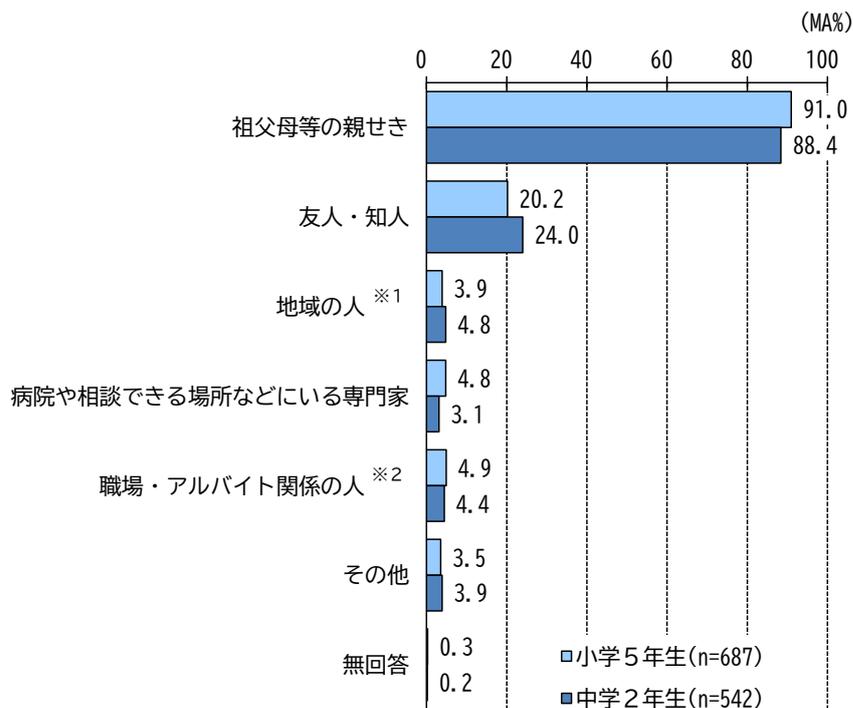
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「祖父母等の親せき」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「祖父母等の親せき」が最も多くなっています。

【こどもの世話や看病について頼れる人】



※1 調査票上の選択肢は「地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）」

※2 調査票上の選択肢は「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	こどもの世話や看病について頼れる人						無回答	
			祖父母等の親せき	友人・知人	地域の 人	所病 院 など に 相 談 で き る 専 門 家	係職 の場 人・ アル バイト 関	その 他		
こどもの 年齢別	小学5年生	687	91.0	20.2	3.9	4.8	4.9	3.5	0.3	
	中学2年生	542	88.4	24.0	4.8	3.1	4.4	3.9	0.2	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	232	92.2	18.1	3.9	4.3	4.3	4.3	0.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	116	93.1	23.3	3.4	5.2	3.4	1.7	-
		中央値の2分の1未満	87	87.4	21.8	4.6	6.9	8.0	2.3	-
	中学 2年生	中央値以上	150	88.7	28.0	8.0	3.3	4.7	3.3	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	80	93.8	17.5	3.8	1.3	2.5	3.8	-
		中央値の2分の1未満	74	85.1	28.4	4.1	1.4	4.1	4.1	-
父母の 状況別	小学 5年生	637	90.9	20.4	4.1	4.9	5.0	3.6	0.3	
	ひとり親	45	93.3	17.8	-	2.2	4.4	2.2	-	
	中学 2年生	490	88.6	25.1	5.1	3.5	4.3	3.7	0.2	
	ひとり親	46	89.1	15.2	2.2	-	4.3	4.3	-	

「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
配偶者	14
子育て支援サービス	1
その他	1
中学2年生保護者	
配偶者	13
元パートナー	1
保育施設	1
教育関係者	1

(9) こどもの世話や看病について頼れる人が見つかるために必要なこと

- ⑦-2 ⑦で「いない」と答えた人にお聞きします。
頼れる人が見つかるには、何が必要だと思いますか。

【こどもの世話や看病について頼れる人が見つかるために必要なこと】

内容	件数
小学5年生保護者	
行政による支援制度	24
子育て支援サービス	21
信頼関係	14
支援に関する情報	13
金銭補助	12
親族が近居している、親族との関係がよい	11
地域の人とのつながり	9
休みが取りやすい職場環境	6
気軽に相談できる場所	1
その他	17
中学2年生保護者	
行政による支援制度	24
子育て支援サービス	21
親族が近居している、親族との関係がよい	17
信頼関係	14
地域の人とのつながり	12
休みが取りやすい職場環境	8
金銭補助	7
支援に関する情報	7
気軽に相談できる場所	1
その他	14

(10) 子育てが地域で支えられていると思うか

⑧ あなたは、子育てが地域で支えられていると思いますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 49.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.5%、「そう思わない」が 13.3%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”（以下、“そう思う”といいます。）は 58.0%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”（以下、“そう思わない”といいます。）は 33.8%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 43.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.1%、「そう思わない」が 15.9%となっています。“そう思う”は 51.5%となっています。“そう思わない”は 39.0%となっています。

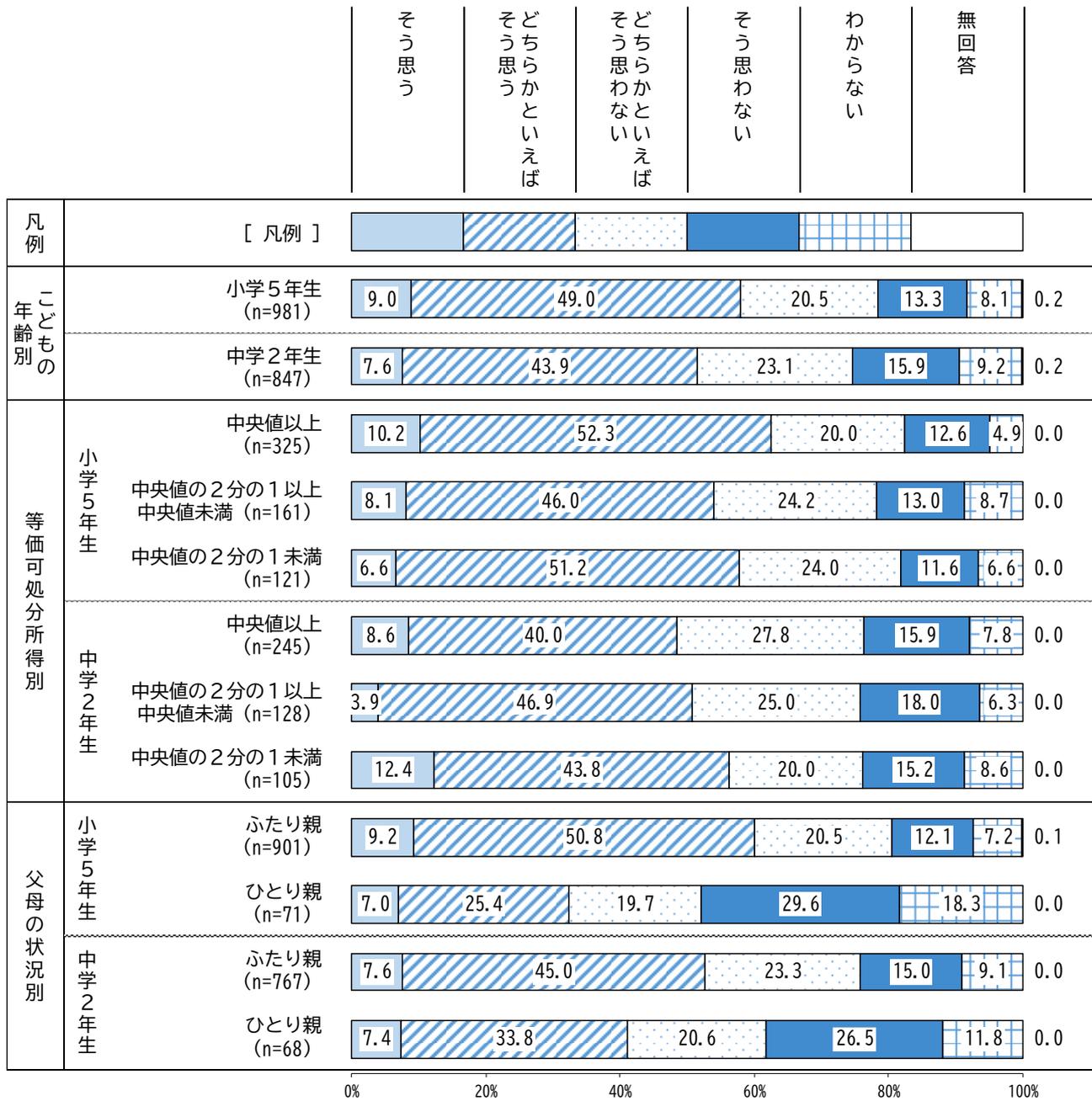
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生保護者のふたり親、中学2年生保護者のふたり親、ひとり親は「どちらかといえばそう思う」、小学5年生保護者のひとり親は「そう思わない」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」「わからない」がふたり親より約 10~20 ポイント多く、「どちらかといえばそう思う」が 25.4 ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」がふたり親より 11.5 ポイント多くなっています。

【子育てが地域で支えられていると思うか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、子育てが地域で支えられることになると思いますか。

【どのようなことがあれば、子育てが地域で支えられることになるか】

	そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ か ら な い
小学5年生保護者					
地域における子どもの遊び場・居場所	10	50	33	14	7
子どもの預かり支援	6	41	25	13	3
病児保育の充実	2	4	5	2	0
地域における子どもの見守り	11	43	8	6	5
地域のつながり、交流機会	8	61	24	15	4
相談支援	2	14	4	3	2
公園、子育て支援施設の整備	1	12	6	4	1
経済的支援	6	21	7	6	2
社会意識・社会環境	4	15	10	8	3
保育の質向上	0	2	0	0	0
不登校の子どもの支援	0	0	0	1	0
その他	0	15	5	8	3
中学2年生保護者					
地域における子どもの遊び場・居場所	7	22	21	17	5
子どもの預かり支援	3	23	19	12	1
病児保育の充実	0	5	9	1	0
地域における子どもの見守り	6	25	6	2	0
地域のつながり、交流機会	5	34	20	14	3
相談支援	5	18	6	8	2
公園、子育て支援施設の整備	1	9	2	5	2
経済的支援	6	24	10	9	5
社会意識・社会環境	3	11	19	10	4
不登校の子どもの支援	0	2	0	0	0
その他	1	12	8	9	0

(11) 地域における子育ての悩みや不安を相談できる人の有無

⑨ あなたには、地域において子育ての悩みや不安を相談できる人がいますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が38.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまらない」が22.4%、「当てはまる」が19.8%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”（以下、“当てはまる”といいます。）は57.9%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”（以下、“当てはまらない”といいます。）は41.6%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が37.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまらない」が24.1%、「当てはまらない」が20.2%となっています。“当てはまる”は55.2%となっています。“当てはまらない”は44.3%となっています。

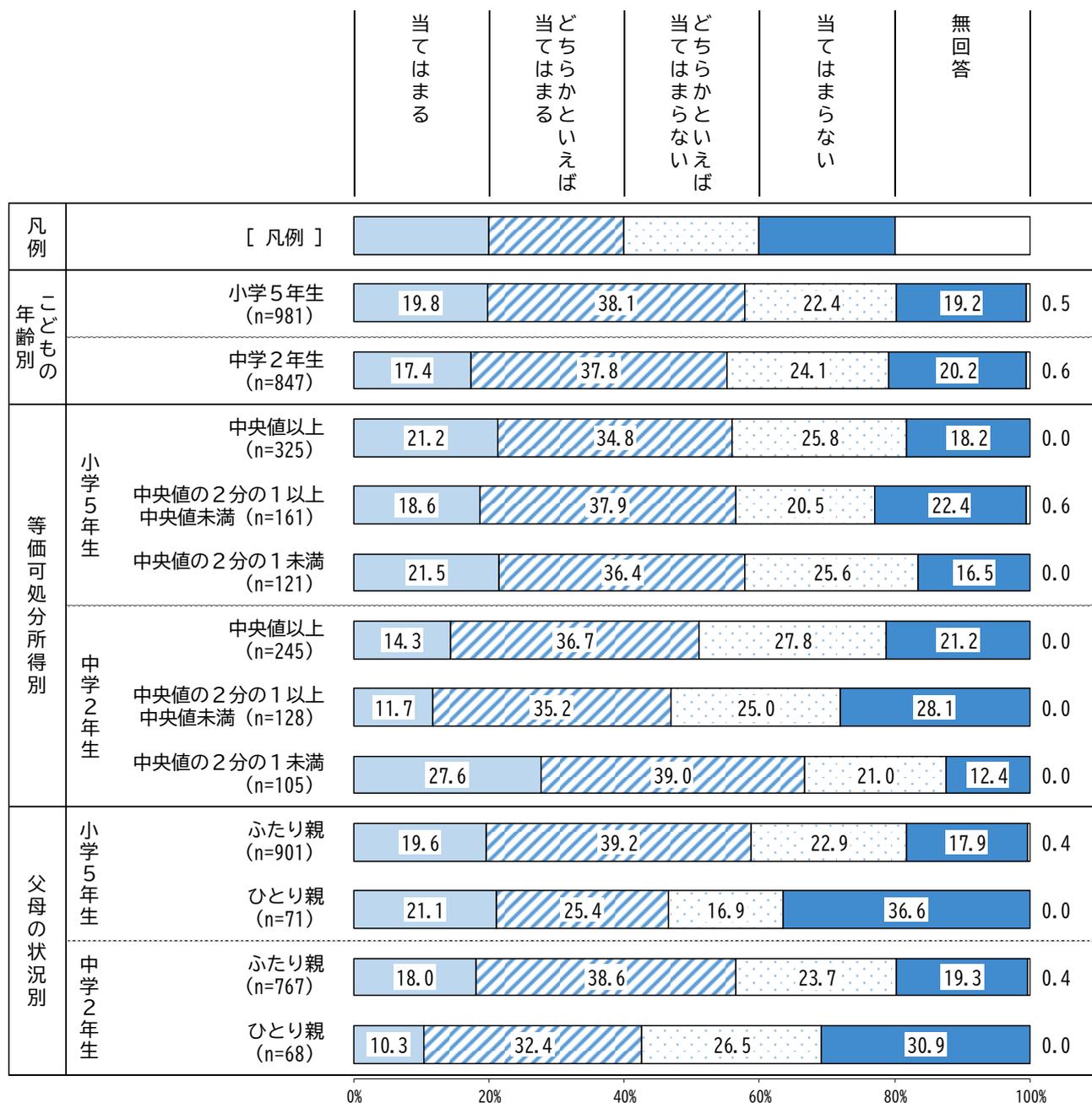
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値の2分の1以上中央値未満は「当てはまらない」が中学2年生全体より7.9ポイント多くなっています。中央値の2分の1未満は「当てはまる」が中学2年生全体より10.2ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生保護者のふたり親、中学2年生保護者のふたり親、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」、小学5年生保護者のひとり親は「当てはまらない」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「当てはまらない」がふたり親より18.7ポイント多く、「どちらかといえば当てはまる」が13.8ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「当てはまらない」がふたり親より11.6ポイント多くなっています。

【地域における子育ての悩みや不安を相談できる人の有無】



○どのようなことがあれば、地域において子育ての悩みや不安を解消できますか。

【どのようなことがあれば、地域において子育ての悩みや不安を解消できるか】

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	当てはまる どちらかといえば	当てはまらない
小学5年生保護者				
気軽に相談できる窓口	23	40	28	19
子育て当事者の交流の場	17	24	12	10
地域における交流の場	8	22	10	9
情報提供	1	8	4	2
経済的支援	3	7	4	3
専門的な支援の体制	5	11	7	8
こどもの遊び場・居場所、子育て支援施設	6	15	9	10
地域の安全	1	7	2	1
親教育、保護者支援	0	4	2	0
その他	3	11	3	11
中学2年生保護者				
気軽に相談できる窓口	14	33	29	28
子育て当事者の交流の場	5	27	5	2
地域における交流の場	6	4	8	4
情報提供	1	4	5	3
経済的支援	2	4	1	3
専門的な支援の体制	4	8	9	2
こどもの遊び場・居場所、子育て支援施設	5	11	8	5
地域の安全	1	2	5	4
親教育、保護者支援	1	2	0	0
その他	3	5	10	16

(12) 社会において共働き・共育てが推進されていると思うか

⑩ あなたは、「社会において、共働き・共育て(家庭内で男女ともに仕事や家事、子育てに参画すること)が推進されている」と思いますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 37.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.9%、「そう思わない」が 18.1%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 47.8%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 43.0%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 38.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.7%、「そう思わない」が 15.3%となっています。“そう思う”は 51.6%となっています。“そう思わない”は 40.0%となっています。

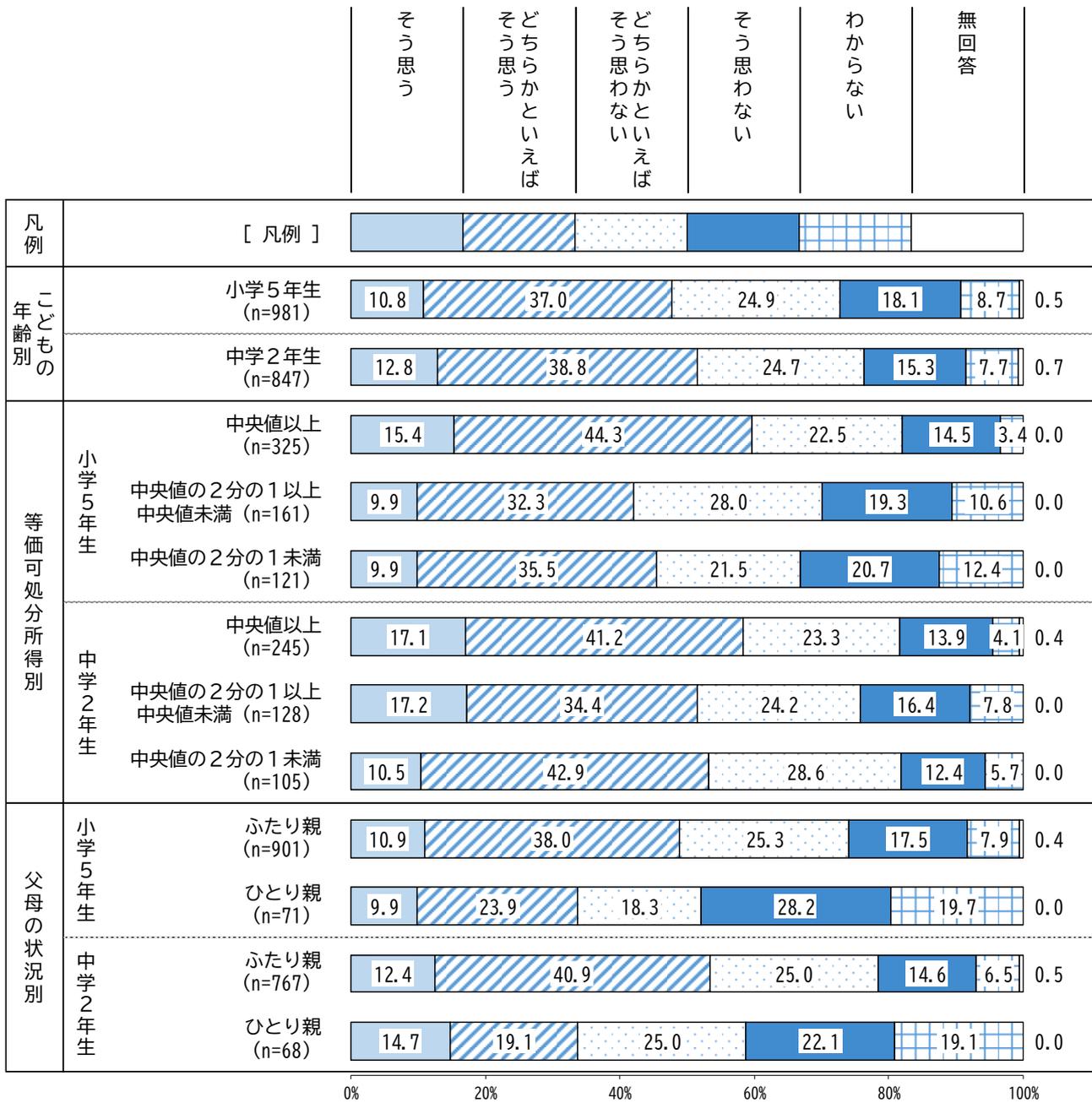
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値以上は「どちらかといえばそう思う」が小学5年生全体より 7.3ポイント多く、「わからない」が5.3ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともふたり親は「どちらかといえばそう思う」、小学5年生保護者のひとり親は「そう思わない」、中学2年生保護者のひとり親は「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」「わからない」がふたり親より約 10ポイント多く、「どちらかといえばそう思う」が 14.1ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「わからない」がふたり親より 12.6ポイント多く、「どちらかといえばそう思う」が 21.8ポイント少なくなっています。

【社会において共働き・共育てが推進されていると思うか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、社会において共働き・共育てが推進されると思いますか。

【どのようなことがあれば、社会において共働き・共育てが推進されると思うか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
小学5年生保護者						
子育てと両立しやすい職場環境、柔軟な勤務体制	21	58	53	33	6	0
男性の育児に対する意識改革と育児参画	4	33	30	28	1	0
学童保育の充実、子どもの居場所、 長期休暇中の居場所	11	25	26	10	0	0
病児保育の充実	2	8	3	1	0	0
経済的支援	1	12	14	15	3	0
母親に育児負担が偏る現状や社会意識の改革	3	21	23	20	3	0
家事育児支援の充実	4	6	6	11	0	0
不登校児や障がい児への支援の充実	0	0	0	1	2	0
共働きを肯定しない	3	12	1	4	3	0
その他	4	13	8	12	2	0
中学2年生保護者						
子育てと両立しやすい職場環境、柔軟な勤務体制	26	48	42	28	2	1
男性の育児に対する意識改革と育児参画	10	30	20	17	0	0
学童保育の充実、子どもの居場所、 長期休暇中の居場所	7	20	8	3	0	0
病児保育の充実	1	7	4	4	0	0
経済的支援	8	10	12	12	1	0
母親に育児負担が偏る現状や社会意識の改革	7	17	19	8	1	0
家事育児支援の充実	4	7	8	11	0	0
不登校児や障がい児への支援の充実	0	0	1	0	1	0
共働きを肯定しない	1	3	2	1	2	0
その他	6	17	12	9	1	0

(13) 食料品を買えなかった経験の有無

- ① あなたは、この1年間で、家庭の事情などでお金が足りなくて、食べ物や飲み物が全く買えない経験をしたことがありますか。
ただし、嗜好品(お茶やコーヒー、お酒やたばこなど)は含みません。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「まったくなかった」が91.3%で最も多く、次いで「まれにあった」が4.8%、「ときどきあった」が1.8%となっています。
- 中学2年生保護者では、「まったくなかった」が89.3%で最も多く、次いで「まれにあった」が6.8%、「ときどきあった」が2.1%となっています。

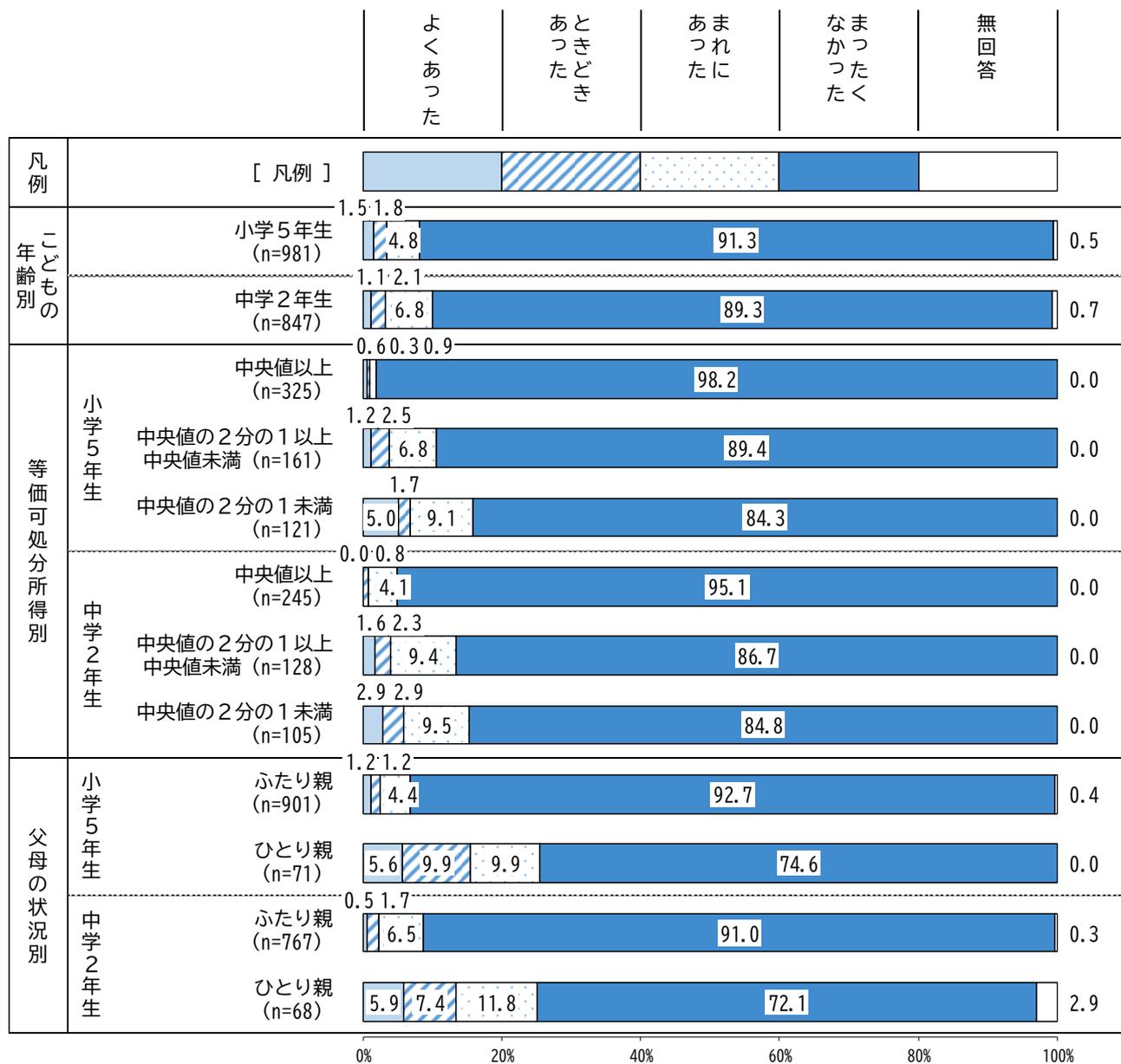
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値以上は「まったくなかった」が小学5年生全体より6.9ポイント多くなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値以上は「まったくなかった」が中学2年生全体より5.8ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「まったくなかった」がふたり親より18.1ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「まったくなかった」がふたり親より18.9ポイント少なくなっています。

【食料品を買えなかった経験の有無】



(14) 地域でインクルージョンがすすんでいると思うか

- ⑫ あなたは、住んでいる地域でインクルージョンがすすんでいる(障がいのある子どもや成長に特性のある子どもも含めたみんなが、ほかのまわりの人たちと同じように社会に参加して、メンバーとして受け入れられ、いっしょに社会で生活できている)と思いますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 40.2%で最も多く、次いで「わからない」が 23.5%、「どちらかといえばそう思わない」が 18.7%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 46.9%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 29.4%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 37.3%で最も多く、次いで「わからない」が 23.5%、「どちらかといえばそう思わない」が 19.2%となっています。“そう思う”は 42.3%となっています。“そう思わない”は 33.6%となっています。

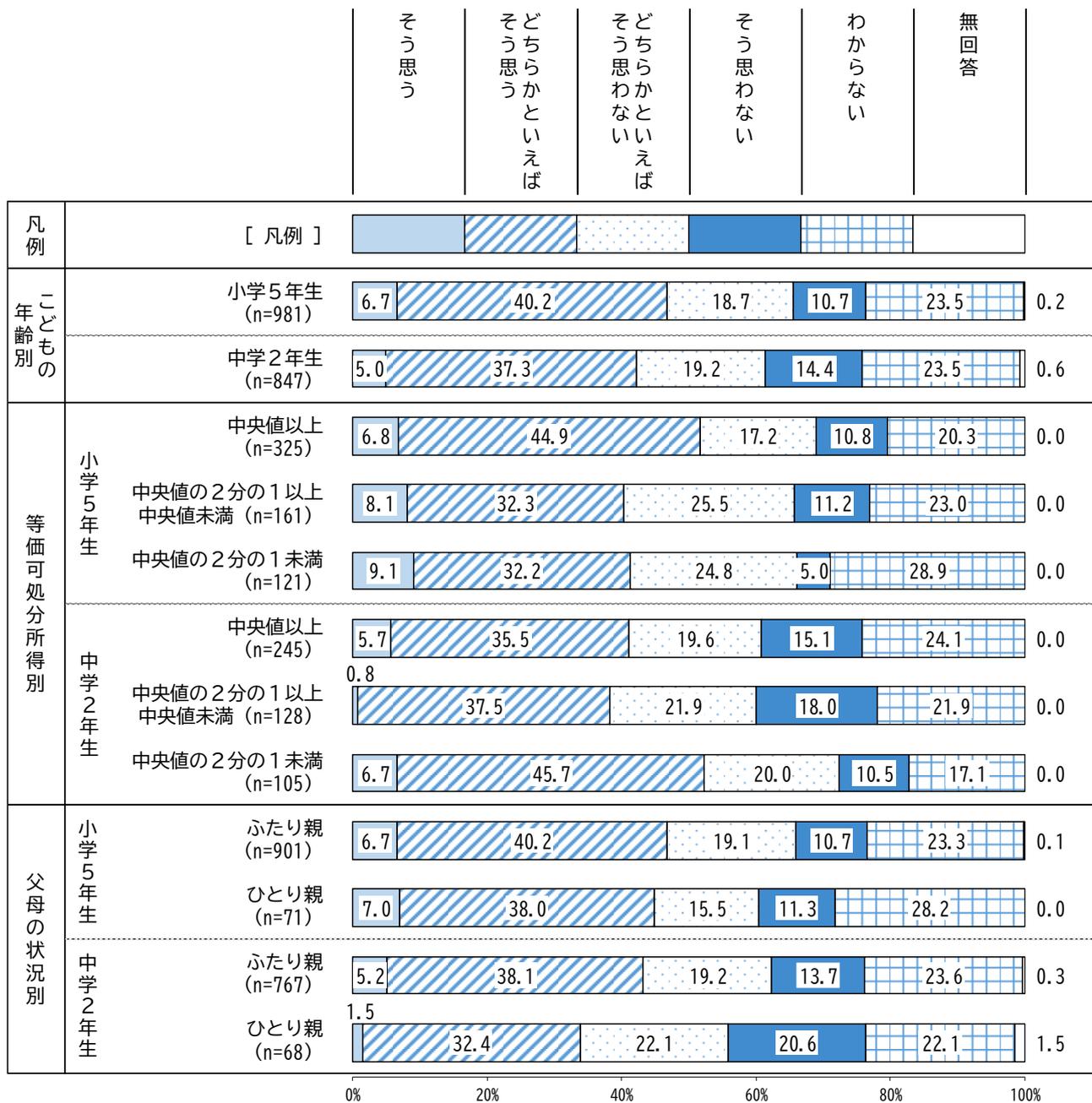
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【地域でインクルージョンがすすんでいると思うか】



○どのようなことがあれば、インクルージョンがすすむと思いますか。

【どのようなことがあれば、インクルージョンがすすむと思うか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
小学5年生保護者					
障がいや障がい者に対する理解	9	49	19	19	15
学校におけるインクルーシブ教育の推進	4	17	6	12	3
交流する機会の拡大	3	24	18	9	11
障がいのある人が暮らしやすい環境整備	3	9	5	4	2
教員や支援者の人材育成・配置	1	17	4	8	1
社会制度や支援の充実	1	8	7	14	4
本人の選択と意思決定の尊重	0	1	3	1	1
社会のゆとり、寛容さ	2	8	5	5	5
すすめる必要はない	3	6	1	2	2
その他	2	8	7	1	3
中学2年生保護者					
障がいや障がい者に対する理解	9	25	22	22	23
学校におけるインクルーシブ教育の推進	3	12	10	12	4
交流する機会の拡大	3	16	17	9	8
障がいのある人が暮らしやすい環境整備	2	8	5	5	4
教員や支援者の人材育成・配置	2	11	3	9	0
社会制度や支援の充実	0	9	5	5	4
本人の選択と意思決定の尊重	1	2	1	3	1
社会のゆとり、寛容さ	1	13	4	6	4
すすめる必要はない	0	1	4	2	2
その他	0	3	4	3	3

(15) つらいときや不安なときに助けてくれる人の有無

⑬ あなたは、つらいときや不安なときは「どこかに助けてくれる人がいる」と思っていますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が43.0%で最も多く、次いで「そう思う」が35.8%、「どちらかといえばそう思わない」が8.5%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は78.8%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は16.6%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が45.0%で最も多く、次いで「そう思う」が28.6%、「どちらかといえばそう思わない」が11.2%となっています。“そう思う”は73.6%となっています。“そう思わない”は21.5%となっています。
- 小学5年生保護者は「そう思う」が中学2年生保護者より7.2ポイント多くなっています。

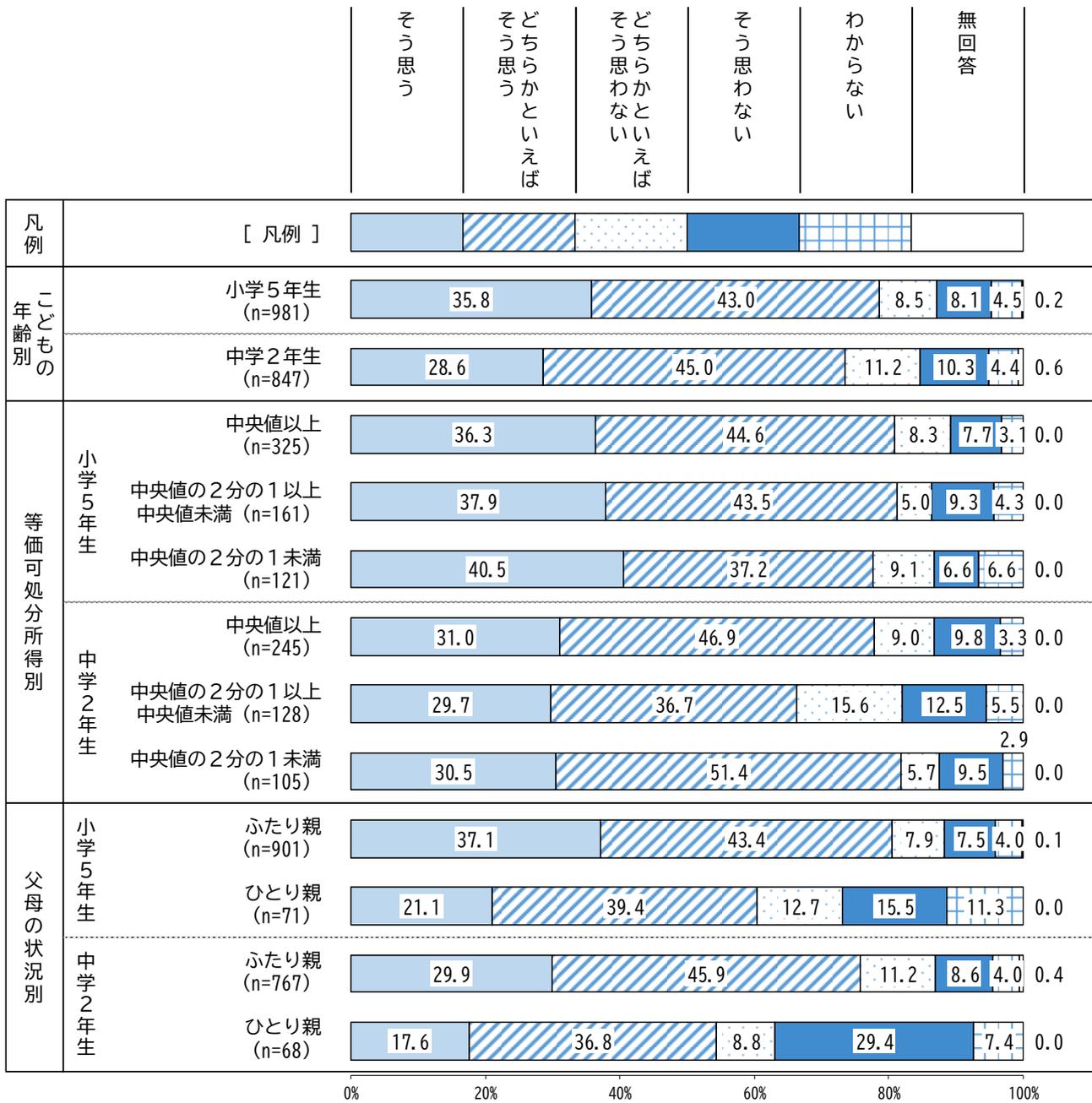
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生保護者の中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満、中学2年生保護者のすべての所得区分は「どちらかといえばそう思う」、小学5年生保護者の中央値の2分の1未満は「そう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」がふたり親より8.0ポイント多く、「そう思う」が16.0ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」がふたり親より20.8ポイント多く、「そう思う」が12.3ポイント少なくなっています。

【つらいときや不安なときに助けてくれる人の有無】



(16) つらいときや不安なときに助けてくれる人

- ⑬-1 ⑬で「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えた人にお聞きします。
それは、どんな人ですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 小学5年生保護者では、「家族」が91.2%で最も多く、次いで「地域の友人」が38.0%、「学校で出会った友人（かつての同窓生など）」が34.5%となっています。
- 中学2年生保護者では、「家族」が91.5%で最も多く、次いで「地域の友人」が39.0%、「学校で出会った友人（かつての同窓生など）」が31.9%となっています。

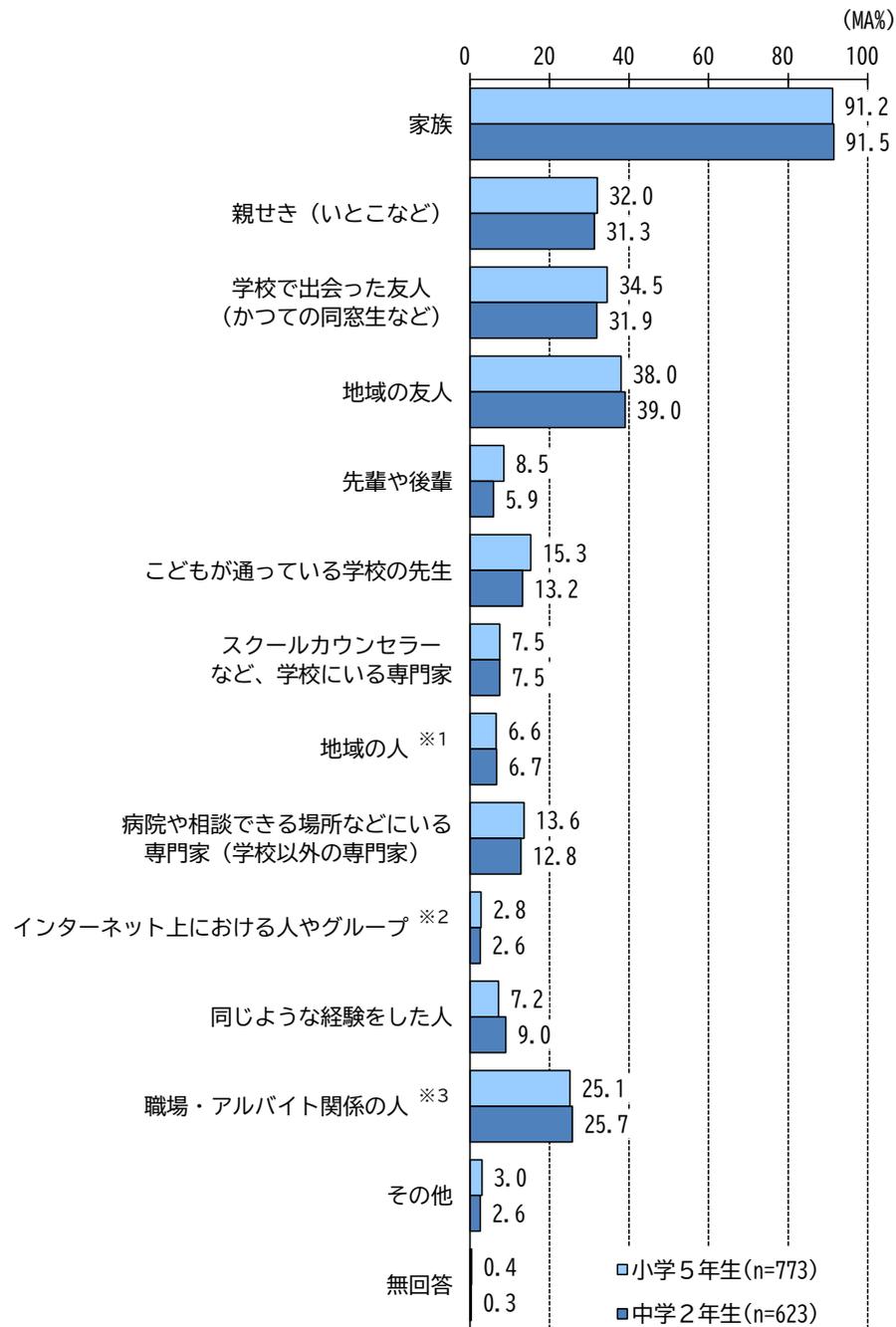
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値の2分の1以上中央値未満は「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が小学5年生全体より6.8ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「地域の友人」がふたり親より20.6ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「地域の友人」がふたり親より18.7ポイント少なくなっています。

【つらいときや不安なときに助けてくれる人】



- ※1 調査票上の選択肢は「地域の人(近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など)」
- ※2 調査票上の選択肢は「インターネット上における人やグループ(実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)」
- ※3 調査票上の選択肢は「職場・アルバイト関係の人(現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など)」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	つらいときや不安なときに助けてくれる人							
			家族	親せき (いとこなど)	学校で出会った友人 (かつての同窓生など)	地域の友人	先輩や後輩	校の先生 こどもが通っている学	家など、スクールカウンセラーなど、学校にいる専門	
こどもの年齢別	小学5年生	773	91.2	32.0	34.5	38.0	8.5	15.3	7.5	
	中学2年生	623	91.5	31.3	31.9	39.0	5.9	13.2	7.5	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	263	93.5	33.1	31.9	36.5	11.0	12.9	7.2
		中央値の2分の1以上中央値未満	131	93.1	34.4	37.4	35.9	7.6	15.3	4.6
		中央値の2分の1未満	94	88.3	23.4	33.0	36.2	4.3	13.8	5.3
	中学2年生	中央値以上	191	92.7	29.8	36.6	35.1	8.9	12.6	7.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	85	91.8	36.5	34.1	35.3	2.4	11.8	4.7
		中央値の2分の1未満	86	88.4	24.4	26.7	51.2	5.8	15.1	3.5
父母の状況別	小学5年生	ふたり親	725	91.4	32.1	35.0	39.2	8.6	15.2	7.4
		ひとり親	43	90.7	30.2	27.9	18.6	9.3	16.3	9.3
	中学2年生	ふたり親	581	92.1	31.0	32.9	40.3	6.4	13.3	7.9
		ひとり親	37	86.5	40.5	18.9	21.6	-	8.1	2.7

単位：MA%

		母数 (n)	つらいときや不安なときに助けてくれる人							
			地域の 人	校 外 の 専 門 家 (学 校 に お け る 専 門 家 の 相 談 場 所)	病 院 や グ ル ー プ に お け る 人 や タ ー ゲ ッ ト に お け る 人	同 じ よ う な 経 験 を し た 人	職 場 ・ ア ル バ イ ト 関 係 の 人	そ の 他	無 回 答	
こどもの年齢別	小学5年生	773	6.6	13.6	2.8	7.2	25.1	3.0	0.4	
	中学2年生	623	6.7	12.8	2.6	9.0	25.7	2.6	0.3	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	263	4.9	14.4	1.5	7.2	29.3	2.7	0.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	131	7.6	9.9	3.8	6.1	18.3	2.3	-
		中央値の2分の1未満	94	6.4	12.8	3.2	3.2	20.2	4.3	-
	中学2年生	中央値以上	191	9.4	15.2	2.6	9.4	29.3	1.6	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	85	4.7	10.6	4.7	3.5	22.4	2.4	-
		中央値の2分の1未満	86	5.8	14.0	-	11.6	27.9	3.5	-
父母の状況別	小学5年生	ふたり親	725	6.6	14.1	3.0	7.3	25.5	3.0	0.4
		ひとり親	43	4.7	7.0	-	7.0	18.6	2.3	-
	中学2年生	ふたり親	581	6.9	13.1	2.6	9.0	26.0	2.6	0.3
		ひとり親	37	5.4	10.8	2.7	8.1	24.3	-	-

「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
子育て仲間	3
教育支援者	3
友人	2
宗教・信仰	2
地域住民	1
AI	1
中学2年生保護者	
友人	2
子育て仲間	1
教育支援者	1
職場相談窓口	1

(17) どのような人に助けてもらいたいのか

- ⑬-2 ⑬で「どちらかといえばそう思わない・そう思わない」と答えた人にお聞きします。
 どんな人に助けてもらいたいですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 小学5年生保護者では、「家族」が42.0%で最も多く、次いで「同じような経験をした人」が34.0%、「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」が31.5%となっています。
- 中学2年生保護者では、「家族」が46.2%で最も多く、次いで「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」が32.4%、「同じような経験をした人」が30.8%となっています。
- 小学5年生保護者は「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」が中学2年生保護者より6.4ポイント多くなっています。

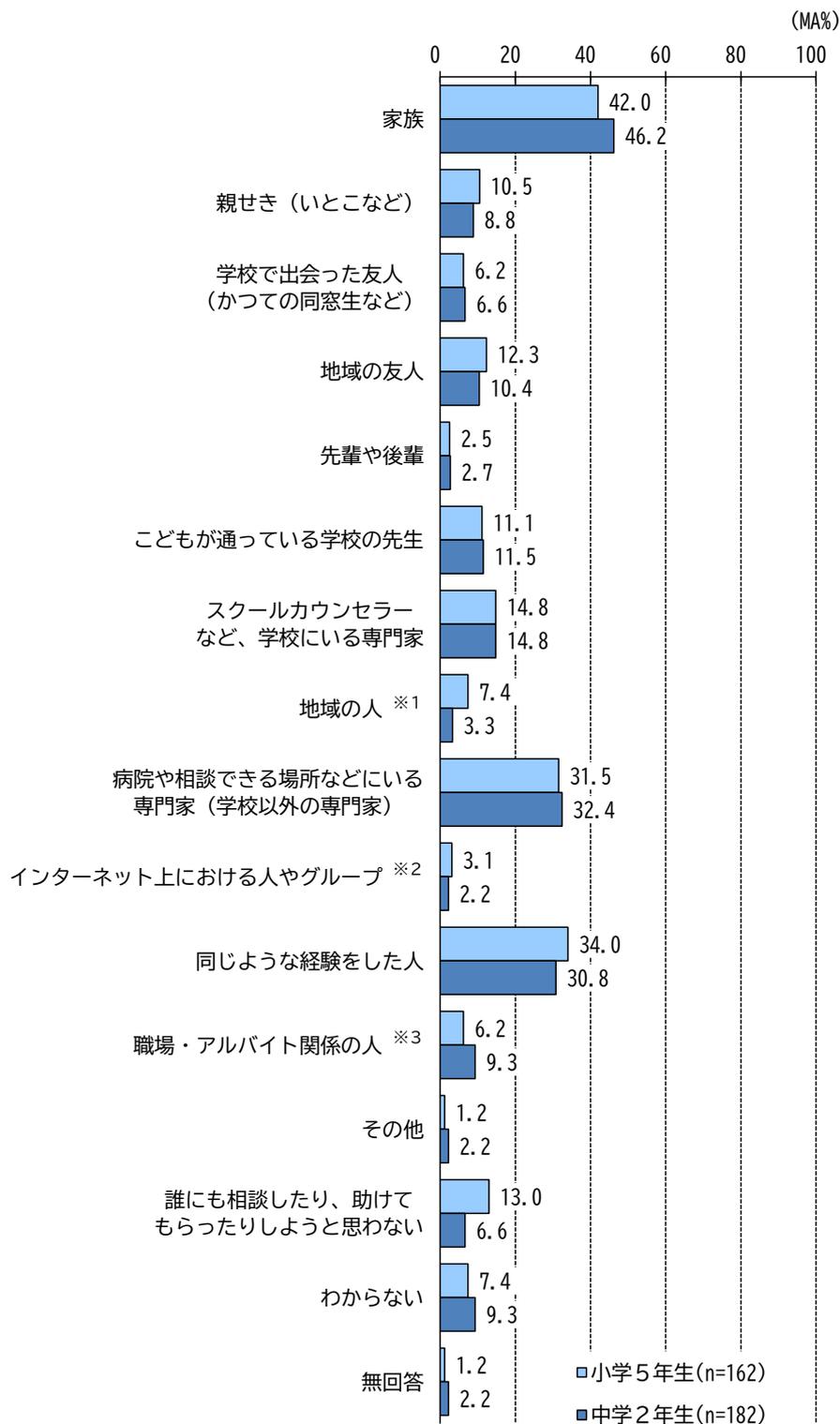
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生保護者のすべての所得区分、中学2年生保護者の中央値以上は「家族」、中学2年生保護者の中央値の2分の1以上中央値未満は「家族」と「同じような経験をした人」、中学2年生保護者の中央値の2分の1未満は「地域の友人」、「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」、「同じような経験をした人」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともふたり親は「家族」、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともひとり親は「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ふたり親は「家族」がひとり親より24.6ポイント多くなっています。

【どのような人に助けてもらいたいか】



- ※1 調査票上の選択肢は「地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）」
- ※2 調査票上の選択肢は「インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）」
- ※3 調査票上の選択肢は「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	どのような人に助けてもらいたいか								
			家族	親せき (いとこなど)	学校で出会った友人 (かつての同窓生など)	地域の友人	先輩や後輩	校の先生が通っている学	家など、学校に在る専門	地域の人	
こどもの年齢別	小学5年生	162	42.0	10.5	6.2	12.3	2.5	11.1	14.8	7.4	
	中学2年生	182	46.2	8.8	6.6	10.4	2.7	11.5	14.8	3.3	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	52	48.1	13.5	3.8	17.3	5.8	15.4	19.2	5.8
		中央値の2分の1以上中央値未満	23	43.5	13.0	17.4	26.1	-	8.7	4.3	17.4
		中央値の2分の1未満	19	47.4	-	5.3	-	-	-	10.5	5.3
	中学2年生	中央値以上	46	58.7	8.7	6.5	4.3	4.3	10.9	19.6	2.2
		中央値の2分の1以上中央値未満	36	33.3	2.8	2.8	5.6	-	8.3	16.7	2.8
		中央値の2分の1未満	16	25.0	25.0	6.3	31.3	6.3	18.8	12.5	6.3
父母の状況別	小学5年生	139	44.6	10.1	5.8	11.5	2.9	9.4	12.2	5.0	
	5年生	20	20.0	10.0	5.0	15.0	-	15.0	25.0	25.0	
	中学2年生	152	50.7	10.5	7.2	10.5	3.3	11.8	15.8	3.9	
	2年生	26	26.9	-	3.8	7.7	-	11.5	11.5	-	

単位：MA%

		母数 (n)	どのような人に助けてもらいたいか								
			校など、外に在る専門(家)	病院や相談できる場所	インターネット上にお	人同様な経験をした	の職場・アルバイト関係	その他	とけにも相談したり、助	誰にも相談したり、助	わからない
こどもの年齢別	小学5年生	162	31.5	3.1	34.0	6.2	1.2	13.0	7.4	1.2	
	中学2年生	182	32.4	2.2	30.8	9.3	2.2	6.6	9.3	2.2	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	52	42.3	3.8	38.5	7.7	1.9	5.8	3.8	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	23	21.7	-	39.1	4.3	-	26.1	-	-
		中央値の2分の1未満	19	31.6	5.3	36.8	5.3	-	15.8	10.5	-
	中学2年生	中央値以上	46	41.3	-	28.3	19.6	-	6.5	-	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	36	30.6	5.6	33.3	11.1	2.8	2.8	16.7	2.8
		中央値の2分の1未満	16	31.3	6.3	31.3	6.3	-	12.5	12.5	-
父母の状況別	小学5年生	139	31.7	3.6	36.0	6.5	1.4	10.8	8.6	1.4	
	5年生	20	35.0	-	25.0	5.0	-	30.0	-	-	
	中学2年生	152	31.6	2.6	30.3	11.2	2.6	6.6	7.9	0.7	
	2年生	26	38.5	-	30.8	-	-	7.7	15.4	11.5	

「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
行政機関	1
中学2年生保護者	
家族	1
学校関係	1
行政機関	1

(18) しあわせだと感じているか

⑭ あなたは今、しあわせですか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が46.6%で最も多く、次いで「当てはまる」が46.2%、「どちらかといえば当てはまらない」が4.6%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は92.8%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は6.4%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が44.6%で最も多く、次いで「当てはまる」が42.7%、「どちらかといえば当てはまらない」が8.1%となっています。“当てはまる”は87.3%となっています。“当てはまらない”は11.4%となっています。

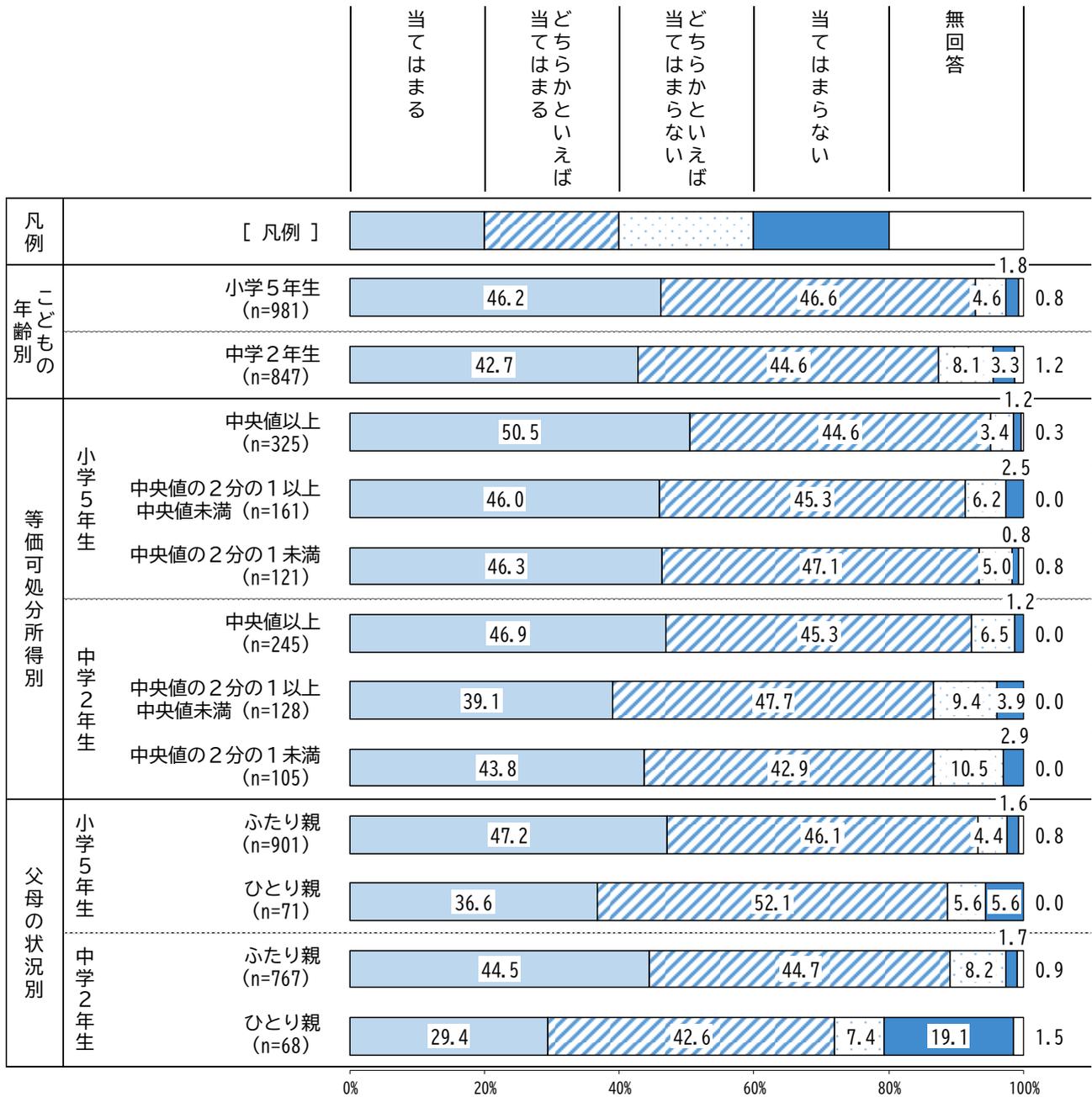
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生保護者の中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満、中学2年生保護者の中央値以上、中央値の2分の1未満は「当てはまる」、小学5年生保護者の中央値の2分の1未満、中学2年生保護者の中央値の2分の1以上中央値未満は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者のふたり親は「当てはまる」、小学5年生保護者のひとり親、中学2年生保護者のふたり親、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「当てはまる」がふたり親より15.1ポイント少なくなっています。

【しあわせだと感じているか】



(19) どんなときにしあわせだと感じるか

- ⑭-1 ⑭で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた人にお聞きします。
どんなときにしあわせと感じますか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 小学5年生保護者では、「心やからだ元気なとき」が86.6%で最も多く、次いで「こどもが学校生活を楽しんでいるとき」が82.6%、「家族関係がいいとき」が74.8%となっています。
- 中学2年生保護者では、「心やからだ元気なとき」が85.7%で最も多く、次いで「こどもが学校生活を楽しんでいるとき」が80.0%、「家族関係がいいとき」が72.6%となっています。
- 中学2年生保護者は「地域の人たちとの関係がいいとき」が小学5年生保護者より4.9ポイント少なくなっています。

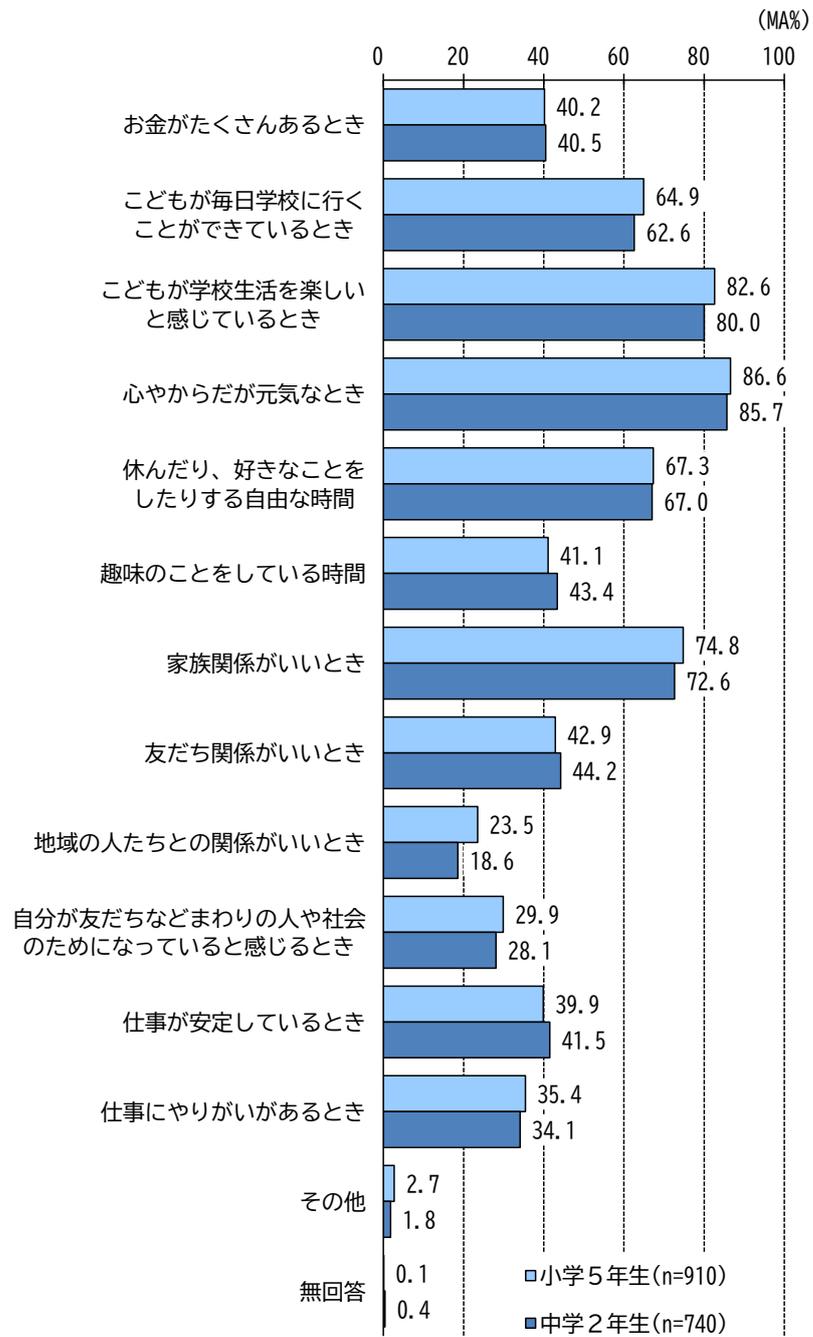
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「心やからだ元気なとき」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値の2分の1未満は「こどもが学校生活を楽しんでいるとき」が小学5年生全体より5.6ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値以上は「こどもが学校生活を楽しんでいるとき」が中学2年生全体より6.3ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともふたり親は「心やからだ元気なとき」、小学5年生保護者・中学2年生保護者ともひとり親は「こどもが学校生活を楽しんでいるとき」と「心やからだ元気なとき」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「こどもが学校生活を楽しんでいるとき」「心やからだ元気なとき」「家族関係がいいとき」「友だち関係がいいとき」「地域の人たちとの関係がいいとき」がふたり親より約15～30ポイント少なくなっています。

【どんなときにしあわせだと感じるか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	どんなときにしあわせだと感じるか							
			お金が たくさん あるとき	こどもが 毎日学校 に行く とき	いこども が学校生 活を 楽し いと感じ ている とき	心や からだ が元気 なとき	休ん だり、 好き なこ とを する 自由 な時 間	趣味 のこ とを して いる 時	家 族 関 係 が い い と き	
こどもの 年齢別	小学5年生	910	40.2	64.9	82.6	86.6	67.3	41.1	74.8	
	中学2年生	740	40.5	62.6	80.0	85.7	67.0	43.4	72.6	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	309	43.4	66.7	86.7	87.7	68.9	41.4	79.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	147	32.7	64.6	81.6	87.1	61.2	41.5	76.9
		中央値の2分の1未満	113	42.5	66.4	77.0	80.5	65.5	38.1	68.1
	中学 2年生	中央値以上	226	42.5	62.4	86.3	89.4	65.5	40.7	75.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	111	38.7	60.4	73.0	82.9	68.5	45.0	73.0
		中央値の2分の1未満	91	37.4	67.0	82.4	83.5	67.0	47.3	73.6
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	840	40.1	66.1	83.7	87.9	67.5	41.2	76.8
		ひとり親	63	39.7	49.2	68.3	68.3	60.3	38.1	47.6
	中学 2年生	ふたり親	684	40.5	61.8	80.4	86.5	67.4	43.7	73.4
		ひとり親	49	40.8	73.5	77.6	77.6	61.2	38.8	63.3

単位：MA%

		母数 (n)	どんなときにしあわせだと感じるか							
			友 だ ち 関 係 が い い と き	い 地 域 の 人 た ち と の 関 係 が い い と き	て の 自 分 が 友 だ ち と の 関 係 が い い と き	仕 事 が 安 定 し て い る と き	き 仕 事 に や り が い が あ る と	そ の 他	無 回 答	
こどもの 年齢別	小学5年生	910	42.9	23.5	29.9	39.9	35.4	2.7	0.1	
	中学2年生	740	44.2	18.6	28.1	41.5	34.1	1.8	0.4	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	309	45.6	25.9	32.4	42.7	39.2	1.9	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	147	45.6	23.8	27.9	41.5	35.4	2.7	-
		中央値の2分の1未満	113	42.5	16.8	27.4	42.5	33.6	4.4	-
	中学 2年生	中央値以上	226	45.1	17.7	31.0	46.5	38.9	2.7	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	111	40.5	12.6	24.3	36.9	31.5	0.9	0.9
		中央値の2分の1未満	91	49.5	19.8	25.3	40.7	26.4	1.1	-
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	840	44.2	24.3	30.5	40.1	35.5	2.9	-
		ひとり親	63	22.2	11.1	20.6	38.1	33.3	1.6	1.6
	中学 2年生	ふたり親	684	45.2	19.4	28.8	41.2	33.9	1.6	0.3
		ひとり親	49	30.6	8.2	18.4	40.8	32.7	4.1	2.0

「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
子どもの成長、子どもの笑顔、子どもの健康	7
美味しいものを食べているとき、ゆっくりできるとき	5
子どもや家族とともに過ごす時間	4
家族が楽しく、健康である	2
安心できる環境で生活できているとき	2
その他	2
中学2年生保護者	
子どもの成長、子どもの笑顔、子どもの健康	4
家族が楽しく、健康である	3
子どもや家族とともに過ごす時間	3
安心できる環境で生活できているとき	2
その他	1

(20) どのような状況になれば、しあわせだと感じるか

⑭-2 ⑭で「どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」と答えた人にお聞きします。
どういう状況になれば、しあわせだと感じるとおもいますか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 小学5年生保護者では、「お金がたくさんある」が66.7%で最も多く、次いで「家族関係がいい」が58.7%、「心やからだ元気になる」が54.0%となっています。
- 中学2年生保護者では、「お金がたくさんある」が60.8%で最も多く、次いで「心やからだ元気になる」「家族関係がいい」が59.8%、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」が48.5%となっています。
- 中学2年生保護者は「こどもが毎日学校に行くことができている」「こどもが学校生活を楽しいと感じている」「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」が小学5年生保護者より約15ポイント多くなっています。

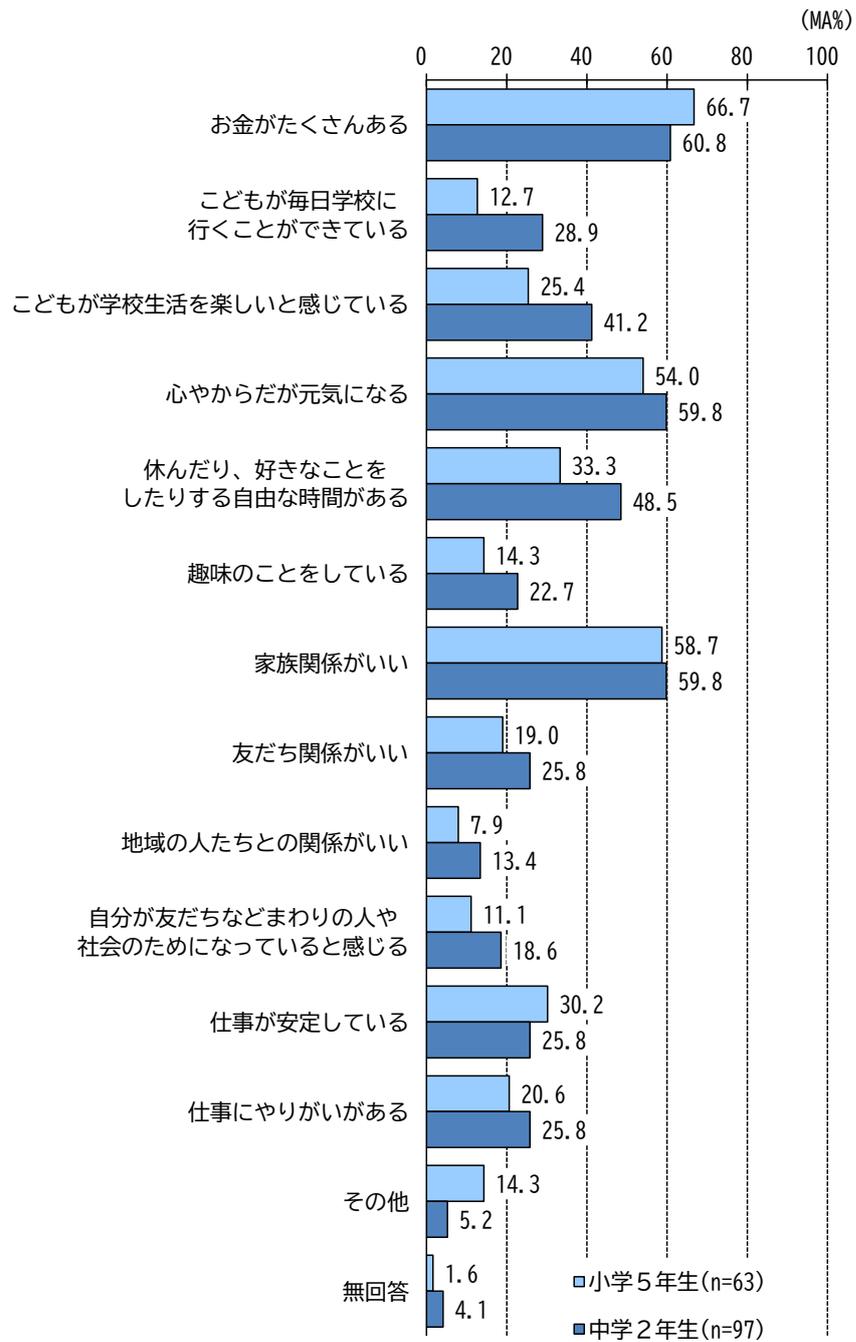
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生保護者・中学2年生保護者とも中央値以上は「家族関係がいい」、小学5年生保護者の中央値の2分の1以上中央値未満、中央値の2分の1未満、中学2年生保護者の中央値の2分の1以上中央値未満は「お金がたくさんある」、中学2年生保護者の中央値の2分の1未満は「お金がたくさんある」、「心やからだ元気になる」、「家族関係がいい」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値以上は「お金がたくさんある」が小学5年生全体より26.7ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値以上は「お金がたくさんある」が中学2年生全体より29.2ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者のふたり親、ひとり親、中学2年生保護者のひとり親は「お金がたくさんある」、中学2年生保護者のふたり親は「家族関係がいい」が最も多くなっています。

【どのような状況になれば、しあわせだと感じるか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	どのような状況になれば、しあわせだと感じるか							
			お金が たくさん ある	こども が毎日 学校に 行く	こども が学校 生活を 楽し ている	心や からだ が元氣 になる	休ん だり、 好き なこ とを する 自由 な時 間が ある	趣味 のこ とを して いる	家 族 関 係 が い い	
こどもの 年齢別	小学5年生	63	66.7	12.7	25.4	54.0	33.3	14.3	58.7	
	中学2年生	97	60.8	28.9	41.2	59.8	48.5	22.7	59.8	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	15	40.0	13.3	26.7	40.0	33.3	20.0	60.0
		中央値の2分の1以上中央値未満	14	78.6	14.3	14.3	57.1	35.7	14.3	64.3
		中央値の2分の1未満	7	71.4	14.3	28.6	42.9	14.3	-	57.1
	中学 2年生	中央値以上	19	31.6	5.3	42.1	57.9	47.4	15.8	63.2
		中央値の2分の1以上中央値未満	17	70.6	29.4	35.3	58.8	47.1	17.6	52.9
		中央値の2分の1未満	14	71.4	35.7	42.9	71.4	50.0	21.4	71.4
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	54	64.8	11.1	24.1	55.6	31.5	14.8	63.0
		ひとり親	8	75.0	25.0	37.5	50.0	50.0	12.5	37.5
	中学 2年生	ふたり親	76	57.9	25.0	38.2	59.2	50.0	19.7	60.5
		ひとり親	18	72.2	44.4	55.6	66.7	38.9	27.8	61.1

単位：MA%

		母数 (n)	どのような状況になれば、しあわせだと感じるか							
			友 だ ち 関 係 が い い	い 地 域 の 人 た ち の 関 係 が	て の 自 分 が 友 だ ち な ど に ま わ つ り	仕 事 が 安 定 し て い る	仕 事 に や り が い が あ る	そ の 他	無 回 答	
こどもの 年齢別	小学5年生	63	19.0	7.9	11.1	30.2	20.6	14.3	1.6	
	中学2年生	97	25.8	13.4	18.6	25.8	25.8	5.2	4.1	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	15	26.7	6.7	6.7	26.7	26.7	13.3	6.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	14	7.1	14.3	14.3	21.4	14.3	21.4	-
		中央値の2分の1未満	7	14.3	-	-	28.6	14.3	14.3	-
	中学 2年生	中央値以上	19	15.8	5.3	10.5	15.8	15.8	-	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	17	17.6	17.6	23.5	23.5	29.4	17.6	-
		中央値の2分の1未満	14	35.7	21.4	28.6	21.4	35.7	7.1	7.1
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	54	20.4	9.3	11.1	29.6	18.5	14.8	1.9
		ひとり親	8	12.5	-	12.5	25.0	25.0	12.5	-
	中学 2年生	ふたり親	76	22.4	9.2	17.1	15.8	19.7	5.3	2.6
		ひとり親	18	33.3	27.8	22.2	61.1	44.4	5.6	11.1

「その他」の内容	件数
小学5年生保護者	
子どもに対する不安がない	2
経済的な不安がない	2
生活環境を変えたい	1
わからない	1
中学2年生保護者	
子どもに対する不安がない	1
生活環境を変えたい	1
家族が健康になる	1
精神的負担からの解放	1
わからない	1

(21) 今の自分が好きだと思うか

⑮ あなたは、今の自分が好きですか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が 53.0%で最も多く、次いで「当てはまる」が21.1%、「どちらかといえば当てはまらない」が19.9%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は 74.1%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は 25.2%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が 51.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまらない」が20.5%、「当てはまる」が20.3%となっています。“当てはまる”は71.3%となっています。“当てはまらない”は27.1%となっています。

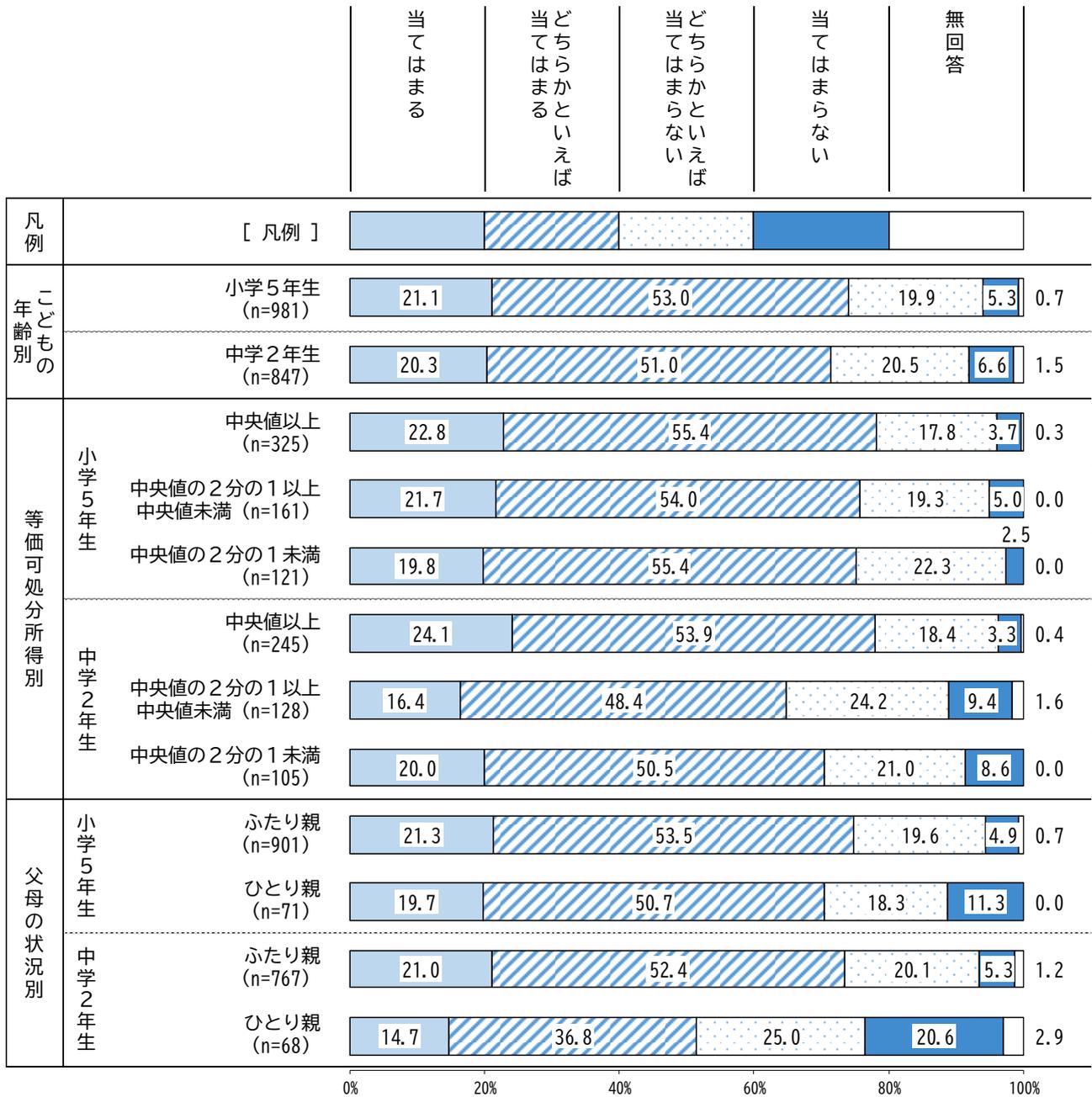
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」がふたり親より15.6ポイント少なくなっています。

【今の自分が好きだと思うか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、自分のことがもっと好きになりますか。

【どのようなことがあれば、自分のことがもっと好きになれるか】

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない	無回答
小学5年生保護者					
金銭的な余裕があれば	8	23	15	0	0
時間的ゆとりがあれば	7	42	24	3	0
自己肯定感、自己有用感を感じられる、 ありのままの自分でいられる	18	32	11	8	0
心身の健康	6	39	20	4	0
家族や子どもと良好な人間関係でいられる	8	34	9	3	0
仕事と家庭の両立ができる	3	10	4	2	0
仕事がうまくいく、キャリアを積める	5	18	6	0	0
前向きな気持ちでいられる、 自己実現や成長を実感できる	17	44	16	2	0
今のままでよい、考えたことがない、わからない	6	2	2	2	0
その他	6	14	2	3	1
中学2年生保護者					
金銭的な余裕があれば	3	26	10	3	0
時間的ゆとりがあれば	4	29	18	2	0
自己肯定感、自己有用感を感じられる、 ありのままの自分でいられる	17	41	9	3	0
心身の健康	11	22	19	8	0
家族や子どもと良好な人間関係でいられる	8	17	9	6	0
仕事と家庭の両立ができる	1	11	7	0	0
仕事がうまくいく、キャリアを積める	2	13	5	1	0
前向きな気持ちでいられる、 自己実現や成長を実感できる	15	32	18	1	0
今のままでよい、考えたことがない、わからない	5	3	0	0	0
その他	4	11	5	6	0

(22) ありのままでいることができていると思うか

⑩ あなたは、「ありのままでいることができている」と思いますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が 53.1%で最も多く、次いで「当てはまる」が22.1%、「どちらかといえば当てはまらない」が19.5%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は 75.2%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は 23.8%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえば当てはまる」が 55.1%で最も多く、次いで「当てはまる」が19.4%、「どちらかといえば当てはまらない」が18.2%となっています。“当てはまる”は74.5%となっています。“当てはまらない”は23.9%となっています。

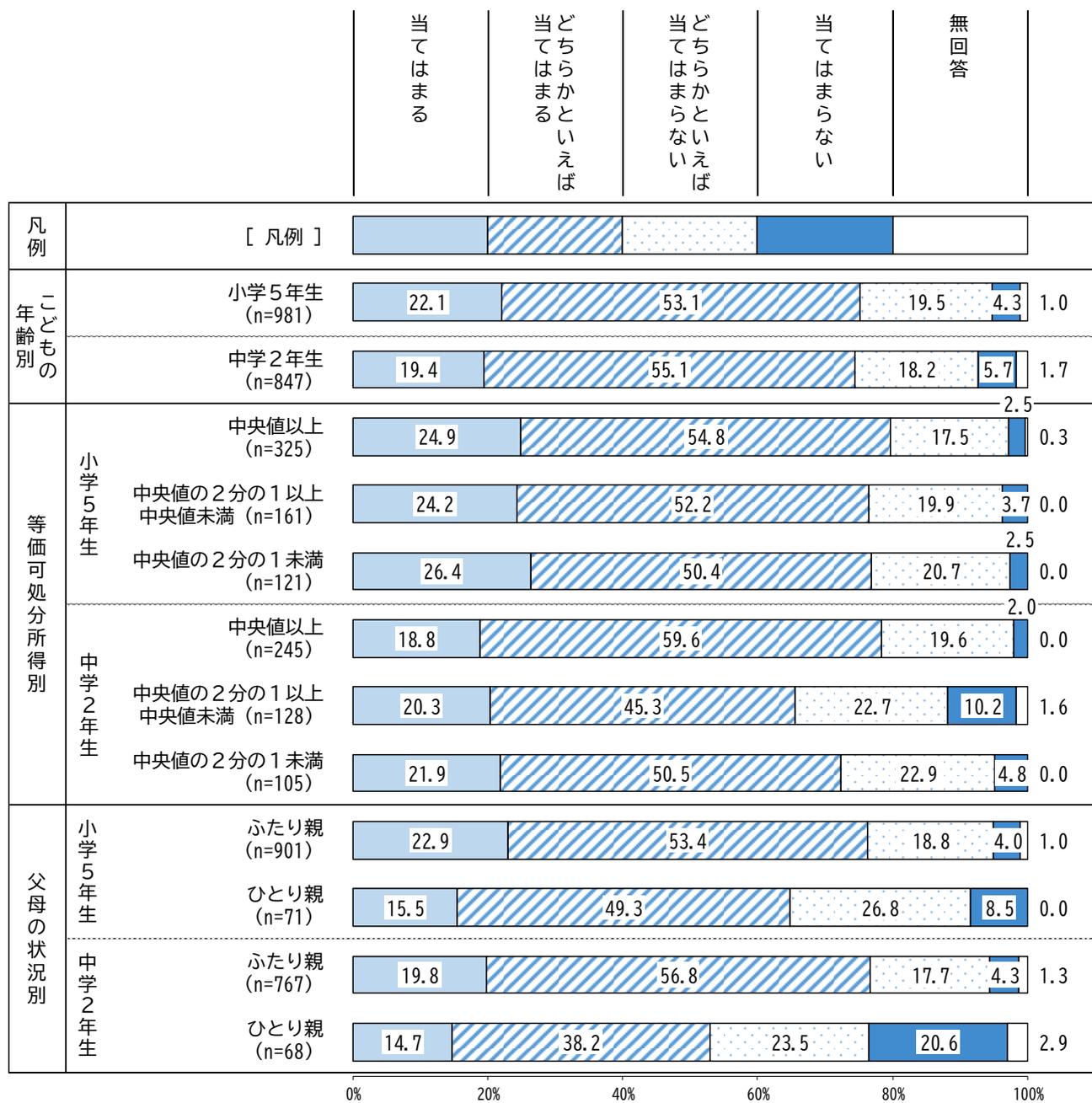
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値の2分の1以上中央値未満は「どちらかといえば当てはまる」が中学2年生全体より9.8ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」がふたり親より18.6ポイント少なくなっています。

【ありのままでいることができていると思うか】



○どのようなことがあれば、ありのままにしていることができますか。

【どのようなことがあれば、ありのままにしているか】

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない	無回答
小学5年生保護者					
周囲を気にしないでいられる、自分の意見を言える、自分の気持ちを偽らないでいられる	23	38	13	3	0
心のゆとり、気持ちのゆとりがある	16	25	7	2	0
良好な人間関係がある	10	8	3	0	0
金銭的な余裕がある	4	5	7	1	0
時間的ゆとりがある	6	18	18	1	0
自分を認めてもらえる、相手との信頼関係がある、否定されない	2	0	1	0	0
受容的な社会環境がある	5	6	4	1	0
生活や家族関係が安定している	10	10	7	2	0
自由でいられる、無理をしない	12	16	14	4	0
その他	10	30	12	5	1
中学2年生保護者					
周囲を気にしないでいられる、自分の意見を言える、自分の気持ちを偽らないでいられる	20	28	15	5	0
心のゆとり、気持ちのゆとりがある	5	12	7	2	0
良好な人間関係がある	5	11	2	0	0
金銭的な余裕がある	1	12	4	2	0
時間的ゆとりがある	4	12	8	1	0
自分を認めてもらえる、相手との信頼関係がある、否定されない	1	1	2	1	0
受容的な社会環境がある	0	7	2	3	0
生活や家族関係が安定している	3	11	5	0	0
自由でいられる、無理をしない	10	10	14	5	0
その他	12	38	17	6	0

(23) 自分の将来に明るい希望を持っているか

⑰ あなたは、「自分の将来について明るい希望がある」と思っていますか。

【全体】

- 小学5年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 42.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.0%、「そう思う」が 14.3%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 57.2%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 31.1%となっています。
- 中学2年生保護者では、「どちらかといえばそう思う」が 39.7%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 26.2%、「そう思わない」が 11.8%となっています。“そう思う”は 51.0%となっています。“そう思わない”は 38.0%となっています。

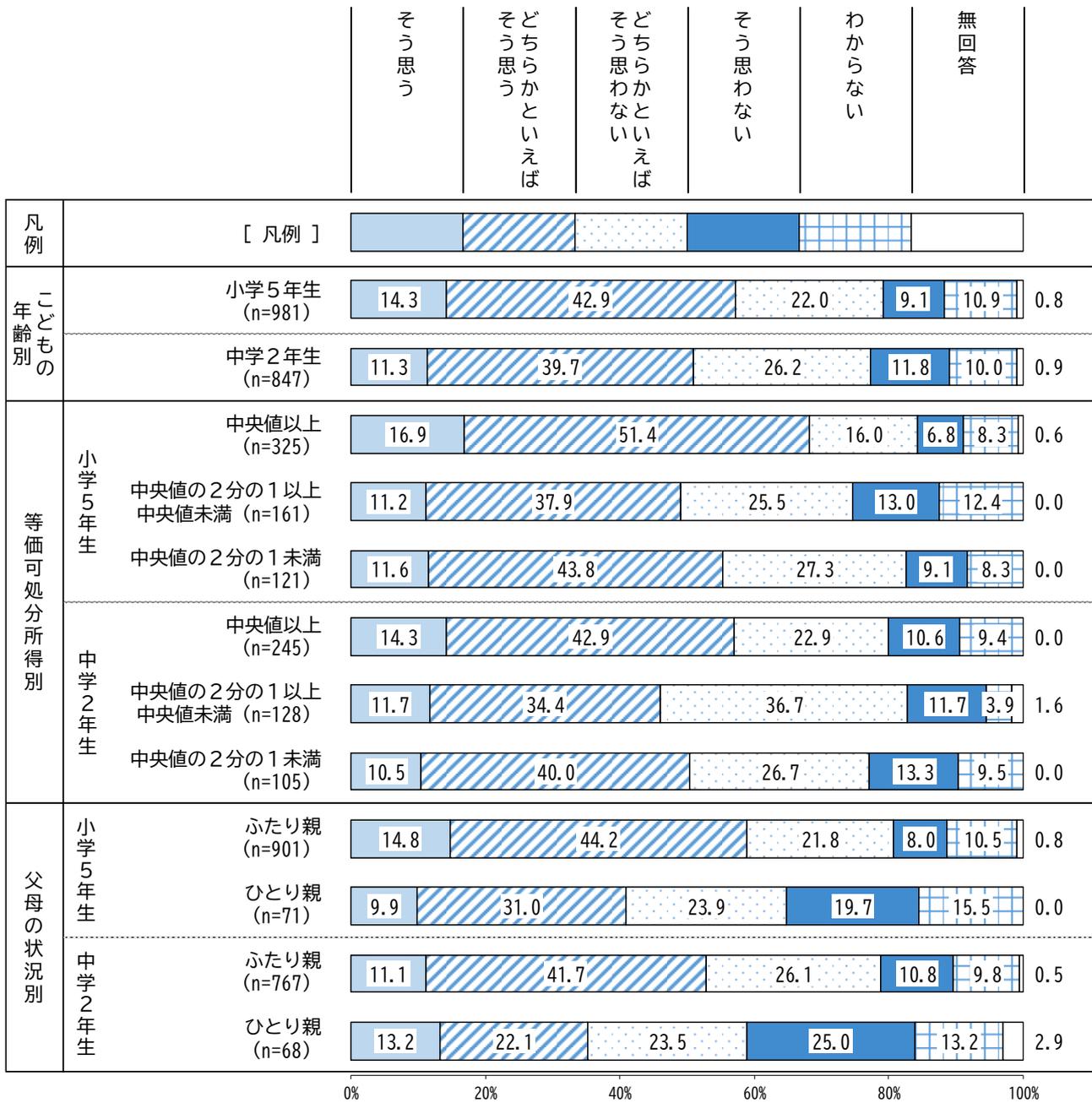
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生保護者のすべての所得区分、中学2年生保護者の中央値以上、中央値の2分の1未満は「どちらかといえばそう思う」、中学2年生保護者の中央値の2分の1以上中央値未満は「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、中央値以上は「どちらかといえばそう思う」が小学5年生全体より 8.5ポイント多く、「どちらかといえばそう思わない」が6.0ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、中央値の2分の1以上中央値未満は「どちらかといえばそう思わない」が中学2年生全体より 10.5ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生保護者のふたり親、ひとり親、中学2年生保護者のふたり親は「どちらかといえばそう思う」、中学2年生保護者のひとり親は「そう思わない」が最も多くなっています。
- 小学5年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」がふたり親より 11.7ポイント多く、「どちらかといえばそう思う」が13.2ポイント少なくなっています。
- 中学2年生保護者では、ひとり親は「そう思わない」がふたり親より 14.2ポイント多く、「どちらかといえばそう思う」が19.6ポイント少なくなっています。

【自分の将来に明るい希望を持っているか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、自分の将来に明るい希望が持てますか。

【どのようなことがあれば、自分の将来に明るい希望を持てるか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
小学5年生保護者					
経済的な不安がないこと、金銭的余裕があること	23	67	55	19	15
自分や家族が健康であること	13	43	12	4	10
家族が元気で幸せに暮らしていること	2	20	4	4	1
子どもが成長し自立すること	6	16	10	5	5
安定して不安のない社会であること	4	22	14	6	5
やりがいのある仕事、生きがい、目標があること	9	10	4	1	3
時間や精神的なゆとり	3	19	7	3	5
老後の生活に不安がないこと	1	19	17	11	4
将来のことよりも今を大切に生きること	2	3	0	1	1
その他	7	11	4	2	2
中学2年生保護者					
経済的な不安がないこと、金銭的余裕があること	12	42	56	29	13
自分や家族が健康であること	8	28	14	6	5
家族が元気で幸せに暮らしていること	4	14	4	3	1
子どもが成長し自立すること	5	14	13	5	9
安定して不安のない社会であること	0	9	18	12	4
やりがいのある仕事、生きがい、目標があること	8	14	2	2	0
時間や精神的なゆとり	4	3	12	3	2
老後の生活に不安がないこと	0	9	35	13	5
将来のことよりも今を大切に生きること	2	2	2	0	1
その他	7	12	4	6	2

(24) 高槻市の取組について

- ⑱ その他、「高槻市にあっという間」と思うことなど、高槻市役所の取組についてご意見があれば、自由入力欄に入れてください。

ア) 公共施設（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること

【市の建物（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること】

内容	件数
小学5年生保護者	
スポーツ施設、プール	120
図書館の充実	91
子どものための学習スペース	42
市民プール	65
文化芸術施設	24
子どもの遊び場	71
地域の居場所、交流施設	19
多世代が利用できる多機能複合施設	10
施設は充足している	8
その他	83
中学2年生保護者	
スポーツ施設、プール	119
図書館の充実	81
子どものための学習スペース	57
市民プール	48
文化芸術施設	23
子どもの遊び場	27
地域の居場所、交流施設	21
多世代が利用できる多機能複合施設	12
施設は充足している	15
その他	57

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

イ) 公園などの遊び場や居場所に関すること

【公園などの遊び場や居場所に関すること】

内容	件数
小学5年生保護者	
ボール遊びができる場所	132
屋内の遊び場	90
プールや水遊びができる施設	34
公園の遊具やトイレ等の設備の改善	83
公園の維持管理、環境整備	56
子どもの居場所	59
公園の安全性向上・安全管理	44
公園の利用制限の緩和	32
公園の数は充足している	26
その他	33
中学2年生保護者	
ボール遊びができる場所	108
屋内の遊び場	34
プールや水遊びができる施設	26
公園の遊具やトイレ等の設備の改善	42
公園の維持管理、環境整備	51
子どもの居場所	48
公園の安全性向上・安全管理	18
公園の利用制限の緩和	35
公園の数は充足している	20
その他	37

ウ) 学校に関すること

【学校に関すること】

内容	件数
小学5年生保護者	
教育内容について	100
老朽化施設、トイレの改修	47
空調施設・給水機の整備	45
不登校支援について	21
教員体制、教員の資質について	76
部活動について	18
子どもの放課後活動について	62
PTA 活動について	7
登下校時間、通学時の安全について	24
その他	71
中学2年生保護者	
教育内容について	66
老朽化施設、トイレの改修	46
空調施設・給水機の整備	35
不登校支援について	28
教員体制、教員の資質について	67
部活動について	40
子どもの放課後活動について	23
PTA 活動について	2
登下校時間、通学時の安全について	24
その他	66

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

エ) まちづくりに関すること

【まちづくりに関すること】

内容	件数
小学5年生保護者	
道路整備・交通安全について	73
駐輪場・自転車走行環境について	33
防犯・災害対策、環境美化について	39
都市整備、商業施設誘致について	46
多世代の地域交流機会、コミュニティ活動について	18
公共交通について	17
景観の維持・整備について	16
イベントや文化・レジャー施設について	17
その他	25
中学2年生保護者	
道路整備・交通安全について	62
駐輪場・自転車走行環境について	31
防犯・災害対策、環境美化について	38
都市整備、商業施設誘致について	33
多世代の地域交流機会、コミュニティ活動について	16
公共交通について	12
景観の維持・整備について	15
イベントや文化・レジャー施設について	14
その他	26

オ) 保育所・幼稚園・認定こども園に関すること

【保育所・幼稚園・認定こども園に関すること】

内容	件数
小学5年生保護者	
待機児童の解消、希望する園に入れる	46
保育士の確保・待遇改善	23
多様な預かり保育の充実、保育時間の延長	29
保育・教育内容に対する要望	22
送迎時に配慮した施設整備	10
保育費用の軽減	12
保幼小の連携、小学校への接続	4
公立園と民間園の違いについて	8
その他	19
中学2年生保護者	
待機児童の解消、希望する園に入れる	31
保育士の確保・待遇改善	23
多様な預かり保育の充実、保育時間の延長	19
保育・教育内容に対する要望	14
送迎時に配慮した施設整備	5
保育費用の軽減	8
保幼小の連携、小学校への接続	4
公立園と民間園の違いについて	4
その他	28

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

カ) 子育てサービスに関すること

【子育てサービスに関すること】

内容	件数
小学5年生保護者	
医療費助成について	16
教育費助成について	31
子育て世帯への経済的支援	26
子どもの遊び場、交流機会	24
学童保育の充実、長期休暇中の子どもの居場所について	32
一時預かりの充実	16
子育て相談について	12
情報提供	10
病児保育の充実	4
その他	41
中学2年生保護者	
医療費助成について	23
教育費助成について	23
子育て世帯への経済的支援	35
学童保育の充実、長期休暇中の子どもの居場所について	15
子どもの遊び場、交流機会	10
一時預かりの充実	8
子育て相談について	7
情報提供	7
病児保育の充実	5
その他	36

キ) その他

【その他】

内容	件数
小学5年生保護者	
ゴミ処理	43
子育て支援、教育	31
道路整備、公共交通	26
公共料金	13
ひとり親世帯支援、生活支援	10
行政サービス	15
都市整備	13
迷惑行為対策	16
イベント、地域活性化、コミュニティ活動	11
その他	8
中学2年生保護者	
ゴミ処理	45
子育て支援、教育	21
道路整備、公共交通	17
公共料金	16
ひとり親世帯支援、生活支援	10
行政サービス	13
都市整備	13
迷惑行為対策	18
イベント、地域活性化、コミュニティ活動	4
その他	4

3 小学5年生・中学2年生

(1) 性別

① あなたに当てはまるものを1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「おんなの人」が 53.0%、「おとこの人」が 46.4%、「わからない」が 0.3%となっています。
- 中学2年生では、「女性」が 54.3%、「男性」が 44.3%、「どちらともいえない」が 0.7%となっています。

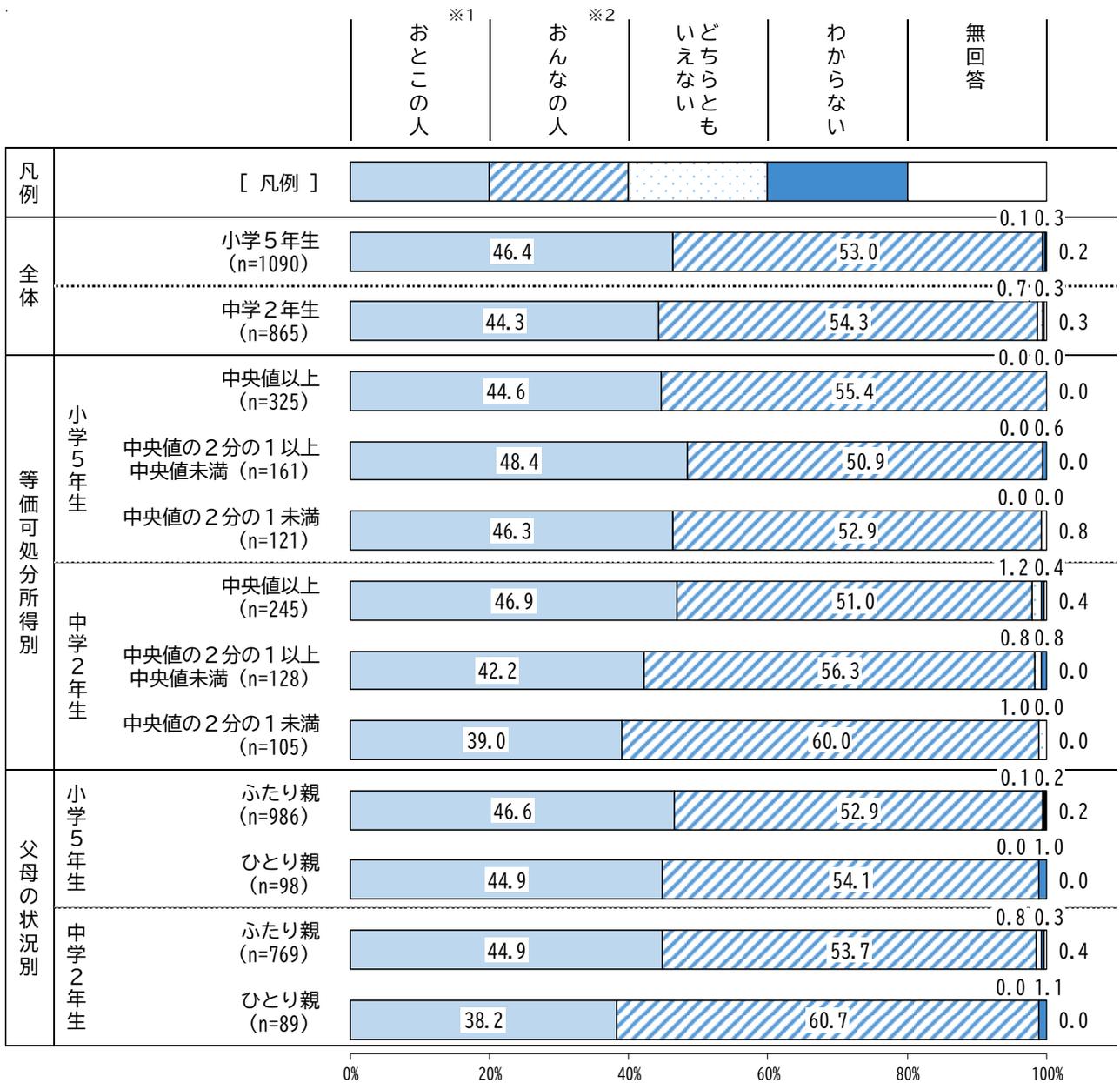
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「おんなの人」（「女性」）が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「おんなの人」（「女性」）が最も多くなっています。

【性別】



※1 中学2年生の選択肢は「男性」

※2 中学2年生の選択肢は「女性」

(2) 世帯人数・同居家族

② あなたを入れて、かぞくは何人ですか。(※数字を入れてください)

【全体】

- 小学5年生では、「4人」が50.0%で最も多く、次いで「5人以上」が30.7%、「3人」が15.5%となっています。
- 中学2年生では、「4人」が50.5%で最も多く、次いで「5人以上」が31.6%、「3人」が14.3%となっています。

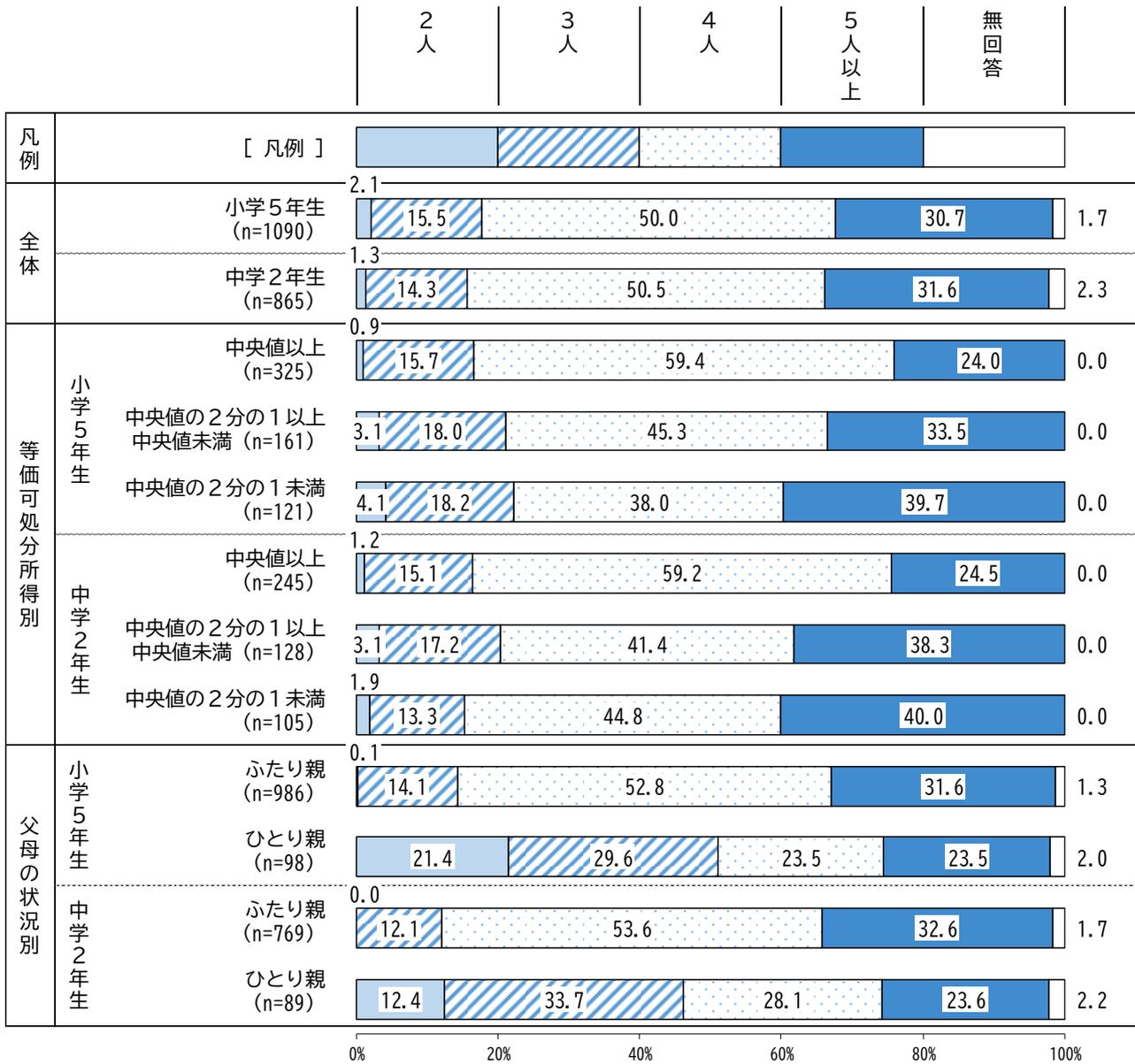
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生の中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満、中学2年生のすべての所得区分は「4人」、小学5年生の中央値の2分の1未満は「5人以上」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、中央値以上は「4人」が小学5年生全体より9.4ポイント多くなっています。中央値の2分の1未満は「5人以上」が小学5年生全体より9.0ポイント多くなっています。
- 中学2年生では、中央値以上は「4人」が中学2年生全体より8.7ポイント多くなっています。中央値の2分の1未満は「5人以上」が中学2年生全体より8.4ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生・中学2年生ともふたり親は「4人」、小学5年生・中学2年生ともひとり親は「3人」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、ふたり親は「4人」がひとり親より29.3ポイント多くなっています。ひとり親は「3人」がふたり親より15.5ポイント多くなっています。
- 中学2年生では、ふたり親は「4人」がひとり親より25.5ポイント多くなっています。ひとり親は「3人」がふたり親より21.6ポイント多くなっています。

【世帯人数】



いっしょに住んでいる人をすべてえらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「お母さん」が98.9%で最も多く、次いで「お父さん」が91.0%、「弟・妹」が45.8%となっています。
- 中学2年生では、「お母さん」が97.6%で最も多く、次いで「お父さん」が90.5%、「弟・妹」が46.9%となっています。

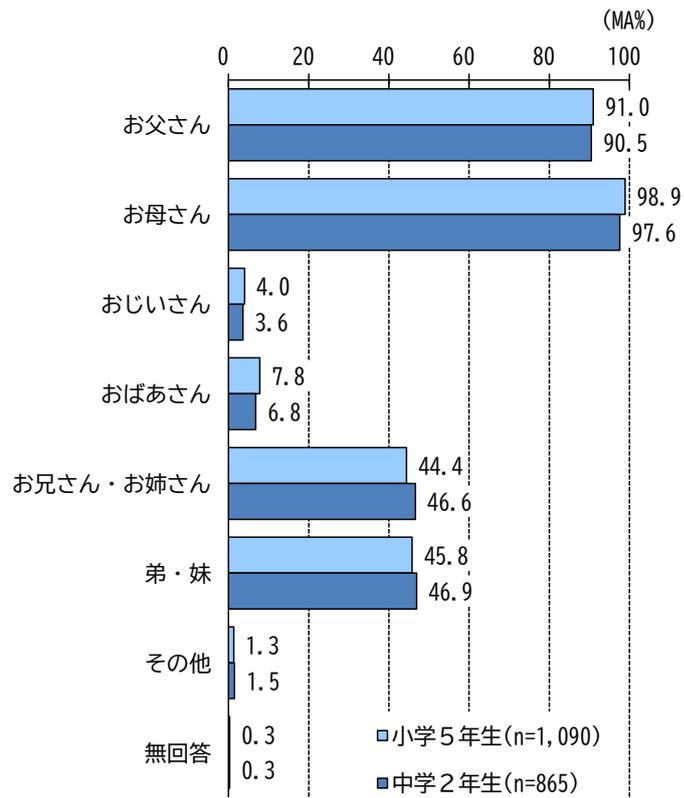
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「お母さん」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、中央値以上は「お父さん」が小学5年生全体より5.6ポイント多くなっています。
- 中学2年生では、中央値以上は「お父さん」が中学2年生全体より5.4ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生・中学2年生ともふたり親は「お父さん」と「お母さん」、小学5年生・中学2年生ともひとり親は「お母さん」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、ふたり親は「お父さん」「弟・妹」がひとり親より約25~95ポイント多くなっています。ひとり親は「おばあさん」がふたり親より23.9ポイント多くなっています。
- 中学2年生では、ふたり親は「お父さん」がひとり親より84.3ポイント多くなっています。ひとり親は「おばあさん」がふたり親より20.0ポイント多く、「お兄さん・お姉さん」が17.1ポイント少なくなっています。

【同居家族】



単位：MA%

		母数 (n)	同居家族							無回答	
			お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	お兄さん・お姉さん	弟・妹	その他		
全体	小学5年生	1,090	91.0	98.9	4.0	7.8	44.4	45.8	1.3	0.3	
	中学2年生	865	90.5	97.6	3.6	6.8	46.6	46.9	1.5	0.3	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	325	96.6	98.8	1.5	4.6	41.2	47.4	-	0.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	161	90.1	100.0	5.0	9.3	40.4	49.1	1.2	-
		中央値の2分の1未満	121	86.0	100.0	6.6	8.3	46.3	47.1	2.5	-
	中学2年生	中央値以上	245	95.9	99.2	-	2.0	47.8	42.4	-	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	128	90.6	95.3	7.0	10.2	41.4	52.3	0.8	-
		中央値の2分の1未満	105	83.8	99.0	2.9	9.5	49.5	45.7	1.9	-
父母の状況別	小学5年生	ふたり親	986	100.0	100.0	2.9	5.7	44.8	48.3	0.6	-
		ひとり親	98	6.1	93.9	15.3	29.6	41.8	23.5	6.1	-
	中学2年生	ふたり親	769	100.0	100.0	2.5	4.7	48.6	48.4	0.5	-
		ひとり親	89	15.7	84.3	12.4	24.7	31.5	38.2	6.7	-

(3) 困っていることや悩んでいることの有無

③ あなたには、こまっていることや、なやんでいることがありますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「ない」が56.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばない」が20.4%、「どちらかといえばある」が12.9%となっています。「ある」「どちらかといえばある」を合わせた“ある”（以下、“ある”といいます。）は22.4%となっています。「ない」「どちらかといえばない」を合わせた“ない”（以下、“ない”といいます。）は76.8%となっています。
- 中学2年生では、「当てはまらない」が41.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまらない」が21.5%、「どちらかといえば当てはまる」が20.6%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は37.0%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は62.5%となっています。
- 小学5年生は「ない」が中学2年生の「当てはまらない」より15.4ポイント多くなっています。中学2年生は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が小学5年生の「ある」「どちらかといえばある」より約5～10ポイント多くなっています。

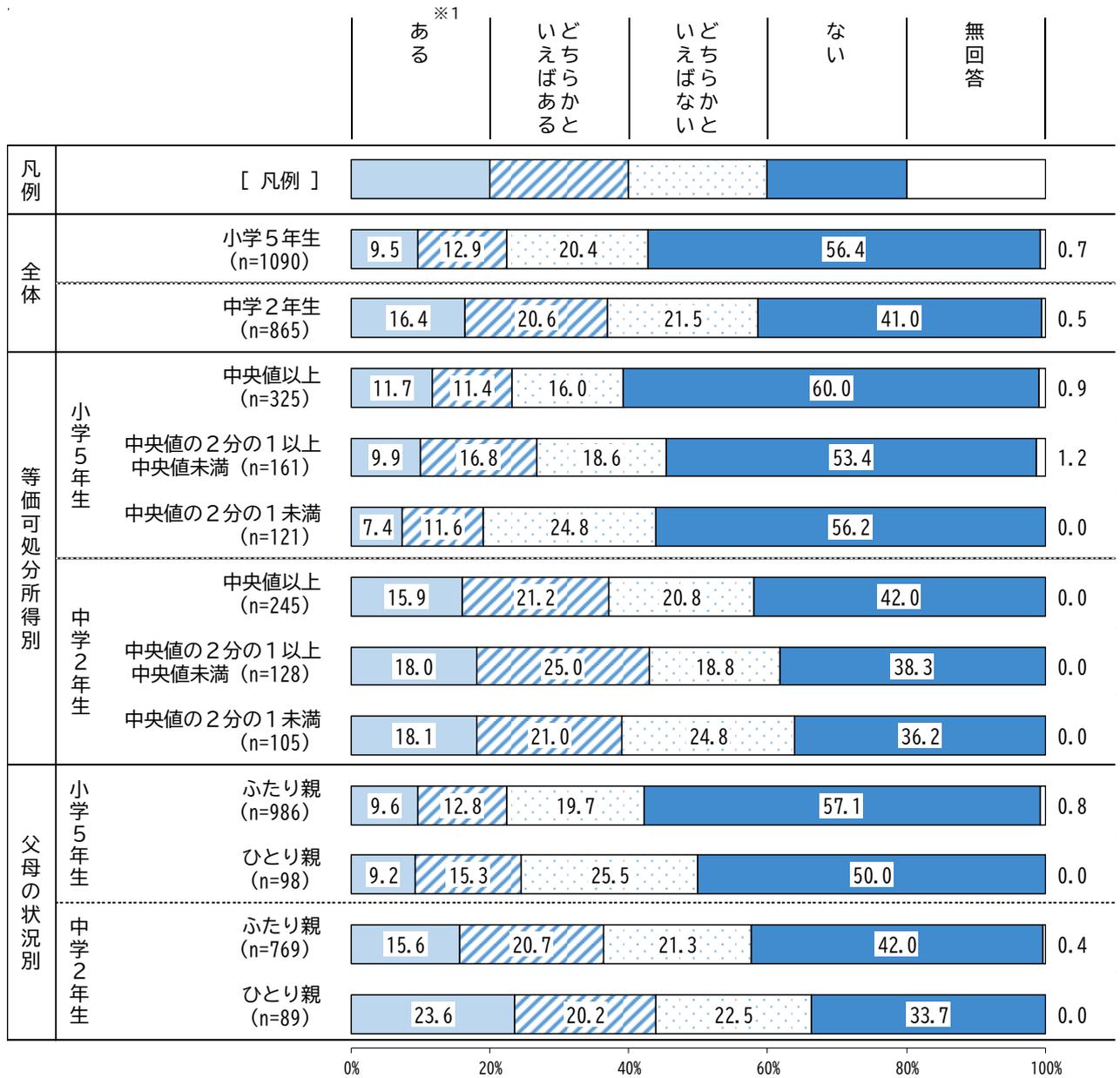
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「ない」（「当てはまらない」）が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「ない」（「当てはまらない」）が最も多くなっています。

【困っていることや悩んでいることの有無】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」

(4) 困っていることや悩んでいること

③-1 ③で「ある・どちらかといえばある」と答えた人にお聞きします。※1

それは、どんな内容ですか。当てはまるものすべてえらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績がよくないなど）」が26.9%で最も多く、次いで「友だちや仲間のこと（いやがらせや、いじめ以外）」が24.5%、「その他」が23.7%となっています。
- 中学2年生では、「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績が良くないなど）」が56.3%で最も多く、次いで「友だちや仲間のこと（いやがらせやいじめ以外）」が34.4%、「生活習慣のこと（夜ふかしをしてしまうなど）」が29.1%となっています。
- 小学5年生は「友だちや仲間のこと（いやがらせや、いじめがある）」「その他」が中学2年生より約5~10ポイント多くなっています。中学2年生は「友だちや仲間のこと（いやがらせや、いじめ以外）」「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績がよくないなど）」「生活習慣のこと（夜ふかしをしてしまうなど）」「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」「学校のきまりのこと（校則がきびしい、制服を着たくないなど）」が小学5年生より約5~30ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

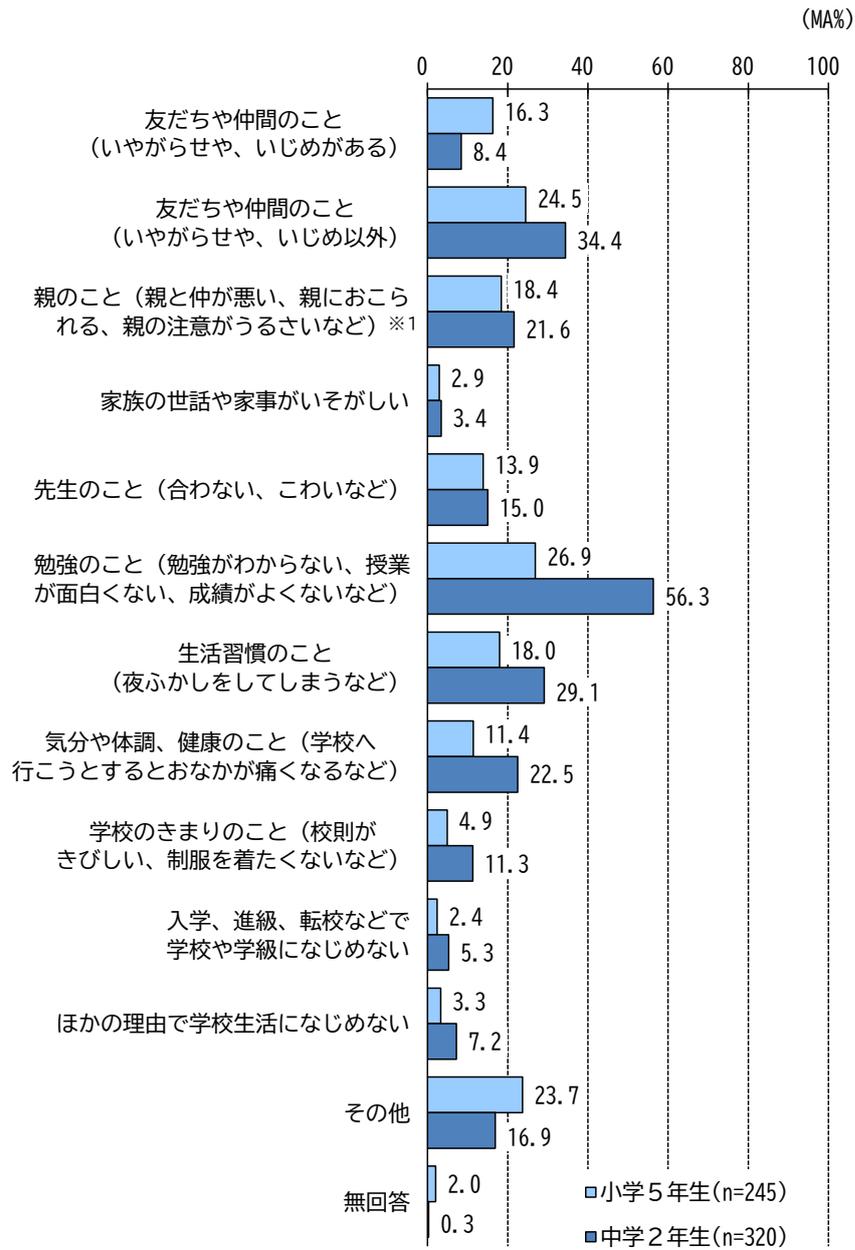
- 等価可処分所得別でみると、小学5年生の中央値以上は「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績がよくないなど）」と「その他」、小学5年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「友だちや仲間のこと（いやがらせや、いじめがある）」、「友だちや仲間のこと（いやがらせや、いじめ以外）」、「親のこと（親と仲が悪い、親におこられる、親の注意がうるさいなど）」、「その他」、小学5年生の中央値の2分の1未満、中学2年生のすべての所得区分は「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績がよくないなど）」が最も多くなっています。
- 中学2年生では、中央値の2分の1未満は「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が中学2年生全体より14.1ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績がよくないなど）」が最も多くなっています。

※1 中学2年生の設問は「③で『当てはまる・どちらかといえば当てはまる』と答えた人にお聞きします。」

【困っていることや悩んでいること】



※1 中学2年生の選択肢は「親のこと(親と仲が悪い、親が怒る、親の注意がうるさいなど)」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	困っていることや悩んでいること							
			が友 らだ せち や、 仲 間の こと (いや がある)	が友 らだ せち や、 仲 間の こと (いや 以外)	が親 にお こら れる 、親 の注 意 (など)	し家 族の 世話 や家 事が いや いそ が	わ先 生の こと (合 わな ない、 こ など)	成 績が よ く な い (など)	勉 強の こと (勉 強が わ か ら ない、 授 業 が 面 白 く な い、 など)	を し て し ま う な ど (夜 ふ か し など)
全体	小学5年生	245	16.3	24.5	18.4	2.9	13.9	26.9	18.0	
	中学2年生	320	8.4	34.4	21.6	3.4	15.0	56.3	29.1	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	75	14.7	26.7	12.0	-	14.7	28.0	17.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	43	20.9	20.9	20.9	7.0	14.0	18.6	14.0
		中央値の2分の1未満	23	21.7	13.0	21.7	4.3	17.4	39.1	21.7
	中学 2年生	中央値以上	91	15.4	34.1	29.7	-	12.1	58.2	26.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	55	10.9	32.7	16.4	5.5	16.4	58.2	27.3
		中央値の2分の1未満	41	4.9	36.6	12.2	2.4	12.2	53.7	36.6
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	221	17.2	24.4	17.6	1.4	14.9	26.2	18.6
		ひとり親	24	8.3	25.0	25.0	16.7	4.2	33.3	12.5
	中学 2年生	ふたり親	279	9.0	33.7	21.1	2.9	14.0	54.5	28.0
		ひとり親	39	5.1	41.0	25.6	7.7	23.1	69.2	38.5

単位：MA%

		母数 (n)	困っていることや悩んでいること						
			な か が 痛 く な る な ど (学 校 や 体 調 、 健 康 の こ と お な が な い な ど)	が学 校の きま り、 制 服 を 着 た 校 則	校入 学、 学級 に進 級、 転 校 な ど で 学	じほ め な い 理 由 で 学 校 生 活 に な	そ の 他	無 回 答	
全体	小学5年生	245	11.4	4.9	2.4	3.3	23.7	2.0	
	中学2年生	320	22.5	11.3	5.3	7.2	16.9	0.3	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	75	17.3	8.0	6.7	2.7	28.0	2.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	43	9.3	7.0	-	4.7	20.9	-
		中央値の2分の1未満	23	17.4	-	4.3	4.3	-	-
	中学 2年生	中央値以上	91	14.3	12.1	3.3	6.6	15.4	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	55	20.0	10.9	10.9	3.6	14.5	1.8
		中央値の2分の1未満	41	36.6	4.9	4.9	7.3	19.5	-
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	221	11.8	5.0	2.7	3.6	23.5	2.3
		ひとり親	24	8.3	4.2	-	-	25.0	-
	中学 2年生	ふたり親	279	22.9	11.5	5.0	6.5	15.4	0.4
		ひとり親	39	20.5	10.3	7.7	12.8	25.6	-

「その他」の内容	件数
小学5年生	
心身の悩み、ストレスなど	17
家族や学校での人間関係	11
学業や進路のこと	5
部活や習い事のこと	4
生活環境のこと	4
食べ物の好き嫌い	2
恋愛	2
将来のことや目標	2
その他	3
中学2年生	
部活や習い事のこと	13
家族や学校での人間関係	10
心身の悩み、ストレスなど	6
学業や進路のこと	4
生活環境のこと	4
将来のことや目標	4
恋愛	1
その他	1

(5) つらいときや不安なときに助けてくれる人の有無

④ あなたは、つらいときや不安なときは「どこかに助けてくれる人がいる」と思っていますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が70.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が18.6%、「わからない」が5.6%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は89.4%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は4.4%となっています。
- 中学2年生では、「そう思う」が60.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.7%、「わからない」が7.9%となっています。“そう思う”は84.5%となっています。“そう思わない”は6.6%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」が中学2年生より10.0ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえばそう思う」が小学5年生より5.1ポイント多くなっています。

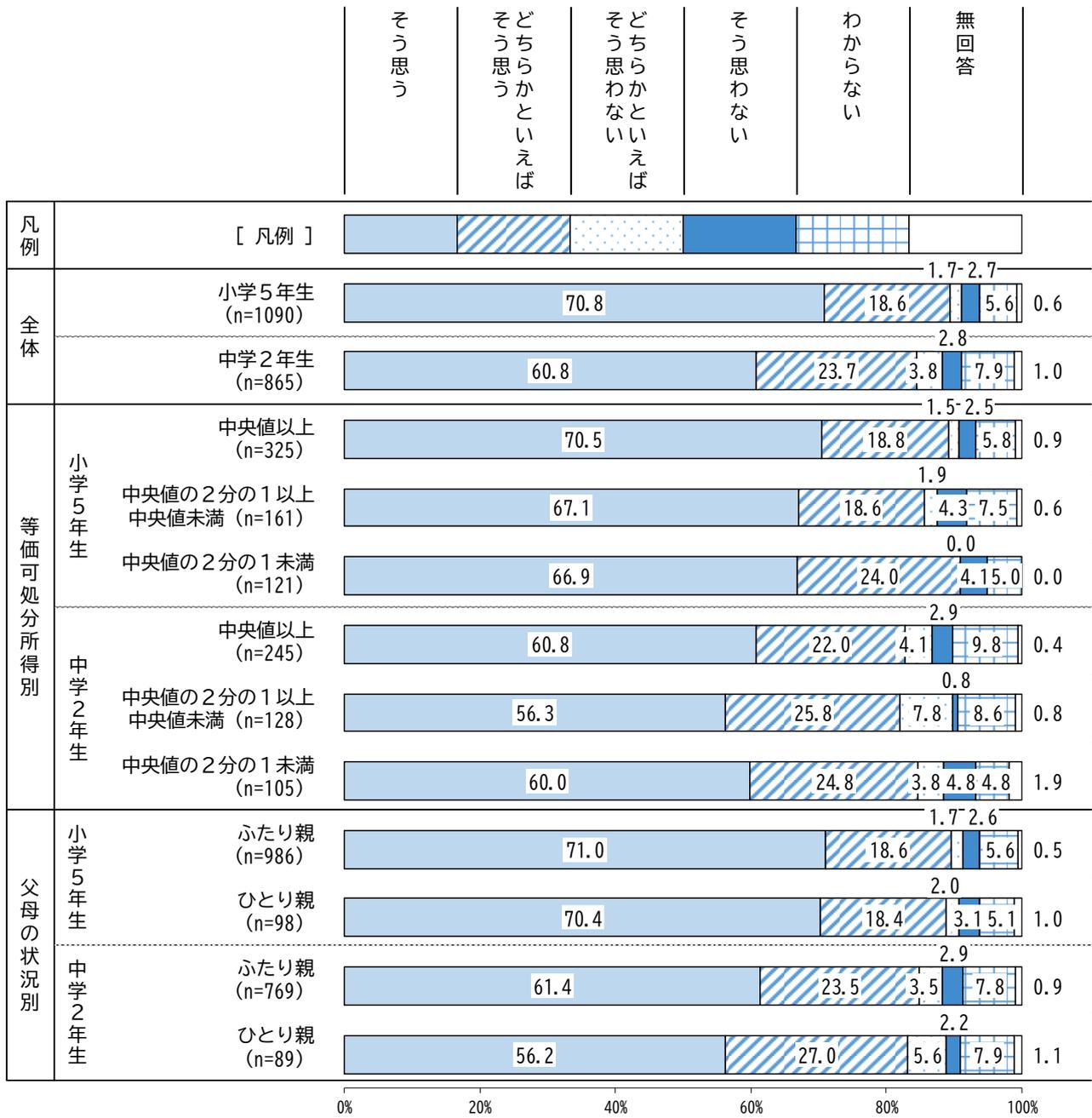
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【つらいときや不安なときに助けてくれる人の有無】



(6) つらいときや不安なときに助けてくれる人

- ④-1 ④で「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えた人にお聞きします。
それは、どんな人ですか。当てはまるものすべてえらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「家族」が89.0%で最も多く、次いで「学校の友だち」が67.1%、「学校の先生」が39.3%となっています。
- 中学2年生では、「家族」が84.4%で最も多く、次いで「学校の友だち（現在通っている学校の友だち、かつての同窓生など）」が75.9%、「学校の先生」が39.3%となっています。
- 中学2年生は「学校の友だち」「上級生や下級生」が小学5年生より約5～10ポイント多く、「家族」「同じような経験をした人」が約5ポイント少なくなっています。

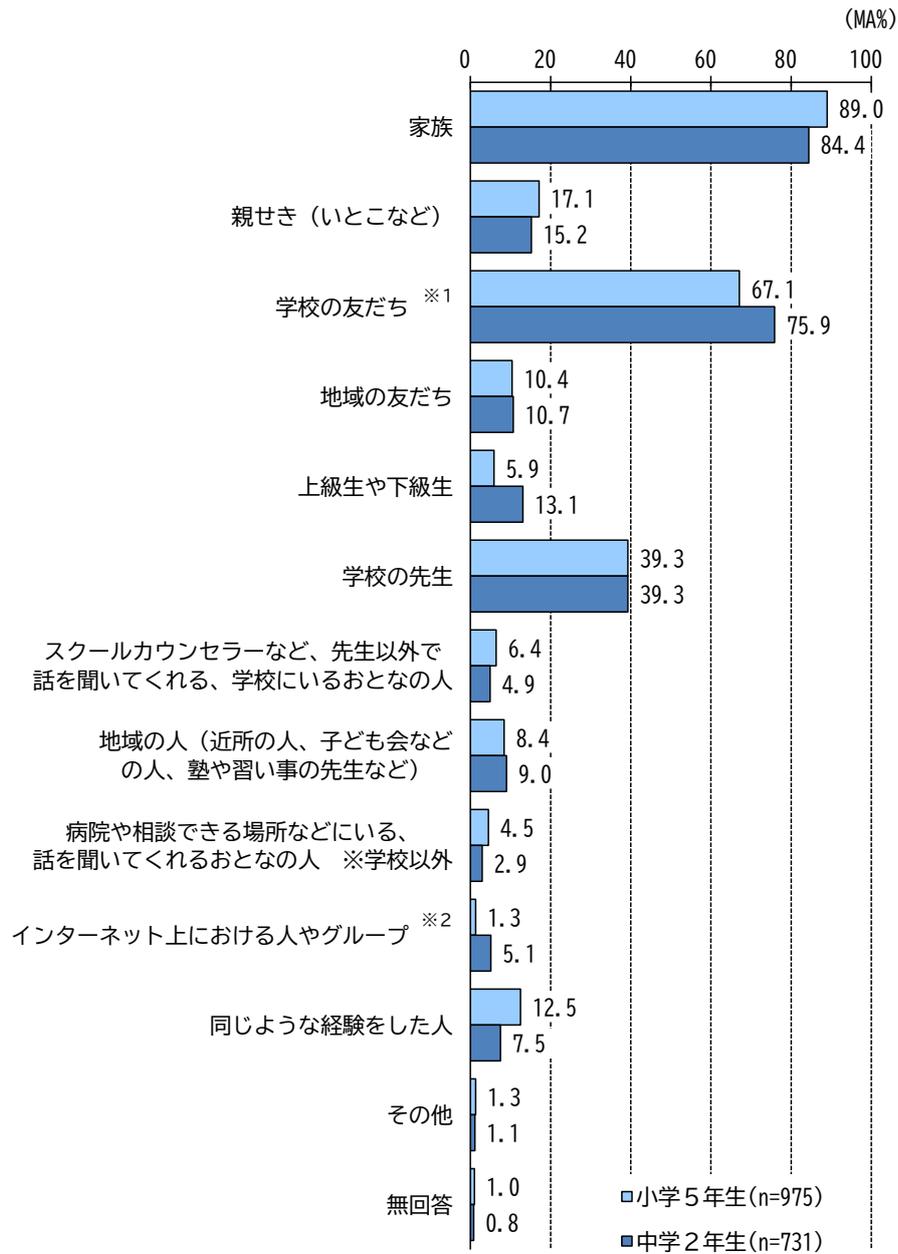
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、中央値の2分の1未満は「親せき（いとこなど）」が小学5年生全体より6.2ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「家族」が最も多くなっています。

【つらいときや不安なときに助けてくれる人】



※1 中学2年生の選択肢は「学校の友だち(現在通っている学校の友だち、かつての同窓生など)」

※2 調査票上の選択肢は「インターネット上における人やグループ(実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	つらいときや不安なときに助けてくれる人							
			家族	親せき (いとこなど)	学校の 友だち	地域の 友だち	上級生 や下級生	学校の 先生	スクール カウンセラー など、 学校に いるおと なの人	
全体	小学5年生	975	89.0	17.1	67.1	10.4	5.9	39.3	6.4	
	中学2年生	731	84.4	15.2	75.9	10.7	13.1	39.3	4.9	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	290	90.0	19.7	65.2	11.0	6.6	39.0	9.0
		中央値の2分の1以上中央値未満	138	87.7	16.7	71.0	8.7	8.0	42.8	2.9
		中央値の2分の1未満	110	90.9	10.9	70.9	5.5	7.3	36.4	3.6
	中学 2年生	中央値以上	203	82.8	19.2	78.3	13.8	14.8	34.5	4.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	105	80.0	10.5	73.3	7.6	10.5	39.0	3.8
		中央値の2分の1未満	89	82.0	11.2	79.8	9.0	12.4	41.6	5.6
父母の 状況別	小学 5年生	883	88.7	17.6	67.8	10.1	6.0	39.4	6.6	
	ひとり親	87	94.3	13.8	59.8	12.6	3.4	36.8	4.6	
	中学 2年生	653	83.8	14.7	76.9	11.2	13.8	39.8	5.1	
	ひとり親	74	89.2	20.3	70.3	6.8	8.1	36.5	4.1	

単位：MA%

		母数 (n)	つらいときや不安なときに助けてくれる人						
			生 会 地 な 病 や イン グ ル タ ー プ ネ ッ ト 上 に お け る 人	同 じ よ う な 経 験 を し た 人	そ の 他	無 回 答			
全体	小学5年生	975	8.4	4.5	1.3	12.5	1.3	1.0	
	中学2年生	731	9.0	2.9	5.1	7.5	1.1	0.8	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	290	10.0	4.8	1.4	14.8	1.7	1.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	138	9.4	5.8	0.7	10.9	1.4	-
		中央値の2分の1未満	110	7.3	4.5	-	10.9	-	-
	中学 2年生	中央値以上	203	9.4	1.0	4.4	7.4	1.0	1.0
		中央値の2分の1以上中央値未満	105	5.7	2.9	6.7	8.6	2.9	2.9
		中央値の2分の1未満	89	9.0	4.5	7.9	12.4	-	1.1
父母の 状況別	小学 5年生	883	8.5	4.8	1.5	13.3	1.2	1.1	
	ひとり親	87	8.0	2.3	-	5.7	1.1	-	
	中学 2年生	653	9.6	2.8	4.4	7.7	1.1	0.8	
	ひとり親	74	4.1	4.1	10.8	6.8	1.4	1.4	

「その他」の内容	件数
小学5年生	
友人	2
ペット	2
家族	1
施設職員	1
宗教関係者	1
AI	1
その他	1
中学2年生	
AI	2
家族	1
友人	1
指導者	1
ペット	1

(7) どのような人に助けてもらいたいのか

- ④-2 ④で「どちらかといえばそう思わない・そう思わない」と答えた人にお聞きします。
どんな人に助けてもらいたいですか。当てはまるものすべてえらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「家族」が39.6%で最も多く、次いで「学校の友だち」が31.3%、「同じような経験をした人」が22.9%となっています。
- 中学2年生では、「学校の友だち（現在通っている学校の友だち、かつての同窓生など）」が38.6%で最も多く、次いで「家族」が35.1%、「同じような経験をした人」が29.8%となっています。

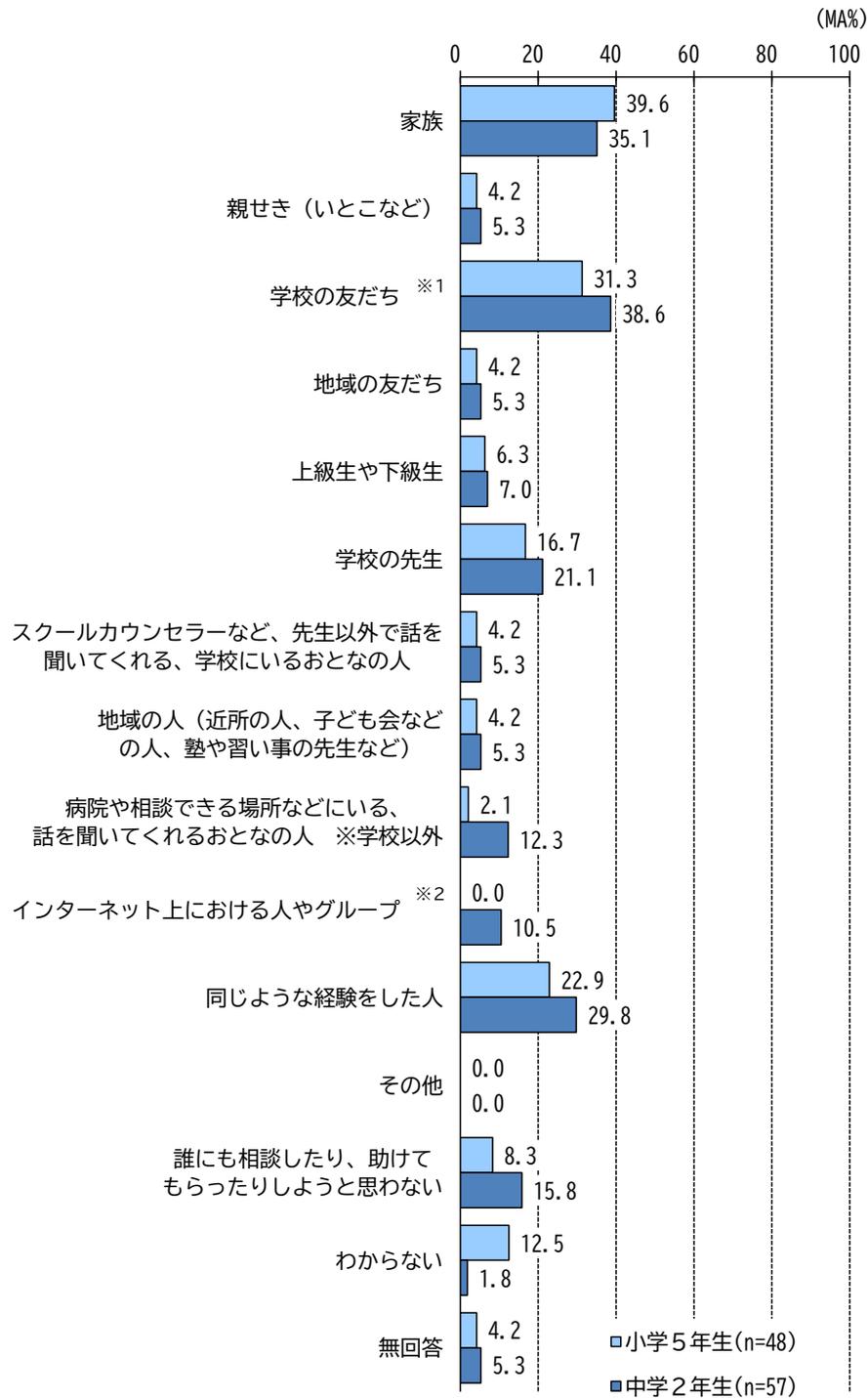
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生・中学2年生とも中央値以上は「家族」、小学5年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「学校の友だち」と「同じような経験をした人」、小学5年生の中央値の2分の1未満、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「学校の友だち」、中学2年生の中央値の2分の1未満は「家族」と「学校の友だち」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親は「家族」、小学5年生のひとり親は「同じような経験をした人」、中学2年生のふたり親は「学校の友だち」、中学2年生のひとり親は「家族」、「病院や相談できる場所などにいる、話を聞いてくれるおとなの人 ※学校以外」、「同じような経験をした人」が最も多くなっています。

【どのような人に助けてもらいたいか】



※1 中学2年生の選択肢は「学校の友だち(現在通っている学校の友だち、かつての同窓生など)」

※2 調査票上の選択肢は「インターネット上における人やグループ(実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	どのような人に助けてもらいたい								
			家族	親せき（いとこなど）	学校の友だち	地域の友だち	上級生や下級生	学校の先生	先生以外で話を聞いている人（スクールカウンセラーなど、学校にいるおとなの人）	生など）	地域の人の人（近所の人、子どもなど）
全体	小学5年生	48	39.6	4.2	31.3	4.2	6.3	16.7	4.2	4.2	
	中学2年生	57	35.1	5.3	38.6	5.3	7.0	21.1	5.3	5.3	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	13	38.5	-	23.1	7.7	7.7	23.1	15.4	7.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	10	30.0	10.0	40.0	10.0	-	10.0	-	-
		中央値の2分の1未満	5	40.0	-	60.0	-	40.0	40.0	-	-
	中学 2年生	中央値以上	17	47.1	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	-	5.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	11	18.2	9.1	45.5	9.1	-	27.3	9.1	9.1
		中央値の2分の1未満	9	44.4	-	44.4	-	-	11.1	-	-
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	43	41.9	4.7	32.6	4.7	7.0	18.6	4.7	4.7
		ひとり親	5	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-
	中学 2年生	ふたり親	49	32.7	6.1	40.8	4.1	4.1	20.4	4.1	4.1
		ひとり親	7	42.9	-	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3

単位：MA%

		母数 (n)	どのような人に助けてもらいたい							
			ない人 ※学校以外	病院や相談できる場所などに やインターネット上における人	同じような経験をした人	その他	誰にも相談したり、助けてもらいたい人	わからない	無回答	
全体	小学5年生	48	2.1	-	22.9	-	8.3	12.5	4.2	
	中学2年生	57	12.3	10.5	29.8	-	15.8	1.8	5.3	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	13	7.7	-	15.4	-	-	30.8	7.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	10	-	-	40.0	-	10.0	-	-
		中央値の2分の1未満	5	-	-	20.0	-	-	-	20.0
	中学 2年生	中央値以上	17	17.6	-	29.4	-	23.5	5.9	5.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	11	9.1	18.2	18.2	-	9.1	-	9.1
		中央値の2分の1未満	9	11.1	11.1	33.3	-	-	-	11.1
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	43	2.3	-	20.9	-	7.0	14.0	4.7
		ひとり親	5	-	-	40.0	-	20.0	-	-
	中学 2年生	ふたり親	49	8.2	8.2	28.6	-	16.3	2.0	4.1
		ひとり親	7	42.9	28.6	42.9	-	14.3	-	14.3

(8) しあわせだと感じているか

⑤ あなたは今、しあわせですか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「しあわせだ」が73.5%で最も多く、次いで「どちらかといえばしあわせだ」が23.6%、「どちらかといえばしあわせではない」が1.7%となっています。「しあわせだ」「どちらかといえばしあわせだ」を合わせた“しあわせだ”は97.1%となっています。「しあわせではない」「どちらかといえばしあわせではない」を合わせた“しあわせではない”は2.2%となっています。
- 中学2年生では、「当てはまる」が56.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまる」が35.7%、「どちらかといえば当てはまらない」が3.8%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は92.6%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は5.8%となっています。
- 小学5年生は「しあわせだ」が中学2年生の「当てはまる」より16.6ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえば当てはまる」が小学5年生の「どちらかといえばしあわせだ」より12.1ポイント多くなっています。

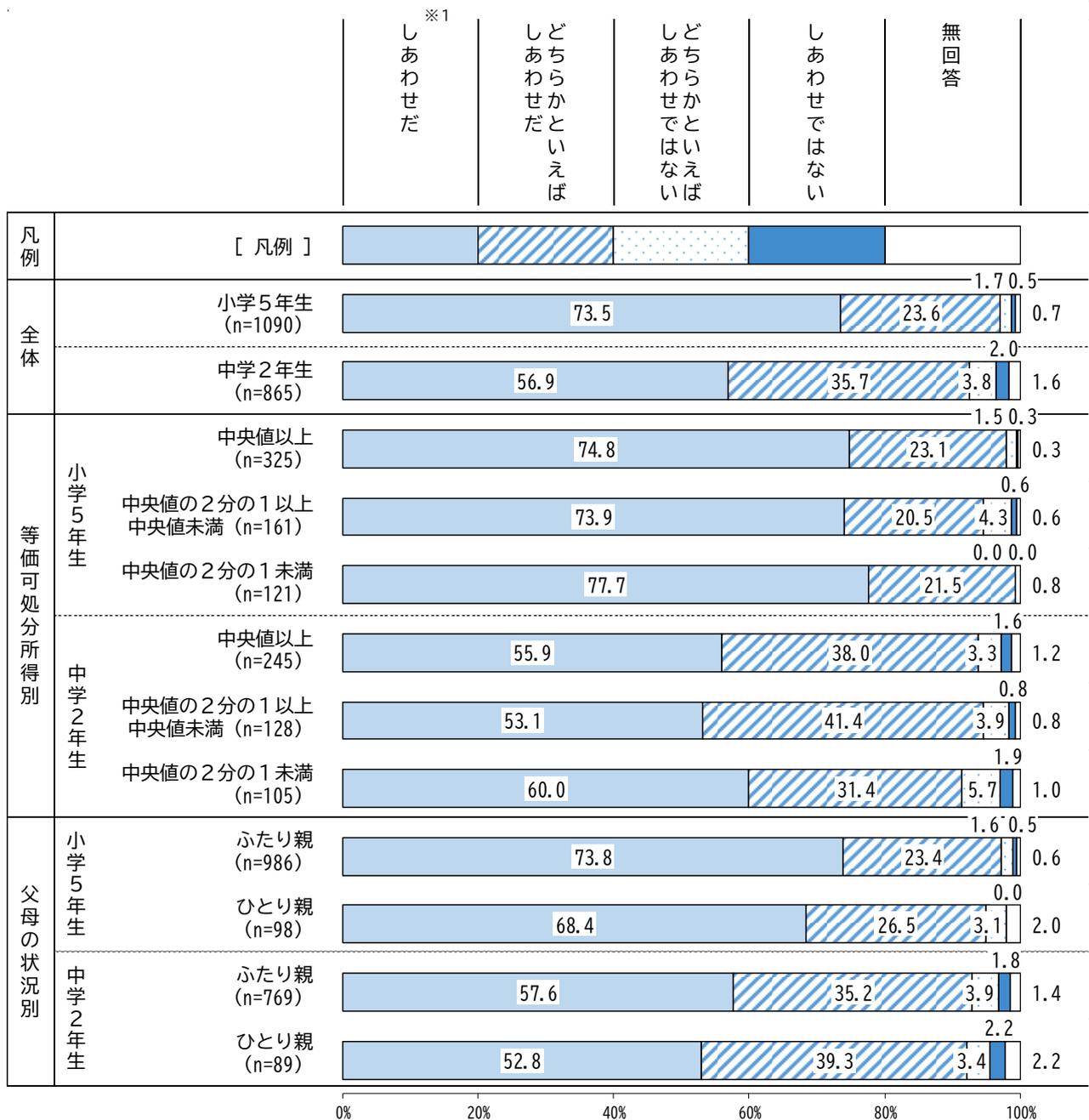
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「しあわせだ」（「当てはまる」）が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「しあわせだ」（「当てはまる」）が最も多くなっています。

【しあわせだと感じているか】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」

(9) どんなときにしあわせだと感じるか

⑤-1 ⑤で「しあわせだ・どちらかといえばしあわせだ」と答えた人にお聞きします。※1
 どんなときにしあわせと感じますか。当てはまるものすべてえらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」が 80.3%で最も多く、次いで「趣味のことをしている時間」が 70.2%、「友だち関係がいいとき」が 66.7%となっています。
- 中学2年生では、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」が 83.0%で最も多く、次いで「趣味のことをしている時間」が 79.2%、「友だち関係がいいとき」が 67.0%となっています。
- 小学5年生は「家族関係がいいとき」「地域の人たちとの関係がいいとき」が中学2年生より約 5～10 ポイント多くなっています。中学2年生は「お金がたくさんあるとき」「趣味のことをしている時間」が小学5年生より約10ポイント多く、「毎日学校に行くことができているとき」が4.5ポイント少なくなっています。

【等価可処分所得別】

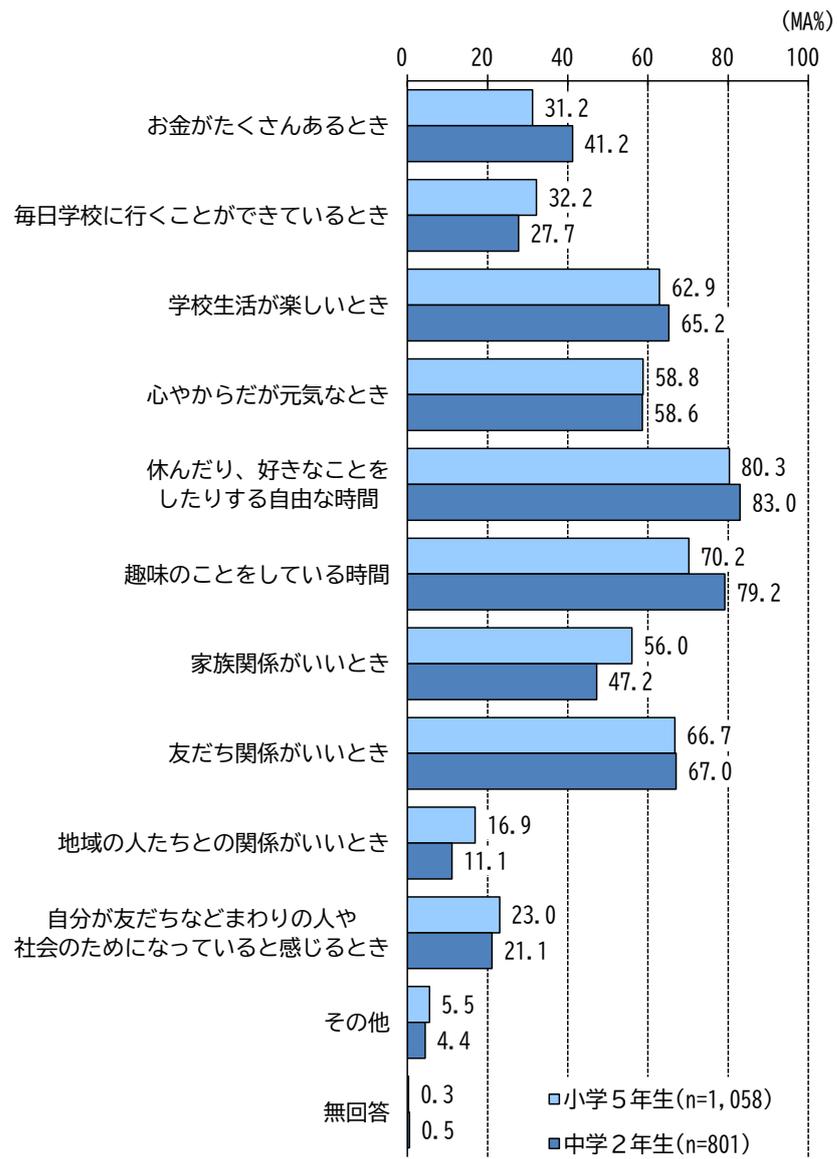
- 等価可処分所得別で見ると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値以上、中央値の2分の1未満は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「趣味のことをしている時間」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、中央値の2分の1未満は「自分が友だちなどまわりの人や社会のためになっていると感じるとき」が小学5年生全体より 6.3 ポイント少なくなっています。
- 中学2年生では、中央値の2分の1以上中央値未満は「自分が友だちなどまわりの人や社会のためになっていると感じるとき」が中学2年生全体より 5.4 ポイント少なくなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、ひとり親は「学校生活が楽しいとき」がふたり親より 14.6 ポイント少なくなっています。

※1 中学2年生の設問は「⑤で『当てはまる・どちらかといえば当てはまる』と答えた人にお聞きします。」

【どんなときにしあわせだと感じるか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

単位：MA%

		母数 (n)	どんなときにしあわせだと感じるか						
			お金が たくさん あるとき	毎日 学校に 行くこ とがで きるとき	学校 生活が 楽しい とき	心や からだ が元気 なとき	休ん だり、 好き なこ とを する 自由 な時 間	趣味 のこ とを して いる 時	
全体	小学5年生	1,058	31.2	32.2	62.9	58.8	80.3	70.2	
	中学2年生	801	41.2	27.7	65.2	58.6	83.0	79.2	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	318	35.2	33.0	62.6	60.4	83.0	71.1
		中央値の2分の1以上中央値未満	152	30.9	30.9	57.9	54.6	81.6	69.7
		中央値の2分の1未満	120	27.5	30.8	63.3	59.2	75.8	67.5
	中学 2年生	中央値以上	230	43.0	31.7	70.0	59.1	81.3	75.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	121	38.0	27.3	62.0	48.8	82.6	84.3
		中央値の2分の1未満	96	39.6	29.2	71.9	55.2	81.3	72.9
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	959	32.5	32.1	64.1	59.3	80.4	70.0
		ひとり親	93	18.3	32.3	49.5	52.7	78.5	72.0
	中学 2年生	ふたり親	714	40.8	27.3	65.7	58.5	83.1	79.3
		ひとり親	82	45.1	31.7	62.2	58.5	82.9	79.3

単位：MA%

		母数 (n)	どんなときにしあわせだと感じるか						
			家族 関係が いい とき	友だ ち関 係が いい とき	い 地 域の 人た ちと の関 係が	ての 自分 や友 だち と感 じる ため にな わり	そ の 他	無 回 答	
全体	小学5年生	1,058	56.0	66.7	16.9	23.0	5.5	0.3	
	中学2年生	801	47.2	67.0	11.1	21.1	4.4	0.5	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	318	58.8	70.1	19.5	27.4	5.7	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	152	56.6	67.1	15.8	21.1	6.6	-
		中央値の2分の1未満	120	52.5	68.3	13.3	16.7	3.3	-
	中学 2年生	中央値以上	230	49.6	71.3	12.2	25.2	3.5	0.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	121	40.5	57.9	9.9	15.7	6.6	1.7
		中央値の2分の1未満	96	46.9	64.6	11.5	24.0	3.1	-
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	959	56.5	67.6	17.1	23.1	5.5	0.3
		ひとり親	93	51.6	57.0	14.0	20.4	5.4	-
	中学 2年生	ふたり親	714	46.5	66.9	11.2	20.3	4.2	0.6
		ひとり親	82	53.7	67.1	11.0	29.3	6.1	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
小学5年生	
スポーツ・趣味・部活・推し活	10
うれしいことがあったとき	7
美味しいものを食べるとき	7
自己肯定感を感じられるとき	6
動物とのふれあい	6
欲しいものが得られたとき	6
ゆっくり休んでいるとき・気持ちがおだやかなとき	5
人とのよい関係	3
その他	2
中学2年生	
スポーツ・趣味・部活・推し活	10
美味しいものを食べるとき	7
自己肯定感を感じられるとき	5
人とのよい関係	4
うれしいことがあったとき	3
ゆっくり休んでいるとき・気持ちがおだやかなとき	1
その他	2

(10) どのような状況になれば、しあわせだと感じるか

⑤-2 ⑤で「どちらかといえばしあわせではない・しあわせではない」と答えた人にお聞きします。どうなれば、しあわせだと感じると思いますか。当てはまるものすべてえらんでください。※1

【全体】

- 小学5年生では、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」が45.8%で最も多く、次いで「お金がたくさんある」「学校生活が楽しい」「趣味のことをしている」が33.3%、「心やからだ元気になる」が29.2%となっています。
- 中学2年生では、「友だち関係がいい」が56.0%で最も多く、次いで「心やからだ元気になる」が46.0%、「学校生活が楽しい」が44.0%となっています。
- 中学2年生は「友だち関係がいい」が小学5年生より31.0ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

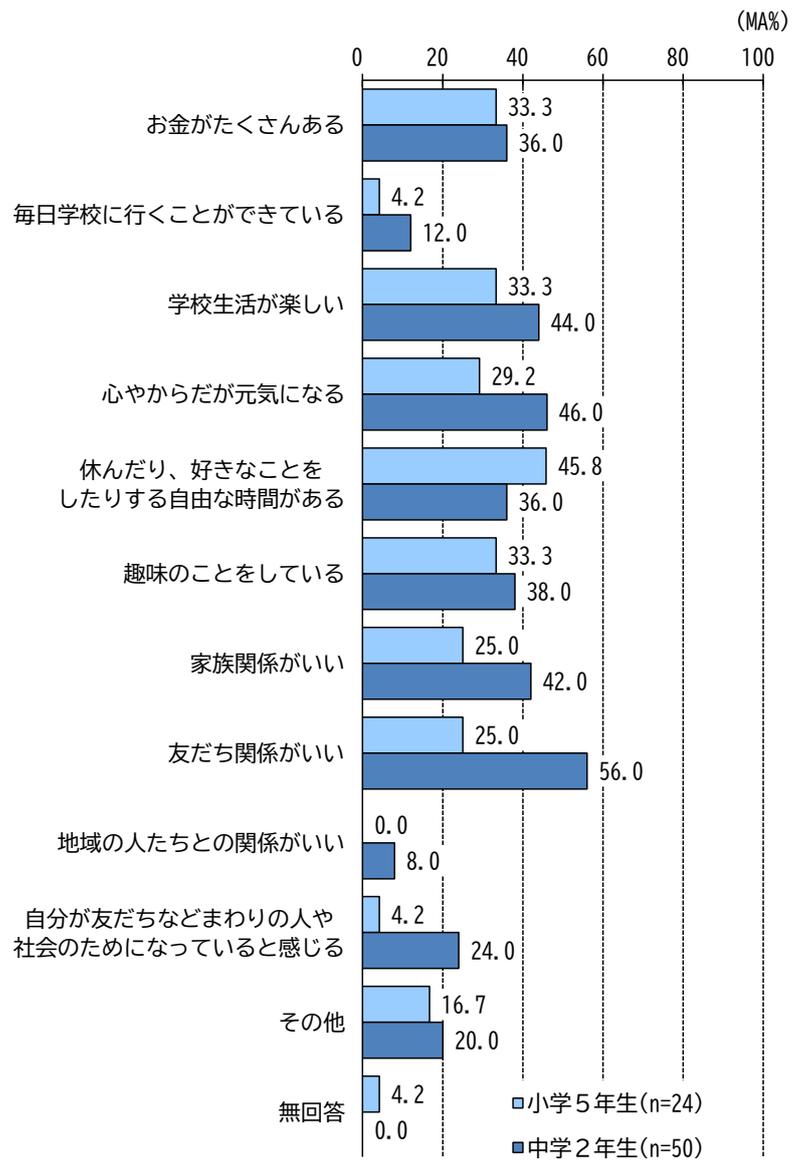
- 等価可処分所得別でみると、小学5年生の中央値以上は「学校生活が楽しい」、小学5年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」と「家族関係がいい」、中学2年生の中央値以上は「心やからだ元気になる」、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満、中央値の2分の1未満は「友だち関係がいい」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」、小学5年生のひとり親は「心やからだ元気になる」と「家族関係がいい」、中学2年生のふたり親は「友だち関係がいい」、中学2年生のひとり親は「学校生活が楽しい」と「友だち関係がいい」が最も多くなっています。

※1 中学2年生の設問は「⑤で『どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない』と答えた人にお聞きします。どうなれば、しあわせだと感じると思いますか。」

【どのような状況になれば、しあわせだと感じるか】



単位：MA%

		母数 (n)	どのような状況になれば、しあわせだと感じるか						
			お金が たくさん ある	毎日 学校に 行くこ とがで きる	学校 生活が 楽しい	心や からだ が元気 になる	あし たりだ りする 自由な 時間 があ る	休 んだり 、好き なこ とを して いる	
全体	小学5年生	24	33.3	4.2	33.3	29.2	45.8	33.3	
	中学2年生	50	36.0	12.0	44.0	46.0	36.0	38.0	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	6	33.3	-	50.0	16.7	16.7	33.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	8	37.5	-	25.0	37.5	50.0	12.5
		中央値の2分の1未満	-	-	-	-	-	-	-
	中学 2年生	中央値以上	12	25.0	-	33.3	58.3	33.3	16.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	6	33.3	-	50.0	50.0	33.3	50.0
		中央値の2分の1未満	8	50.0	12.5	62.5	37.5	37.5	50.0
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	21	33.3	4.8	33.3	23.8	47.6	38.1
		ひとり親	3	33.3	-	33.3	66.7	33.3	-
	中学 2年生	ふたり親	44	38.6	11.4	40.9	45.5	38.6	36.4
		ひとり親	5	20.0	20.0	80.0	60.0	20.0	60.0

単位：MA%

		母数 (n)	どのような状況になれば、しあわせだと感じるか						
			家族 関係が いい	友 だち 関係が いい	い 地 域の 人た ちとの 関係 が	ての 自分 やが と社 会だ ちな どに まわ つり	そ の 他	無 回 答	
全体	小学5年生	24	25.0	25.0	-	4.2	16.7	4.2	
	中学2年生	50	42.0	56.0	8.0	24.0	20.0	-	
等価 可処分 所得別	小学 5年生	中央値以上	6	16.7	16.7	-	-	33.3	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	8	50.0	37.5	-	12.5	25.0	-
		中央値の2分の1未満	-	-	-	-	-	-	-
	中学 2年生	中央値以上	12	41.7	50.0	8.3	16.7	8.3	-
		中央値の2分の1以上中央値未満	6	50.0	66.7	-	33.3	50.0	-
		中央値の2分の1未満	8	25.0	75.0	-	25.0	-	-
父母の 状況別	小学 5年生	ふたり親	21	19.0	23.8	-	4.8	19.0	4.8
		ひとり親	3	66.7	33.3	-	-	-	-
	中学 2年生	ふたり親	44	40.9	54.5	9.1	22.7	13.6	-
		ひとり親	5	60.0	80.0	-	40.0	60.0	-

「その他」の内容	件数
小学5年生	
大人への信頼がある	1
家族の人間関係がよい	1
中学2年生	
自由に行動できる	1
物事が順調に進む	1
精神的な自由さを感じられる	1
自己を肯定できる	1

(11) 今の自分が好きだと思うか

⑥ あなたは、今の自分が好きですか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「好きだ」が47.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば好きだ」が39.2%、「どちらかといえば好きではない」が8.4%となっています。「好きだ」「どちらかといえば好きだ」を合わせた“好きだ”は86.2%となっています。「好きではない」「どちらかといえば好きではない」を合わせた“好きではない”は12.6%となっています。
- 中学2年生では、「どちらかといえば当てはまる」が40.3%で最も多く、次いで「当てはまる」が34.3%、「どちらかといえば当てはまらない」が15.1%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は74.6%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は24.3%となっています。
- 小学5年生は「好きだ」が中学2年生の「当てはまる」より12.7ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」が小学5年生の「どちらかといえば好きではない」「好きではない」より約5ポイント多くなっています。

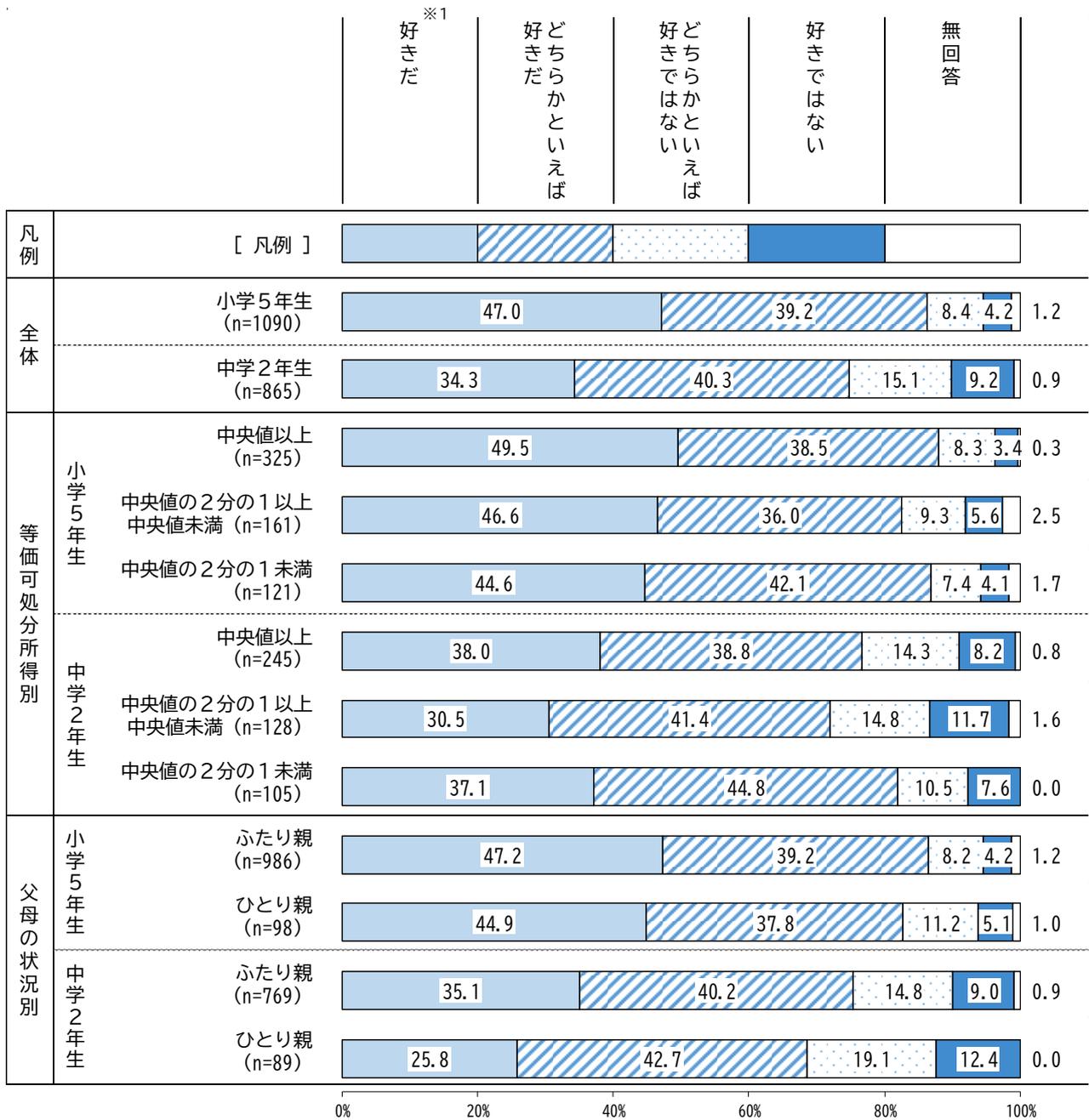
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、小学5年生のすべての所得区分は「好きだ」、中学2年生のすべての所得区分は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生のふたり親、ひとり親は「好きだ」、中学2年生のふたり親、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【今の自分が好きだと思うか】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、自分のことがもっと好きになりますか。

【どのようなことがあれば、自分のことがもっと好きになれるか】

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	当てはまらない どちらかといえば	当てはまらない	無回答
小学5年生					
勉強やスポーツ、今できないことがよくできるようになる	70	81	19	7	0
自分を認めてもらえる、自分に自信が持てるようになる	83	39	10	7	0
やさしきや行動力などなりたい自分になれたとき	45	42	16	3	0
よい人間関係をもてる、人の役に立つ	43	43	11	6	0
容姿がよくなる	9	12	5	4	0
趣味や好きなことをできる	25	18	1	0	0
自分のよいところを知る	10	5	1	1	0
今のままでよい	6	0	0	0	0
その他	22	23	1	1	0
中学2年生					
勉強やスポーツ、今できないことがよくできるようになる	45	74	21	7	0
自分を認めてもらえる、自分に自信が持てるようになる	48	50	26	18	1
やさしきや行動力などなりたい自分になれたとき	23	39	23	12	0
よい人間関係をもてる、人の役に立つ	15	30	13	9	0
容姿がよくなる	10	14	6	6	0
趣味や好きなことをできる	17	8	1	0	1
自分のよいところを知る	17	10	7	2	0
今のままでよい	7	3	0	0	0
その他	16	18	5	4	0

(12) ありのままできていることができていると思うか

⑦ あなたは、「ありのままできていることができている」と思いますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が51.7%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.4%、「どちらかといえばそう思わない」が7.2%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は88.1%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は10.3%となっています。
- 中学2年生では、「どちらかといえば当てはまる」が42.5%で最も多く、次いで「当てはまる」が38.3%、「どちらかといえば当てはまらない」が14.3%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は80.8%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は17.5%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」が中学2年生の「当てはまる」より13.4ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」が小学5年生の「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」より約5ポイント多くなっています。

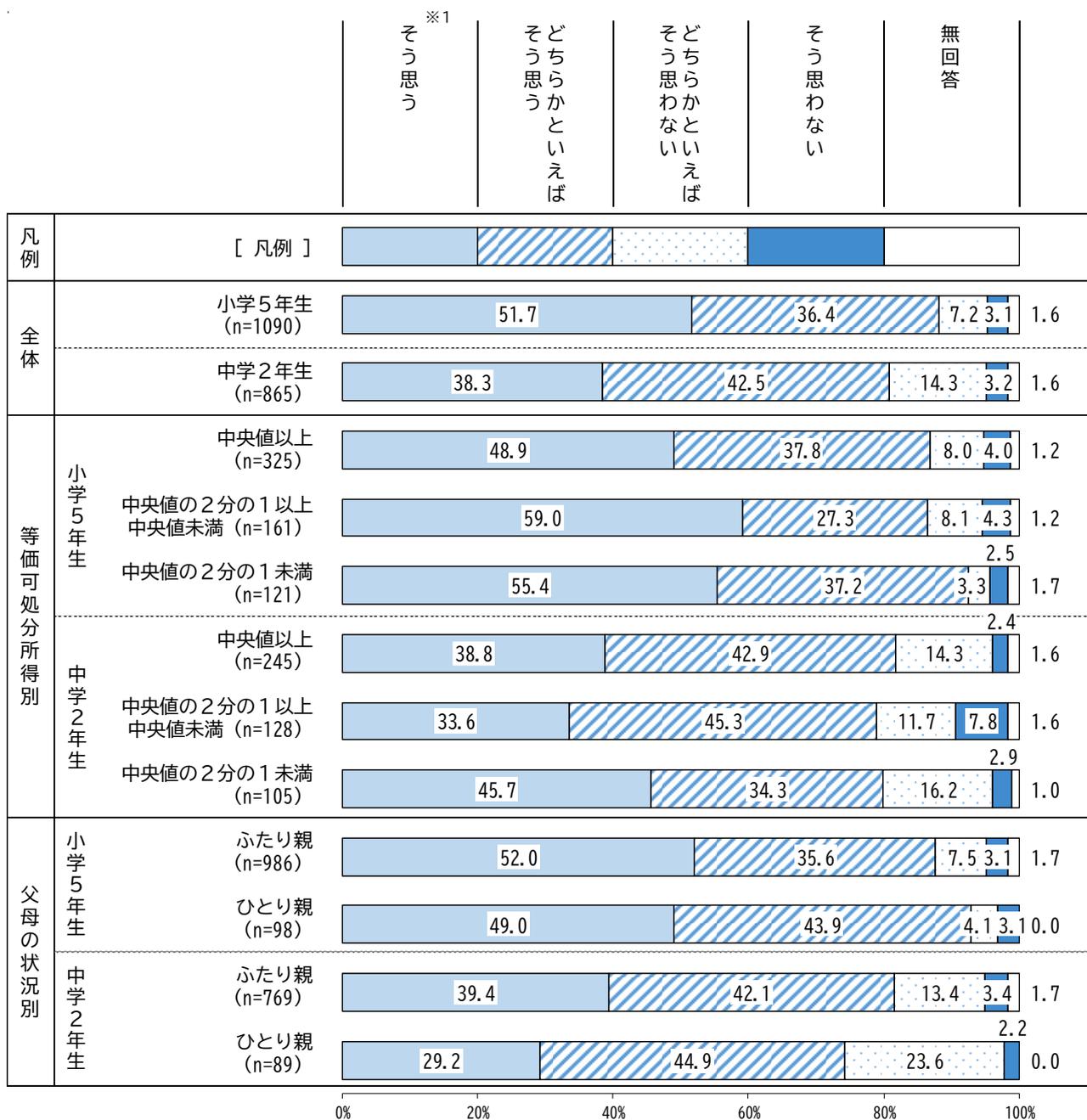
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値の2分の1未満は「そう思う」（「当てはまる」）、中学2年生の中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親、ひとり親は「そう思う」、中学2年生のふたり親、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【ありのままできているか】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」

○どのようなことがあれば、ありのままにできると思いますか。

【どのようなことがあれば、ありのままにできていると思うか】

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	当てはまらない どちらかといえば	当てはまらない	無回答
小学5年生					
自由でいられる、好きなことができる	70	58	10	1	1
自分の気持ちや考えを表現できる、我慢しない	42	31	9	3	0
自分を好きになる、自分に自信を持つ	39	32	5	1	0
周囲の人から自分を認めてもらえる	14	9	6	1	0
安心できる人間関係がある	37	38	11	2	0
前向きで楽しい気持ちでいられる	29	16	2	4	1
いつも通りの日常が続くこと	9	10	3	0	0
その他	21	21	3	2	0
中学2年生					
自由でいられる、好きなことができる	49	52	14	2	0
自分の気持ちや考えを表現できる、我慢しない	27	40	15	3	1
自分を好きになる、自分に自信を持つ	29	27	5	2	0
周囲の人から自分を認めてもらえる	12	28	11	2	0
安心できる人間関係がある	45	56	31	5	0
前向きで楽しい気持ちでいられる	22	23	4	1	0
いつも通りの日常が続くこと	9	5	1	0	0
その他	8	13	3	5	0

(13) 自分の将来に明るい希望を持っているか

⑧ あなたは、「自分の将来について明るい希望がある」と思っていますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が48.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.3%、「わからない」が17.4%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は75.2%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は7.0%となっています。
- 中学2年生では、「どちらかといえばそう思う」が32.3%で最も多く、次いで「そう思う」が29.1%、「わからない」が18.6%となっています。“そう思う”は61.4%となっています。“そう思わない”は19.4%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」が中学2年生より19.8ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が小学5年生より約5～10ポイント多くなっています。

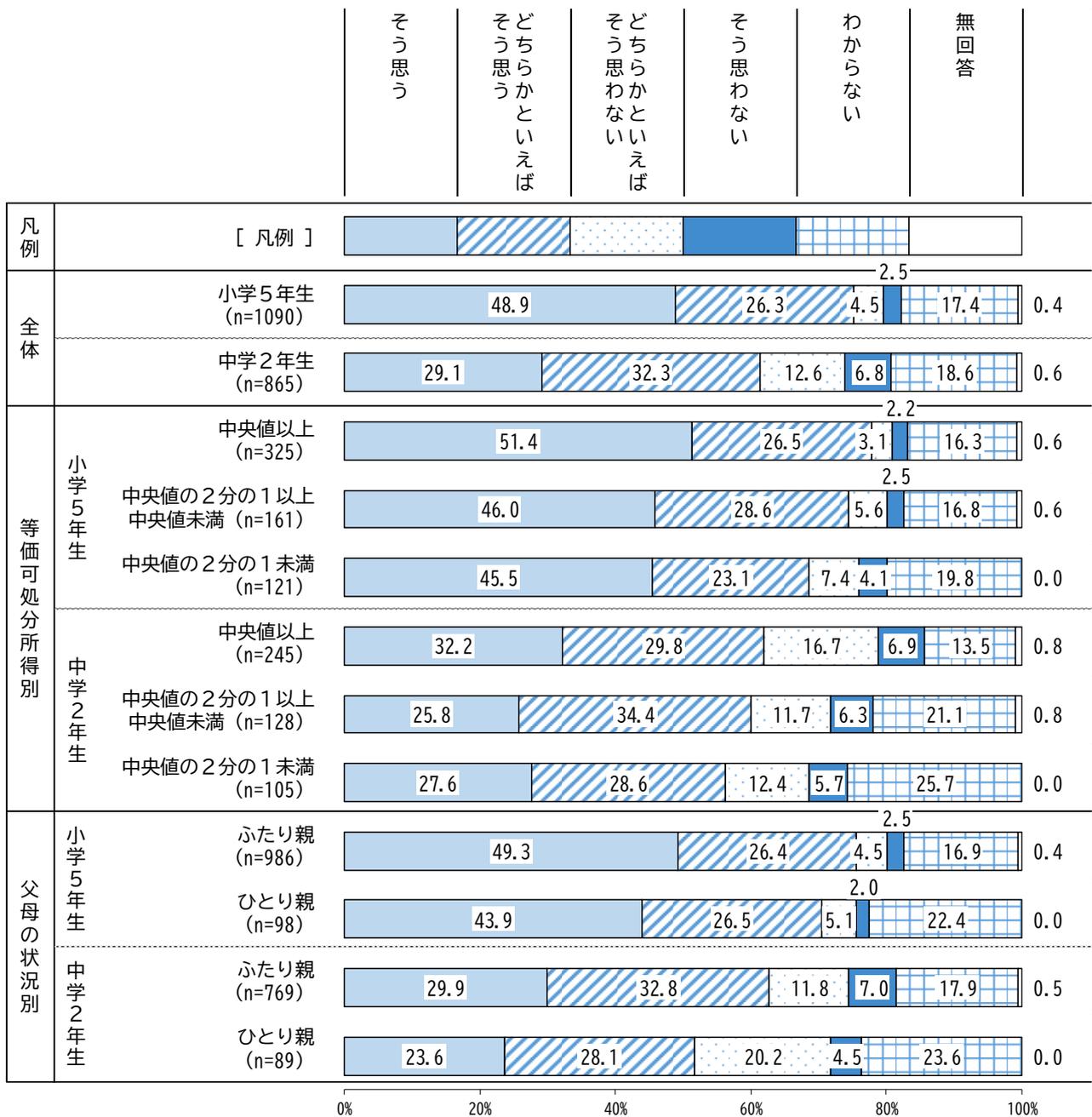
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値以上は「そう思う」、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満、中央値の2分の1未満は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生のふたり親、ひとり親は「そう思う」、中学2年生のふたり親、ひとり親は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 中学2年生では、ひとり親は「どちらかといえばそう思わない」がふたり親より8.4ポイント多くなっています。

【自分の将来に明るい希望を持っているか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、自分の将来に明るい希望が持てますか。

【どのようなことがあれば、自分の将来に明るい希望を持てるか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
小学5年生						
将来の夢や目標がある	81	35	6	3	14	1
自分が成長できる	59	34	7	3	21	0
自分に自信が持てる	39	12	4	2	6	0
好きなことができる	36	17	5	1	11	0
良い人間関係がある	30	9	2	1	4	1
社会状況が良くなる	5	8	2	2	1	0
経済的に安定している	8	3	3	1	4	0
健康で楽しく過ごせる	21	9	2	2	7	0
その他	45	21	5	2	12	0
中学2年生						
将来の夢や目標がある	34	47	12	7	17	0
自分が成長できる	40	48	36	8	24	0
自分に自信が持てる	24	22	10	3	9	0
好きなことができる	10	19	2	0	6	0
良い人間関係がある	10	14	2	0	9	0
社会状況が良くなる	2	2	9	4	5	0
経済的に安定している	5	10	7	3	7	0
健康で楽しく過ごせる	16	9	2	1	7	0
その他	24	15	6	6	7	0

(14) 自分の意見を聴いてもらえていると思うか

◎ あなたは、学校やおうちなどで、自分の意見を聴いてもらえていると思いますか。1つ、えらんでください。※1

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が64.2%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.0%、「わからない」が4.9%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は91.2%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は3.3%となっています。
- 中学2年生では、「そう思う」が54.8%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.8%、「どちらかといえばそう思わない」が4.5%となっています。“そう思う”は89.6%となっています。“そう思わない”は6.0%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」が中学2年生より9.4ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえばそう思う」が小学5年生より7.8ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

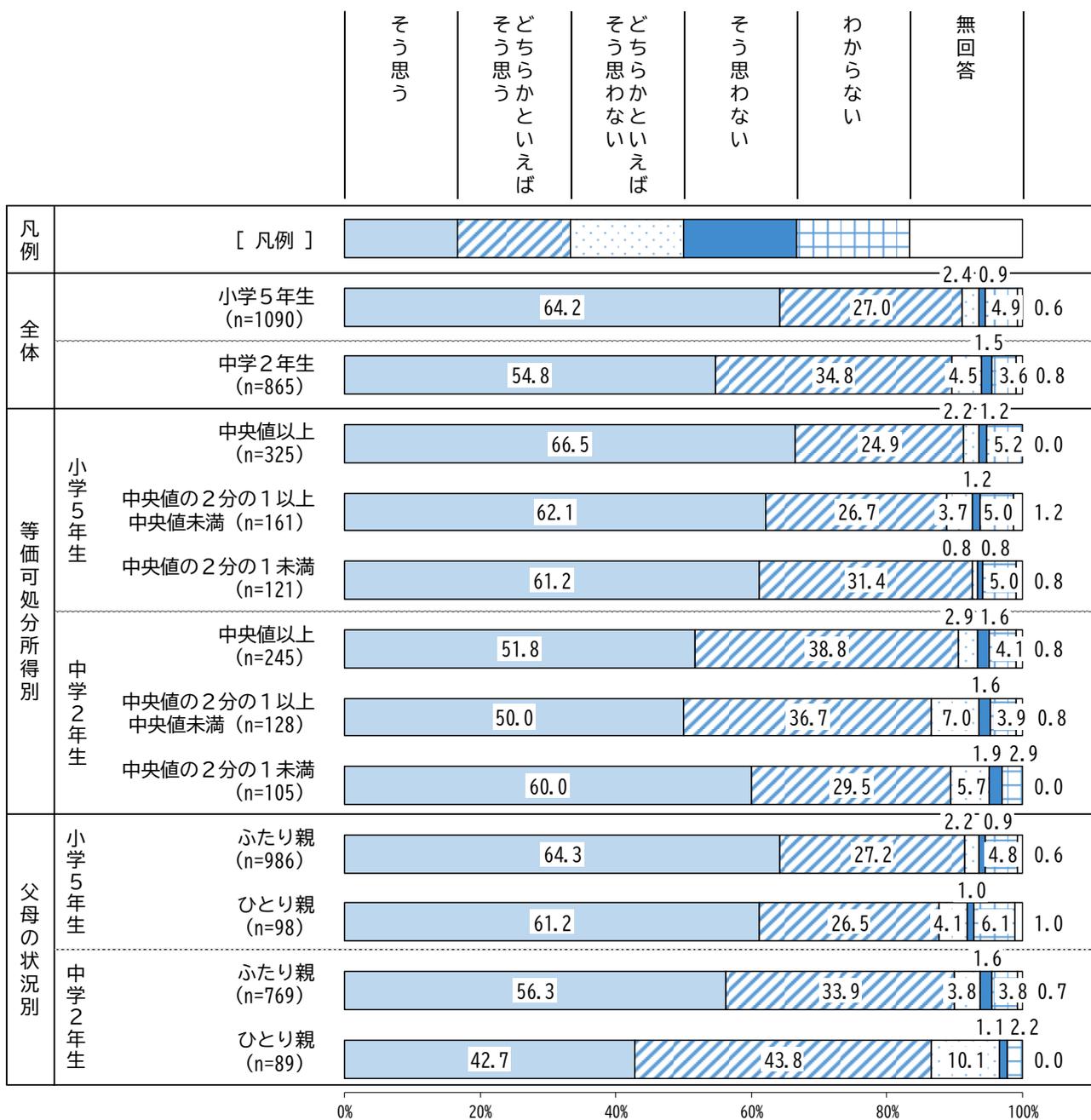
- 等価可処分所得別でみると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親、ひとり親、中学2年生のふたり親は「そう思う」、中学2年生のひとり親は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 中学2年生では、ひとり親は「そう思う」がふたり親より13.6ポイント少なくなっています。

※1 中学2年生の設問は「◎ あなたは、学校やお家など、ふだん生活している中で、自分の意見が聴いてもらえていると思いますか。1つ選んでください。」

【自分の意見を聴いてもらえていると思うか】



(15) こどもの遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思うか

⑩ あなたのまわりには、こどもが遊んだり、体験したりできる場所やきっかけがじゅうぶんにあると思いますか。1つ、えらんでください。※1

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が59.3%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.1%、「わからない」が8.3%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は83.4%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は8.0%となっています。
- 中学2年生では、「そう思う」が40.7%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.9%、「どちらかといえばそう思わない」が10.1%となっています。“そう思う”は75.6%となっています。“そう思わない”は15.1%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」が中学2年生より18.6ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が小学5年生より約5～10ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

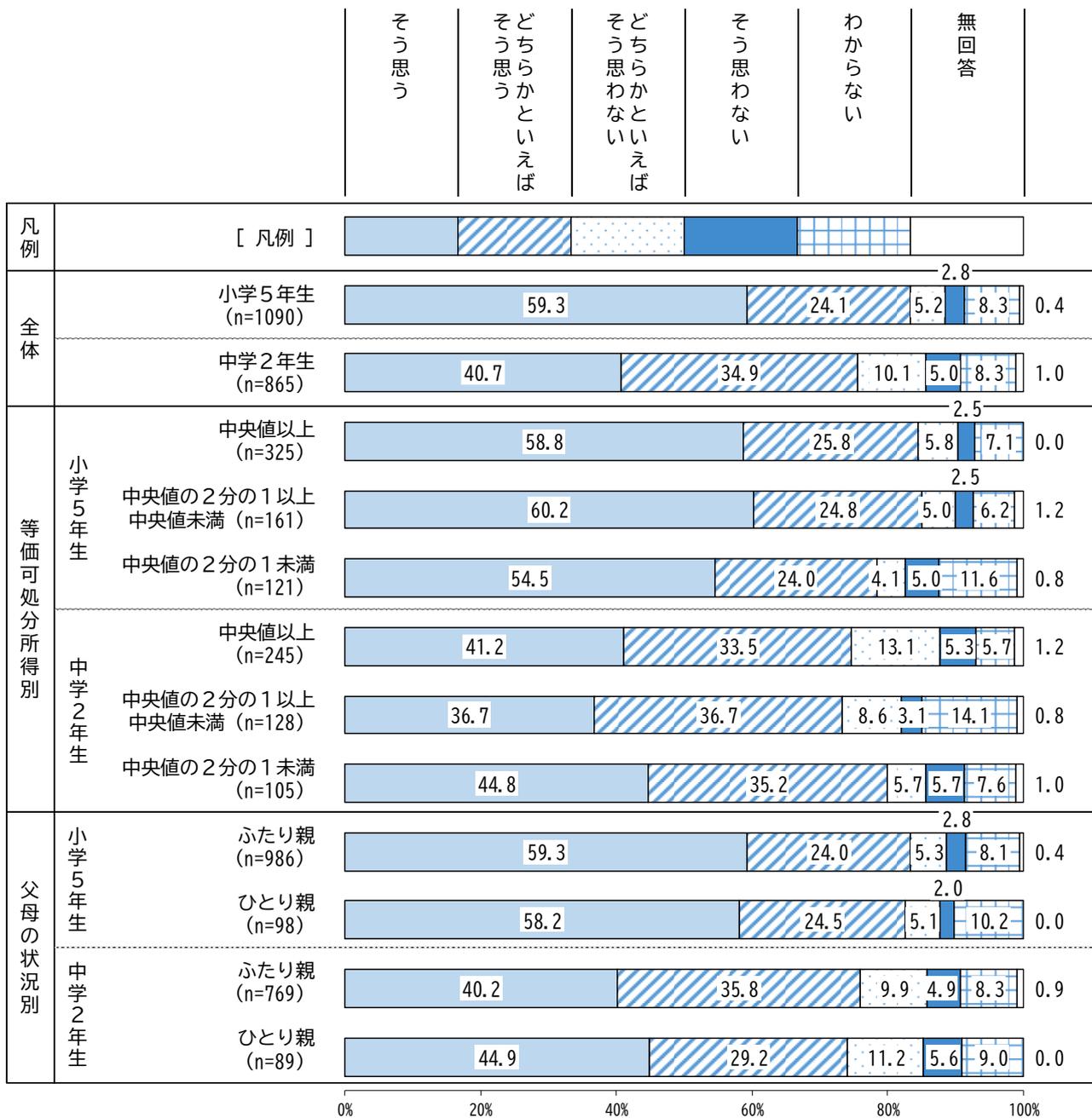
- 等価可処分所得別でみると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値以上、中央値の2分の1未満は「そう思う」、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

※1 中学2年生の設問は「⑩ あなたのまわりには、こどもの遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。1つ選んでください。」

【こどもの遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思うか】



○どんな遊びや体験ができる場所、きっかけがあればいいと思いますか。※1

【どのような遊びや体験活動の機会や場があれば良いと思うか】

※1 中学2年生の設問は「どんな遊びや体験活動の機会や場があればいいと思いますか。」

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
小学5年生						
公園など屋外の遊び	71	23	12	8	5	0
自然体験・生き物とのふれあい	18	11	0	1	1	0
スポーツ活動	61	24	8	4	4	0
多様な屋内施設	23	18	6	7	1	0
職業体験	26	13	2	2	3	0
ものづくり・文化芸術体験	21	13	4	1	0	0
イベント・祭・交流機会	28	7	6	0	1	0
科学実験・体験活動	23	4	2	0	2	0
みんなで遊べる場所	29	9	0	0	2	0
その他	62	23	3	2	5	0
中学2年生						
公園など屋外の遊び	18	17	11	3	1	0
自然体験・生き物とのふれあい	8	6	0	1	1	0
スポーツ活動	31	17	13	6	1	0
多様な屋内施設	11	5	4	4	0	0
職業体験	13	14	5	2	3	0
ものづくり・文化芸術体験	13	15	2	2	1	0
イベント・祭・交流機会	48	39	6	2	7	0
科学実験・体験活動	6	9	2	0	0	0
みんなで遊べる場所	12	4	2	0	0	0
その他	42	31	14	7	7	1

(16) 1か月あたりの読書冊数

① あなたは、1か月に本を何冊読みますか。(※数字を入れてください)

※図書ではないもの(教科書・学習参考書・マンガ・ざっし・付録)は入れませんが、学校図書館などで借りて読んだ本は、歴史ものの学習マンガなども入れてください。

【全体】

- 小学5年生では、「1～2冊」が23.0%で最も多く、次いで「5～9冊」が16.2%、「3～4冊」が14.5%となっています。
- 中学2年生では、「1～2冊」が41.4%で最も多く、次いで「0冊」が23.5%、「3～4冊」が10.9%となっています。
- 小学5年生は「5～9冊」「10～14冊」「15冊以上」が中学2年生より約10ポイント多くなっています。中学2年生は「0冊」「1～2冊」が小学5年生より約10～20ポイント多くなっています。

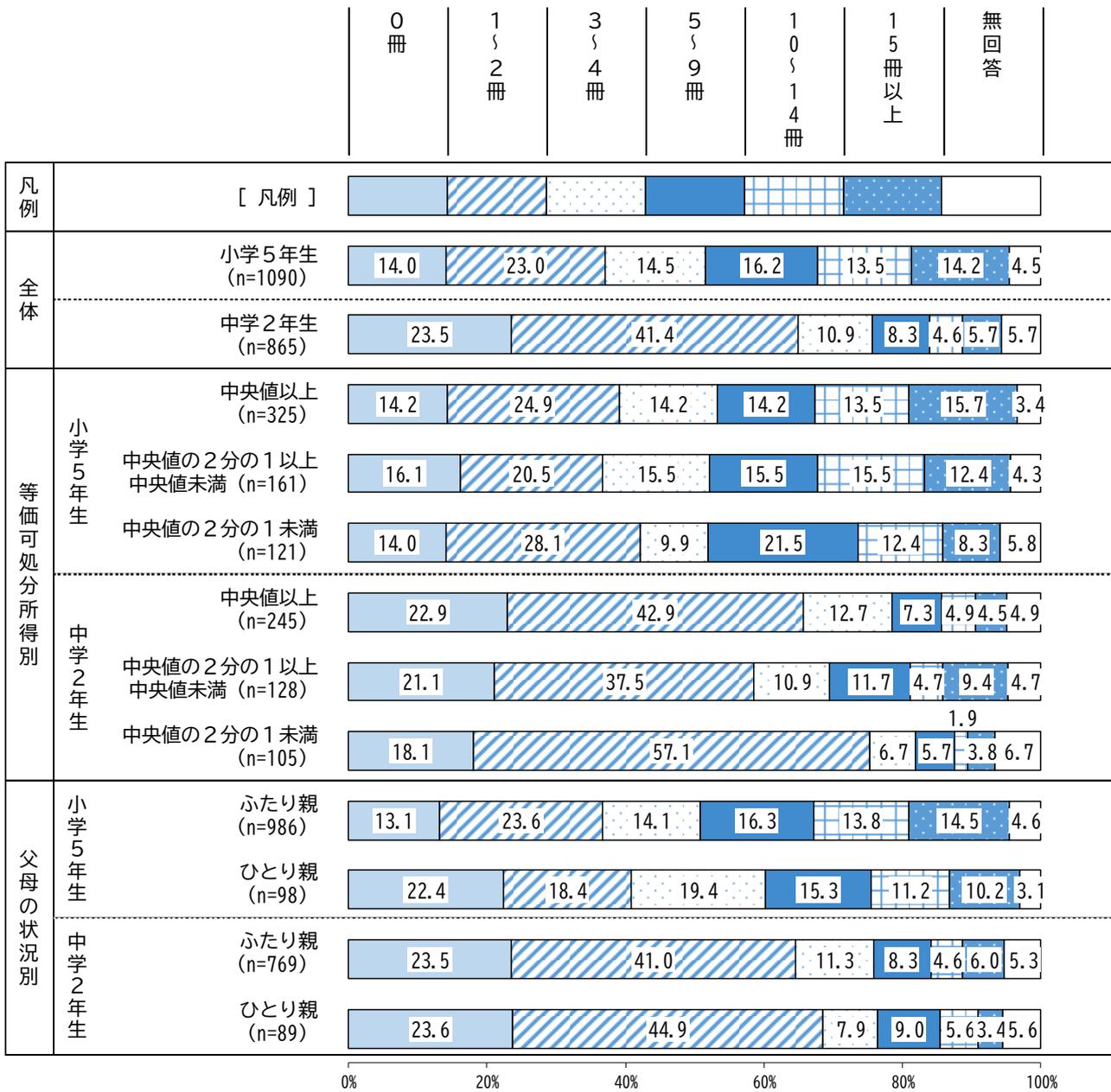
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「1～2冊」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、中央値の2分の1未満は「5～9冊」が小学5年生全体より5.3ポイント多くなっています。
- 中学2年生では、中央値の2分の1未満は「1～2冊」が中学2年生全体より15.7ポイント多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親、中学2年生のふたり親、ひとり親は「1～2冊」、小学5年生のひとり親は「0冊」が最も多くなっています。

【1か月あたりの読書冊数】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

(17) どのようなきっかけがあれば、本を読みたいと思うようになるか

①-1 ①で「0冊」と答えた人にお聞きします。

どういうきっかけがあれば、本を読みたいと思うようになりますか。

【どのようなきっかけがあれば、本を読みたいと思うようになるか】

内容	件数
小学5年生	
興味がある内容やジャンルであれば	29
面白そうな本に出合ったら	28
時間のあるとき、他にすることがないとき、	9
調べものや知りたいことがあるとき	9
絵が多い、文章が読みやすい	8
人から勧められたり、話題になっていたら	7
学校や家など身近にあれば	6
わからない	10
本を読みたいと思わない	19
その他	16
中学2年生	
面白そうな本に出合ったら	50
興味がある内容やジャンルであれば	47
人から勧められたり、話題になっていたら	17
時間のあるとき、他にすることがないとき、	10
絵が多い、文章が読みやすい	8
学校や家など身近にあれば	8
調べものや知りたいことがあるとき	8
わからない	4
本を読みたいと思わない	11
その他	27

(18) 食料品を買えなかった経験の有無

- ⑫ あなたは、この1年間で、おうちのお金が足りなくて、食べものがまったく買えなくなったことがありますか。1つ、えらんでください。

※おかしやジュース、アイスクリームなど、体に必要な栄養のためではなく、楽しむために食べたり飲んだりするものはふくみません。※1

【全体】

- 小学5年生では、「まったくなかった」が94.9%で最も多く、次いで「たまにあった」が2.5%、「よくあった」が1.4%となっています。
- 中学2年生では、「まったくなかった」が93.8%で最も多く、次いで「まれにあった」が2.5%、「よくあった」が1.6%となっています。

【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。

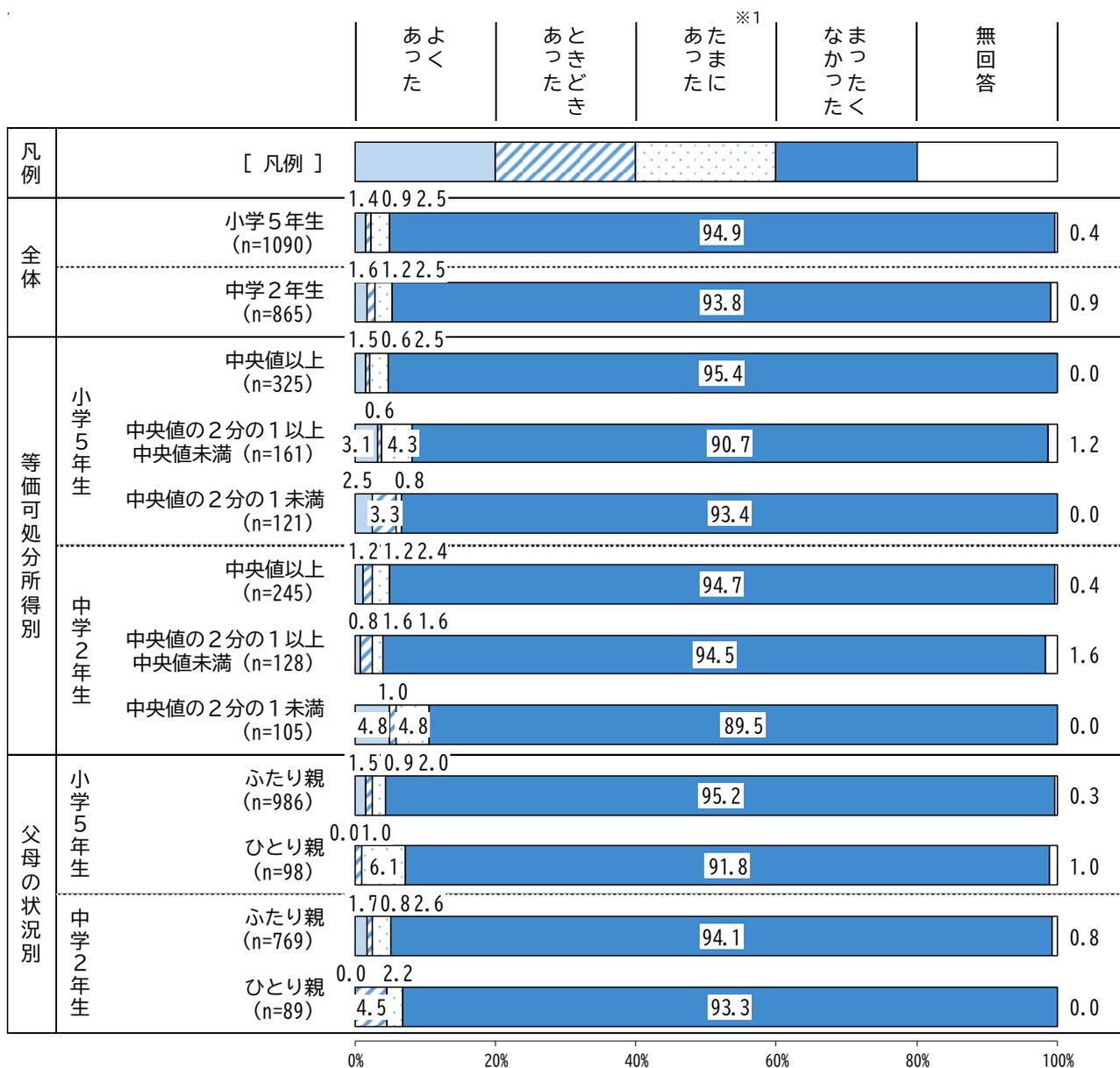
【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。

※1 中学2年生の設問は、「⑫ あなたは、この1年間で、おうちの事情などでお金が足りなくて、食べ物が全く買えなくなったことがありますか。1つ選んでください。

ただし、し好品（おかしやジュースなど、栄養のためではなくよろこびや楽しみを感じるためなどにとるもの）は含みません。」

【食料品を買えなかった経験の有無】



※1 中学2年生の選択肢は「まれにあった」

(19) 学校が子どもにとって大切な居場所の1つであると思うか

- ⑬ あなたは、「学校は、子どもが安全で安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が54.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.8%、「わからない」が5.9%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は84.2%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は9.6%となっています。
- 中学2年生では、「そう思う」が38.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.2%、「どちらかといえばそう思わない」が13.1%となっています。“そう思う”は72.8%となっています。“そう思わない”は20.4%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」が中学2年生より15.8ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえばそう思わない」が小学5年生より8.5ポイント多くなっています。

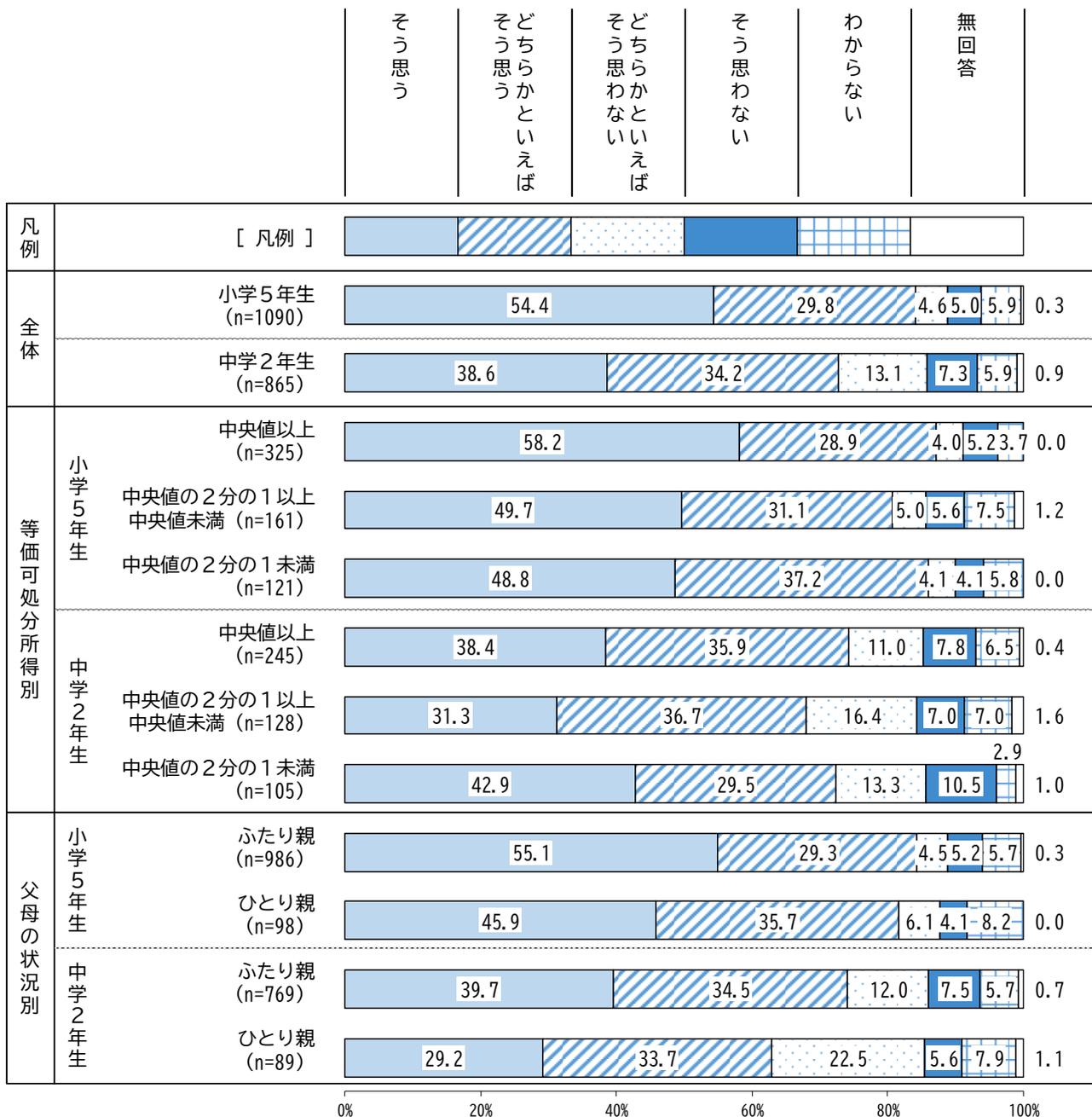
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値以上、中央値の2分の1未満は「そう思う」、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、小学5年生のふたり親、ひとり親、中学2年生のふたり親は「そう思う」、中学2年生のひとり親は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 中学2年生では、ひとり親は「どちらかといえばそう思わない」がふたり親より10.5ポイント多くなっています。

【学校が子どもにとって大切な居場所の1つであると思うか】



○どのようなことがあれば、学校が子どもにとって大切な居場所の1つになると思いますか。

【どのようなことがあれば、学校が子どもにとって大切な居場所の1つになると思うか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
小学5年生					
いじめやけんかがなく安心できること	99	58	20	13	8
友達と仲よくできる	86	25	2	2	2
先生が話を聞いてくれる、相談できる、信頼できる	41	15	5	3	2
学校生活が楽しいこと	73	37	4	2	5
友だちと共に学び成長できる	32	13	2	3	0
過ごしやすく落ち着ける環境	15	6	5	3	2
だれもが大切にされる	25	17	4	6	3
その他	20	7	2	3	4
中学2年生					
いじめやけんかがなく安心できること	50	58	25	17	7
友達と仲よくできる	54	29	9	4	3
先生が話を聞いてくれる、相談できる、信頼できる	24	19	10	5	1
学校生活が楽しいこと	36	26	13	4	4
友だちと共に学び成長できる	9	3	2	2	1
過ごしやすく落ち着ける環境	11	7	6	1	1
だれもが大切にされる	14	14	9	6	2
その他	16	15	5	6	4

(20) 安心できる場所の有無

⑭ あなたには、安心できる場所が1つ以上ありますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「ある」が88.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばある」が8.3%、「どちらかといえばない」が1.6%となっています。「ある」「どちらかといえばある」を合わせた“ある”は96.9%となっています。「ない」「どちらかといえばない」を合わせた“ない”は2.3%となっています。
- 中学2年生では、「当てはまる」が79.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまる」が15.5%、「どちらかといえば当てはまらない」が2.7%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は94.9%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は4.3%となっています。
- 小学5年生は「ある」が中学2年生の「当てはまる」より9.2ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえば当てはまる」が小学5年生の「どちらかといえばある」より7.2ポイント多くなっています。

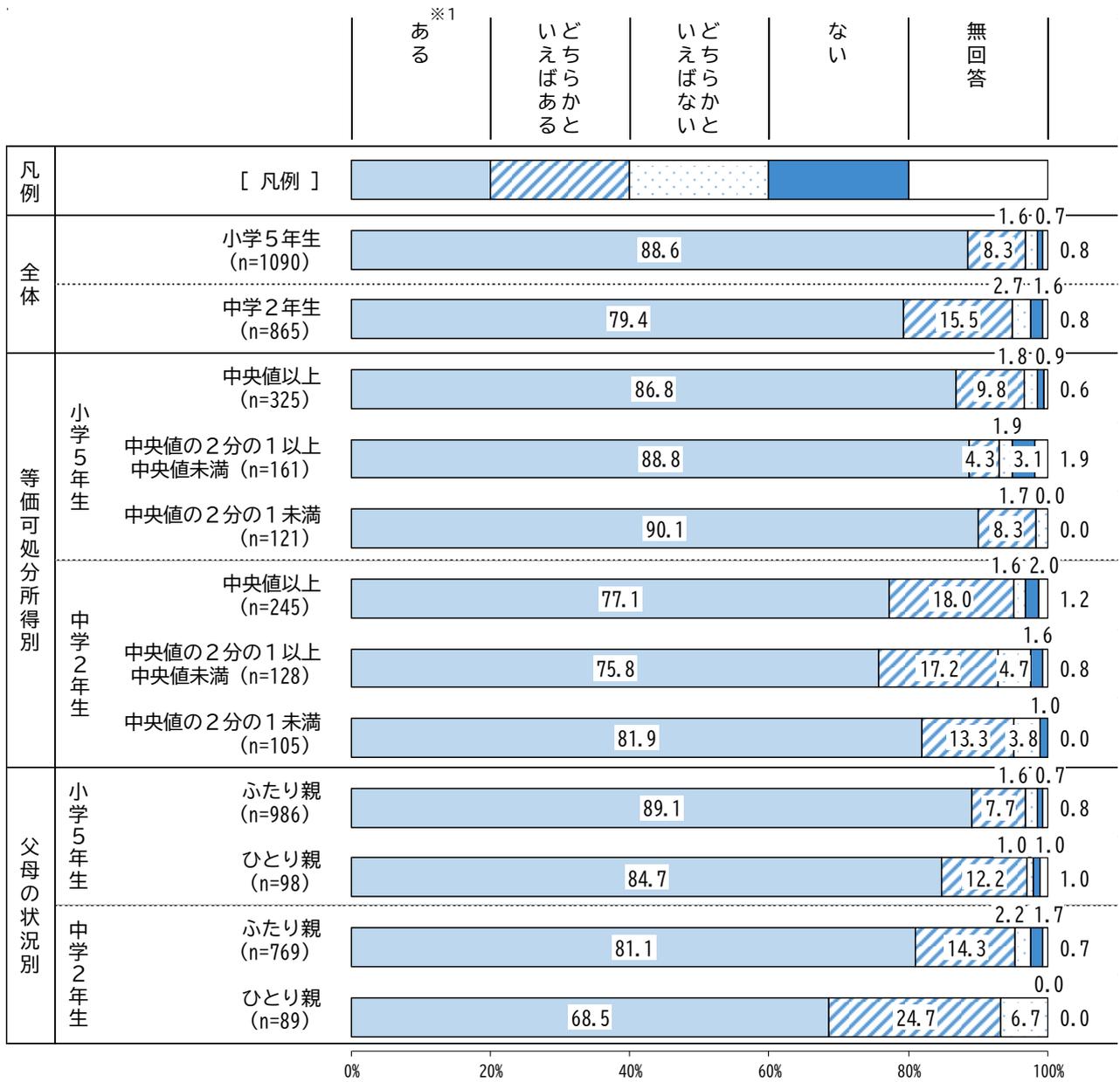
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「ある」（「当てはまる」）が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「ある」（「当てはまる」）が最も多くなっています。
- 中学2年生では、ひとり親は「どちらかといえば当てはまる」がふたり親より10.4ポイント多く、「当てはまる」が12.6ポイント少なくなっています。

【安心できる場所の有無】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」

(21) 安心できる場所

⑭-1 ⑭で「ある・どちらかといえばある」と答えた人にお聞きします。※1

その場所は次のうち、どれですか。当てはまるものすべてえらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「家庭」が81.5%で最も多く、次いで「学校」が48.8%、「自分の部屋」が47.2%となっています。
- 中学2年生では、「自分の部屋」が70.0%で最も多く、次いで「家庭」が66.3%、「友だちの家など、友だちとの交流の場」が41.8%となっています。
- 小学5年生は「家庭」「親せき（いところなど）の家」「学校」「地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）」が中学2年生より約5～15ポイント多くなっています。中学2年生は「自分の部屋」「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」が小学5年生より約10～25ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

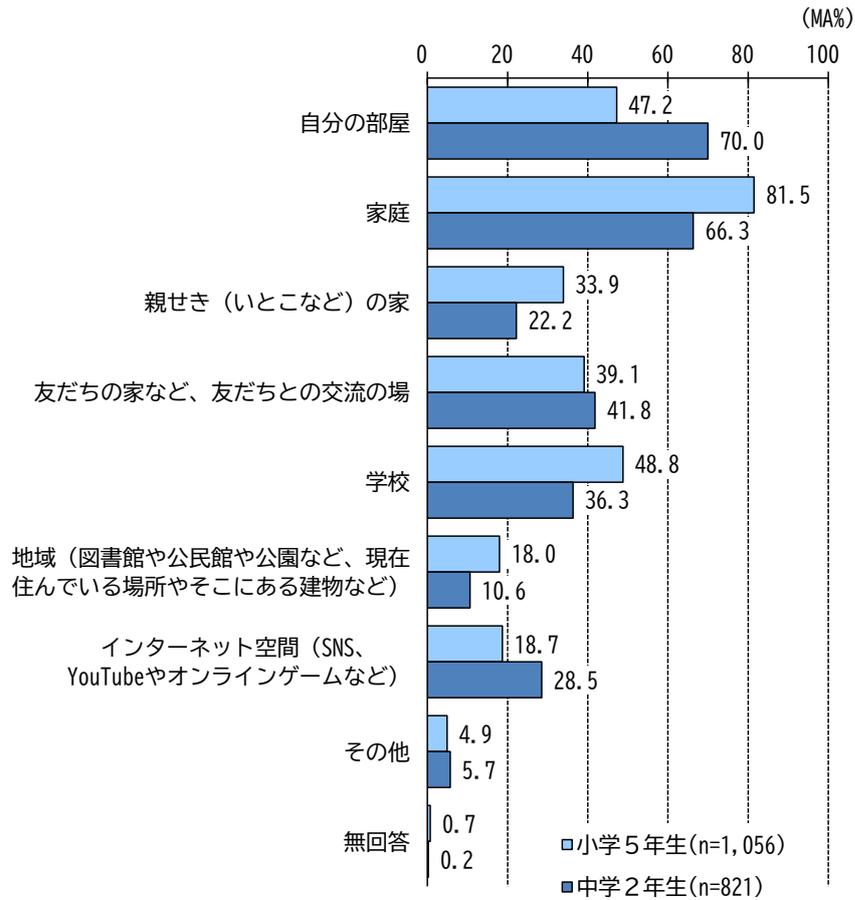
- 等価可処分所得別でみると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値の2分の1以上中央値未満、中央値の2分の1未満は「家庭」、中学2年生の中央値以上は「自分の部屋」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親、ひとり親は「家庭」、中学2年生のふたり親は「自分の部屋」、中学2年生のひとり親は「自分の部屋」と「家庭」が最も多くなっています。
- 小学5年生では、ひとり親は「親せき（いところなど）の家」がふたり親より11.8ポイント少なくなっています。

※1 中学2年生の設問は「⑭で『当てはまる・どちらかといえば当てはまる』と答えた人にお聞きします。」

【安心できる場所】



単位：MA%

		母数 (n)	安心できる場所									
			自分の部屋	家庭	親せき (いとこなど) の家	友だちの家など、友だちとの交流の場	学校	所やそこにある建物など)	地域 (図書館や公民館や公園など)	S、インターネット空間 (SNS、YouTubeやオンライン)	その他	無回答
全体	小学5年生	1,056	47.2	81.5	33.9	39.1	48.8	18.0	18.7	4.9	0.7	
	中学2年生	821	70.0	66.3	22.2	41.8	36.3	10.6	28.5	5.7	0.2	
等価可処分所得別	小学5年生	中央値以上	314	48.4	82.5	34.7	39.2	51.6	17.2	19.1	4.1	1.0
		中央値の2分の1以上中央値未満	150	43.3	84.7	34.7	38.0	44.0	15.3	19.3	5.3	-
		中央値の2分の1未満	119	43.7	79.8	26.1	40.3	46.2	16.8	16.0	5.0	1.7
	中学2年生	中央値以上	233	69.5	65.2	26.6	46.4	35.2	12.9	29.2	5.2	0.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	119	63.9	67.2	17.6	38.7	34.5	7.6	29.4	5.0	-
		中央値の2分の1未満	100	72.0	76.0	18.0	36.0	40.0	12.0	30.0	4.0	-
父母の状況別	小学5年生	ふたり親	955	47.4	82.3	35.0	39.9	49.2	17.7	18.2	4.0	0.7
		ひとり親	95	42.1	74.7	23.2	30.5	42.1	18.9	21.1	12.6	-
	中学2年生	ふたり親	734	70.3	65.9	22.5	42.4	37.2	10.6	27.7	5.7	0.3
		ひとり親	83	68.7	68.7	20.5	37.3	30.1	9.6	37.3	6.0	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
小学5年生	
一人になれる場所	14
習い事・塾・放課後の居場所	14
自然の中	4
旅行先	3
動物カフェ・好きなお店	3
趣味や娯楽の場	2
人との交流	1
その他	6
中学2年生	
一人になれる場所	14
趣味や娯楽の場	9
習い事・塾・放課後の居場所	8
動物カフェ・好きなお店	4
自然の中	2
旅行先	1
その他	7

(22) 高槻市の取組について

- ⑮ その他、「たかつきにあったらいいな」と思うことなど、市役所の取組についてご意見があれば、四角の中に自由に入れてください。

ア) 市の建物（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること

【市の建物（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること】

内容	件数
小学5年生	
運動施設について	174
図書館・自習室について	88
遊び場について	61
娯楽施設について	50
美術館・博物館について	31
商業店舗について	31
体験学習施設について	30
交流施設について	28
特にない	4
その他	35
中学2年生	
運動施設について	162
図書館・自習室について	66
商業店舗について	26
娯楽施設について	23
遊び場について	19
美術館・博物館について	13
体験学習施設について	8
交流施設について	7
特にない	2
その他	24

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

イ) 公園などの遊び場や居場所に関すること

【公園などの遊び場や居場所に関すること】

内容	件数
小学5年生	
屋内施設について	99
スポーツ施設について	98
公園について	95
遊具について	91
公園の維持管理について	47
娯楽施設について	35
プール・水遊びについて	22
その他	32
中学2年生	
スポーツ施設について	88
公園について	51
屋内施設について	43
公園の維持管理について	31
娯楽施設について	30
遊具について	25
プール・水遊びについて	19
その他	36

ウ) 学校に関すること

【学校に関すること】

内容	件数
小学5年生	
学校施設について	151
運動施設・部活について	60
学校生活について	32
学習内容・学習設備について	29
休憩場所について	25
学校行事について	13
給食について	13
教員について	8
通学について	8
その他	25
中学2年生	
学校施設について	116
運動施設・部活について	29
学校生活について	25
学習内容・学習設備について	22
休憩場所について	16
教員について	10
学校行事について	8
通学について	2
給食について	1
その他	13

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

エ) まちづくりに関すること

【まちづくりに関すること】

内容	件数
小学5年生	
施設整備・交流機会について	49
道路や交通環境について	42
生活環境について	38
環境美化について	24
商業施設について	21
防犯・防災・安全対策について	18
緑地・自然保護について	11
文化・観光イベントについて	8
まちの活気について	6
その他	23
中学2年生	
道路や交通環境について	31
施設整備・交流機会について	31
商業施設について	16
生活環境について	15
環境美化について	11
文化・観光イベントについて	10
防犯・防災・安全対策について	9
緑地・自然保護について	6
その他	14

オ) 保育所・幼稚園・認定こども園に関すること

【保育所・幼稚園・認定こども園に関すること】

内容	件数
小学5年生	
施設整備について	26
遊び場・遊具について	16
行事や遊び活動について	13
安全対策について	10
学習・教育について	3
インクルーシブ保育について	7
保育士・教員について	4
給食について	4
世代間交流・地域交流について	2
その他	17
中学2年生	
施設整備について	8
遊び場・遊具について	7
安全対策について	6
世代間交流・地域交流について	6
行事や遊び活動について	2
学習・教育について	2
保育士・教員について	2
給食について	1
その他	8

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

カ) 子育てサービスに関すること

【子育てサービスに関すること】

内容	件数
小学5年生	
経済的支援について	23
遊び場・イベントについて	11
預かり・送迎サービスについて	8
食の支援について	8
施設やサービスの充実について	7
相談・情報の周知について	1
その他	15
中学2年生	
施設やサービスの充実について	15
経済的支援について	14
食の支援について	9
預かり・送迎サービスについて	5
遊び場・イベントについて	5
相談・情報の周知について	4
その他	13

キ) その他

【その他】

内容	件数
小学5年生	
ごみ問題について	24
市内の施設について	14
水道料金・水道設備・水質について	10
イベント・娯楽について	6
安全対策について	5
教育環境・教育施設について	4
道路や交通環境について	3
生活環境について	3
その他	15
中学2年生	
ごみ問題について	14
市内の施設について	8
道路や交通環境について	6
生活環境について	5
水道料金・水道設備・水質について	5
教育環境・教育施設について	4
イベント・娯楽について	4
安全対策について	2
その他	4

(23) 児童の権利に関する条約（こどもの権利条約）の認知度

⑯ あなたは、「児童の権利に関する条約(こどもの権利条約)」について知っていますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「聞いたことがない」が55.4%で最も多く、次いで「名前だけ聞いたことがある」が20.5%、「どんな内容かすこし知っている」が17.6%となっています。
- 中学2年生では、「聞いたことがない」が54.2%で最も多く、次いで「名前だけ聞いたことがある」が24.2%、「どんな内容かすこし知っている」が16.0%となっています。

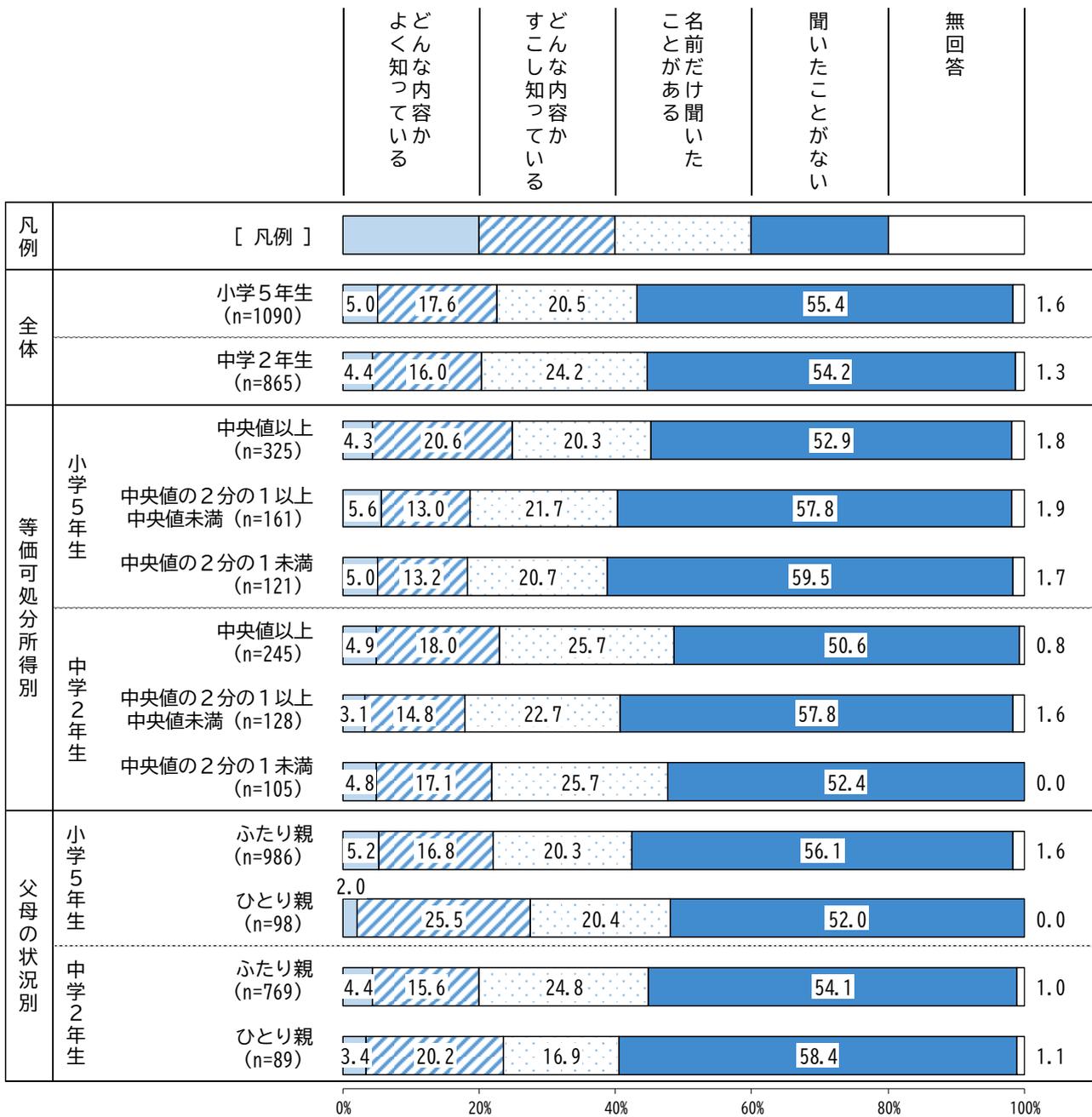
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「聞いたことがない」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「聞いたことがない」が最も多くなっています。

【児童の権利に関する条約（こどもの権利条約）の認知度】



(24) こどもが権利の主体であることへの理解度

⑰ こどものみなさんもおとなと同じようにひとりの人間としていろいろな権利がある(権利の主体である)と思いますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が 50.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.7%、「わからない」が 20.6%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 73.3%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 5.1%となっています。
- 中学2年生では、「そう思う」が 61.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.2%、「わからない」が 5.9%となっています。“そう思う”は 84.8%となっています。“そう思わない”は 8.3%となっています。
- 小学5年生は「わからない」が中学2年生より 14.7 ポイント多くなっています。中学2年生は「そう思う」が小学5年生より 11.0 ポイント多くなっています。

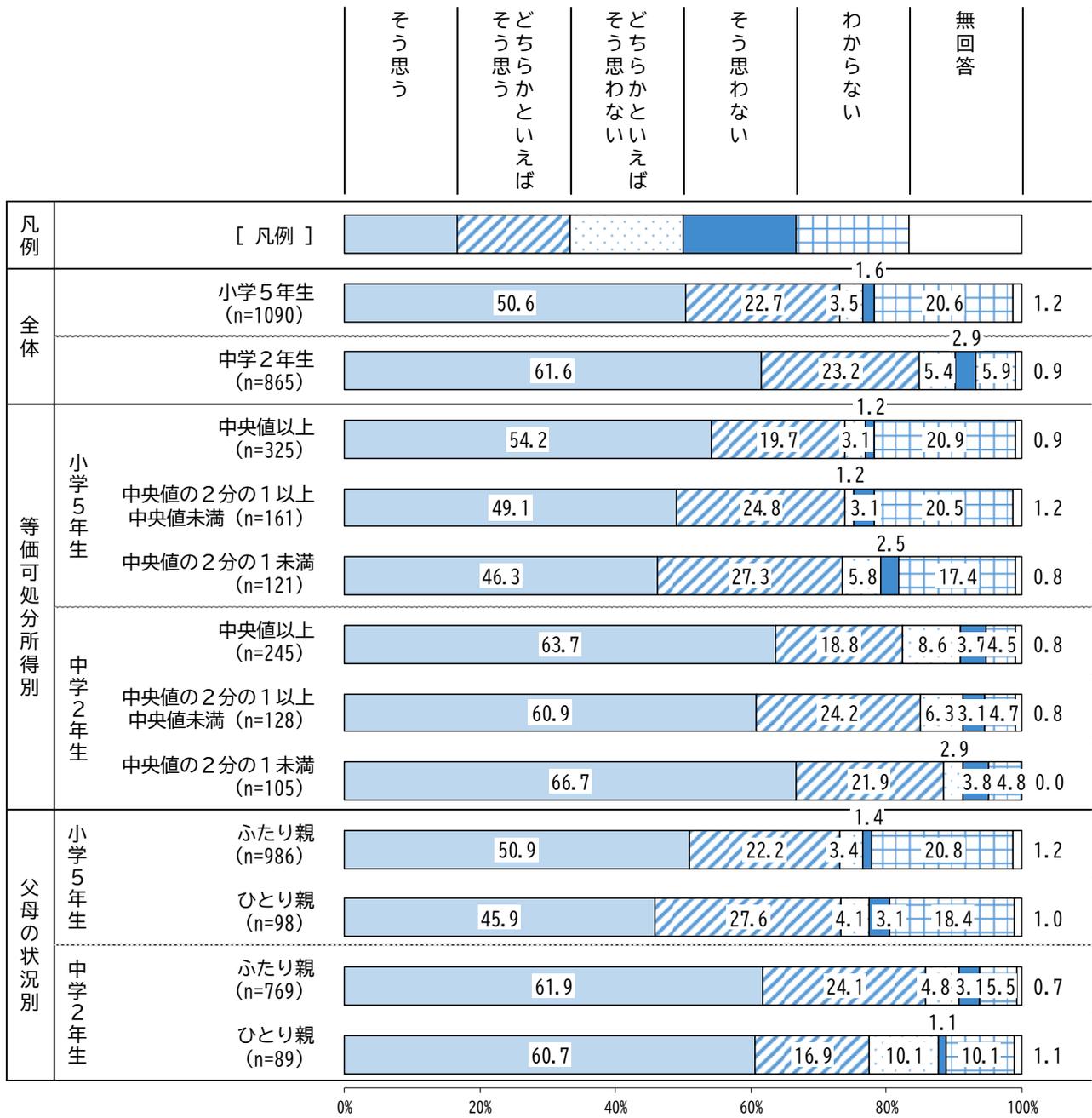
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【こどもが権利の主体であることの理解度】



(25) 地域でインクルージョンがすすんでいると思うか

- ⑱ あなたは、住んでいる地域でインクルージョン(※)がすすんでいると思いますか。1つ、えらんでください。
(※障がいのある子どもや成長に特性のある子どももふくめたみんなが、ほかのまわりの人たちと同じように社会に参加して、メンバーとして受け入れられ、いっしょに社会で生活できていること)^{※1}

【全体】

- 小学5年生では、「そう思う」が31.7%で最も多く、次いで「わからない」が30.1%、「どちらかといえばそう思う」が26.9%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は58.6%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は9.4%となっています。
- 中学2年生では、「どちらかといえばそう思う」が37.6%で最も多く、次いで「そう思う」が24.7%、「わからない」が21.6%となっています。“そう思う”は62.3%となっています。“そう思わない”は14.9%となっています。
- 小学5年生は「そう思う」「わからない」が中学2年生より約5~10ポイント多くなっています。中学2年生は「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」が小学5年生より約5~10ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

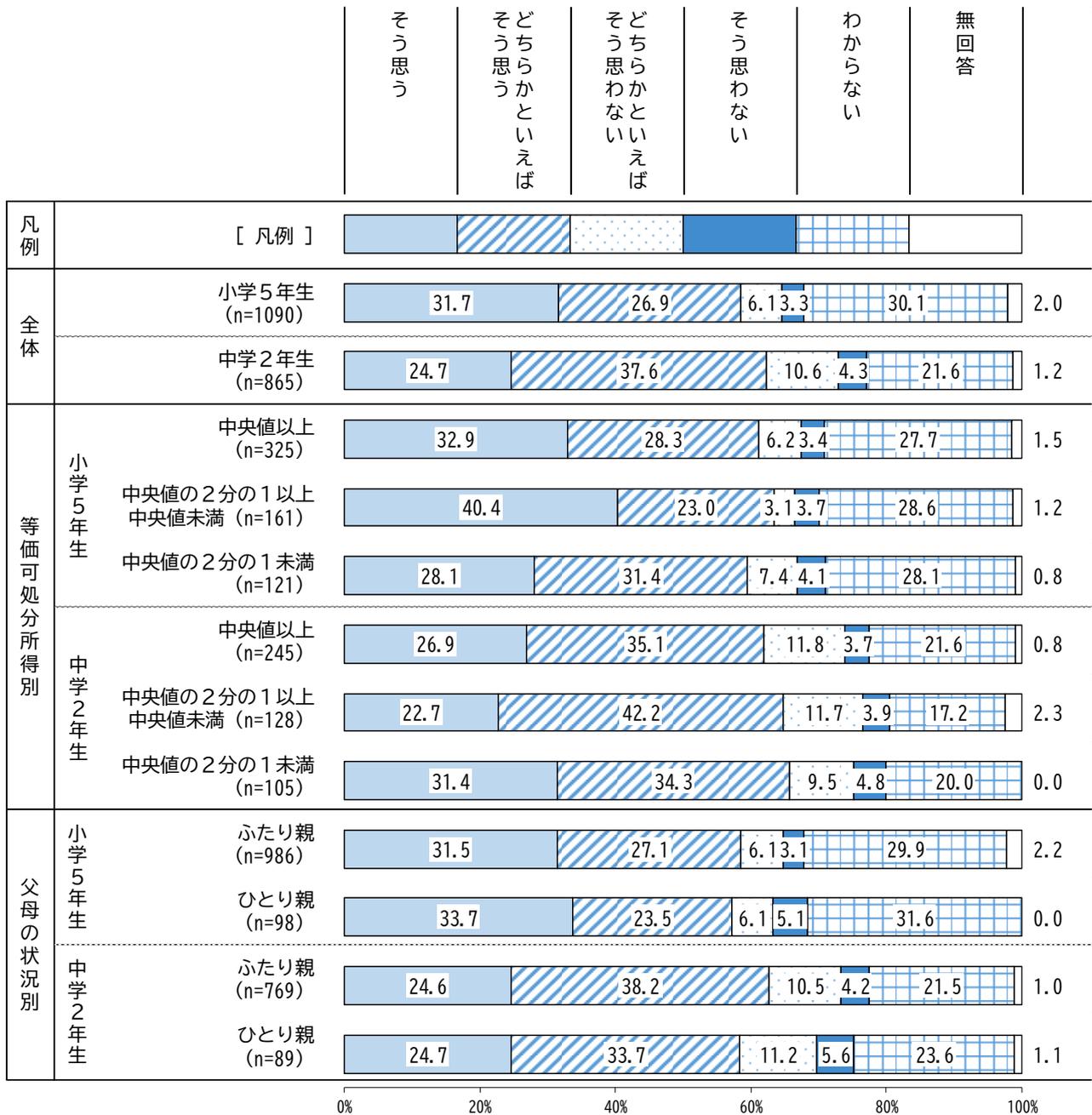
- 等価可処分所得別でみると、小学5年生の中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満は「そう思う」、小学5年生の中央値の2分の1未満、中学2年生のすべての所得区分は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親、ひとり親は「そう思う」、中学2年生のふたり親、ひとり親は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

※1 中学2年生の設問は「障がいのある子どもや成長に特性のある子どももふくめたみんなが、ほかのまわりの人たちと同じように社会に参加して、メンバーとして受け入れられ、いっしょに生活できる社会のこと」

【地域でインクルージョンがすすんでいると思うか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、インクルージョンがすすむと思いますか。

【どのようなことがあれば、インクルージョンがすすむと思うか】

内容	件数
小学5年生	
多様性の尊重	61
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	54
学習機会・啓発機会の拡大	46
差別の解消	45
交流機会の拡大	35
支援体制の充実	26
社会参加の促進	25
思いやりの気持ち	14
社会制度の整備	3
その他	37
中学2年生	
学習機会・啓発機会の拡大	99
多様性の尊重	75
差別の解消	43
交流機会の拡大	40
支援体制の充実	22
バリアフリー・ユニバーサルデザイン	14
社会参加の促進	13
思いやりの気持ち	9
社会制度の整備	1
その他	41

(26) ヤングケアラーの認知度

⑨ あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。1つ、えらんでください。※1

【全体】

- 小学5年生では、「聞いたことはない」が68.3%で最も多く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が18.5%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が12.5%となっています。
- 中学2年生では、「聞いたことはない」が38.2%で最も多く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」が37.7%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が23.2%となっています。
- 小学5年生は「聞いたことはない」が中学2年生より30.1ポイント多くなっています。中学2年生は「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」が小学5年生より約5～25ポイント多くなっています。

【等価可処分所得別】

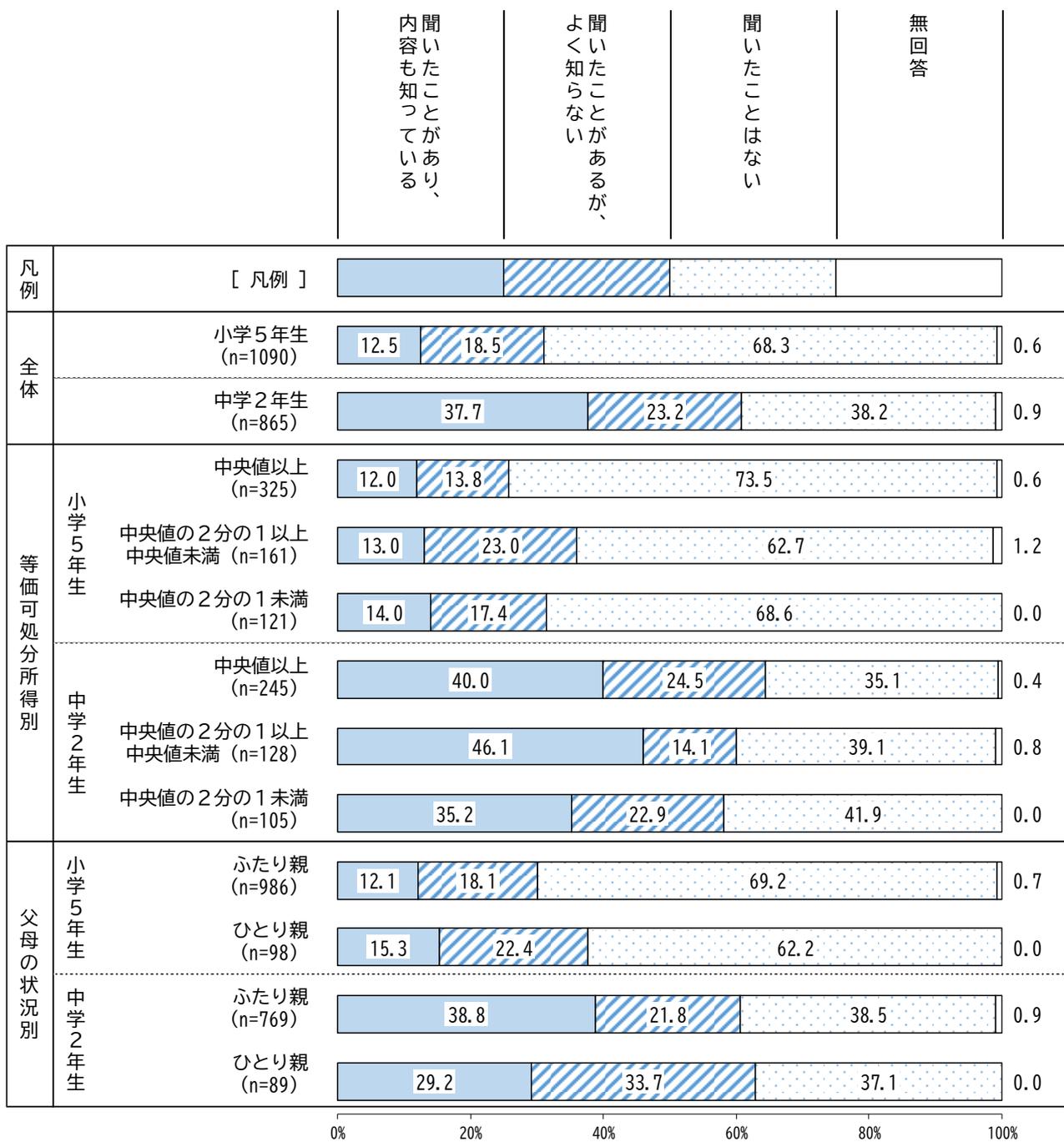
- 等価可処分所得別でみると、小学5年生のすべての所得区分、中学2年生の中央値の2分の1未満は「聞いたことはない」、中学2年生の中央値以上、中央値の2分の1以上中央値未満は「聞いたことがあり、内容も知っている」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、小学5年生のふたり親、ひとり親、中学2年生のひとり親は「聞いたことはない」、中学2年生のふたり親は「聞いたことがあり、内容も知っている」が最も多くなっています。
- 中学2年生では、ひとり親は「聞いたことがあるが、よく知らない」がふたり親より11.9ポイント多くなっています。

※1 設問に答えてもらうに当たっての参照情報として、アンケート内にヤングケアラーの定義や具体例について、こども家庭庁HPより引用した説明文・イラストを掲載しました。

【ヤングケアラーの認知度】



(27) ヤングケアラーに当てはまると思うか

⑳ あなたは、「自分はヤングケアラーに当てはまる」と思いますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「当てはまらない」が68.9%で最も多く、次いで「わからない」が24.0%、「当てはまる」が3.2%となっています。
- 中学2年生では、「当てはまらない」が76.4%で最も多く、次いで「わからない」が17.6%、「かつては当てはまったと思う」が2.9%となっています。
- 小学5年生は「わからない」が中学2年生より6.4ポイント多くなっています。中学2年生は「当てはまらない」が小学5年生より7.5ポイント多くなっています。

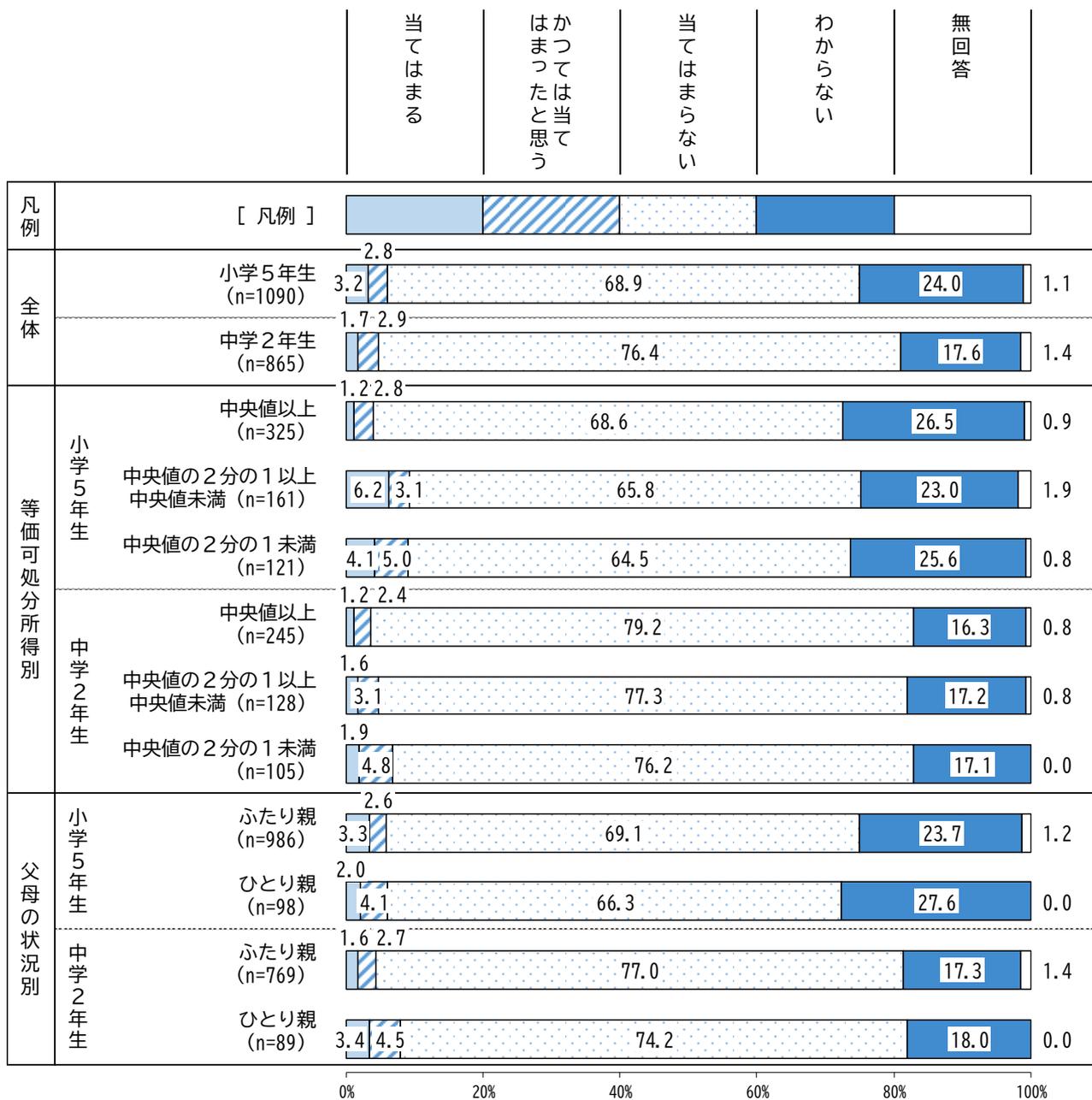
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【ヤングケアラーに当てはまると思うか】



(28) インターネットの危険性についての学習経験

- ②1 あなたは、青少年に不適切なサイト(出会い系サイトやアダルトサイトなど)やネットいじめの問題など、インターネットの危険性について、これまで学校やおうちの人、パンフレットや YouTube などのインターネットで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「説明を受けたり学んだりしたことがある」が 69.0%で最も多く、次いで「わからない」が 20.0%、「説明を受けたり学んだりしたことがない」が 9.9%となっています。
- 中学2年生では、「説明を受けたり学んだりしたことがある」が 78.5%で最も多く、次いで「わからない」が 12.5%、「説明を受けたり学んだりしたことがない」が 8.0%となっています。
- 小学5年生は「わからない」が中学2年生より 7.5 ポイント多くなっています。中学2年生は「説明を受けたり学んだりしたことがある」が小学5年生より 9.5 ポイント多くなっています。

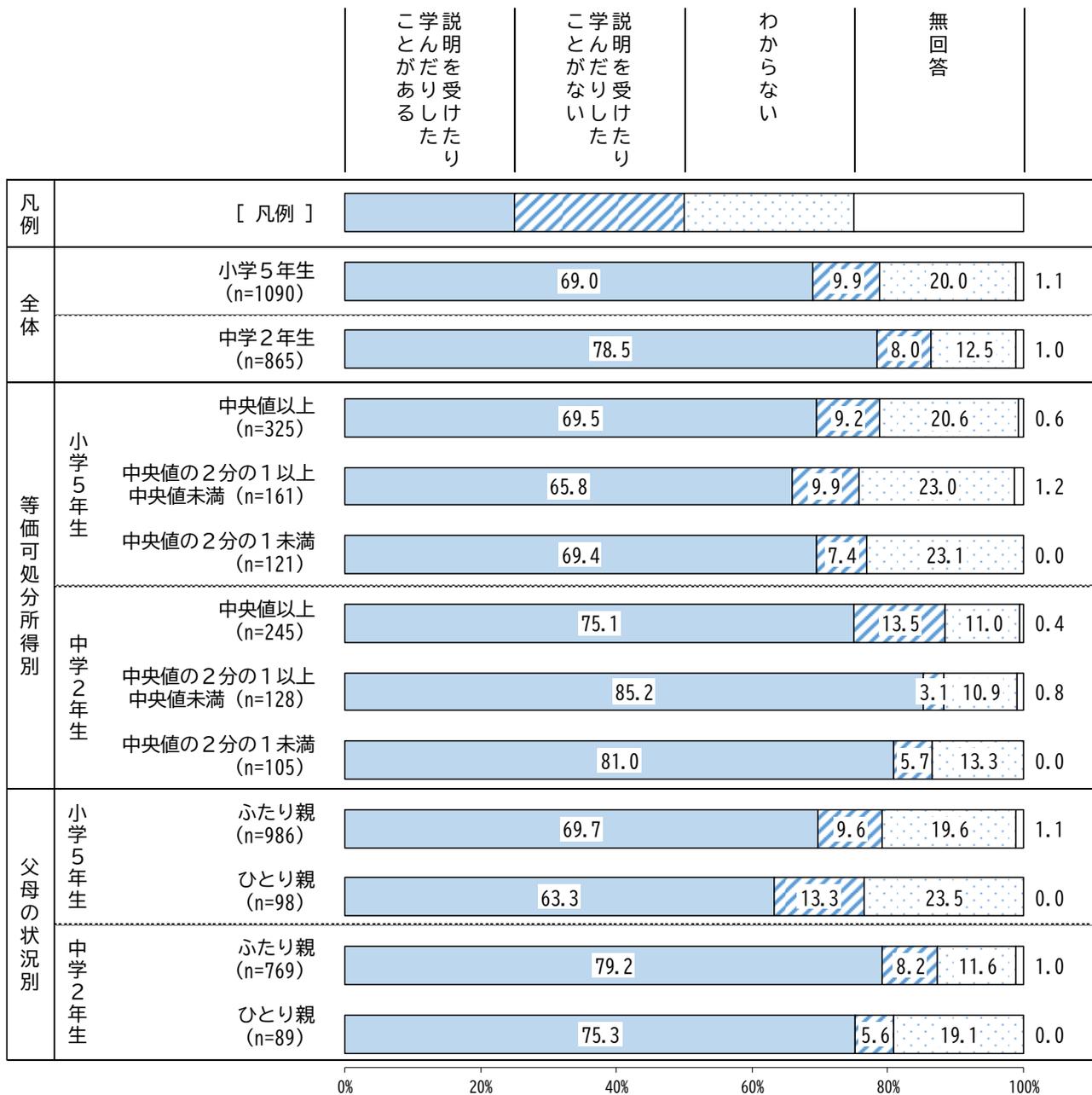
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別でみると、いずれも「説明を受けたり学んだりしたことがある」が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別でみると、いずれも「説明を受けたり学んだりしたことがある」が最も多くなっています。

【インターネットの危険性についての学習経験】



(29) SNSをきっかけとする犯罪被害経験の有無

② あなたは、SNSがきっかけで起こる犯罪にあい、知らない人からおそわれたり、らんぼうされてきずついたことはありますか。1つ、えらんでください。

【全体】

- 小学5年生では、「ない」が91.5%で最も多く、次いで「わからない」が5.4%、「ある」が2.2%となっています。
- 中学2年生では、「当てはまらない」が91.3%で最も多く、次いで「わからない」が5.4%、「当てはまる」が1.8%となっています。

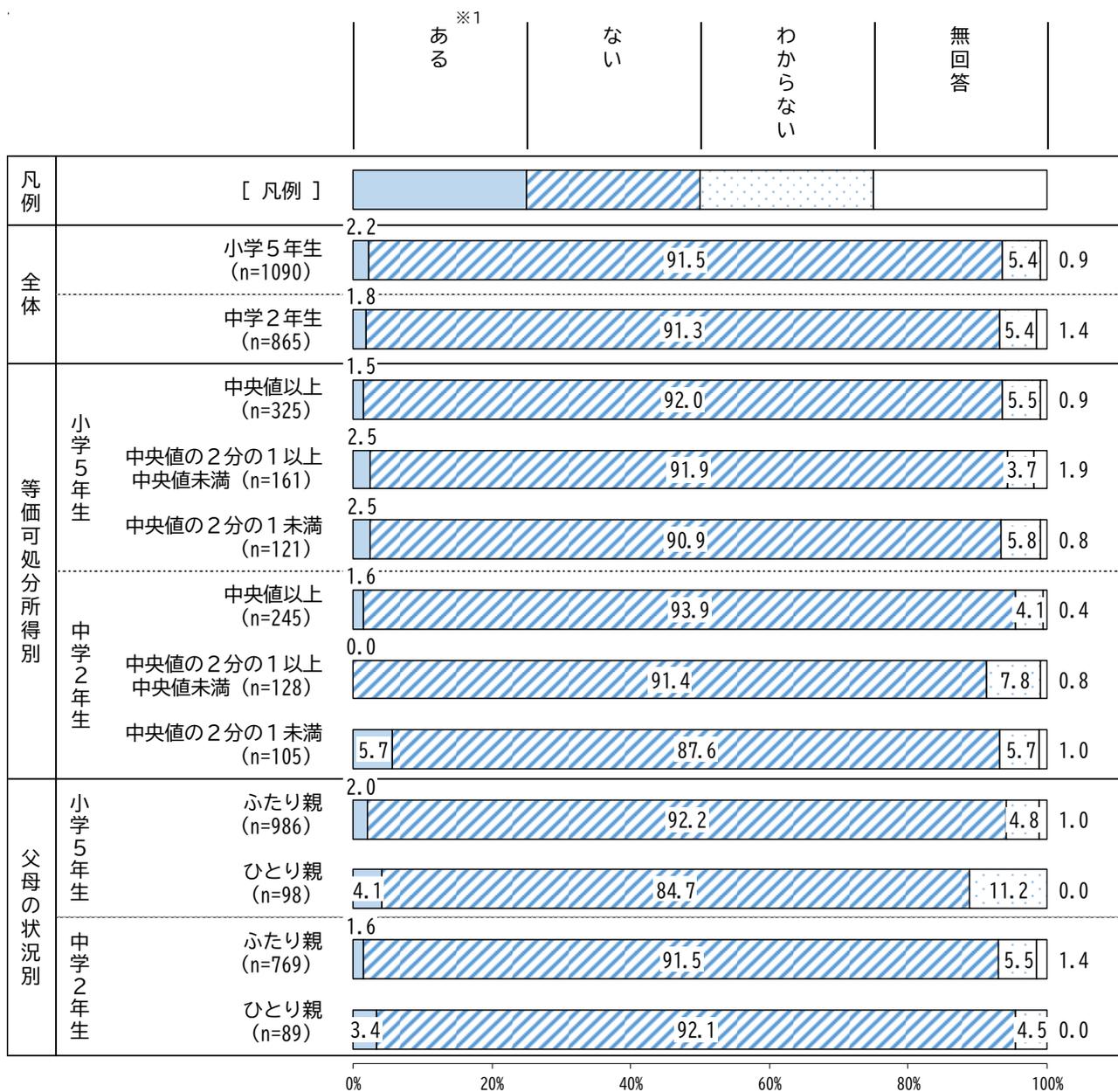
【等価可処分所得別】

- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「ない」（「当てはまらない」）が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「ない」（「当てはまらない」）が最も多くなっています。
- 小学5年生では、ひとり親は「わからない」がふたり親より6.4ポイント多く、「ない」が7.5ポイント少なくなっています。

【SNSをきっかけとする犯罪被害経験の有無】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「当てはまらない」「わからない」

(30) インターネットでの誹謗中傷・いじめの被害経験の有無

②③ あなたは、パソコンやスマートフォン等で、でたらめな悪口を言いふらされてきずついたり、いやなことをされるなどのいじめの被害にあったことがありますか。1つ、えらんでください。※1

【全体】

- 小学5年生では、「ない」が89.4%で最も多く、次いで「わからない」が6.3%、「ある」が3.6%となっています。
- 中学2年生では、「当てはまらない」が86.6%で最も多く、次いで「わからない」が7.9%、「当てはまる」が4.2%となっています。

【等価可処分所得別】

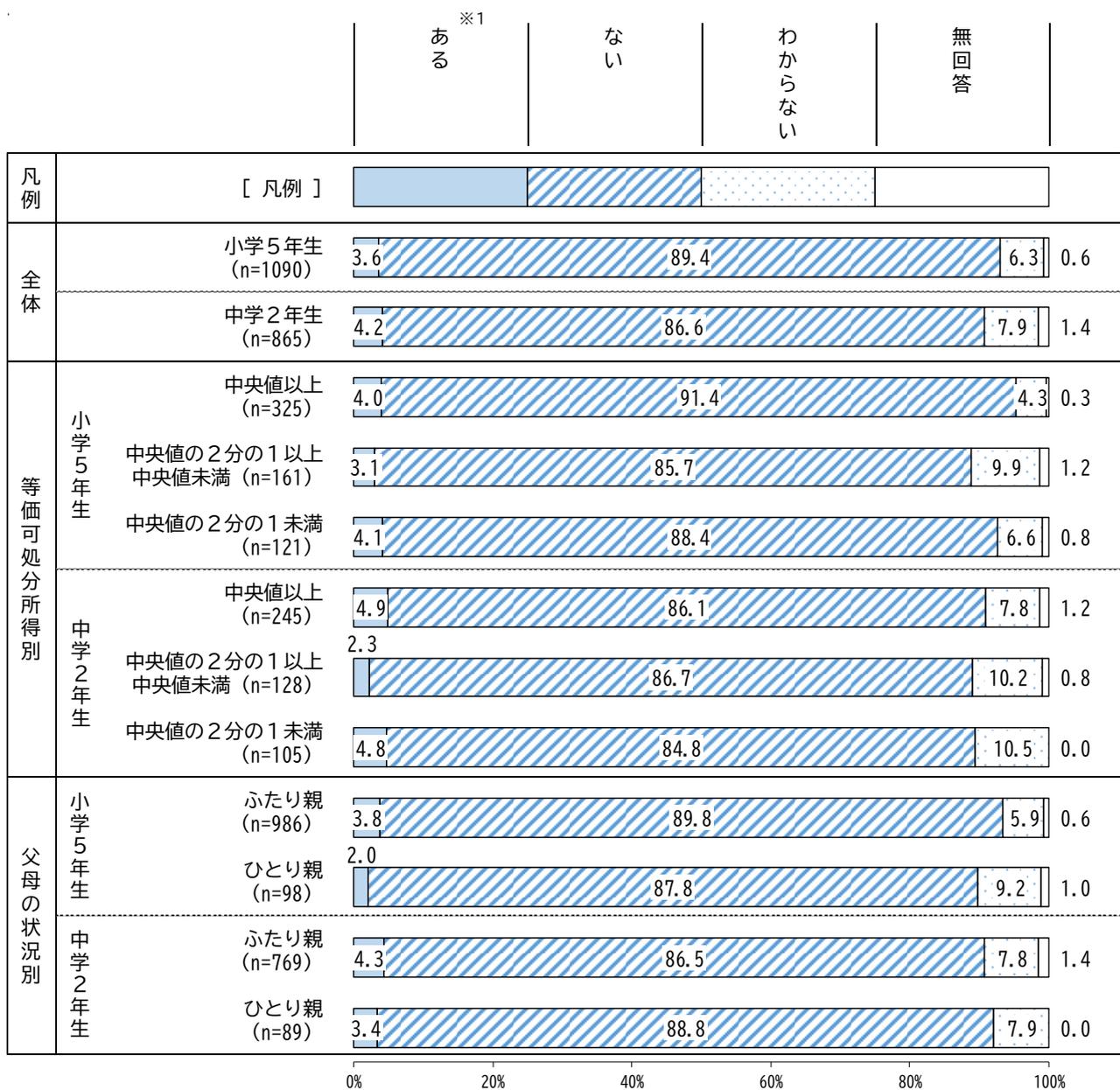
- 等価可処分所得別で見ると、いずれも「ない」（「当てはまらない」）が最も多くなっています。

【父母の状況別】

- 父母の状況別で見ると、いずれも「ない」（「当てはまらない」）が最も多くなっています。

※1 中学2年生の設問は「あなたは、パソコンやスマートフォン等でのひぼう・中傷（でたらめな悪口を言いふらされて傷つくこと）を受けたりいやなことをされるなどのいじめの被害にあったことがありますか。1つ選んでください。」

【インターネットでの誹謗中傷・いじめの被害経験の有無】



※1 中学2年生の選択肢は「当てはまる」「当てはまらない」「わからない」

4 15～39歳

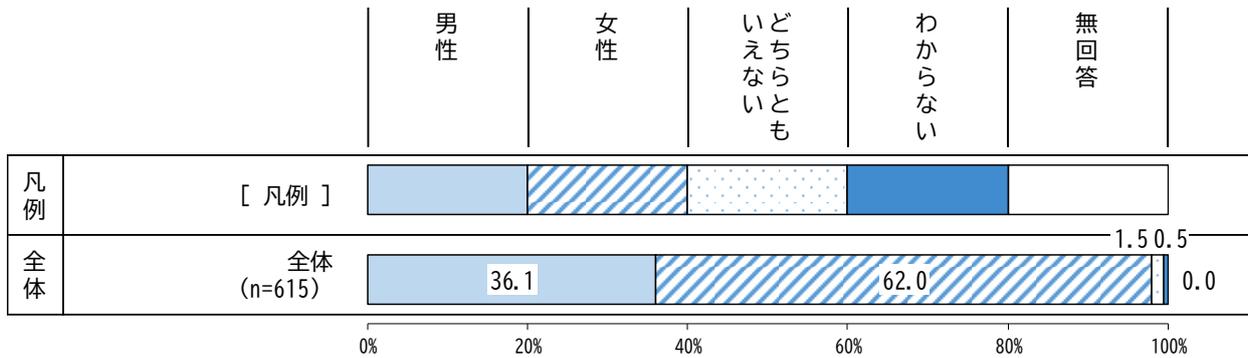
(1) 性別

① あなたに当てはまるものを1つ選んでください。

【全体】

○ 「女性」が62.0%、次いで「男性」が36.1%、「どちらともいえない」が1.5%となっています。

【性別】



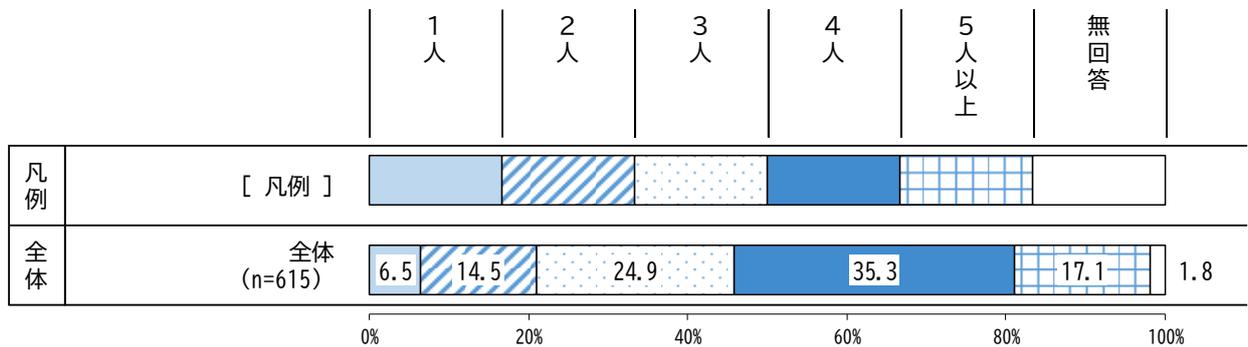
(2) 世帯人数・同居家族

② あなたを含む家族の人数を入力してください。(※数字で入力してください)

【全体】

○ 「4人」が35.3%で最も多く、次いで「3人」が24.9%、「5人以上」が17.1%となっています。

【世帯人数】



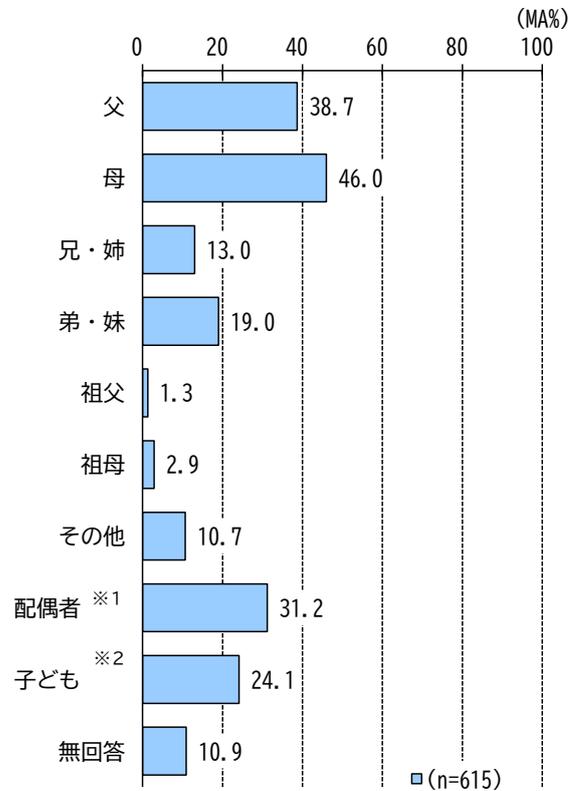
I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

一緒に住んでいる家族は誰ですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

○ 「母」が46.0%で最も多く、次いで「父」が38.7%、「配偶者」が31.2%となっています。

【同居家族】



※1、※2 「配偶者」「子ども」は選択肢に無かったが「その他」自由記述欄にて回答が多かったため抜粋し表示しています。

「その他」の内容	件数
男性	
パートナー	1
友人	1
単身赴任	1
女性	
甥姪	2
パートナー	1
その他	1
どちらともいえない	
叔父叔母	1
従兄弟	1

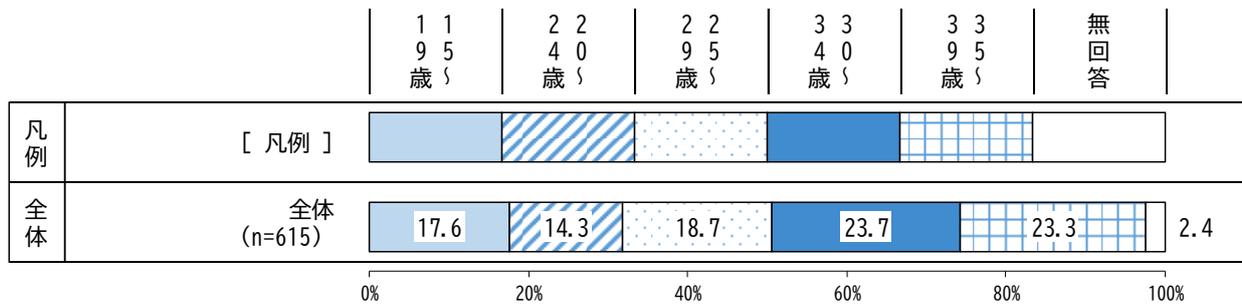
(3) 年齢

③ 年齢をお聞かせください。(※数字で入力してください)

【全体】

○ 「30～34 歳」が 23.7%で最も多く、次いで「35～39 歳」が 23.3%、「25～29 歳」が 18.7%となっています。

【年齢】



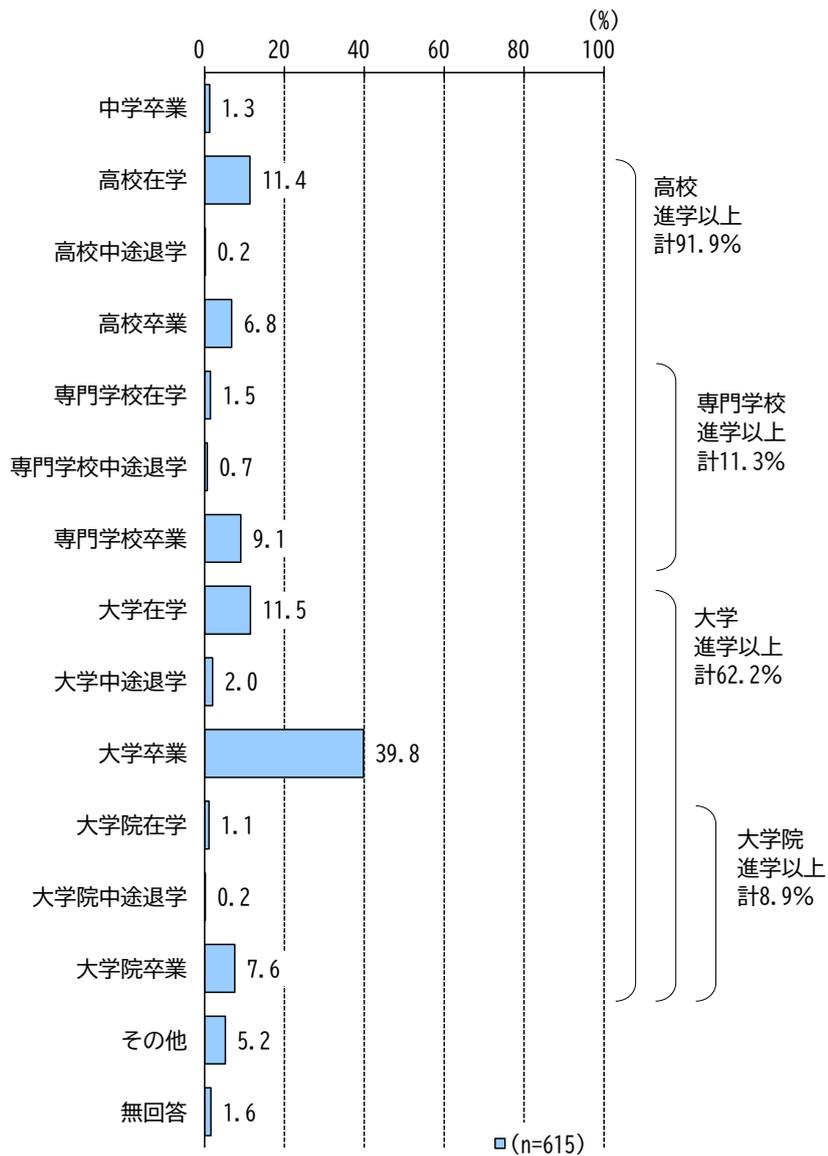
(4) 就学状況

④ あなたの現在の学歴を教えてください。

【全体】

○ 「大学卒業」が39.8%で最も多く、次いで「大学在学」が11.5%、「高校在学」が11.4%となっています。

【就学状況】



「その他」の内容	件数
男性	
短大卒	1
浪人生	1
その他	1
女性	
短大卒	12
支援学校卒	1

(5) 就業状況

⑤ あなたは、現在働いていますか。

【全体】

- 「働いている」が72.8%、「働いていない」が26.8%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「働いている」が最も多くなっています。

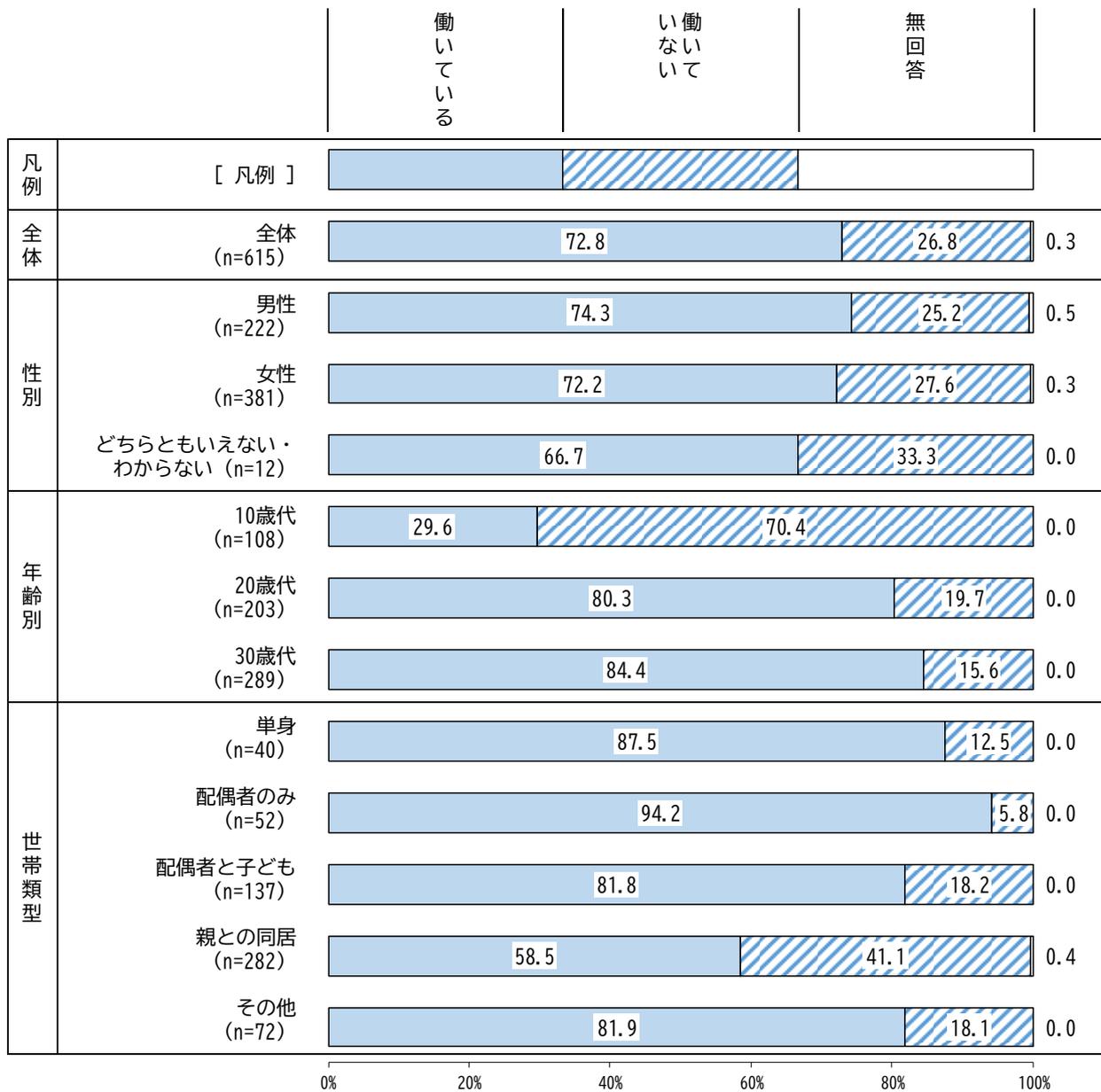
【年齢別】

- 年齢別で見ると、10歳代は「働いていない」、20・30歳代は「働いている」が最も多くなっています。
- 10歳代は「働いていない」が全体より43.6ポイント多くなっています。20・30歳代は「働いている」が全体より約10ポイント多くなっています。

【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「働いている」が最も多くなっています。
- 単身、配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「働いている」が全体より約10~20ポイント多くなっています。親との同居は「働いていない」が全体より14.3ポイント多くなっています。

【就業状況】



(6) 雇用形態

⑤-1 ⑤で「働いている」と答えた人にお聞きします。雇用形態をお聞かせください。

【全体】

- 「正規職員」が64.5%で最も多く、次いで「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」が32.4%、「自営業」が1.1%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「正規職員」が最も多くなっています。
- 男性は「正規職員」が女性より12.1ポイント多くなっています。女性は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」が男性より14.8ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10歳代は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」、20・30歳代は「正規職員」が最も多くなっています。
- 10歳代は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」が全体より61.4ポイント多くなっています。30歳代は「正規職員」が全体より9.3ポイント多くなっています。

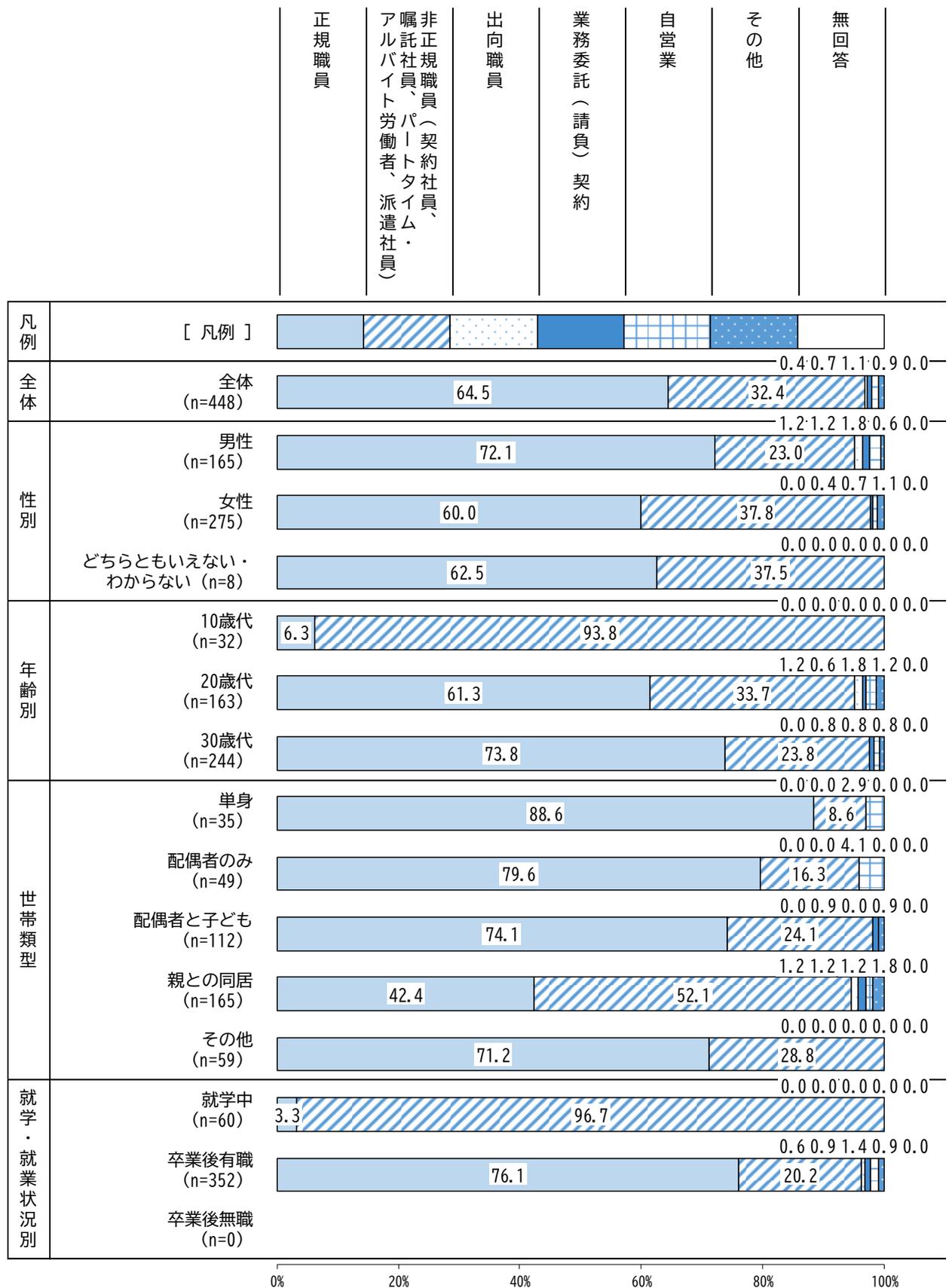
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「正規職員」、親との同居は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」が最も多くなっています。
- 単身、配偶者のみ、配偶者と子どもは「正規職員」が全体より約10～25ポイント多くなっています。親との同居は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」が全体より19.7ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」、卒業後有職は「正規職員」が最も多くなっています。
- 就学中は「非正規職員（契約社員、嘱託社員、パートタイム・アルバイト労働者、派遣社員）」が全体より64.3ポイント多くなっています。卒業後有職は「正規職員」が全体より11.6ポイント多くなっています。

【雇用形態】



「その他」の内容	件数
男性	
就労支援利用者	1
女性	
就労支援利用者	2
教員	1

(7) 収入額

前年(2024年)のあなたの手取り収入は、およそいくらでしたか。(※数字で入力してください)

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

【全体】

- 「100万円未満」が19.6%で最も多く、次いで「300万円以上400万円未満」が16.1%、「400万円以上500万円未満」が11.2%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「100万円未満」が最も多くなっています。
- 男性は「600万円以上」が女性より17.7ポイント多くなっています。女性は「100万円以上200万円未満」「200万円以上300万円未満」が男性より約5~10ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20歳代は「100万円未満」、30歳代は「400万円以上500万円未満」が最も多くなっています。
- 10歳代は「100万円未満」が全体より55.4ポイント多く、「300万円以上400万円未満」が16.1ポイント少なくなっています。20歳代は「100万円未満」が全体より6.2ポイント多くなっています。30歳代は「400万円以上500万円未満」「600万円以上」が全体より約5ポイント多くなっています。

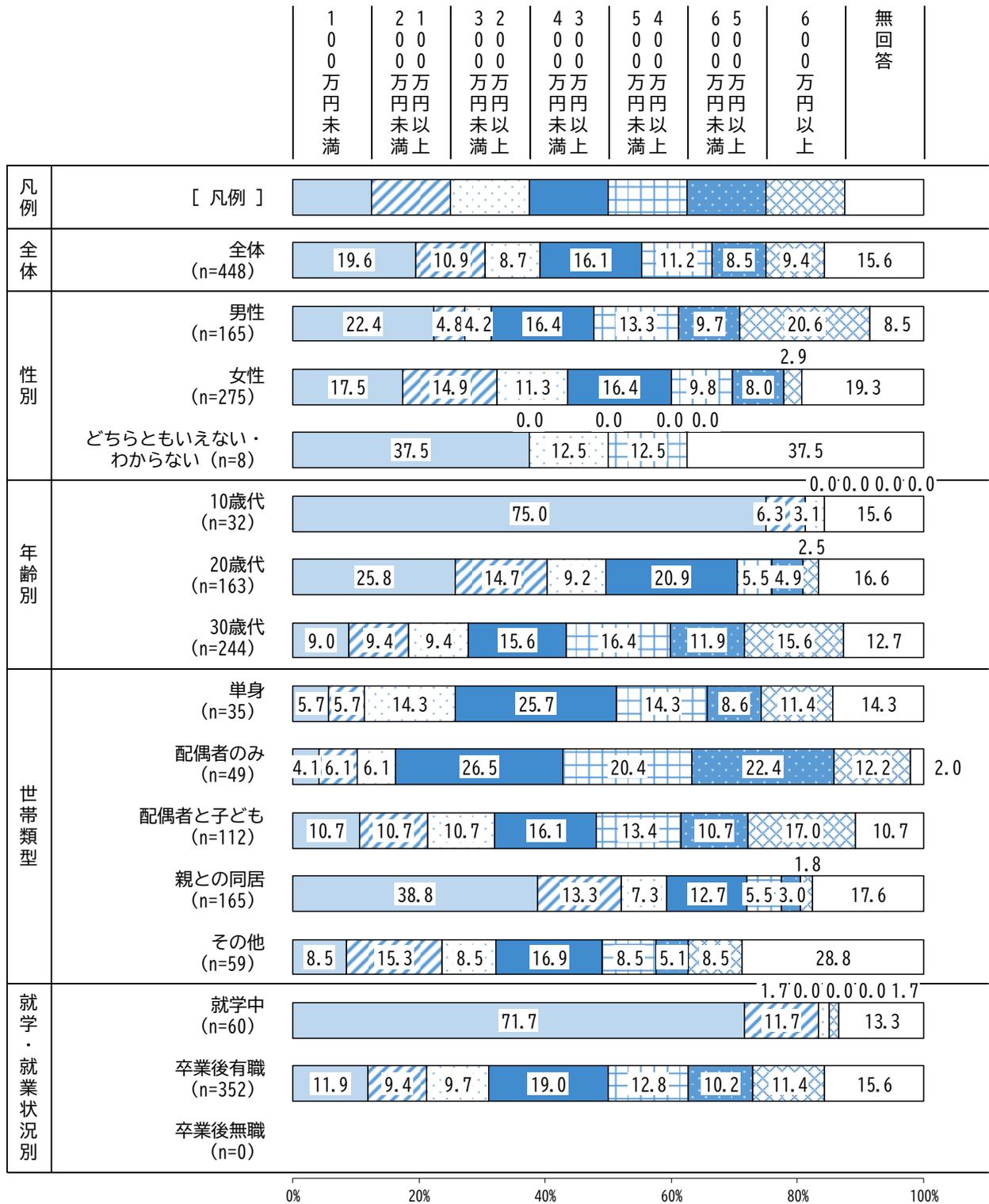
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみ、その他は「300万円以上400万円未満」、配偶者と子どもは「600万円以上」、親との同居は「100万円未満」が最も多くなっています。
- 配偶者と子どもは「600万円以上」が全体より7.6ポイント多くなっています。親との同居は「100万円未満」が全体より19.2ポイント多く、「400万円以上500万円未満」「500万円以上600万円未満」が約5ポイント少なくなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「100万円未満」、卒業後有職は「300万円以上400万円未満」が最も多くなっています。
- 就学中は「100万円未満」が全体より52.1ポイント多く、「200万円以上300万円未満」「300万円以上400万円未満」「400万円以上500万円未満」「500万円以上600万円未満」「600万円以上」が約5~15ポイント少なくなっています。

【収入額】



(8) 働いていない理由

⑤-2 ⑤で「働いていない」と答えた人にお聞きします。理由を聞かせてください。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が 58.8%で最も多く、次いで「家事、育児、介護などに専念したいため」が 16.4%、「知識・能力に自信がないため」が 12.1%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が最も多くなっています。
- 男性は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が女性より 33.7 ポイント多くなっています。女性は「家事、育児、介護などに専念したいため」「家事、育児、介護などで働く時間がないため」が男性より約 15~20 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20歳代は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」、30歳代は「家事、育児、介護などに専念したいため」が最も多くなっています。
- 10歳代は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が全体より 33.3 ポイント多く、「家事、育児、介護などで働く時間がないため」が 10.3 ポイント少なくなっています。30歳代は「家事、育児、介護などに専念したいため」が全体より 30.3 ポイント多くなっています。

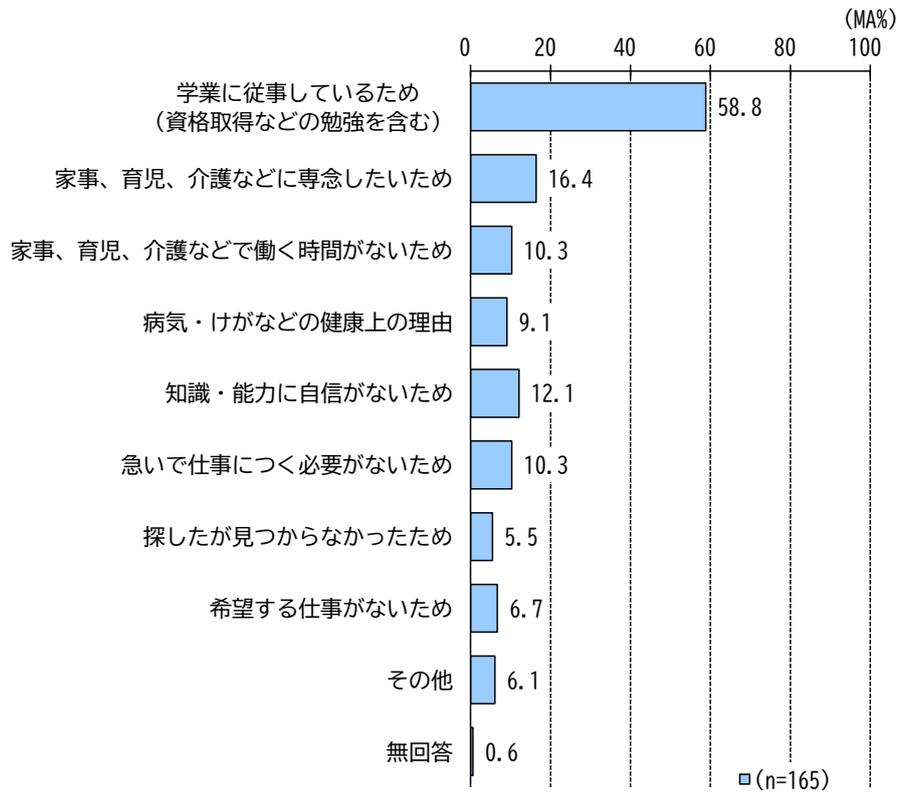
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみは「病気・けがなどの健康上の理由」、配偶者と子ども、その他は「家事、育児、介護などに専念したいため」、親との同居は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が最も多くなっています。
- 親との同居は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が全体より 24.0 ポイント多く、「家事、育児、介護などに専念したいため」が 13.0 ポイント少なくなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」、卒業後無職は「家事、育児、介護などに専念したいため」が最も多くなっています。
- 就学中は「学業に従事しているため（資格取得などの勉強を含む）」が全体より 36.0 ポイント多くなっています。卒業後無職は「家事、育児、介護などに専念したいため」「家事、育児、介護などで働く時間がないため」「病気・けがなどの健康上の理由」が全体より約 10~20 ポイント多くなっています。

【働いていない理由】



単位：MA%

		母数 (n)	働いていない理由									
			学業に従事しているため (資格取得などの勉強を含む)	家事、育児、介護などに専念したいため	家事、育児、介護などで働く時間がないため	病気・けがなどの健康上の理由	知識・能力に自信がないため	急いで仕事につく必要がないため	探したが見つからなかったため	希望する仕事がないため	その他	無回答
全体		165	58.8	16.4	10.3	9.1	12.1	10.3	5.5	6.7	6.1	0.6
性別	男性	56	80.4	1.8	-	5.4	12.5	8.9	3.6	5.4	8.9	-
	女性	105	46.7	23.8	16.2	10.5	11.4	11.4	6.7	7.6	4.8	1.0
	どちらともいえない・わからない	4	75.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-
年齢別	10歳代	76	92.1	1.3	-	5.3	14.5	11.8	3.9	3.9	2.6	-
	20歳代	40	57.5	10.0	2.5	10.0	12.5	5.0	5.0	10.0	7.5	-
	30歳代	45	4.4	46.7	35.6	15.6	8.9	13.3	8.9	8.9	8.9	2.2
世帯 類型	単身	5	20.0	-	-	60.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
	配偶者のみ	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	配偶者と子ども	25	-	60.0	40.0	-	4.0	16.0	4.0	4.0	8.0	4.0
	親との同居	116	82.8	3.4	1.7	6.9	12.9	8.6	4.3	6.0	5.2	-
その他	13	-	53.8	38.5	-	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	-	
就学・ 就業 状況別	就学中	97	94.8	3.1	-	3.1	10.3	8.2	2.1	3.1	1.0	-
	卒業後有職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	卒業後無職	64	6.3	37.5	26.6	17.2	15.6	14.1	10.9	12.5	10.9	1.6

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
男性	
求職中	1
就労支援を利用している	1
障がい・病気のため就労が困難	1
その他	1
女性	
育児休業中	2
就労支援を利用している	1
その他	2

(9) 困っていることや悩んでいることの有無

⑥ あなたには、困っていることや悩んでいることがありますか。

【全体】

- 「当てはまる」が31.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまる」が30.1%、「当てはまらない」が19.3%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は61.6%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は37.7%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性、どちらともいえない・わからないは「当てはまる」、女性は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10歳代は「当てはまらない」、20歳代は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」、30歳代は「当てはまる」が最も多くなっています。
- 10歳代は「当てはまらない」が全体より17.7ポイント多くなっています。30歳代は「当てはまる」が全体より6.9ポイント多くなっています。

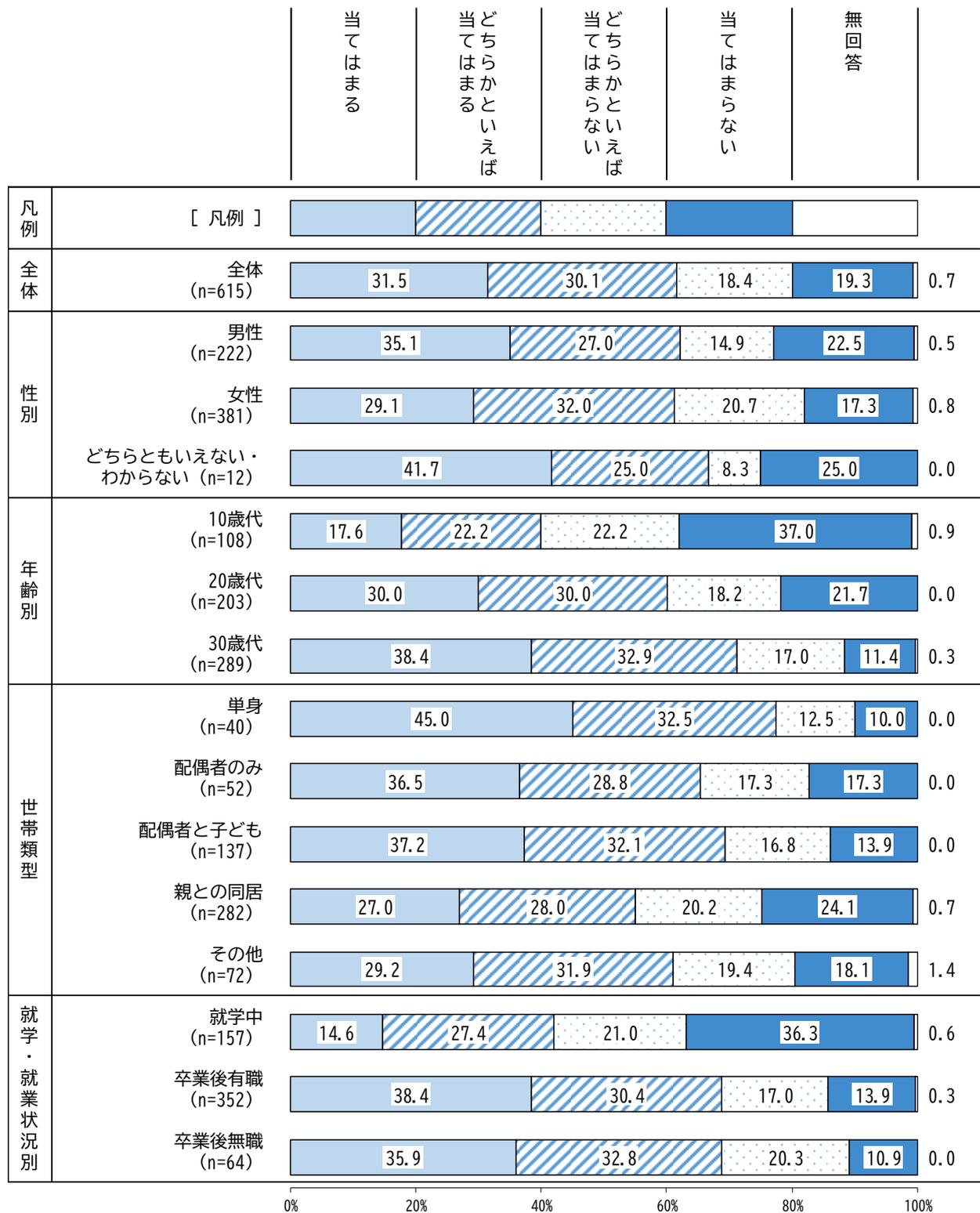
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみ、配偶者と子どもは「当てはまる」、親との同居、その他は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「当てはまらない」、卒業後有職、卒業後無職は「当てはまる」が最も多くなっています。
- 就学中は「当てはまらない」が全体より17.0ポイント多くなっています。卒業後有職は「当てはまる」が全体より6.9ポイント多くなっています。

【困っていることや悩んでいることの有無】



(10) 困っていることや悩んでいること

- ⑥-1 ⑥で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた人にお聞きします。
それは、どんな内容ですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「仕事のこと」が 52.2%で最も多く、次いで「その他」が 29.3%、「家族の世話や家事が忙しい」が 20.6%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性、女性は「仕事のこと」、どちらともいえない・わからないは「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が最も多くなっています。
- 男性は「親のこと（親と仲が悪い、親が怒る、親の注意がうるさいなど）」「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が女性より約 5~10 ポイント少なくなっています。女性は「家族の世話や家事が忙しい」が男性より 13.9 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、10 歳代は「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績が良くないなど）」、20・30 歳代は「仕事のこと」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「生活習慣のこと（夜ふかしをしてしまうなど）」「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が全体より約 20 ポイント多くなっています。20 歳代は「仕事のこと」が全体より 10.9 ポイント多くなっています。30 歳代は「家族の世話や家事が忙しい」「その他」が全体より約 5~10 ポイント多く、「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績が良くないなど）」が 6.2 ポイント少なくなっています。

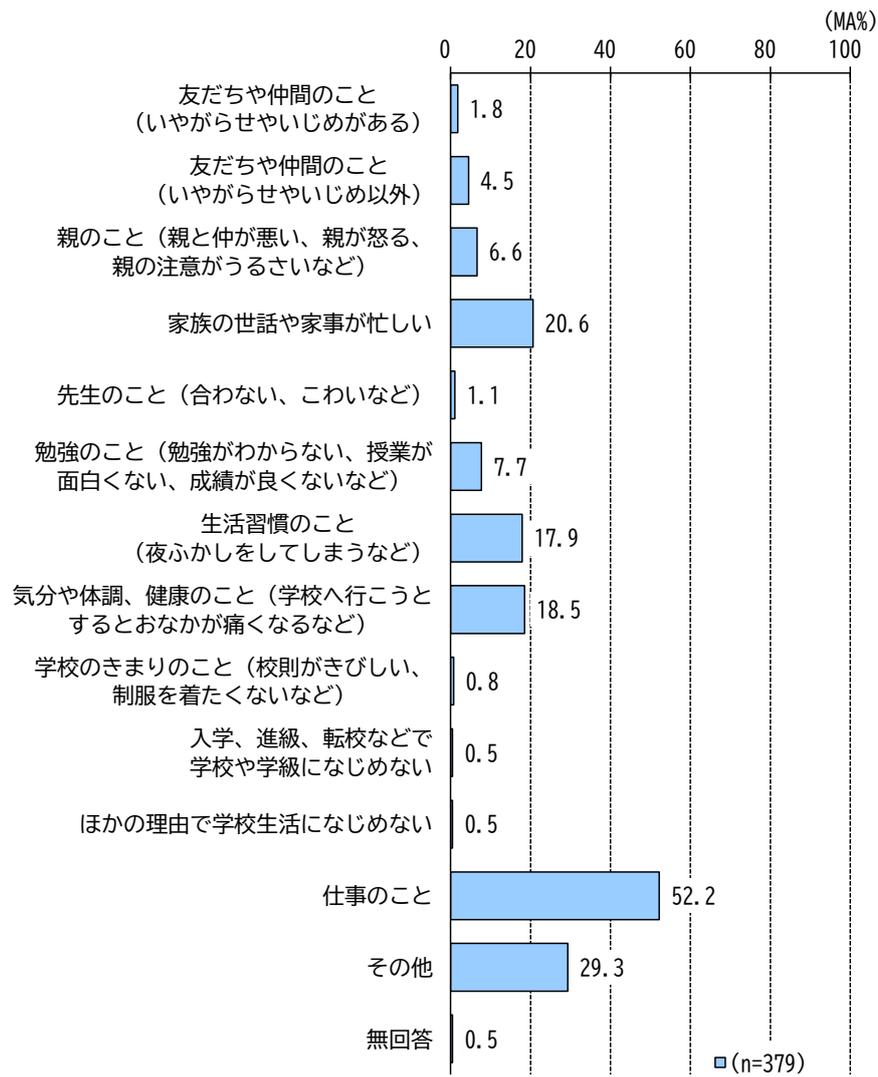
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居は「仕事のこと」、その他は「その他」が最も多くなっています。
- 配偶者のみは「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が全体より 8.0 ポイント多くなっています。配偶者と子どもは「家族の世話や家事が忙しい」が全体より 29.9 ポイント多くなっています。親との同居は「親のこと（親と仲が悪い、親が怒る、親の注意がうるさいなど）」「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績が良くないなど）」「生活習慣のこと（夜ふかしをしてしまうなど）」「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が全体より約 5~10 ポイント多くなっています。その他は「家族の世話や家事が忙しい」「その他」が全体より約 15~25 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、就学中は「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績が良くないなど）」、「生活習慣のこと（夜ふかしをしてしまうなど）」、「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」、卒業後有職、卒業後無職は「仕事のこと」が最も多くなっています。
- 就学中は「勉強のこと（勉強がわからない、授業が面白くない、成績が良くないなど）」「生活習慣のこと（夜ふかしをしてしまうなど）」「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」が全体より約 20~30 ポイント多く、「その他」が 12.6 ポイント少なくなっています。卒業後有職は「仕事のこと」が全体より 12.3 ポイント多くなっています。卒業後無職は「家族の世話や家事が忙しい」が全体より 18.0 ポイント多くなっています。

【困っていることや悩んでいること】



単位：MA%

		母数 (n)	困っていることや悩んでいること						
			せや だち いじ めが ある (い や が ら)	友 だち や 仲 間 の こ と (い や が ら 以 外)	怒 る こ と (親 の 注 意 が う る さ い な ど)	親 の こ と (親 と 仲 が 悪 い 、 親 が 怒 る 、 親 の 注 意 が う る さ い な ど)	家 族 の 世 話 や 家 事 が 忙 し い	な ら ず 先 生 の こ と (合 わ な い 、 こ わ い な ど)	良 く な い 授 業 が 面 白 く な い な ど)
全体		379	1.8	4.5	6.6	20.6	1.1	7.7	17.9
性別	男性	138	0.7	2.2	2.9	12.3	0.7	7.2	15.2
	女性	233	2.6	5.2	8.6	26.2	0.9	7.7	19.3
	どちらともいえない・わからない	8	-	25.0	12.5	-	12.5	12.5	25.0
年齢別	10歳代	43	9.3	23.3	11.6	4.7	7.0	46.5	39.5
	20歳代	122	0.8	2.5	9.0	9.8	-	4.9	18.0
	30歳代	206	0.5	1.5	4.4	31.1	0.5	1.5	13.6
世帯 類型	単身	31	-	-	6.5	-	-	-	19.4
	配偶者のみ	34	-	-	5.9	14.7	-	5.9	17.6
	配偶者と子ども	95	1.1	-	-	50.5	1.1	-	5.3
	親との同居	155	3.2	9.0	11.6	4.5	1.9	16.8	27.7
その他	44	-	2.3	6.8	34.1	-	2.3	4.5	
就学・ 就業 状況別	就学中	66	7.6	16.7	7.6	4.5	4.5	36.4	36.4
	卒業後有職	242	0.4	1.2	5.8	22.3	0.4	1.2	14.5
	卒業後無職	44	2.3	6.8	9.1	38.6	-	2.3	20.5

単位：MA%

		母数 (n)	困っていることや悩んでいること						
			な ら ず 入 学 の こ と (体 調 や 健 康 の こ と が 痛 く な る な ど)	気 分 や 体 調 、 健 康 の こ と が 痛 く な る な ど)	ど し も の き り な い な ど)	学 校 の き り な い な ど)	学 級 に な じ め な い な ど)	入 学 、 進 級 、 転 校 な ど で 学 校 や 学 級 に な じ め な い な ど)	ほ の お か の 理 由 で 学 校 生 活 に な じ め な い な ど)
全体		379	18.5	0.8	0.5	0.5	52.2	29.3	0.5
性別	男性	138	12.3	-	-	0.7	56.5	34.1	0.7
	女性	233	20.6	1.3	0.9	0.4	50.2	26.2	0.4
	どちらともいえない・わからない	8	62.5	-	-	-	37.5	37.5	-
年齢別	10歳代	43	37.2	7.0	4.7	-	4.7	11.6	-
	20歳代	122	18.0	-	-	1.6	63.1	24.6	0.8
	30歳代	206	15.5	-	-	-	56.3	35.0	0.5
世帯 類型	単身	31	16.1	-	-	-	67.7	32.3	-
	配偶者のみ	34	26.5	-	-	-	58.8	32.4	-
	配偶者と子ども	95	10.5	-	-	-	52.6	30.5	2.1
	親との同居	155	25.8	1.9	1.3	1.3	49.0	22.6	-
その他	44	6.8	-	-	-	38.6	54.5	-	
就学・ 就業 状況別	就学中	66	36.4	4.5	3.0	3.0	12.1	16.7	-
	卒業後有職	242	14.5	-	-	-	64.5	32.2	0.4
	卒業後無職	44	20.5	-	-	-	40.9	34.1	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
男性	
経済的な悩み	20
子育てのこと	7
将来への不安	7
仕事に関する悩み	2
恋愛に関する悩み	2
健康・病気について	1
妊娠・出産のこと	1
公衆衛生	1
その他	2
女性	
経済的な悩み	18
子育てのこと	9
仕事に関する悩み	8
将来への不安	8
妊娠・出産のこと	6
家庭内の悩み	2
健康・病気について	2
恋愛に関する悩み	2
学校生活に関すること	1
公衆衛生	1
どちらともいえない	
恋愛に関する悩み	1

(11) つらいときや不安なときに助けてくれる人の有無

⑦ あなたは、つらいときや不安なときは「どこかに助けてくれる人がいる」と思っていますか。

【全体】

- 「そう思う」が 49.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.8%、「どちらかといえばそう思わない」が 8.0%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 85.2%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 11.1%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

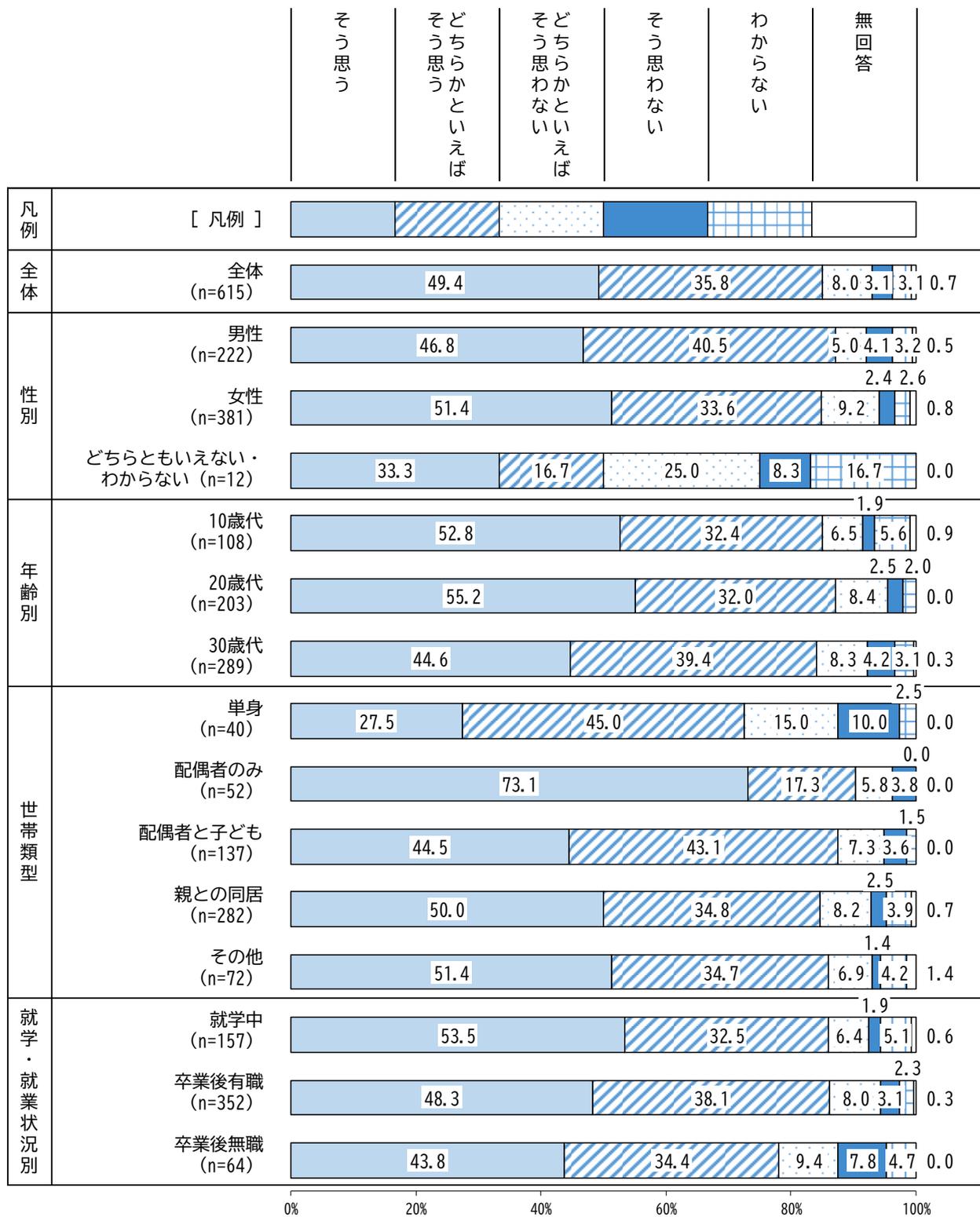
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身は「どちらかといえばそう思う」、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居、その他は「そう思う」が最も多くなっています。
- 単身、配偶者と子どもは「どちらかといえばそう思う」が全体より約 5~10 ポイント多くなっています。配偶者のみは「そう思う」が全体より 23.7 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【つらいときや不安なときに助けてくれる人の有無】



(12) つらいときや不安なときに助けてくれる人

- ⑦-1 ⑦で「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えた人にお聞きします。
それは、どんな人ですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「家族」が 88.5%で最も多く、次いで「学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」が 35.9%、「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が 21.0%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 男性は「先輩や後輩」が女性より 6.6 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」「学校の先生」が全体より約 20~25 ポイント多く、「家族」が 7.0 ポイント少なくなっています。30 歳代は「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が全体より 5.3 ポイント多くなっています。

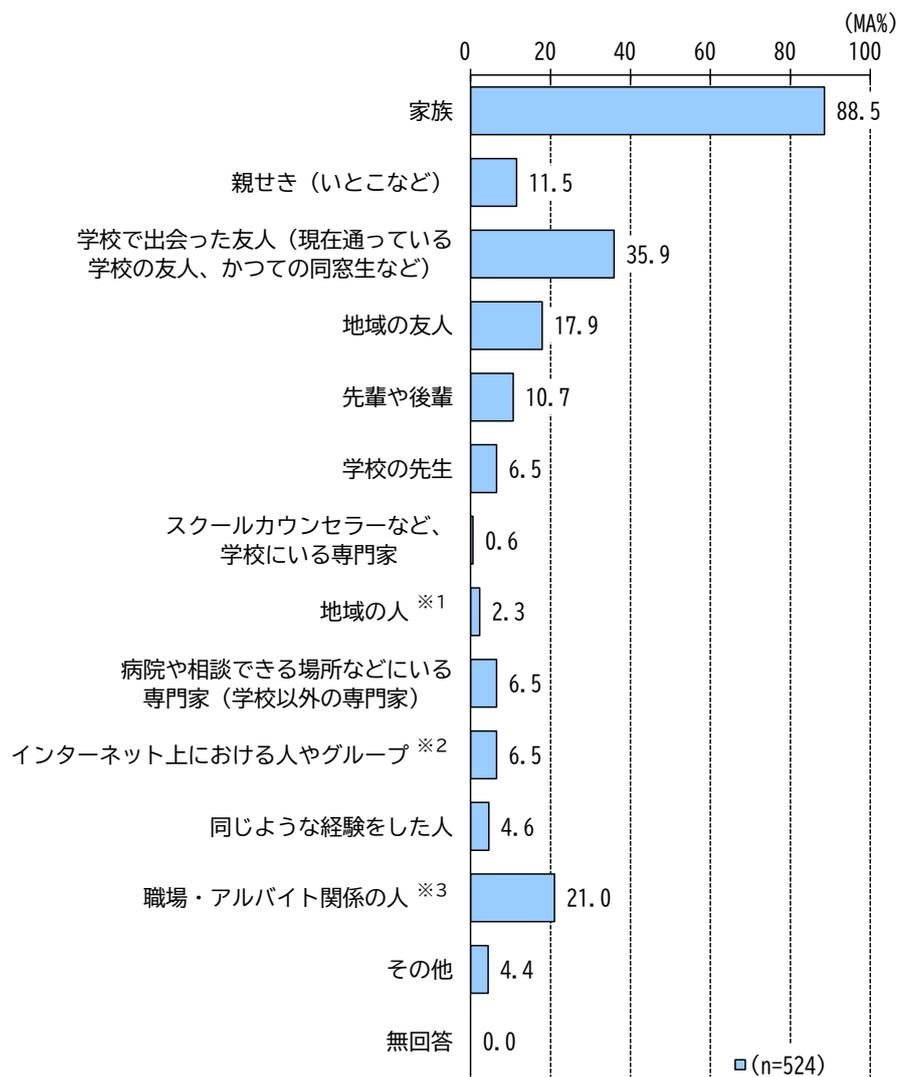
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 配偶者のみは「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が全体より 10.9 ポイント多くなっています。配偶者と子どもは「家族」「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が全体より約 10 ポイント多くなっています。親との同居は「学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」「地域の友人」「学校の先生」が全体より約 5~15 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、いずれも「家族」が最も多くなっています。
- 就学中は「学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」「学校の先生」が全体より約 15~25 ポイント多くなっています。卒業後有職は「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」が全体より 6.3 ポイント多くなっています。

【つらいときや不安なときに助けてくれる人】



- ※1 調査票上の選択肢は「地域の人 (近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など)」
- ※2 調査票上の選択肢は「インターネット上における人やグループ (実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)」
- ※3 調査票上の選択肢は「職場・アルバイト関係の人 (現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など)」

単位：MA%

		母数 (n)	つらいときや不安なときに助けてくれる人						
			家族	親せき (いとこなど)	通つての 同窓生など	学校で出 会った友 人の友人 (現か)	地 域の 友人	先 輩 や 後 輩	学 校 の 先 生
全体		524	88.5	11.5	35.9	17.9	10.7	6.5	0.6
性別	男性	194	85.6	11.9	35.1	18.6	14.9	7.2	0.5
	女性	324	90.4	11.4	36.4	17.6	8.3	6.2	0.6
	どちらともいえない・わからない	6	83.3	-	33.3	16.7	-	-	-
年齢別	10歳代	92	81.5	13.0	59.8	25.0	15.2	26.1	2.2
	20歳代	177	86.4	9.6	40.7	20.3	11.3	4.0	0.6
	30歳代	243	92.6	12.3	23.9	14.0	9.1	1.2	-
世帯 類型	単身	29	65.5	6.9	44.8	13.8	17.2	-	-
	配偶者のみ	47	95.7	8.5	29.8	4.3	8.5	-	-
	配偶者と子ども	120	97.5	15.0	20.0	17.5	9.2	1.7	-
	親との同居	239	84.1	10.9	49.0	23.8	12.1	12.6	1.3
	その他	62	93.5	11.3	24.2	12.9	6.5	1.6	-
就学・ 就業 状況別	就学中	135	83.7	8.9	61.5	24.4	11.9	21.5	2.2
	卒業後有職	304	91.1	13.2	26.0	15.8	9.5	1.3	-
	卒業後無職	50	86.0	12.0	28.0	16.0	12.0	2.0	-

単位：MA%

		母数 (n)	つらいときや不安なときに助けてくれる人						
			地 域 の 人	専 門 家 (学 校 以 外 の)	病 院 や 相 談 所 な ど	人 や グ ル ー プ に お け る	同 じ よ う な 経 験 を し た 人	職 場 ・ ア ル バ イ ト 関 係 の 人	そ の 他
全体		524	2.3	6.5	6.5	4.6	21.0	4.4	-
性別	男性	194	3.1	5.7	5.7	6.7	18.6	2.6	-
	女性	324	1.9	6.8	6.8	3.1	22.5	5.6	-
	どちらともいえない・わからない	6	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-
年齢別	10歳代	92	2.2	4.3	5.4	7.6	4.3	1.1	-
	20歳代	177	1.1	5.1	8.5	5.6	23.2	7.3	-
	30歳代	243	3.3	8.6	5.8	2.9	26.3	3.7	-
世帯 類型	単身	29	-	6.9	6.9	3.4	27.6	10.3	-
	配偶者のみ	47	2.1	10.6	8.5	2.1	31.9	-	-
	配偶者と子ども	120	6.7	5.8	5.8	4.2	31.7	0.8	-
	親との同居	239	1.3	5.4	7.9	6.7	14.6	5.4	-
	その他	62	-	8.1	3.2	1.6	12.9	6.5	-
就学・ 就業 状況別	就学中	135	1.5	3.7	5.2	7.4	4.4	2.2	-
	卒業後有職	304	2.6	6.3	7.9	3.6	27.3	4.3	-
	卒業後無職	50	4.0	16.0	4.0	4.0	14.0	10.0	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
男性	
恋人	1
友人	1
就労支援者	1
生活支援者	1
女性	
恋人	7
友人	2
配偶者	1
推し	1

(13) どのような人に助けてもらいたいのか

- ⑦-2 ⑦で「どちらかといえばそう思わない・そう思わない」と答えた人にお聞きします。
 どんな人に助けてもらいたいですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「家族」が 32.4%で最も多く、次いで「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」が 29.4%、「同じような経験をした人」「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」が 20.6%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性は「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」、女性は「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」、どちらともいえない・わからないは「家族」、「インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）」、「同じような経験をした人」、「職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）」、「わからない」が最も多くなっています。
- 女性は「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」が男性より 35.9 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、10 歳代は「学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」、20 歳代は「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」、30 歳代は「家族」が最も多くなっています。

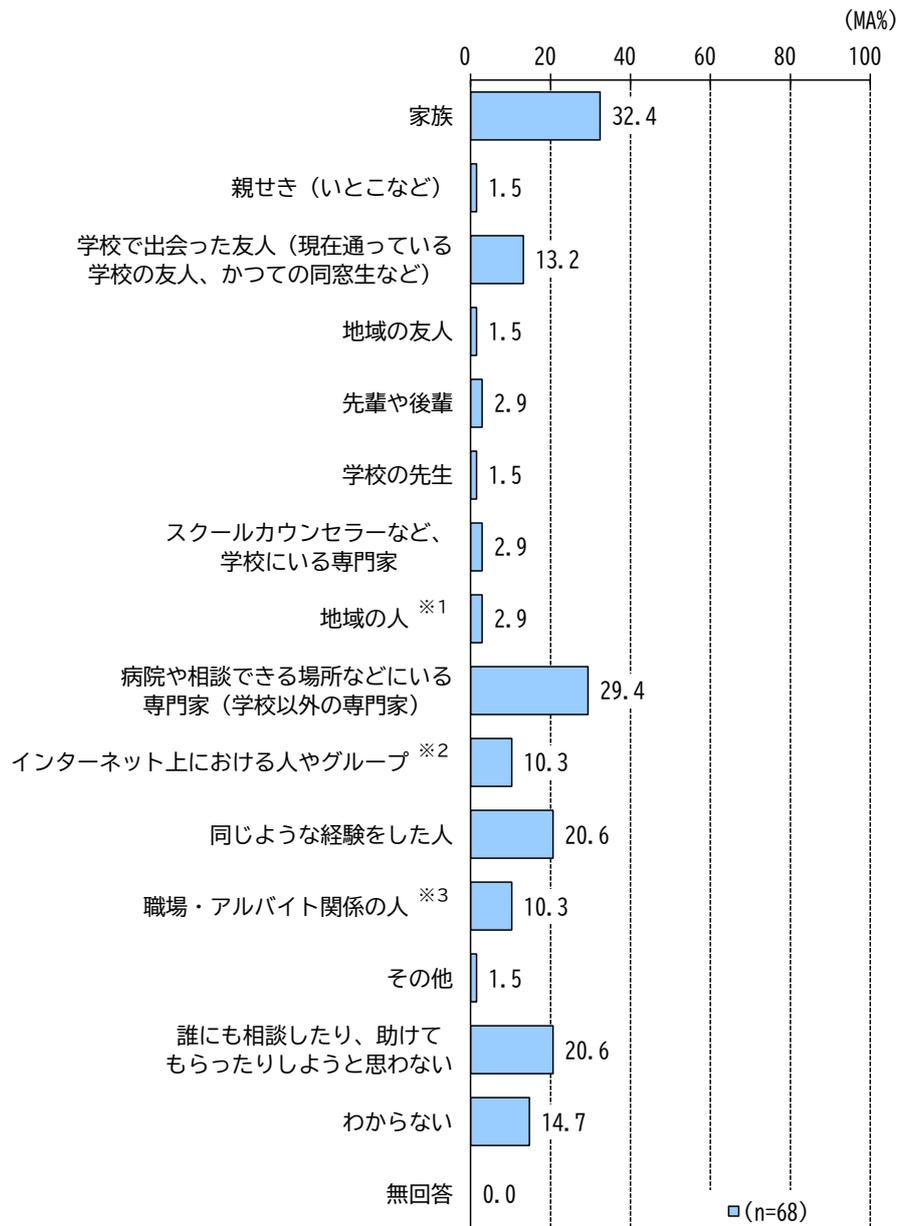
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身、親との同居は「家族」と「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」、配偶者のみは「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」、配偶者と子ども、その他は「家族」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、就学中は「家族」と「学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」、卒業後有職、卒業後無職は「病院や相談できる場所などにいる専門家（学校以外の専門家）」が最も多くなっています。

【どのような人に助けてもらいたいか】



※1 調査票上の選択肢は「地域の人 (近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加している NPO 法人など)」

※2 調査票上の選択肢は「インターネット上における人やグループ (実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)」

※3 調査票上の選択肢は「職場・アルバイト関係の人 (現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など)」

単位：MA%

	母数 (n)	どのような人に助けてもらいたい							
		家族	親せき（いとこなど）	通つての同窓生など	学校で出会った友人（現職か）	地域の友人	先輩や後輩	学校の先生	ど、スクールカウンスラーな
全体	68	32.4	1.5	13.2	1.5	2.9	1.5	2.9	2.9
性別	男性	20	35.0	-	-	5.0	-	5.0	-
	女性	44	29.5	2.3	18.2	-	4.5	2.3	4.5
	どちらともいえない・わからない	4	50.0	-	25.0	-	-	-	-
年齢別	10歳代	9	33.3	11.1	44.4	-	22.2	11.1	11.1
	20歳代	22	31.8	-	4.5	4.5	-	-	4.5
	30歳代	36	30.6	-	11.1	-	-	2.8	-
世帯 類型	単身	10	40.0	-	10.0	-	-	-	-
	配偶者のみ	5	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者と子ども	15	40.0	-	20.0	-	-	-	-
	親との同居	30	30.0	3.3	16.7	3.3	6.7	3.3	6.7
	その他	6	50.0	-	-	-	-	-	-
就学・ 就業 状況別	就学中	13	38.5	7.7	38.5	-	15.4	7.7	7.7
	卒業後有職	39	25.6	-	7.7	2.6	-	2.6	-
	卒業後無職	11	36.4	-	9.1	-	-	-	9.1

単位：MA%

	母数 (n)	どのような人に助けてもらいたい							
		専門家に 病院や 専門家が （学 校場 所外 など）	人や インタ ネット 上にお ける	同じ よう な経 験を した 人	職 場・ アル バ イト 関係 の人	そ の 他	いも 誰ら つも たり たり し よう と 思 わ な て	わ か ら な い	無 回 答
全体	68	29.4	10.3	20.6	10.3	1.5	20.6	14.7	-
性別	男性	20	5.0	-	10.0	10.0	5.0	40.0	15.0
	女性	44	40.9	11.4	22.7	6.8	-	13.6	11.4
	どちらともいえない・わからない	4	25.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0
年齢別	10歳代	9	11.1	22.2	33.3	11.1	-	11.1	22.2
	20歳代	22	36.4	9.1	18.2	9.1	-	27.3	4.5
	30歳代	36	27.8	8.3	19.4	11.1	2.8	19.4	19.4
世帯 類型	単身	10	40.0	10.0	10.0	10.0	-	30.0	-
	配偶者のみ	5	100.0	-	40.0	-	-	-	-
	配偶者と子ども	15	6.7	13.3	26.7	13.3	-	20.0	20.0
	親との同居	30	30.0	10.0	16.7	10.0	3.3	20.0	20.0
	その他	6	16.7	-	16.7	-	-	33.3	16.7
就学・ 就業 状況別	就学中	13	7.7	15.4	23.1	15.4	-	7.7	23.1
	卒業後有職	39	33.3	7.7	15.4	10.3	-	30.8	15.4
	卒業後無職	11	54.5	18.2	27.3	-	9.1	9.1	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
男性	
専門家	1

(14) しあわせだと感じているか

⑧ あなたは今、しあわせですか。

【全体】

- 「当てはまる」が47.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまる」が41.6%、「どちらかといえば当てはまらない」が5.9%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は88.9%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は10.5%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性、女性は「当てはまる」、どちらともいえない・わからないは「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、いずれも「当てはまる」が最も多くなっています。

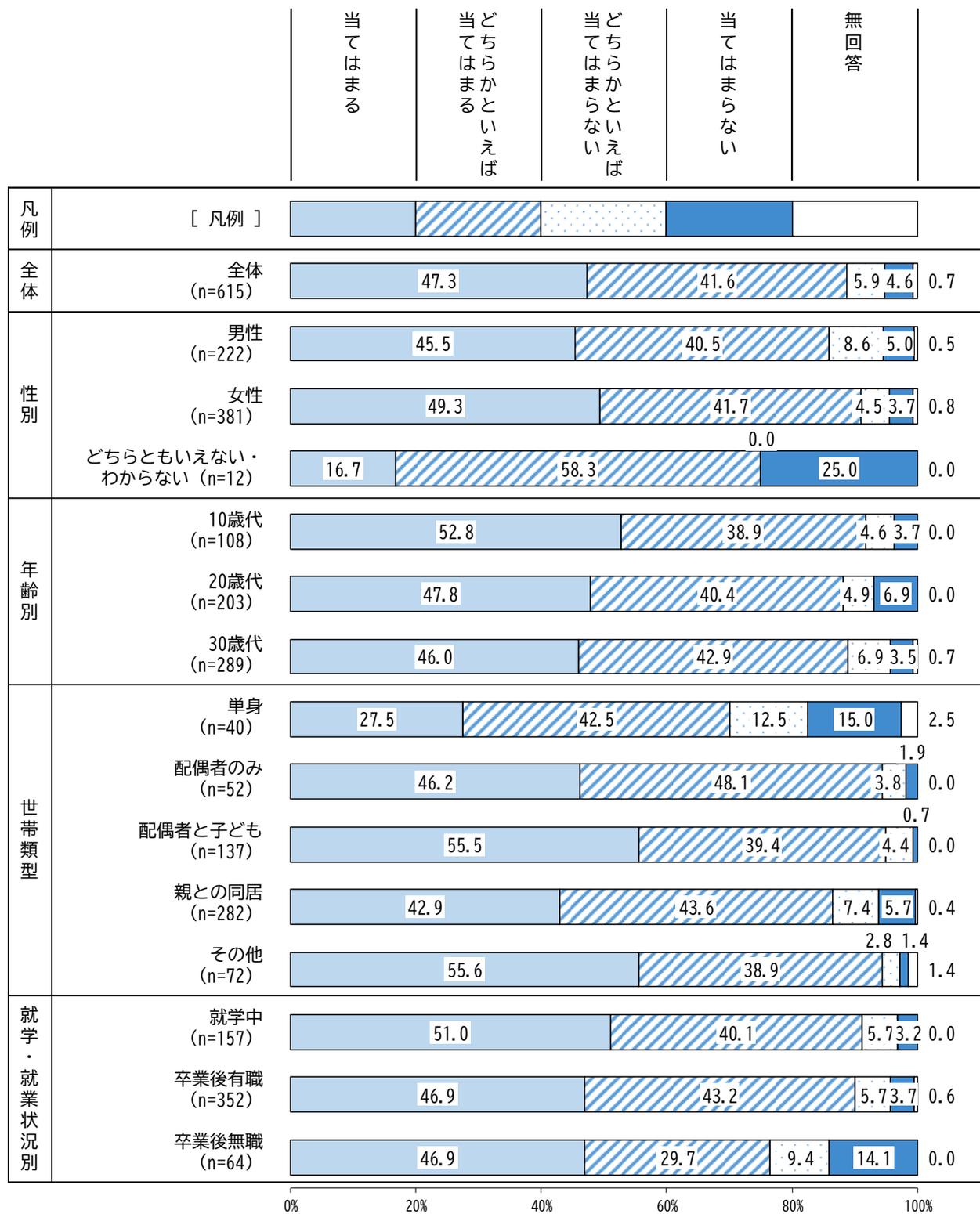
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみ、親との同居は「どちらかといえば当てはまる」、配偶者と子ども、その他は「当てはまる」が最も多くなっています。
- 配偶者と子ども、その他は「当てはまる」が全体より約10ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、いずれも「当てはまる」が最も多くなっています。

【しあわせだと感じているか】



(15) どんなときにしあわせだと感じるか

- ⑧-1 ⑧で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた人にお聞きします。
 どんなときにしあわせと感じますか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」が 67.3%で最も多く、次いで「家族関係がいいとき」が 60.9%、「心やからだが元気なとき」が 59.2%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」が最も多くなっています。
- 男性は「趣味のことをしている時間」が女性より 10.1 ポイント多くなっています。女性は「心やからだが元気なとき」「家族関係がいいとき」が男性より約 10 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20 歳代は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」、30 歳代は「家族関係がいいとき」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「毎日学校に行くことができているとき」「学校生活が楽しいとき」「趣味のことをしている時間」「友だち関係がいいとき」が全体より約 15~35 ポイント多くなっています。20 歳代は「趣味のことをしている時間」が全体より 8.7 ポイント多くなっています。30 歳代は「心やからだが元気なとき」「家族関係がいいとき」「仕事が安定しているとき」「仕事にやりがいがあるとき」が全体より約 5~15 ポイント多くなっています。

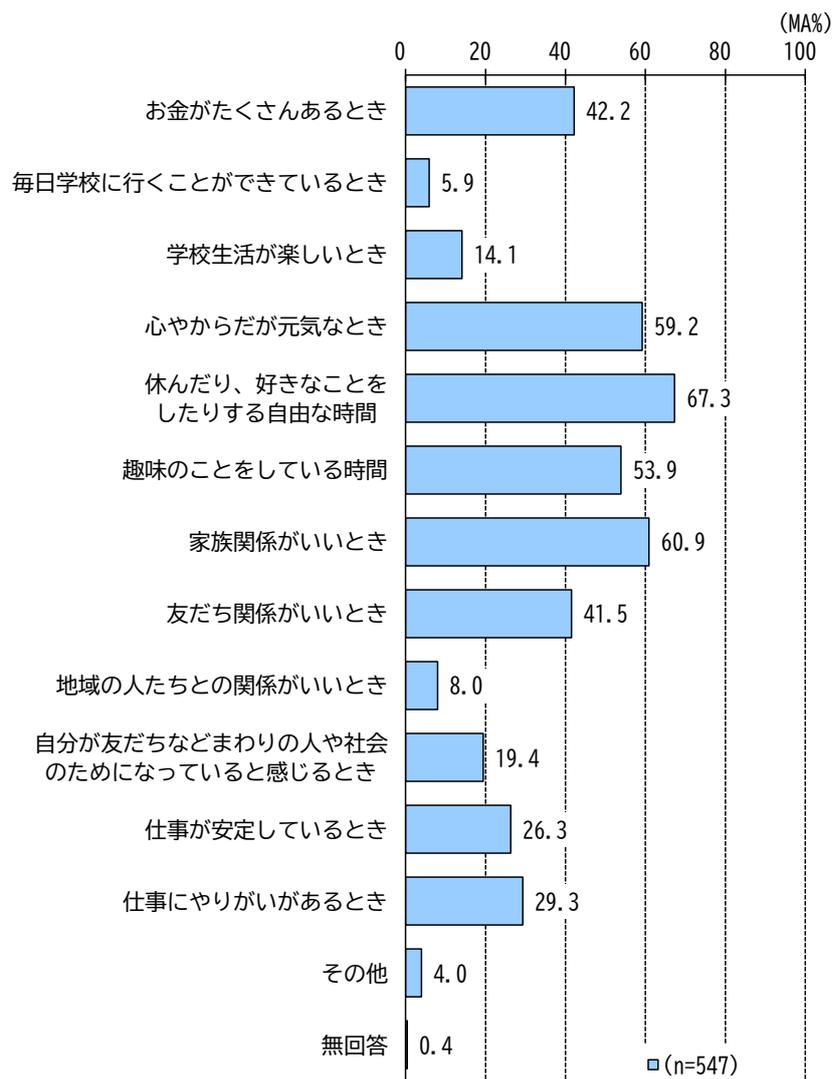
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身は「趣味のことをしている時間」、配偶者のみは「心やからだが元気なとき」と「家族関係がいいとき」、配偶者と子ども、その他は「家族関係がいいとき」、親との同居は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」が最も多くなっています。
- 単身は「心やからだが元気なとき」「趣味のことをしている時間」「仕事にやりがいがあるとき」が全体より約 10~25 ポイント多くなっています。配偶者のみは「仕事にやりがいがあるとき」が全体より 15.6 ポイント多くなっています。配偶者と子どもは「心やからだが元気なとき」「家族関係がいいとき」「仕事が安定しているとき」「仕事にやりがいがあるとき」が全体より約 5~20 ポイント多くなっています。親との同居は「毎日学校に行くことができているとき」「学校生活が楽しいとき」「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」「趣味のことをしている時間」「友だち関係がいいとき」が全体より約 5~15 ポイント多くなっています。その他は「家族関係がいいとき」が全体より 12.6 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」、卒業後有職は「家族関係がいいとき」、卒業後無職は「心やからだが元気なとき」が最も多くなっています。
- 就学中は「毎日学校に行くことができているとき」「学校生活が楽しいとき」「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間」「趣味のことをしている時間」「友だち関係がいいとき」が全体より約 10~35 ポイント多くなっています。卒業後有職は「仕事が安定しているとき」「仕事にやりがいがあるとき」が全体より約 10 ポイント多くなっています。卒業後無職は「心やからだが元気なとき」「家族関係がいいとき」が全体より約 15~20 ポイント多くなっています。

【どんなときにしあわせだと感じるか】



単位：MA%

	母数 (n)	どんなときにしあわせだと感じるか							
		お金がたくさんあるとき	毎日学校に行くことができる いるとき	学校生活が楽しいとき	心やからだ が元気なとき	休んだり、好きな ことをした りする自由な時間	趣味の ことをして いる時間	家族関係 がいいとき	
全体	547	42.2	5.9	14.1	59.2	67.3	53.9	60.9	
性別	男性	191	41.9	8.4	15.2	53.4	62.8	60.2	55.0
	女性	347	42.1	4.6	13.5	62.5	69.5	50.1	64.6
	どちらともいえない・わからない	9	55.6	-	11.1	55.6	77.8	66.7	44.4
年齢別	10歳代	99	45.5	21.2	50.5	45.5	74.7	66.7	45.5
	20歳代	179	41.3	5.0	14.0	59.8	69.8	62.6	46.9
	30歳代	257	42.8	0.4	0.8	64.6	63.8	43.6	77.0
世帯 類型	単身	28	53.6	-	3.6	67.9	71.4	78.6	32.1
	配偶者のみ	49	28.6	-	-	65.3	63.3	49.0	65.3
	配偶者と子ども	130	40.8	0.8	0.8	66.2	57.7	31.5	83.1
	親との同居	244	43.4	12.3	29.9	51.6	75.4	68.4	45.5
	その他	68	45.6	-	1.5	58.8	57.4	41.2	73.5
就学・ 就業 状況別	就学中	143	44.8	21.7	51.0	55.2	77.6	69.9	46.9
	卒業後 有職	317	39.1	0.3	0.9	58.0	63.4	51.4	65.0
	卒業後 無職	49	55.1	-	2.0	79.6	73.5	34.7	75.5

単位：MA%

	母数 (n)	どんなときにしあわせだと感じるか							
		友だち 関係が いい とき	地域 の人 たち との 関係 が いい とき	自分 が 社会 の ため にな つて いる の と 人 感 じ る と き	自分 が 友 だ ち な ど ま わ り の と 人 感 じ る と き	仕事 が 安 定 し て い る と き	仕事 に や り が い が あ る と き	そ の 他	無 回 答
全体	547	41.5	8.0	19.4	26.3	29.3	4.0	0.4	
性別	男性	191	45.5	8.4	17.8	25.1	30.4	2.6	-
	女性	347	39.2	8.1	20.2	27.1	28.8	4.6	0.6
	どちらともいえない・わからない	9	44.4	-	22.2	22.2	22.2	11.1	-
年齢別	10歳代	99	56.6	4.0	20.2	1.0	6.1	2.0	-
	20歳代	179	44.7	5.0	20.7	24.0	27.4	2.8	-
	30歳代	257	34.2	11.7	18.7	38.9	40.5	5.4	0.4
世帯 類型	単身	28	42.9	3.6	14.3	35.7	42.9	3.6	3.6
	配偶者のみ	49	30.6	8.2	22.4	32.7	44.9	2.0	-
	配偶者と子ども	130	28.5	13.8	17.7	37.7	36.9	5.4	-
	親との同居	244	50.8	6.1	21.3	14.8	16.8	3.7	0.4
	その他	68	36.8	8.8	14.7	33.8	33.8	4.4	-
就学・ 就業 状況別	就学中	143	55.9	6.3	22.4	2.1	10.5	1.4	0.7
	卒業後 有職	317	36.0	6.9	18.6	37.2	38.5	4.4	-
	卒業後 無職	49	38.8	22.4	18.4	20.4	16.3	8.2	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
男性	
常に幸せと感じている	3
その他	1
女性	
家族と過ごしているとき	5
恋愛しているとき・恋人と過ごしているとき	4
穏やかな日常	3
安心安全	1
その他	1
どちらともいえない	
食の喜び	1

(16) どのような状況になれば、しあわせだと感じるか

⑧-2 ⑧で「どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」と答えた人にお聞きします。
 どのような状況になれば、しあわせだと感じると感じますか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「お金がたくさんある」が71.9%で最も多く、次いで「心やからだ元気」が62.5%、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」が51.6%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性、女性は「お金がたくさんある」、どちらともいえない・わからないは「お金がたくさんある」、「心やからだ元気」、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」、「家族関係がいい」、「自分が友だちなどまわりの人や社会のためになっていると感じる」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、10歳代は「心やからだ元気」、「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」、「趣味のことをしている」、20・30歳代は「お金がたくさんある」が最も多くなっています。
- 20歳代は「お金がたくさんある」が全体より15.6ポイント多くなっています。

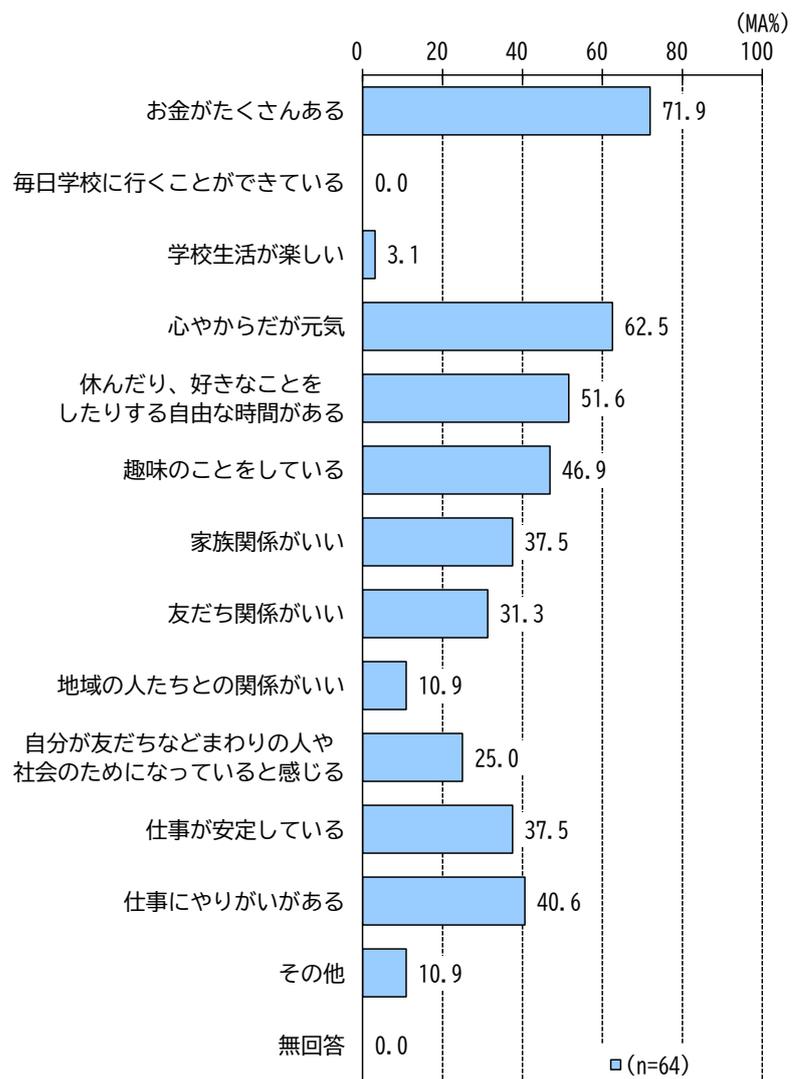
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身、配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「お金がたくさんある」、親との同居は「心やからだ元気」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、就学中は「休んだり、好きなことをしたりする自由な時間がある」、卒業後有職は「お金がたくさんある」、卒業後無職は「心やからだ元気」が最も多くなっています。
- 就学中は「仕事が安定している」が全体より30.4ポイント少なくなっています。卒業後有職は「お金がたくさんある」が全体より9.9ポイント多くなっています。

【どのような状況になれば、しあわせだと感じるか】



単位：MA%

	母数 (n)	どのような状況になれば、しあわせだと感じるか							
		お金が たくさん ある	毎日 学校に 行くこ とが	学 校 生 活 が 楽 し い	心 や か ら だ が 元 気	休 ま ら ず あ ら ま り す る 自 由 な 時 間 が あ る	休 ん だ り 、 好 き な こ と を し て い る	趣 味 の こ と を し て い る	家 族 関 係 が い い
全体	64	71.9	-	3.1	62.5	51.6	46.9	37.5	
性別	男性	30	66.7	-	3.3	60.0	40.0	53.3	30.0
	女性	31	77.4	-	3.2	64.5	61.3	41.9	41.9
	どちらともいえない・わからない	3	66.7	-	-	66.7	66.7	33.3	66.7
年齢別	10歳代	9	33.3	-	11.1	66.7	66.7	66.7	55.6
	20歳代	24	87.5	-	4.2	70.8	58.3	41.7	33.3
	30歳代	30	70.0	-	-	53.3	43.3	43.3	36.7
世帯 類型	単身	11	72.7	-	-	45.5	27.3	45.5	9.1
	配偶者のみ	3	100.0	-	-	66.7	66.7	33.3	66.7
	配偶者と子ども	7	85.7	-	-	57.1	42.9	42.9	57.1
	親との同居	37	67.6	-	5.4	73.0	56.8	54.1	43.2
その他	3	100.0	-	-	33.3	66.7	-	-	
就学・ 就業 状況別	就学中	14	35.7	-	7.1	50.0	57.1	50.0	50.0
	卒業後有職	33	81.8	-	3.0	57.6	54.5	42.4	30.3
	卒業後無職	15	80.0	-	-	86.7	40.0	53.3	46.7

単位：MA%

	母数 (n)	どのような状況になれば、しあわせだと感じるか							
		友 だ ち 関 係 が い い	が 地 域 の 人 た ち と の 関 係	な り 自 分 が 友 だ ち な ど に ま わ る と 感 じ る	自 分 が 安 定 し て い る	仕 事 が 安 定 し て い る	仕 事 に や り が い が あ る	そ の 他	無 回 答
全体	64	31.3	10.9	25.0	37.5	40.6	10.9	-	
性別	男性	30	30.0	13.3	13.3	36.7	33.3	13.3	-
	女性	31	32.3	6.5	32.3	38.7	48.4	9.7	-
	どちらともいえない・わからない	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-
年齢別	10歳代	9	33.3	-	33.3	11.1	22.2	11.1	-
	20歳代	24	33.3	12.5	29.2	45.8	54.2	8.3	-
	30歳代	30	30.0	13.3	20.0	36.7	33.3	13.3	-
世帯 類型	単身	11	27.3	9.1	9.1	27.3	54.5	18.2	-
	配偶者のみ	3	-	-	-	33.3	-	-	-
	配偶者と子ども	7	-	14.3	14.3	28.6	28.6	-	-
	親との同居	37	43.2	13.5	35.1	43.2	43.2	8.1	-
その他	3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	
就学・ 就業 状況別	就学中	14	28.6	7.1	21.4	7.1	14.3	-	-
	卒業後有職	33	24.2	9.1	21.2	42.4	51.5	15.2	-
	卒業後無職	15	53.3	20.0	40.0	60.0	46.7	13.3	-

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

「その他」の内容	件数
男性	
夢が叶ったら	1
自分の容姿がよければ	1
その他	1
女性	
減税されれば	1
その他	1

(17) 今の自分が好きだと思うか

⑨ あなたは、今の自分が好きですか。

【全体】

- 「どちらかといえば当てはまる」が 42.9%で最も多く、次いで「当てはまる」が 28.6%、「どちらかといえば当てはまらない」が 17.7%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は 71.5%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は 27.8%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性、女性は「どちらかといえば当てはまる」、どちらともいえない・わからないは「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

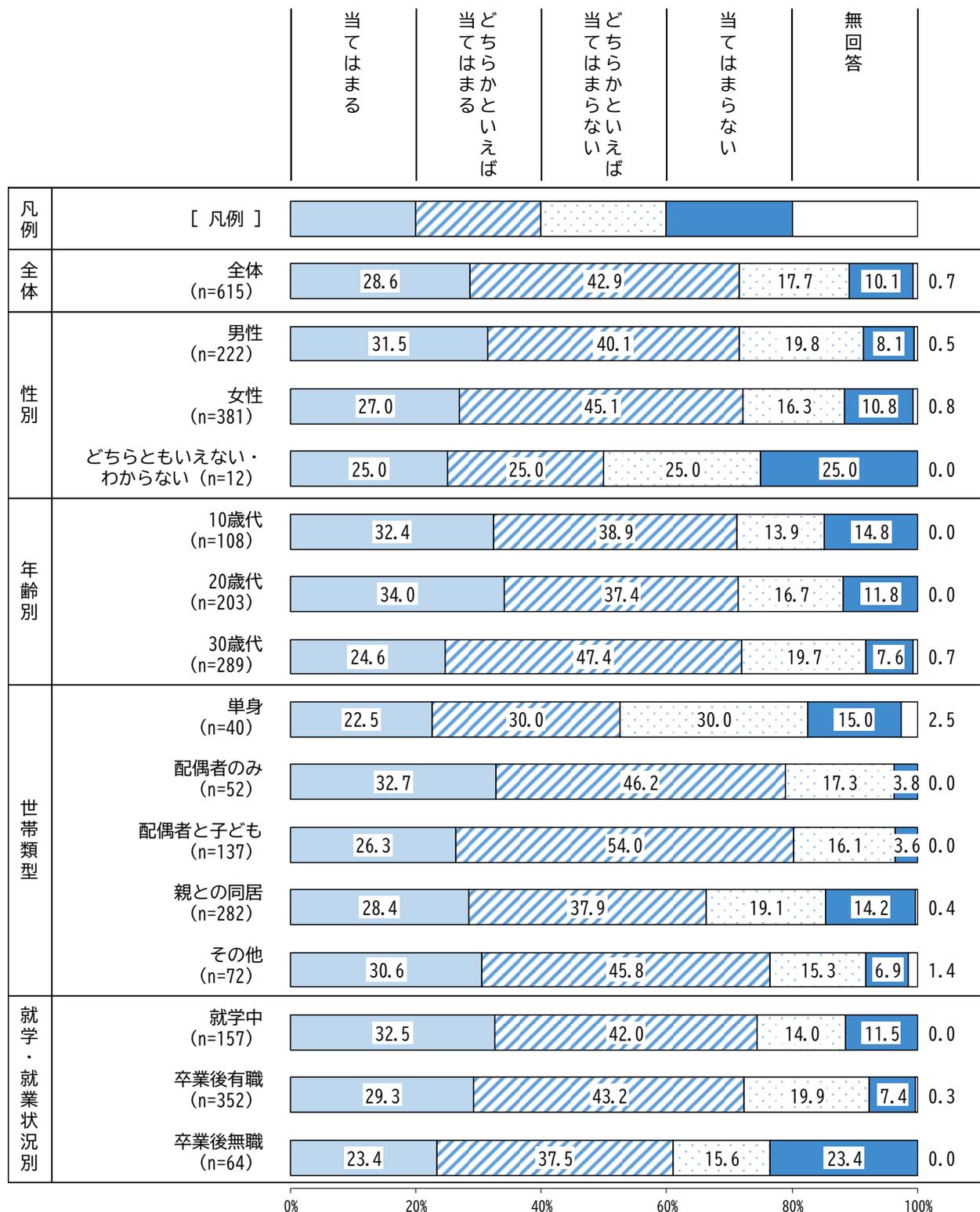
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身は「どちらかといえば当てはまる」と「どちらかといえば当てはまらない」、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居、その他は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 単身は「どちらかといえば当てはまらない」が全体より 12.3 ポイント多くなっています。配偶者と子どもは「どちらかといえば当てはまる」が全体より 11.1 ポイント多く、「当てはまらない」が 6.5 ポイント少なくなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 卒業後無職は「当てはまらない」が全体より 13.3 ポイント多くなっています。

【今の自分が好きだと思うか】



○どのようなことがあれば、自分のことがもっと好きになると思いますか。

【どのようなことがあれば、自分のことがもっと好きになれるか】

	当 ては ま る	ど ち ら か と い え ば 当 て は ま る	ど ち ら か と い え ば 当 て は ま ら ない	当 て は ま ら ない
男性				
経済的余裕があれば	10	6	2	0
自己肯定感が上がれば	4	8	1	4
自己成長	7	12	6	3
人間関係がうまくいけば	2	1	1	1
健康になれば、体力があれば	1	1	1	0
仕事の安定、充実	3	3	2	0
自由な時間があれば	2	7	0	0
家庭の安定	0	0	2	0
心の平穏	1	3	1	0
自分の容姿が理想に近づけば	1	1	0	1
何か達成できたら	1	2	1	0
恋愛がうまくいけば	1	4	1	0
これ以上好きにはならない、好きになる必要はない	0	1	1	2
その他	5	3	3	0
女性				
経済的余裕があれば	5	14	6	4
自己肯定感が上がれば	5	14	6	5
自己成長	5	15	6	5
人間関係がうまくいけば	1	5	2	1
健康になれば、体力があれば	1	3	0	2
仕事の安定、充実	6	9	5	5
自由な時間があれば	3	7	1	1
家庭の安定	5	7	1	1
心の平穏	4	10	1	0
自分の容姿が理想に近づけば	3	6	4	4
何か達成できたら	6	1	2	1
恋愛がうまくいけば	1	1	0	0
これ以上好きにはならない、好きになる必要はない	1	0	0	1
その他	3	7	1	1
どちらともいえない				
経済的余裕があれば	0	0	0	2
自己肯定感が上がれば	0	0	0	1
人間関係がうまくいけば	0	0	0	1

(18) ありのままできていることができていると思うか

⑩ あなたは、「ありのままできていることができている」と思いますか。

【全体】

- 「どちらかといえば当てはまる」が 48.3%で最も多く、次いで「当てはまる」が 31.9%、「どちらかといえば当てはまらない」が 13.8%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は 80.2%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は 19.0%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性、女性は「どちらかといえば当てはまる」、どちらともいえない・わからないは「当てはまる」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 20歳代は「当てはまる」が全体より 8.0ポイント多く、「どちらかといえば当てはまる」が 7.4ポイント少なくなっています。

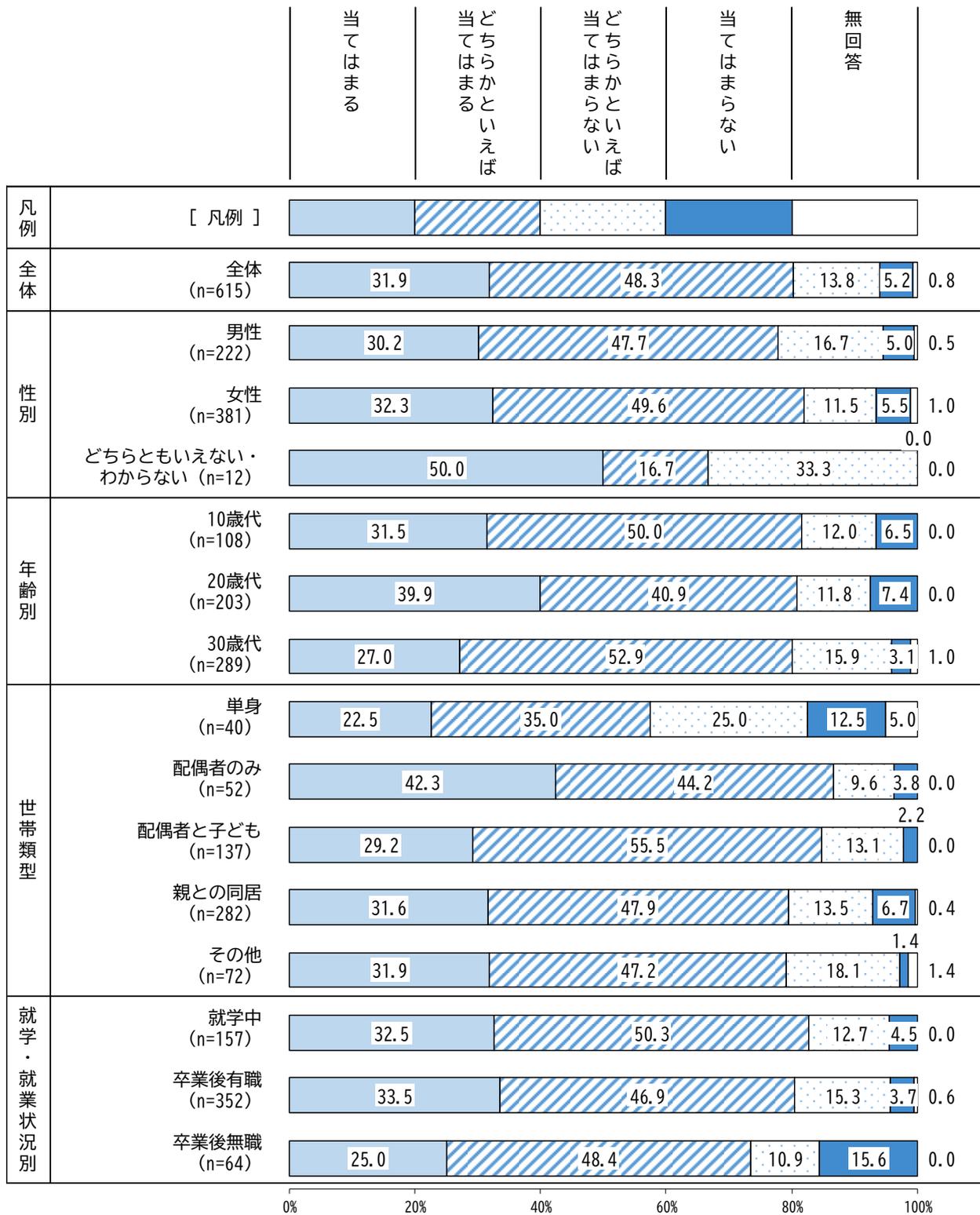
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 単身は「どちらかといえば当てはまらない」が全体より 11.2ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【ありのままできているか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、ありのままでいることができますか。

【どのようなことがあれば、ありのままでいることができていると思うか】

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	当てはまらない どちらかといえば	当てはまらない
男性				
人間関係	6	11	4	0
自己肯定	6	11	2	0
経済的余裕	5	4	3	0
時間的ゆとり	1	3	3	0
自由	1	0	0	1
安心できる環境	1	6	0	0
心身が健康であれば	1	0	2	1
心の余裕があれば	1	0	1	0
好きなことをしているとき	6	2	2	0
周りの目を気にしない	2	1	2	1
自分らしくいるとき	1	2	0	0
ありのままではいられない	0	0	2	0
その他	7	6	1	1
女性				
人間関係	20	27	2	4
自己肯定	13	6	6	2
経済的余裕	1	3	4	1
時間的ゆとり	0	4	3	1
自由	0	0	1	1
安心できる環境	12	6	0	1
心身が健康であれば	2	3	0	0
心の余裕があれば	1	3	0	0
好きなことをしているとき	3	2	1	0
周りの目を気にしない	2	5	0	0
自分らしくいるとき	2	4	0	0
ありのままではいられない	0	0	1	1
その他	3	5	1	0
どちらともいえない				
その他	1	0	1	0

(19) 自分の将来に明るい希望を持っているか

⑪ あなたは、「自分の将来について明るい希望がある」と思っていますか。

【全体】

- 「どちらかといえばそう思う」が38.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.5%、「そう思う」が20.7%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は59.1%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は33.4%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性、女性は「どちらかといえばそう思う」、どちらともいえない・わからないは「そう思わない」が最も多くなっています。
- 男性は「そう思う」が女性より11.1ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 10歳代は「そう思う」が全体より9.9ポイント多くなっています。

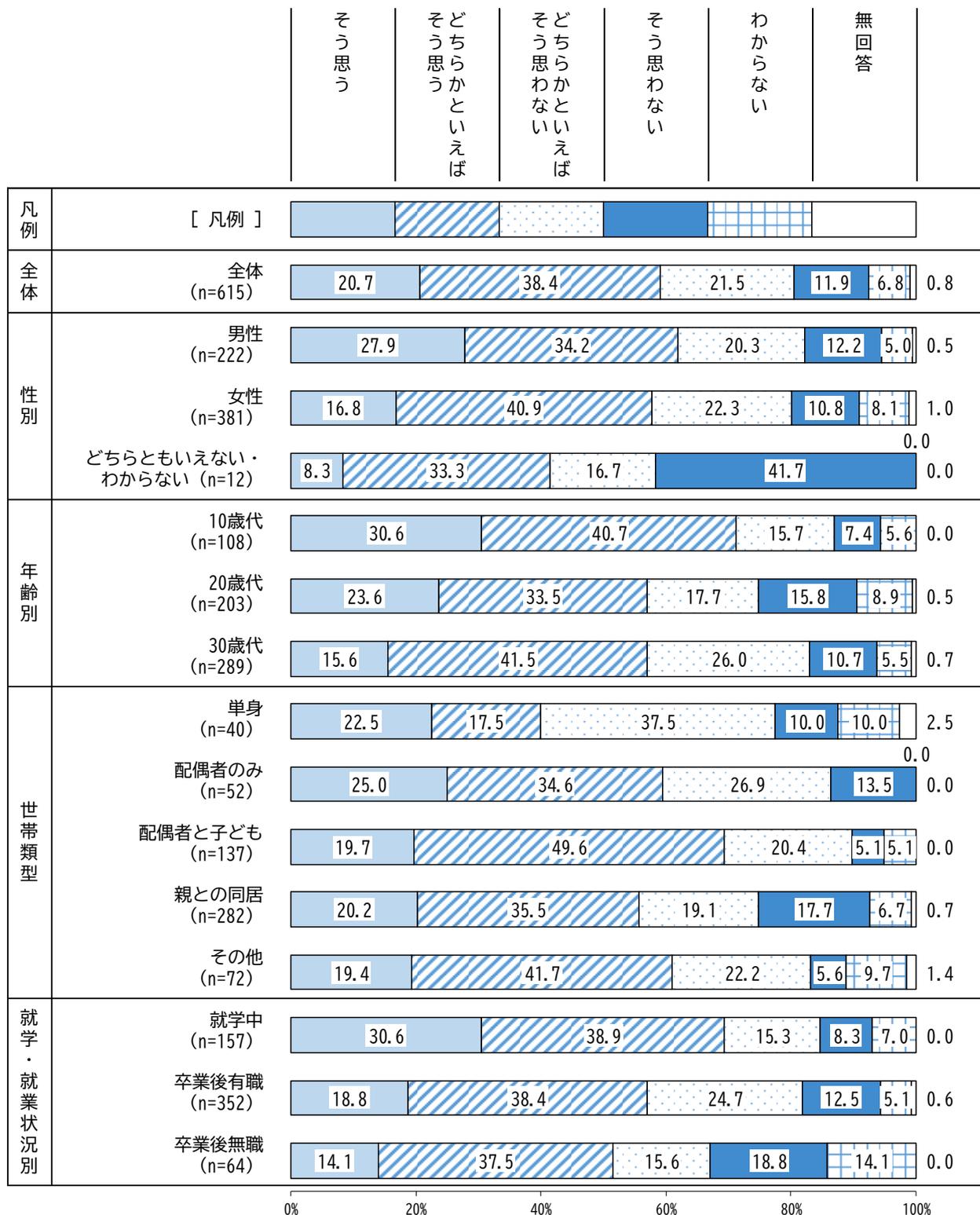
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身は「どちらかといえばそう思わない」、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居、その他は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 単身は「どちらかといえばそう思わない」が全体より16.0ポイント多くなっています。配偶者と子どもは「どちらかといえばそう思う」が全体より11.2ポイント多くなっています。親との同居は「そう思わない」が全体より5.8ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 就学中は「そう思う」が全体より9.9ポイント多く、「どちらかといえばそう思わない」が6.2ポイント少なくなっています。

【自分の将来に明るい希望を持っているか】



○どのようなことがあれば、自分の将来に明るい希望が持てますか。

【どのようなことがあれば、自分の将来に明るい希望を持てるか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
男性					
経済的安定・余裕	8	10	17	8	3
安定した就労	5	5	3	2	1
自己成長	9	4	3	1	0
結婚・子育て	0	5	5	1	0
人間関係	0	8	0	0	0
心身の健康	4	1	1	1	0
社会情勢の安定	0	1	2	0	0
将来の見通しが立てば	1	1	2	3	0
減税されれば	1	1	0	2	0
年金が確実にもらえれば	0	1	0	0	0
その他	3	2	1	5	2
女性					
経済的安定・余裕	8	25	25	13	7
安定した就労	3	8	5	5	0
自己成長	8	8	3	1	0
結婚・子育て	4	14	5	1	3
人間関係	3	5	3	2	0
心身の健康	0	9	5	2	1
社会情勢の安定	1	6	5	2	2
将来の見通しが立てば	3	7	3	1	1
減税されれば	0	1	0	1	0
年金が確実にもらえれば	0	2	2	1	0
その他	4	4	1	1	1
どちらともいえない					
経済的安定・余裕	0	1	0	3	0
安定した就労	0	1	0	0	0
人間関係	0	0	0	1	0
社会情勢の安定	0	0	0	1	0

(20) 将来の夢や目標を持っているか

⑫ あなたは、将来の夢や目標(こんな大人になりたい)を持っていますか。

【全体】

- 「どちらかといえば当てはまる」が 36.6%で最も多く、次いで「当てはまる」が 31.9%、「どちらかといえば当てはまらない」が 18.5%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は 68.5%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は 30.7%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性は「当てはまる」、女性、どちらともいえない・わからないは「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10 歳代は「当てはまる」、20・30 歳代は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「当てはまる」が全体より 14.4 ポイント多くなっています。

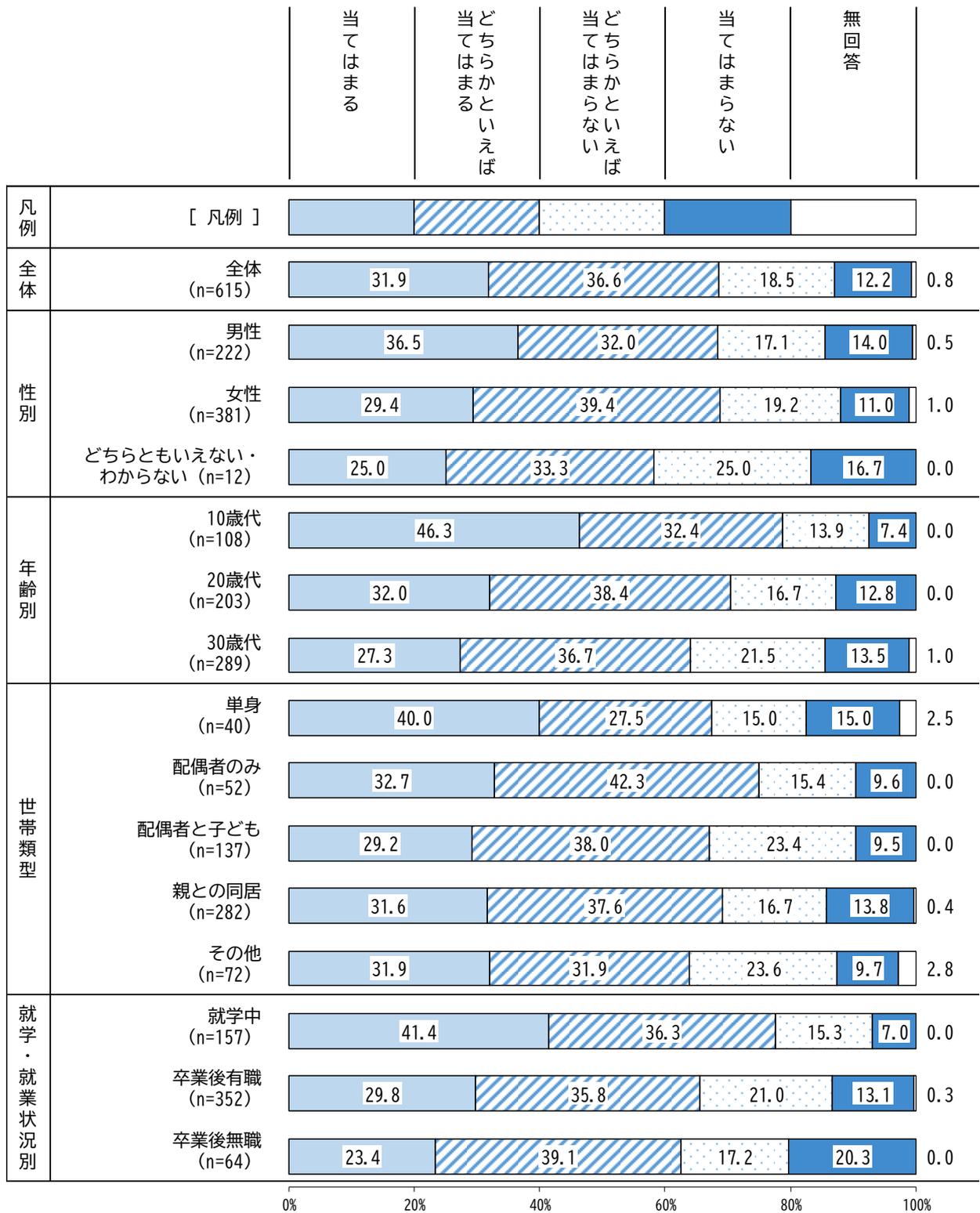
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身は「当てはまる」、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居は「どちらかといえば当てはまる」、その他は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「当てはまる」、卒業後有職、卒業後無職は「どちらかといえば当てはまる」が最も多くなっています。
- 就学中は「当てはまる」が全体より 9.5 ポイント多くなっています。卒業後無職は「当てはまらない」が全体より 8.1 ポイント多くなっています。

【将来の夢や目標を持っているか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、将来の夢や目標を持てると思いますか。

【どのようなことがあれば、将来の夢や目標を持てると思うか】

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
男性				
意欲	7	4	1	2
経済的安定	12	8	2	1
良好な人間関係	4	3	1	0
多様な経験と学び	4	3	1	2
心身のゆとり	4	3	1	1
ライフプラン・キャリア	6	6	0	1
やりたいことを見つける	6	3	4	0
なりたい自分・目標を見つける	4	4	1	0
その他	7	3	1	3
女性				
意欲	5	6	1	4
経済的安定	6	12	10	3
良好な人間関係	7	6	2	0
多様な経験と学び	8	11	1	0
心身のゆとり	4	8	8	1
ライフプラン・キャリア	11	4	3	1
やりたいことを見つける	5	8	1	1
なりたい自分・目標を見つける	11	1	3	0
その他	5	1	4	1
どちらともいえない				
経済的安定	0	1	1	0
良好な人間関係	0	0	1	0
多様な経験と学び	1	0	0	0
ライフプラン・キャリア	1	0	0	0
やりたいことを見つける	0	1	0	0

(21) 結婚に対する意向

⑬ あなたは、「いずれ結婚するつもりである」と思っていますか。

【全体】

- 「すでに結婚している」が43.4%で最も多く、次いで「そう思う」が17.2%、「どちらかといえばそう思う」が15.6%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は32.8%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は13.9%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「すでに結婚している」が最も多くなっています。
- 男性は「どちらかといえばそう思う」が女性より7.4ポイント多くなっています。女性は「すでに結婚している」が男性より13.5ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20歳代は「そう思う」、30歳代は「すでに結婚している」が最も多くなっています。
- 10歳代は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「わからない」が全体より約5~15ポイント多くなっています。20歳代は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が全体より約5~10ポイント多くなっています。30歳代は「すでに結婚している」が全体より30.6ポイント多くなっています。

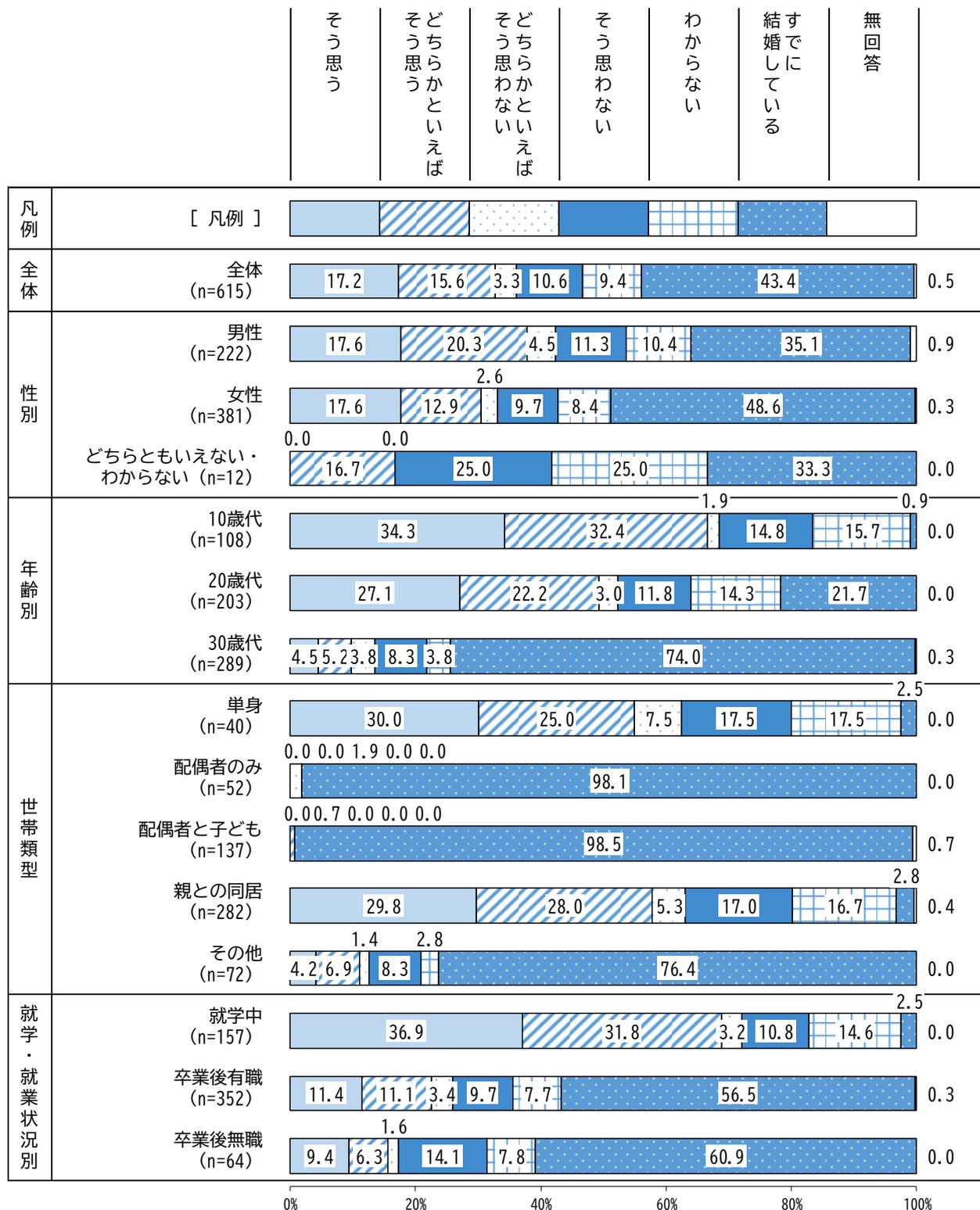
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、親との同居は「そう思う」、配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「すでに結婚している」が最も多くなっています。
- 単身は「そう思う」「そう思わない」「わからない」が全体より約5~15ポイント多くなっています。配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「すでに結婚している」が全体より約35~55ポイント多くなっています。親との同居は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」「わからない」が全体より約5~15ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「そう思う」、卒業後有職、卒業後無職は「すでに結婚している」が最も多くなっています。
- 就学中は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「わからない」が全体より約5~20ポイント多くなっています。卒業後有職、卒業後無職は「すでに結婚している」が全体より約15~20ポイント多くなっています。

【結婚に対する意向】



(22) 結婚に対する意向の理由

- ⑬-1 ⑬で「すでに結婚している」以外を選んだ人にお聞きします。
なぜ、そのように答えましたか。

【結婚に対する意向の理由】

	そう 思う	どちらか といえ ば そう 思う	どちらか といえ ば そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ か ら な い
男性					
結婚したいから	16	9	0	0	0
こどもがほしいから	6	3	0	0	0
一人で過ごすのは寂しい	1	3	0	0	0
経済的理由	1	2	1	5	1
相手がいない	0	1	1	2	3
結婚する必要がない	0	0	1	5	3
自分は結婚できないと思う	0	1	1	5	2
まだ想像できない	0	0	2	1	1
性的指向が同性だから	0	0	0	0	1
なんとなく結婚すべきと思うから	0	4	0	0	0
その他	0	1	1	2	4
女性					
結婚したいから	26	12	0	0	2
こどもがほしいから	10	4	1	0	0
一人で過ごすのは寂しい	4	4	0	0	0
経済的理由	0	0	0	1	0
相手がいない	0	2	1	3	4
結婚する必要がない	0	1	2	11	3
自分は結婚できないと思う	0	1	1	4	1
離婚したから	0	0	0	2	1
まだ想像できない	1	1	1	0	2
性的指向が同性だから	0	0	0	1	0
なんとなく結婚すべきと思うから	0	2	0	0	0
その他	0	2	0	2	2
どちらともいえない					
こどもがほしいから	0	1	0	0	0
結婚する必要がない	0	0	0	2	1
性的指向が同性だから	0	0	0	0	1

(23) 自分の意見を聴いてもらえていると思うか

⑭ あなたは、学校や家庭など、ふだん生活している中で、自分の意見が聴いてもらえていると思いますか。

【全体】

- 「どちらかといえばそう思う」が 48.9%で最も多く、次いで「そう思う」が 38.0%、「どちらかといえばそう思わない」が 6.0%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 86.9%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 8.4%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

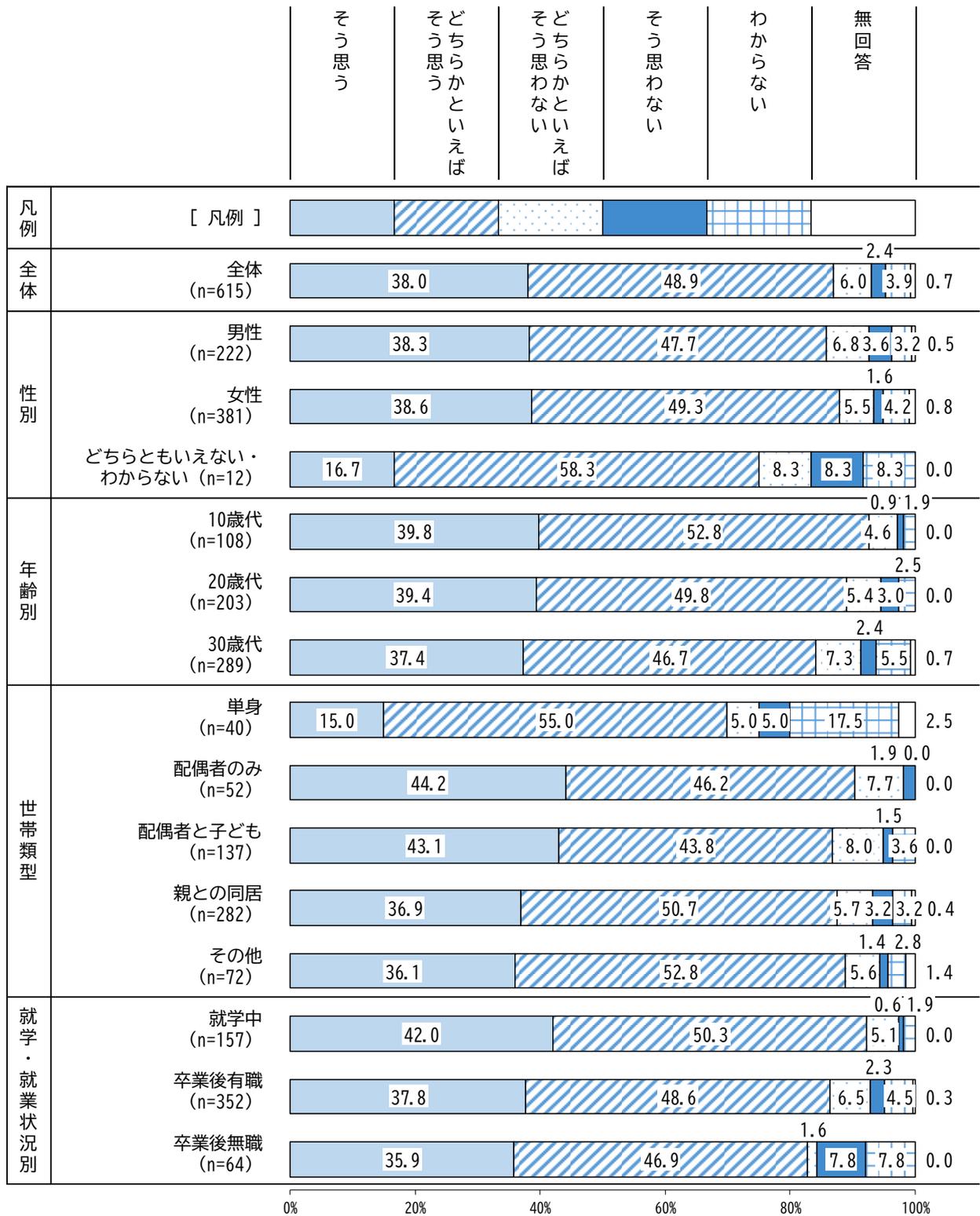
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 単身は「そう思う」が全体より 23.0 ポイント少なくなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【自分の意見を聴いてもらえていると思うか】



(24) こどもの遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思うか

⑮ あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思いますか。

【全体】

- 「どちらかといえばそう思う」が 36.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 21.3%、「そう思う」が 17.2%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 53.6%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 32.4%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性、女性は「どちらかといえばそう思う」、どちらともいえない・わからないは「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「そう思う」が全体より 7.8 ポイント多く、「そう思わない」が 6.5 ポイント少なくなっています。

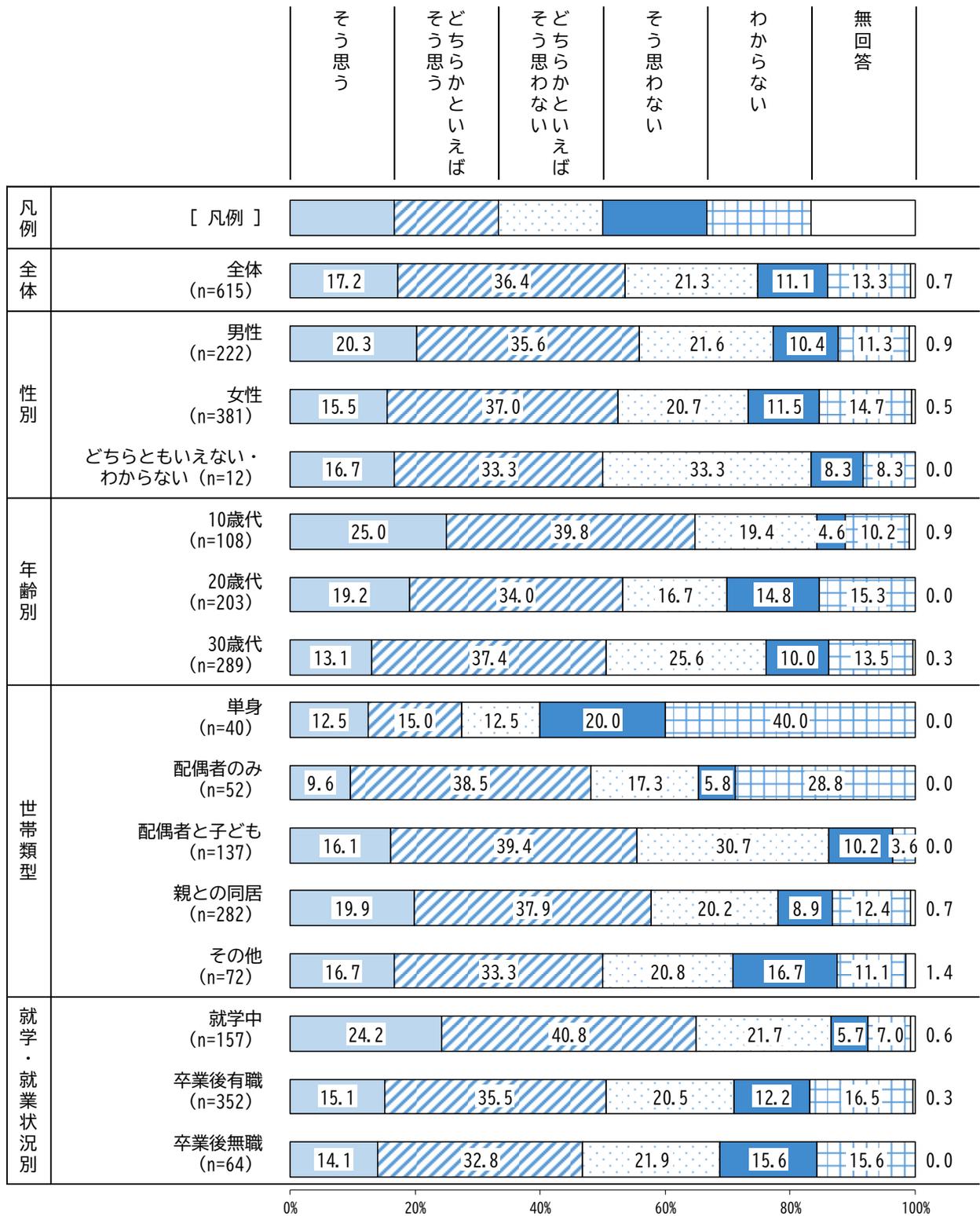
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身は「わからない」、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居、その他は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 単身は「わからない」が全体より 26.7 ポイント多く、「どちらかといえばそう思う」が 21.4 ポイント少なくなっています。配偶者のみは「わからない」が全体より 15.5 ポイント多くなっています。配偶者と子どもは「どちらかといえばそう思わない」が全体より 9.4 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
- 就学中は「そう思う」が全体より 7.0 ポイント多く、「そう思わない」「わからない」が約 5 ポイント少なくなっています。

【こどもの遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思うか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どんな遊びや体験活動の機会や場があればいいと思いますか。

【どのような遊びや体験活動の機会や場があれば良いと思うか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
男性					
自然体験	3	2	1	1	1
運動など体を動かす機会	6	4	4	1	1
職業体験	2	0	0	1	1
芸術・文化体験	1	2	1	0	1
地域交流	1	0	4	5	0
整備された公園	4	6	4	1	1
屋内施設	1	1	1	0	0
商業・複合施設	0	2	1	0	0
経済・マナーなどを学ぶ場	0	1	0	0	0
体験学習	0	2	0	0	0
今で十分だと感じている	1	1	0	0	1
その他	5	10	4	5	2
女性					
自然体験	2	8	1	1	1
運動など体を動かす機会	3	5	3	1	0
職業体験	2	6	2	0	0
芸術・文化体験	1	4	2	2	0
地域交流	5	5	2	1	1
整備された公園	2	3	13	3	0
屋内施設	0	5	11	6	0
商業・複合施設	3	2	5	0	0
経済・マナーなどを学ぶ場	0	0	1	1	2
体験学習	1	0	0	0	0
今で十分だと感じている	1	1	0	0	0
その他	5	12	11	2	2
どちらともいえない					
運動など体を動かす機会	0	1	0	0	0
地域交流	0	0	1	0	0

(25) 1か月あたりの読書冊数

⑯ あなたは、1か月に本を何冊読みますか。(※数字で入力してください)

※図書ではないもの(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌・付録)は入れませんが、学校図書館などで借りて読んだ本は、歴史ものの学習マンガなども入れてください。

【全体】

- 「0冊」が51.4%で最も多く、次いで「1～2冊」が26.8%、「3～4冊」が4.9%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性、女性は「0冊」、どちらともいえない・わからないは「1～2冊」が最も多くなっています。
- 男性は「3～4冊」が女性より4.3ポイント多くなっています。女性は「0冊」が男性より8.7ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「0冊」が最も多くなっています。

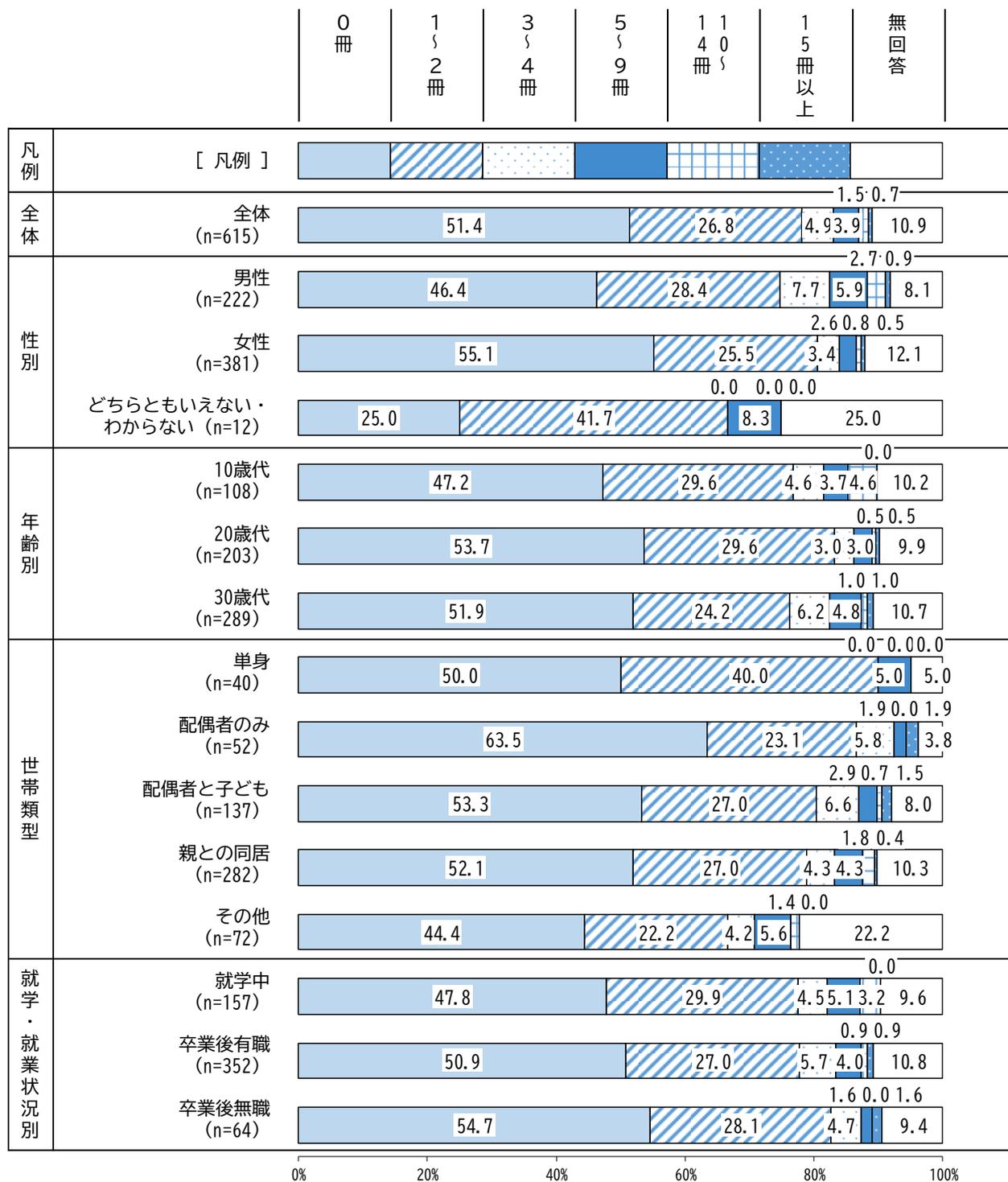
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「0冊」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「0冊」が最も多くなっています。

【1か月あたりの読書冊数】



(26) どのようなきっかけがあれば、本を読みたいと思うようになるか

⑩-1 ⑩で「0冊」と答えた人にお聞きします。

どういうきっかけがあれば、本を読みたいと思うようになりますか。

【どのようなきっかけがあれば、本を読みたいと思うようになるか】

内容	件数
男性	
時間・心身の余裕	28
興味がある内容であれば	23
利便性・手軽さ	8
他者推薦・紹介	7
経済的メリットがあれば	9
自力で読めないため	3
図書館などが身近にあれば	1
読みたくならない	3
その他	5
女性	
時間・心身の余裕	84
興味がある内容であれば	41
利便性・手軽さ	17
他者推薦・紹介	12
経済的メリットがあれば	7
自力で読めないため	1
図書館などが身近にあれば	11
読みたくならない	7
その他	4
どちらともいえない	
興味がある内容であれば	1

(27) 食料品を買えなかった経験の有無

- ⑰ あなたは、この1年間で、家庭の事情などでお金が足りなくて、食べ物が全く買えない経験をしたことがありますか。
ただし、嗜好品(おかしやジュースなど、栄養のためではなくよろこびや楽しみを感じるためなどにとるもの)は含みません。

【全体】

- 「まったくなかった」が 88.5%で最も多く、次いで「まれにあった」が 4.4%、「ときどきあった」が 3.3%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。

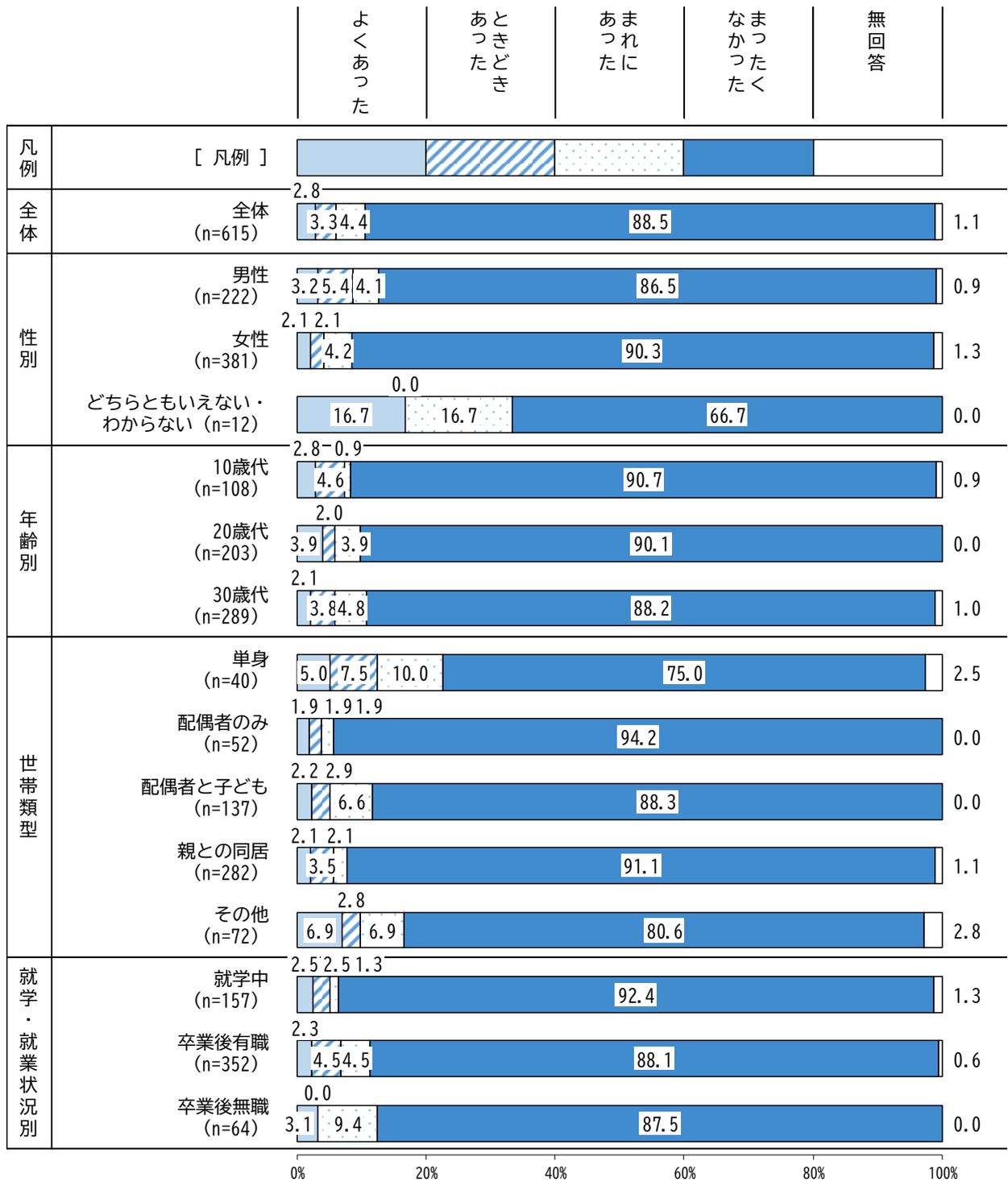
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「まったくなかった」が最も多くなっています。

【食料品を買えなかった経験の有無】



(28) 学校が子どもにとって大切な居場所の1つであると思うか

⑱ あなたは、「学校は、子どもが安全に安心して過ごすことができる、子どもにとって大切な居場所の1つである」と思いますか。

【全体】

- 「どちらかといえばそう思う」が 39.0%で最も多く、次いで「そう思う」が 38.0%、「わからない」が 7.6%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 77.0%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 14.3%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性、どちらともいえない・わからないは「そう思う」、女性は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20 歳代は「どちらかといえばそう思う」、30 歳代は「そう思う」が最も多くなっています。

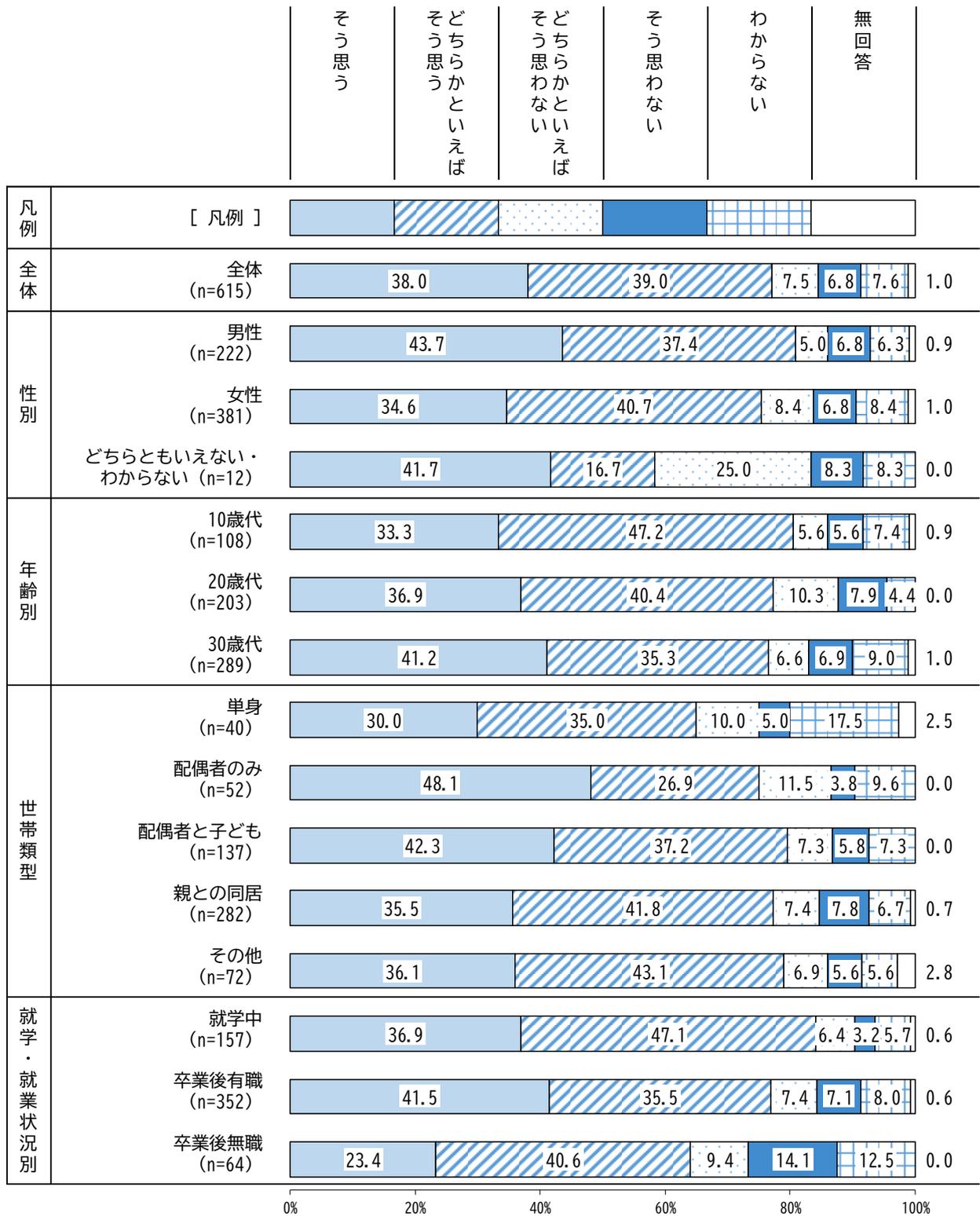
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、親との同居、その他は「どちらかといえばそう思う」、配偶者のみ、配偶者と子どもは「そう思う」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中、卒業後無職は「どちらかといえばそう思う」、卒業後有職は「そう思う」が最も多くなっています。
- 就学中は「どちらかといえばそう思う」が全体より 8.1 ポイント多くなっています。卒業後無職は「そう思う」が全体より 14.6 ポイント少なくなっています。

【学校が子どもにとって大切な居場所の1つであると思うか】



I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

○どのようなことがあれば、学校が子どもにとって大切な居場所の1つになると思いますか。

【どのようなことがあれば、学校が子どもにとって大切な居場所の1つになると思うか】

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
男性					
いじめ根絶	6	6	0	2	0
安心な環境	9	4	2	1	0
教員との信頼	8	8	0	2	0
仲間との交流	13	6	0	0	2
楽しい時間	3	1	1	0	1
居心地の良さ	8	4	1	2	0
学びと成長	7	4	1	3	0
学校体制整備	5	2	1	5	0
その他	1	3	1	0	1
女性					
いじめ根絶	3	7	3	8	1
安心な環境	14	12	3	5	0
教員との信頼	17	16	2	6	0
仲間との交流	20	8	2	1	0
楽しい時間	7	5	0	0	1
居心地の良さ	3	10	1	0	0
学びと成長	7	4	0	1	0
学校体制整備	7	13	2	6	0
その他	0	1	0	1	0
どちらともいえない					
安心な環境	1	0	0	0	0
教員との信頼	1	1	0	0	0
学校体制整備	2	0	0	0	0

(29) 安心できる場所の有無

⑨ あなたには、安心できる場所が1つ以上ありますか。

【全体】

- 「当てはまる」が66.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば当てはまる」が25.5%、「どちらかといえば当てはまらない」が3.6%となっています。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた“当てはまる”は92.2%となっています。「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」を合わせた“当てはまらない”は6.7%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「当てはまる」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「当てはまる」が最も多くなっています。

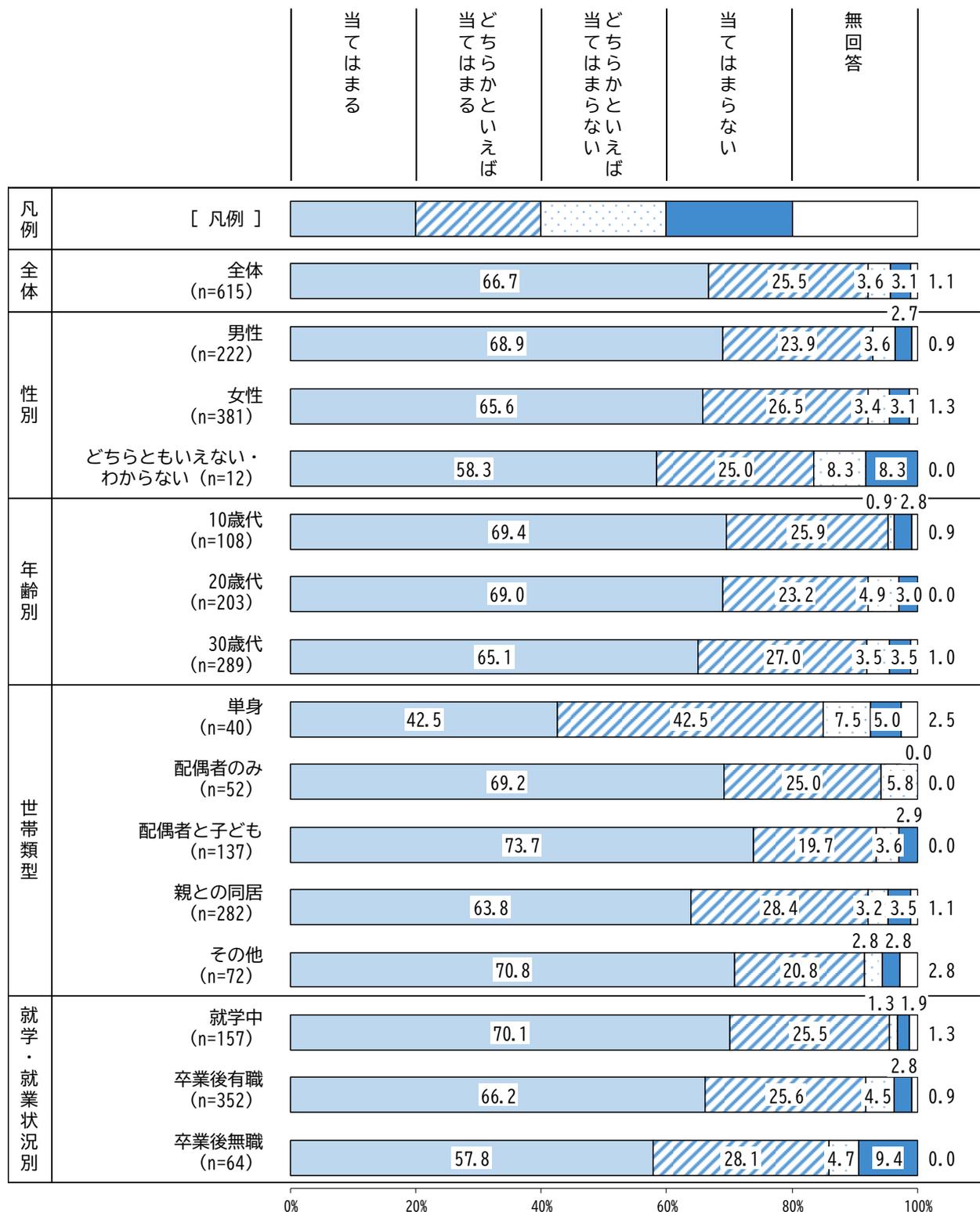
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」、配偶者のみ、配偶者と子ども、親との同居、その他は「当てはまる」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「当てはまる」が最も多くなっています。

【安心できる場所の有無】



(30) 安心できる場所

- ⑨-1 ⑨で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた人にお聞きします。
その場所は次のうち、どれですか。(※当てはまるものすべて)

【全体】

- 「家庭」が 69.7%で最も多く、次いで「自分の部屋」が 56.1%、「友だちの家など、友だちとの交流の場」が 24.3%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、男性、どちらともいえない・わからないは「自分の部屋」、女性は「家庭」が最も多くなっています。
- 男性は「自分の部屋」「学校」が女性より約 5~20 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、10・20 歳代は「自分の部屋」、30 歳代は「家庭」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「自分の部屋」「学校」が全体より約 20~25 ポイント多くなっています。20 歳代は「自分の部屋」が全体より 10.7 ポイント多くなっています。30 歳代は「家庭」が全体より 10.8 ポイント多くなっています。

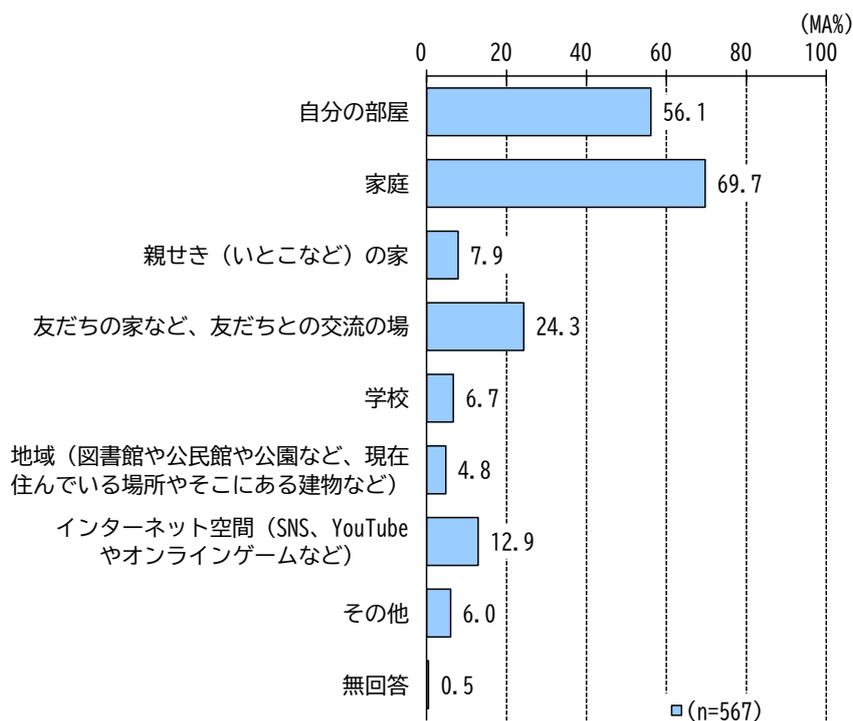
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、単身、親との同居は「自分の部屋」、配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「家庭」が最も多くなっています。
- 単身は「自分の部屋」が全体より 41.0 ポイント多くなっています。配偶者と子ども、その他は「家庭」が全体より約 10~20 ポイント多くなっています。親との同居は「自分の部屋」「学校」「インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）」が全体より約 5~20 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、就学中は「自分の部屋」、卒業後有職、卒業後無職は「家庭」が最も多くなっています。
- 就学中は「自分の部屋」「学校」が全体より約 15~20 ポイント多く、「家庭」が 11.7 ポイント少なくなっています。

【安心できる場所】



単位：MA%

		母数 (n)	安心できる場所								
			自分の部屋	家庭	親せき (いとこなど) の家	友だちの家など、友だちとの交流の場	学校	地域 (図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	インターネット空間 (SNS、YouTube やオンラインゲームなど)	その他	無回答
全体		567	56.1	69.7	7.9	24.3	6.7	4.8	12.9	6.0	0.5
性別	男性	206	68.9	66.5	8.7	24.8	10.2	4.9	13.6	6.8	-
	女性	351	48.4	72.1	7.7	24.5	4.8	4.6	12.0	5.7	0.9
	どちらともいえない・わからない	10	60.0	50.0	-	10.0	-	10.0	30.0	-	-
年齢別	10歳代	103	81.6	51.5	10.7	30.1	24.3	4.9	18.4	1.9	-
	20歳代	187	66.8	65.8	6.4	27.8	5.9	3.7	15.0	5.3	-
	30歳代	266	38.0	80.5	7.5	20.3	0.4	5.6	9.8	8.3	0.8
世帯類型	単身	34	97.1	29.4	8.8	23.5	2.9	2.9	11.8	-	2.9
	配偶者のみ	49	36.7	79.6	10.2	14.3	-	4.1	12.2	10.2	-
	配偶者と子ども	128	18.8	91.4	7.8	17.2	-	7.0	7.0	7.8	-
	親との同居	260	78.1	59.2	7.3	28.5	13.8	5.0	18.1	5.4	-
	その他	66	36.4	80.3	7.6	27.3	-	-	10.6	6.1	1.5
就学・就業状況別	就学中	150	78.0	58.0	8.0	30.0	24.0	5.3	16.7	2.7	-
	卒業後有職	323	50.8	74.3	8.4	22.0	0.3	3.7	11.8	6.2	0.6
	卒業後無職	55	34.5	72.7	5.5	23.6	1.8	12.7	5.5	7.3	-

「その他」の内容	件数
男性	
職場	7
自宅	2
商業施設	1
図書館などが身近にあれば	1
その他	1
女性	
自宅	4
大切な人	3
一人の空間	2
商業施設	2
職場	1
屋外	1
外出先	1
車内	1

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

(31) 高槻市の取組について

⑳ その他、「高槻市にあったらいいな」と思うことなど、高槻市役所の取組についてご意見があれば、自由入力欄に入れてください。

ア) 公共施設（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること

【市の建物（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること】

内容	件数
男性	
スポーツ施設	34
学習スペース	14
図書館	12
水泳施設	10
ジム	10
こどもの遊び場	4
駐車場の増設・無料化	4
文化芸術施設	2
その他	19
女性	
図書館	38
スポーツ施設	34
学習スペース	25
水泳施設	21
こどもの遊び場	19
文化芸術施設	16
地域交流施設	8
ジム	5
駐車場の増設・無料化	2
その他	25
どちらともいえない	
図書館	2
水泳施設	1
ジム	1
文化芸術施設	1

イ) 公園などの遊び場や居場所に関すること

【公園などの遊び場や居場所に関すること】

内容	件数
男性	
ボール遊びができる場所	20
広い公園の充実	12
公園の環境整備	11
多様な施設	8
公園の遊具やトイレ等の設備の改善	6
公園の維持管理	5
プールや水遊びができる施設	4
公園の安全性向上・安全管理	3
屋内の遊び場	2
その他	10
女性	
屋内の遊び場	29
公園の環境整備	28
多様な施設	26
公園の遊具やトイレ等の設備の改善	21
プールや水遊びができる施設	16
ボール遊びができる場所	16
公園の安全性向上・安全管理	13
広い公園の充実	12
公園の維持管理	10
その他	12
どちらともいえない	
その他	1

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

ウ) 学校に関すること

【学校に関すること】

内容	件数
男性	
老朽化施設、トイレの改修	10
学習環境の整備	7
教員体制、教員の資質について	5
学校の制度について	4
不登校支援について	3
登下校時間、通学時の安全について	2
校内の警備体制	2
学童・放課後	2
その他	6
女性	
老朽化施設、トイレの改修	17
学童・放課後	9
登下校時間、通学時の安全について	8
教員体制、教員の資質について	8
不登校支援について	7
学習環境の整備	6
校内の警備体制	5
学校の制度について	3
給食について	3
その他	2
どちらともいえない	
学習環境の整備	1

エ) まちづくりに関すること

【まちづくりに関すること】

内容	件数
男性	
道路整備・交通安全について	24
都市整備、商業施設誘致について	12
生活支援について	7
都市開発・地域振興	7
イベントや文化・レジャー施設について	6
防犯・災害対策、環境美化について	5
子育て支援	4
景観の維持・整備について	3
その他	4
女性	
道路整備・交通安全について	34
防犯・災害対策、環境美化について	15
都市整備、商業施設誘致について	13
イベントや文化・レジャー施設について	13
都市開発・地域振興について	12
生活支援について	8
景観の維持・整備について	5
子育て支援について	3
その他	5
どちらともいえない	
防犯・災害対策、環境美化について	1
生活支援について	1
その他	1

オ) 保育所・幼稚園・認定こども園に関すること

【保育所・幼稚園・認定こども園に関すること】

内容	件数
男性	
待機児童の解消、希望する園に入れる	15
保育士の確保・待遇改善	5
施設設備	3
多様な預かり保育の充実、保育時間の延長	3
保育・教育内容に対する要望	3
保育費用の軽減	2
その他	5
女性	
待機児童の解消、希望する園に入れる	40
保育費用の軽減	10
多様な預かり保育の充実、保育時間の延長	10
保育士の確保・待遇改善	8
施設設備	8
保育・教育内容に対する要望	8
保幼小の連携、小学校への接続	3
その他	1

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

カ) 子育てサービスに関すること

【子育てサービスに関すること】

内容	件数
男性	
経済的支援	21
預かり支援	6
育児負担軽減	4
遊び場・交流	1
妊娠出産ケア	1
情報提供・相談	1
その他	10
女性	
経済的支援	28
預かり支援	15
遊び場・交流	9
妊娠出産ケア	8
育児負担軽減	7
生活環境整備	6
教育・発達支援	5
情報提供・相談	3
その他	7

キ) その他

【その他】

内容	件数
男性	
ごみ・清掃	8
行政サービス	7
環境・景観	5
水道・インフラ	4
まちづくり	4
税金・財政	3
子育て・福祉	1
道路・交通	1
その他	2
女性	
ごみ・清掃	11
道路・交通	10
子育て・福祉	9
行政サービス	9
まちづくり	7
環境・景観	6
税金・財政	2
水道・インフラ	2
その他	2
どちらともいえない	
道路・交通	1

(32) 児童の権利に関する条約（こどもの権利条約）の認知度

② あなたは、「児童の権利に関する条約(こどもの権利条約)」について知っていますか。

【全体】

- 「聞いたことがない」が 35.1%で最も多く、次いで「名前だけ聞いたことがある」が 33.5%、「どんな内容かすこし知っている」が 21.3%となっています。

【性別】

- 性別でみると、男性は「聞いたことがない」、女性は「名前だけ聞いたことがある」、どちらともいえない・わからないは「名前だけ聞いたことがある」と「聞いたことがない」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20 歳代は「名前だけ聞いたことがある」、30 歳代は「聞いたことがない」が最も多くなっています。
- 10 歳代は「名前だけ聞いたことがある」が全体より 10.9 ポイント多くなっています。30 歳代は「聞いたことがない」が全体より 5.7 ポイント多くなっています。

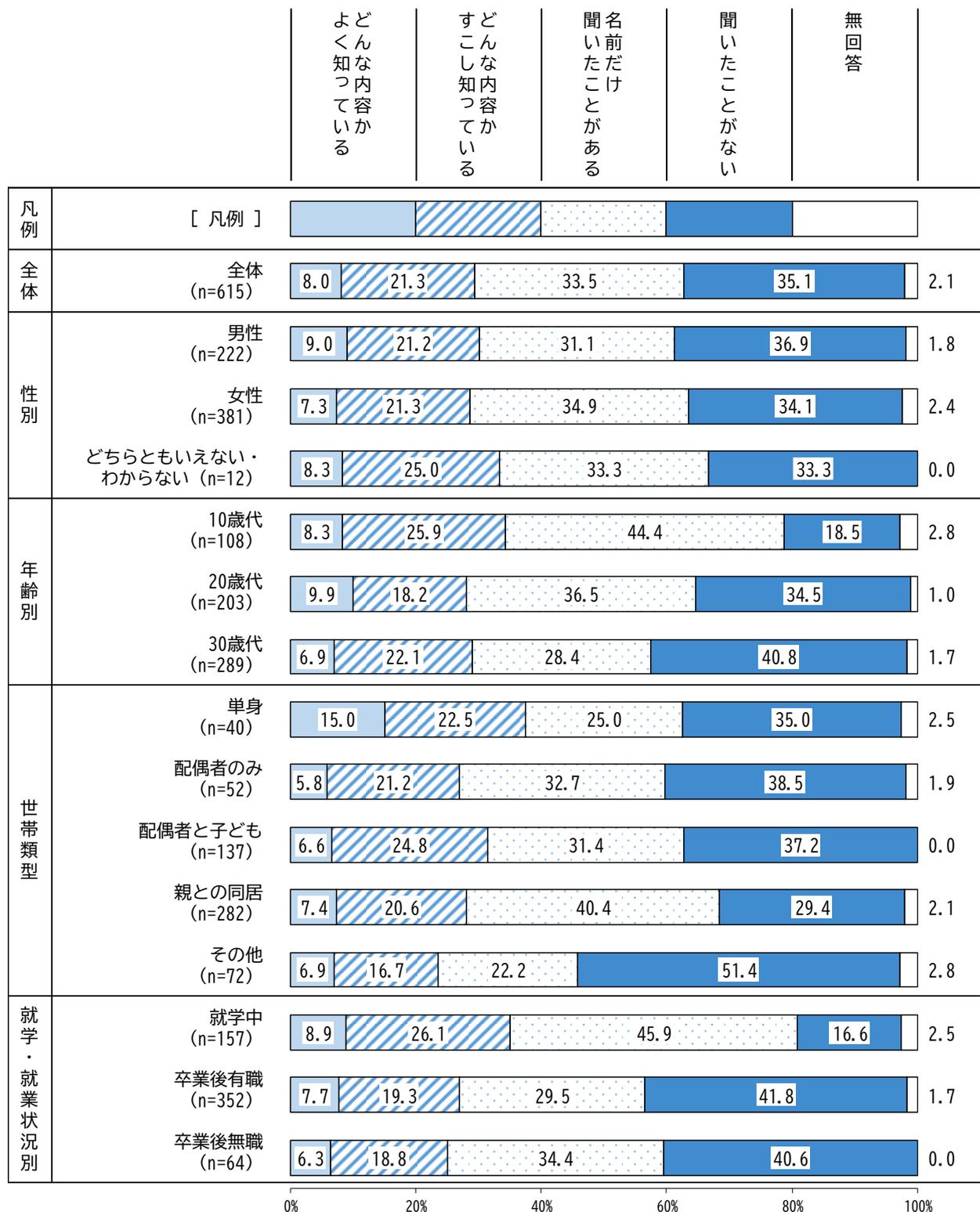
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみ、配偶者と子ども、その他は「聞いたことがない」、親との同居は「名前だけ聞いたことがある」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「名前だけ聞いたことがある」、卒業後有職、卒業後無職は「聞いたことがない」が最も多くなっています。
- 就学中は「名前だけ聞いたことがある」が全体より 12.4 ポイント多くなっています。卒業後有職は「聞いたことがない」が全体より 6.7 ポイント多くなっています。

【児童の権利に関する条約（こどもの権利条約）の認知度】



(33) こどもが権利の主体であることの理解度

② こどもも、大人と同じようにひとりの人間として様々な権利がある(権利の主体である)と思いますか。

【全体】

- 「そう思う」が 63.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.7%、「どちらかといえばそう思わない」が 3.6%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 90.6%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 4.9%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

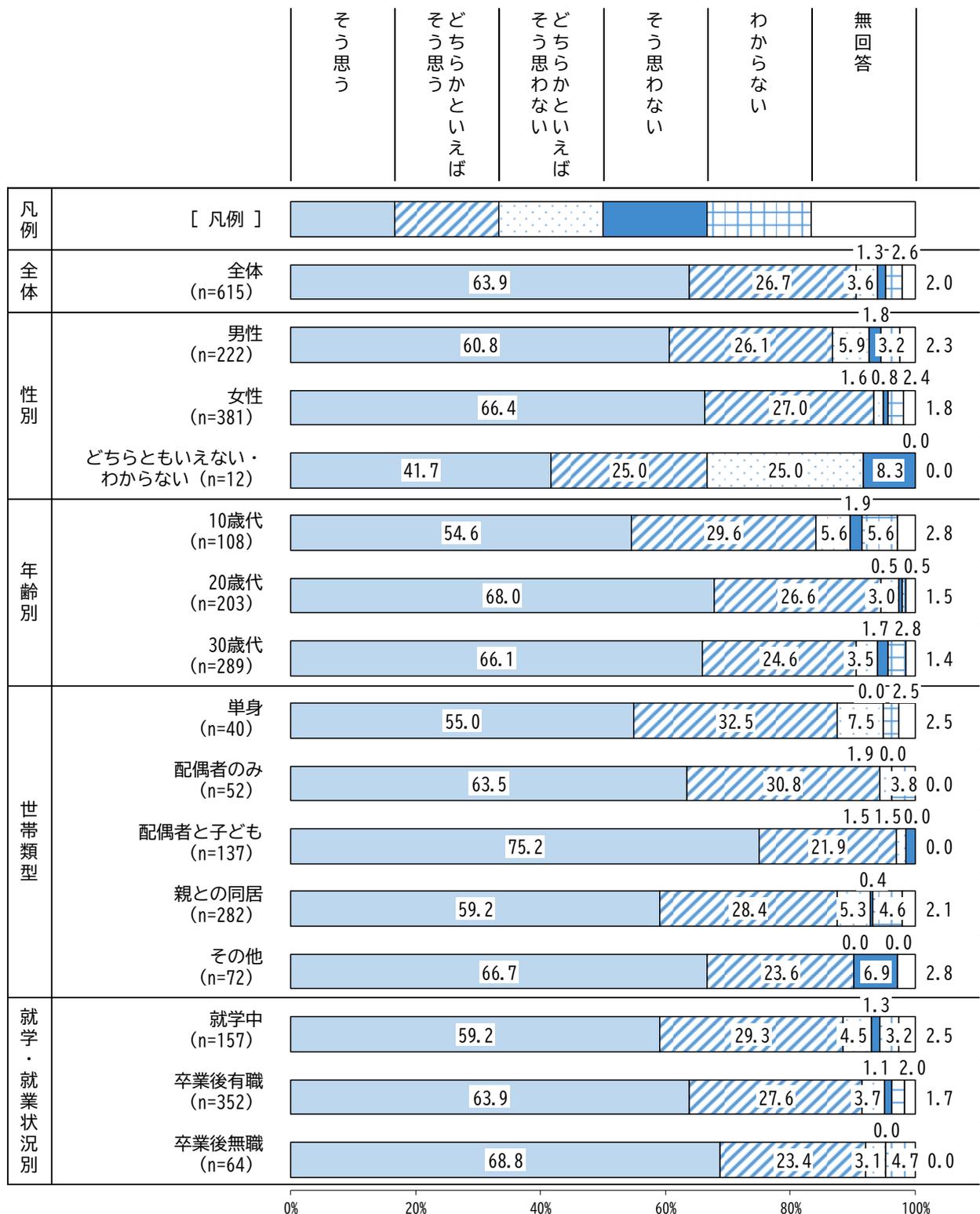
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。
- 配偶者と子どもは「そう思う」が全体より 11.3 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「そう思う」が最も多くなっています。

【こどもが権利の主体であることの理解度】



(34) 地域でインクルージョンがすすんでいると思うか

- ② あなたは、住んでいる地域でインクルージョンがすすんでいる(障がいのあるこどもや成長に特性のあるこどもも含めたみんなが、ほかのまわりの人たちと同じように社会に参加して、メンバーとして受け入れられ、いっしょに社会で生活できている)と思いますか。

【全体】

- 「どちらかといえばそう思う」が 33.0%で最も多く、次いで「わからない」が 29.8%、「どちらかといえばそう思わない」が 16.4%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 45.0%となっています。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた“そう思わない”は 23.4%となっています。

【性別】

- 性別でみると、いずれも「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別でみると、10・20 歳代は「どちらかといえばそう思う」、30 歳代は「わからない」が最も多くなっています。

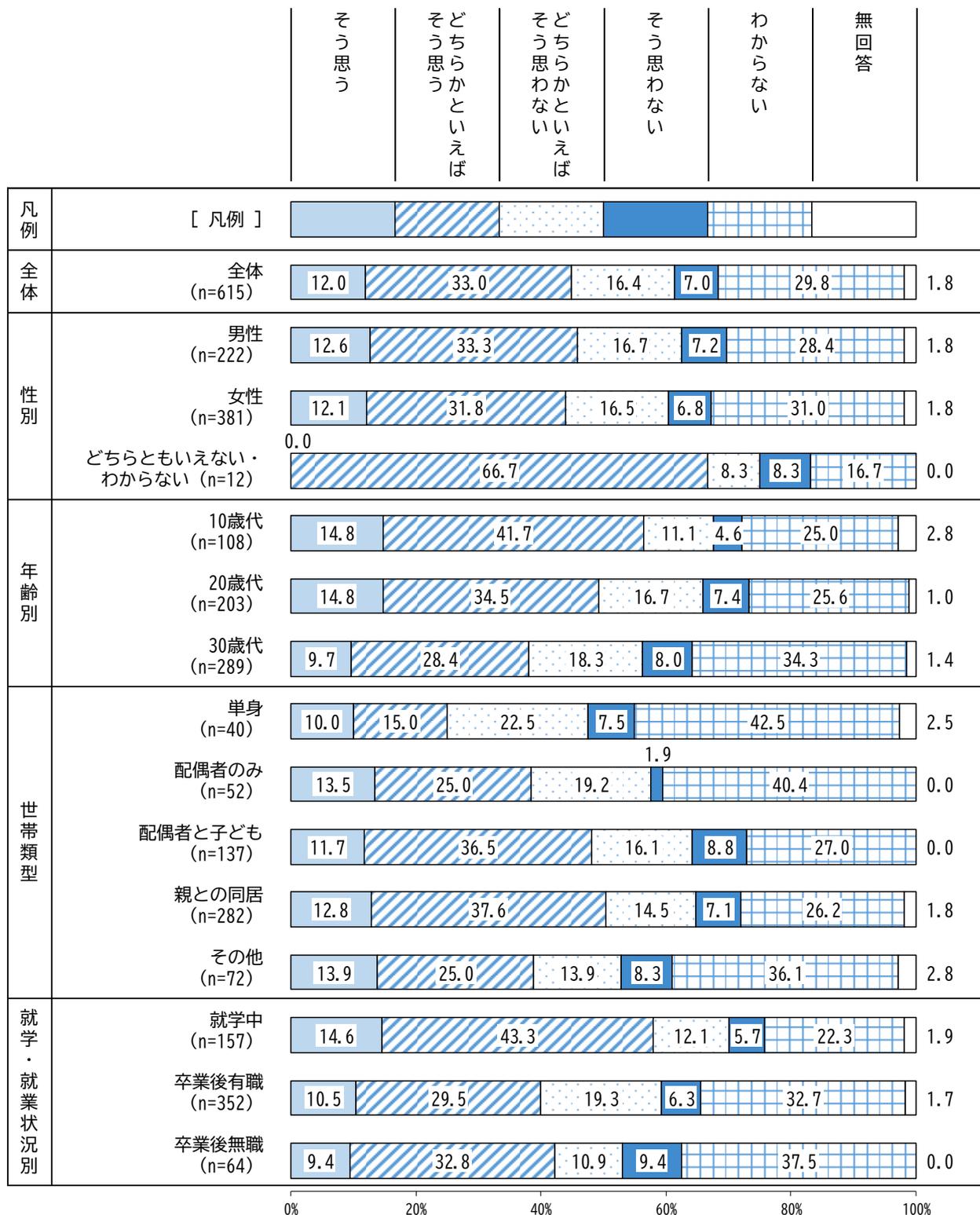
【世帯類型別】

- 世帯類型別でみると、単身、配偶者のみ、その他は「わからない」、配偶者と子ども、親との同居は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別でみると、就学中は「どちらかといえばそう思う」、卒業後有職、卒業後無職は「わからない」が最も多くなっています。
- 就学中は「どちらかといえばそう思う」が全体より 10.3 ポイント多く、「わからない」が 7.5 ポイント少なくなっています。

【地域でインクルージョンがすすんでいると思うか】



○どのようなことがあれば、インクルージョンがすすむと思いますか。

【どのようなことがあれば、インクルージョンがすすむと思うか】

	そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ か ら な い
男性					
障がいや障がい者に対する理解	3	6	4	7	1
交流する機会の拡大	1	0	2	0	1
障がいのある人が暮らしやすい環境整備	1	3	1	0	0
専門的支援	0	0	0	1	0
合理的配慮	0	2	0	1	0
就労促進	0	0	0	1	0
本人の選択と意思決定の尊重	1	1	1	2	0
社会のゆとり、寛容さ	1	1	1	3	2
その他	1	3	3	3	4
女性					
障がいや障がい者に対する理解	4	15	8	1	7
交流する機会の拡大	4	6	3	2	2
障がいのある人が暮らしやすい環境整備	0	3	3	2	1
専門的支援	1	1	1	1	2
合理的配慮	0	2	4	1	1
就労促進	0	0	1	1	0
本人の選択と意思決定の尊重	0	2	2	1	0
社会のゆとり、寛容さ	0	1	1	4	2
その他	2	5	0	1	1
どちらともいえない					
障がいや障がい者に対する理解	0	0	0	1	0
本人の選択と意思決定の尊重	0	1	0	0	0

(35) ヤングケアラーの認知度

⑳ あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。※1

【全体】

- 「聞いたことがあります、内容も知っている」が 72.0%で最も多く、次いで「聞いたことはない」が 13.5%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が 13.3%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「聞いたことがあります、内容も知っている」が最も多くなっています。
- 男性は「聞いたことがあるが、よく知らない」が女性より 12.0 ポイント多くなっています。女性は「聞いたことがあります、内容も知っている」が男性より 16.8 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「聞いたことがあります、内容も知っている」が最も多くなっています。

【世帯類型別】

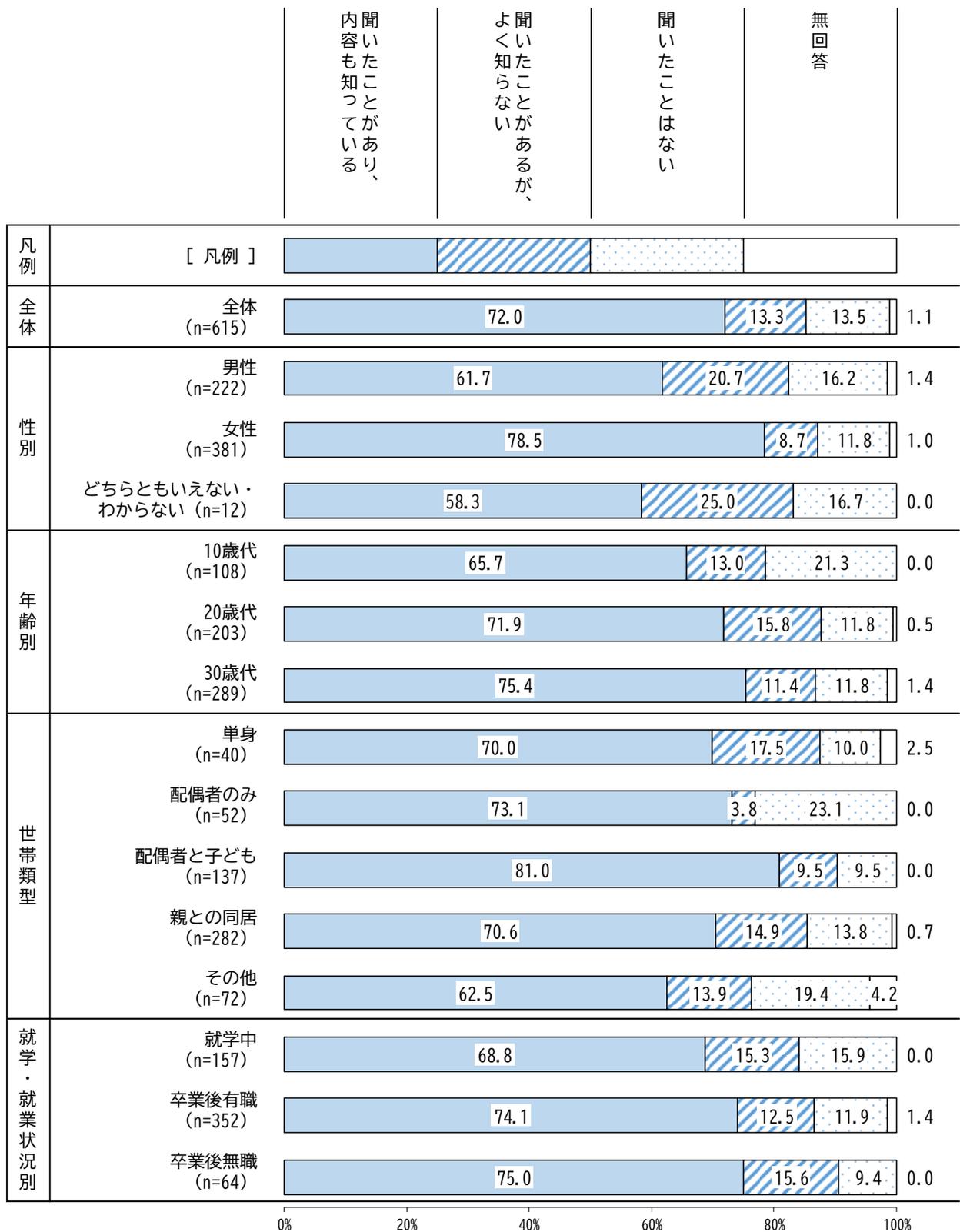
- 世帯類型別で見ると、いずれも「聞いたことがあります、内容も知っている」が最も多くなっています。
- 配偶者のみは「聞いたことがあるが、よく知らない」が全体より 9.5 ポイント少なくなっています。配偶者と子どもは「聞いたことがあります、内容も知っている」が全体より 9.0 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「聞いたことがあります、内容も知っている」が最も多くなっています。

※1 設問に答えてもらうに当たっての参照情報として、アンケート内にヤングケアラーの定義や具体例について、こども家庭庁 HP より引用した説明文・イラストを掲載しました。

【ヤングケアラーの認知度】



(36) ヤングケアラーに当てはまると思うか

㉔ あなたは、「自分はヤングケアラーに当てはまる」と思いますか。

【全体】

- 「当てはまらない」が85.2%で最も多く、次いで「かつては当てはまったと思う」「わからない」が5.5%、「当てはまる」が2.6%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。
- 就学中は「わからない」が全体より5.3ポイント多くなっています。

(37) インターネットの危険性についての学習経験

- ②⑥ あなたは、青少年に不適切なサイト(出会い系サイトやアダルトサイトなど)やネットいじめの問題など、インターネットの危険性について、これまで学校や家庭、パンフレットや YouTube などのインターネットで説明を受けたり学んだりしたことがありますか。

【全体】

- 「説明を受けたり学んだりしたことがある」が 62.4%で最も多く、次いで「説明を受けたり学んだりしたことがない」が 26.0%、「わからない」が 10.2%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「説明を受けたり学んだりしたことがある」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「説明を受けたり学んだりしたことがある」が最も多くなっています。
- 10・20 歳代は「説明を受けたり学んだりしたことがある」が全体より約 10~20 ポイント多くなっています。30 歳代は「説明を受けたり学んだりしたことがない」が全体より 10.7 ポイント多くなっています。

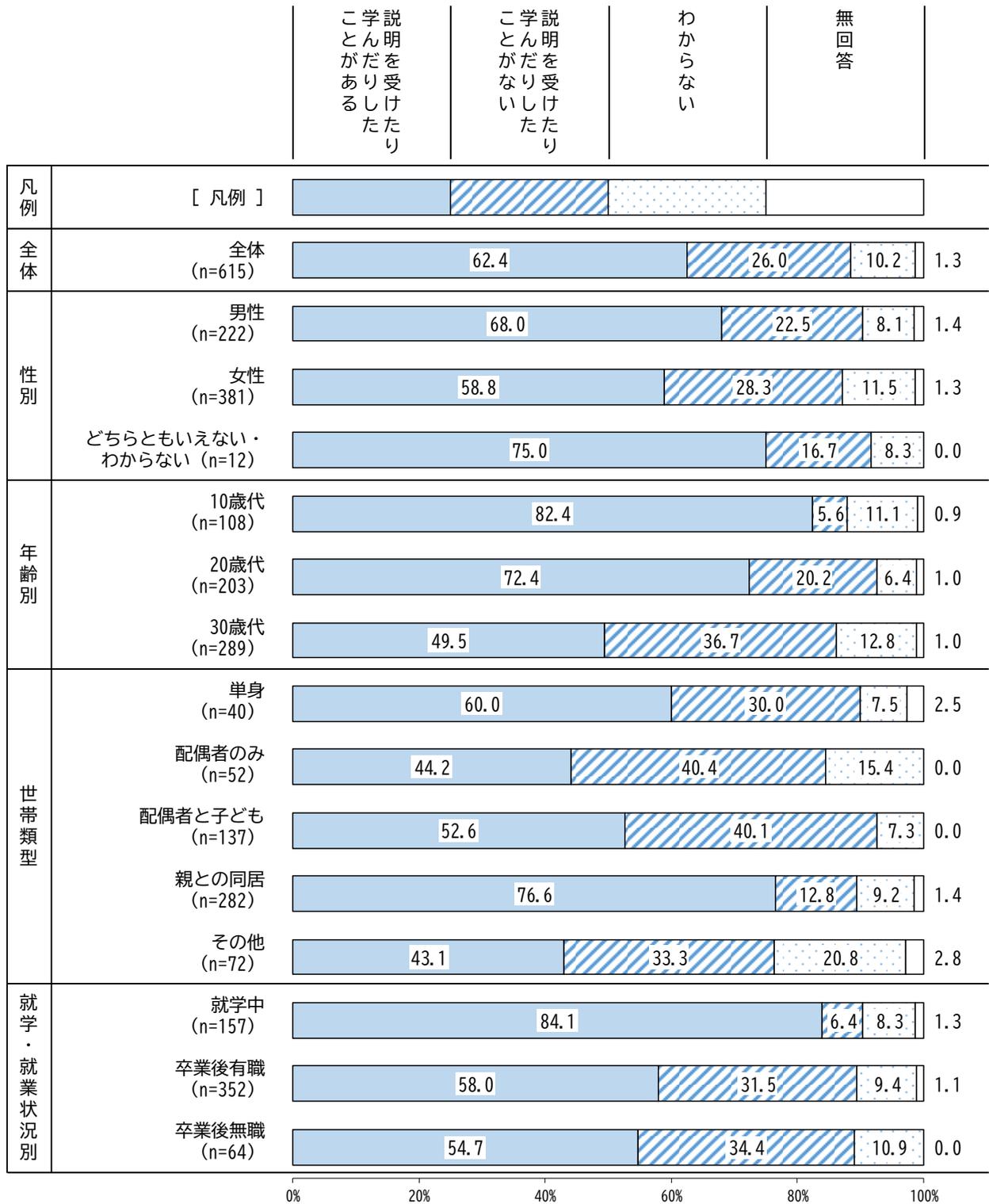
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「説明を受けたり学んだりしたことがある」が最も多くなっています。
- 配偶者のみ、配偶者と子どもは「説明を受けたり学んだりしたことがない」が全体より約 15 ポイント多くなっています。親との同居は「説明を受けたり学んだりしたことがある」が全体より 14.2 ポイント多くなっています。その他は「わからない」が全体より 10.6 ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「説明を受けたり学んだりしたことがある」が最も多くなっています。
- 就学中は「説明を受けたり学んだりしたことがある」が全体より 21.7 ポイント多くなっています。卒業後有職、卒業後無職は「説明を受けたり学んだりしたことがない」が全体より約 5~10 ポイント多くなっています。

【インターネットの危険性についての学習経験】



(38) SNSをきっかけとする犯罪被害経験の有無

㉗ あなたは、SNSがきっかけで起こる犯罪にあい、知らない人から襲われたり、乱暴されて傷ついたことはありますか。

【全体】

- 「当てはまらない」が92.0%で最も多く、次いで「当てはまる」が3.9%、「わからない」が2.6%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。
- 10歳代は「当てはまらない」が全体より5.9ポイント少なくなっています。

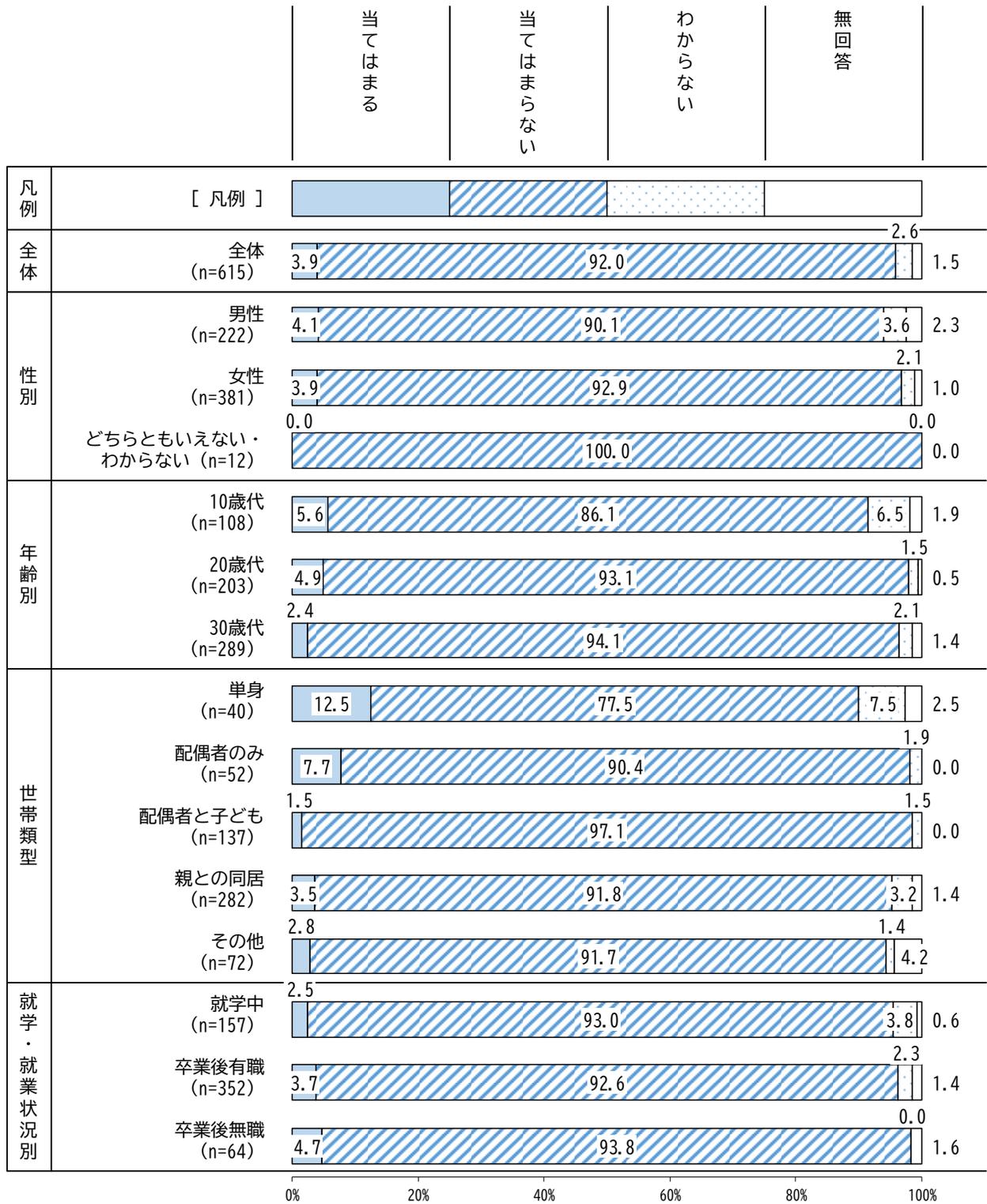
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。
- 配偶者と子どもは「当てはまらない」が全体より5.1ポイント多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【SNSをきっかけとする犯罪被害経験の有無】



(39) インターネットでの誹謗中傷・いじめの被害経験の有無

㊸ あなたは、パソコンやスマートフォン等でのひぼう・中傷や嫌なことをされるなどのいじめの被害にあったことがありますか。

【全体】

- 「当てはまらない」が 85.5%で最も多く、次いで「当てはまる」が 8.9%、「わからない」が 3.9%となっています。

【性別】

- 性別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【年齢別】

- 年齢別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

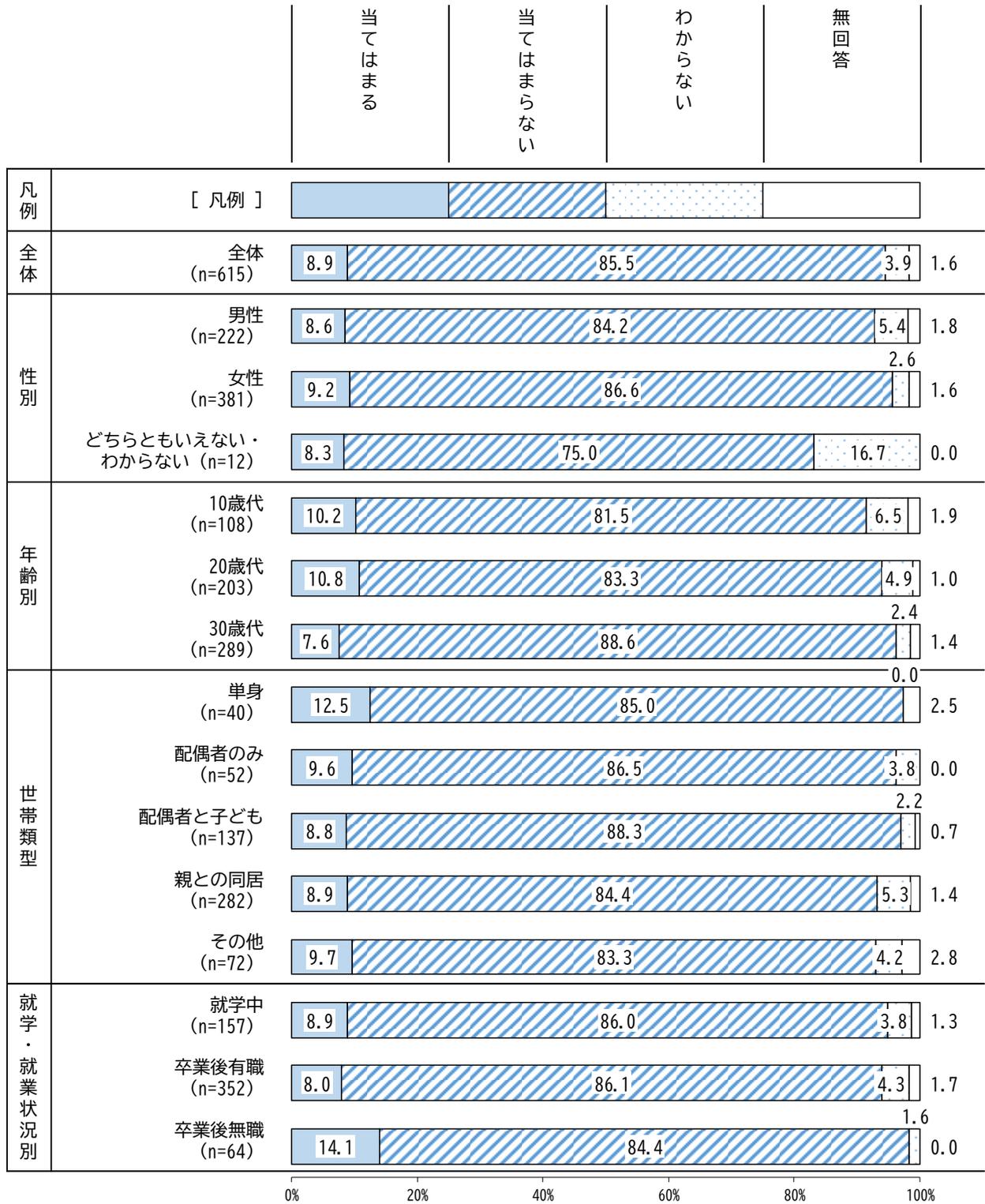
【世帯類型別】

- 世帯類型別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【就学・就業状況別】

- 就学・就業状況別で見ると、いずれも「当てはまらない」が最も多くなっています。

【インターネットでの誹謗中傷・いじめの被害経験の有無】



II 市ホームページによる意見募集結果

1 調査目的

こども計画の改定に向け、「I ふだんの生活に関するアンケート調査」の対象者以外の意見表明の機会を設けることを目的に、意見募集を実施しました。

2 調査概要

調査期間：令和7年7月23日（水）～令和7年9月19日（金）

調査対象：39歳までの市民及びその保護者

調査方法：広報誌等で周知し、市ホームページにより意見を募集

3 回答数

	件数
小学生	32件
中学生	15件
高校生年代	1件
こどもの保護者	36件
合計	84件

※複数の項目に回答できる形式のため、回答数と調査結果の件数の合計は一致しません。

4 調査結果

(1). 市の建物（図書館・スポーツ施設・文化施設など）に関すること

内容	件数
小学生	
図書館などの屋内施設の拡充	5
公園などの屋外施設の拡充	5
体育館などのスポーツ施設の拡充	4
商業施設の拡充	1
その他	1
中学生	
体育館などのスポーツ施設の拡充	4
図書館などの屋内施設の拡充	2
高校生年代	
体育館などのスポーツ施設の拡充	1
こどもの保護者	
図書館などの屋内施設の拡充	4
体育館などのスポーツ施設の拡充	4
遊び場・遊具の充実	3
文化施設の拡充	3
自習室の拡充	3
公園などの屋外施設の拡充	2
商業施設の拡充	1
その他	3

(2). 公園などの遊び場や居場所に関すること

内容	件数
小学生	
大きな公園がほしい	15
屋内で遊べる施設がほしい	6
公園に屋根などの休憩できる場所がほしい	2
その他	4
中学生	
大きな公園がほしい	5
屋内で遊べる施設がほしい	2
その他	4
高校生年代	
スポーツができる場所がほしい	1
こどもの保護者	
こどもの遊び場がほしい	6
屋内で遊べる施設がほしい	5
公園に屋根などの休憩できる場所がほしい	4
公園の整備	3
水場を増やしてほしい	3
大きな公園がほしい	2

(3). 学校に関すること

内容	件数
小学生	
学校の老朽化対策をしてほしい	1
長期期間中のこどもの居場所を増やしてほしい	1
不登校支援の充実	1
その他	2
中学生	
不登校支援の充実	1
インターネットを活用した勉強の充実	1
その他	2
高校生年代	
意見なし	
こどもの保護者	
不登校支援の充実	2
学校での暑さ・熱中症対策の充実	2
義務教育学校への反対	2
学校のトイレの衛生問題	1
学童の環境改善	1
その他	1

(4). まちづくりに関すること

内容	件数
小学生	
通学路に危ない場所が多い・暑い	1
その他	1
中学生	
意見なし	

II 市ホームページによる意見募集結果

高校生年代	
意見なし	
こどもの保護者	
歩道整備・危険な道路への対策をしてほしい	5
商業施設の拡充	2
こどもの遊び場がほしい	1
その他	3

(5). 保育所・幼稚園・認定こども園に関すること

内容	件数
小学生	
希望する保育園に入れない	1
その他	1
中学生	
保育園・幼稚園を減らさないでほしい	1
高校生年代	
意見なし	
こどもの保護者	
公立保育所の民営化への反対	3
補助金の見直し	2
入園申込から内定までのスケジュールや情報を早めにほしい	2
保育士の処遇改善	1

(6). 子育てサービスに関すること

内容	件数
小学生	
4年生以上も学童に通えるようにしてほしい	2
トイレを増やしてほしい	2
その他	1
中学生	
意見なし	
高校生年代	
意見なし	
こどもの保護者	
長期休み期間のこどもの居場所を増やしてほしい	3
学童の環境改善	3
習い事の経済的支援	1
未就学児、産前・産後の支援の充実	1
屋内施設の拡充	1
その他	1

(7). その他

内容	件数
小学生	
スポーツができる場所がほしい	2
公園に屋根などの休憩できる場所がほしい	1
水場を増やしてほしい	1
その他	2

中学生	
自然を守ってほしい	1
高校生年代	
意見なし	
こどもの保護者	
こどもの意見聴取のさらなる充実	3
SNS等を活用した広報の充実	1

Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

1 就学前児童及びその保護者に対する意見聴取

(1) 就学前児童に対する意見聴取

①調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握、意見表明の機会を設けること及び今後の施設運営の参考とすることを目的に、就学前児童の意見聴取を実施しました。

②調査概要

調査期間：令和7年9月6日（土）10:00～14:00

調査対象：高槻市立子育て総合支援センター（カンガルーの森）のイベント「まるごとカンガルーDAY」に参加した就学前児童

調査方法：質問に対して、選択肢にシールを貼って回答してもらう形式で実施



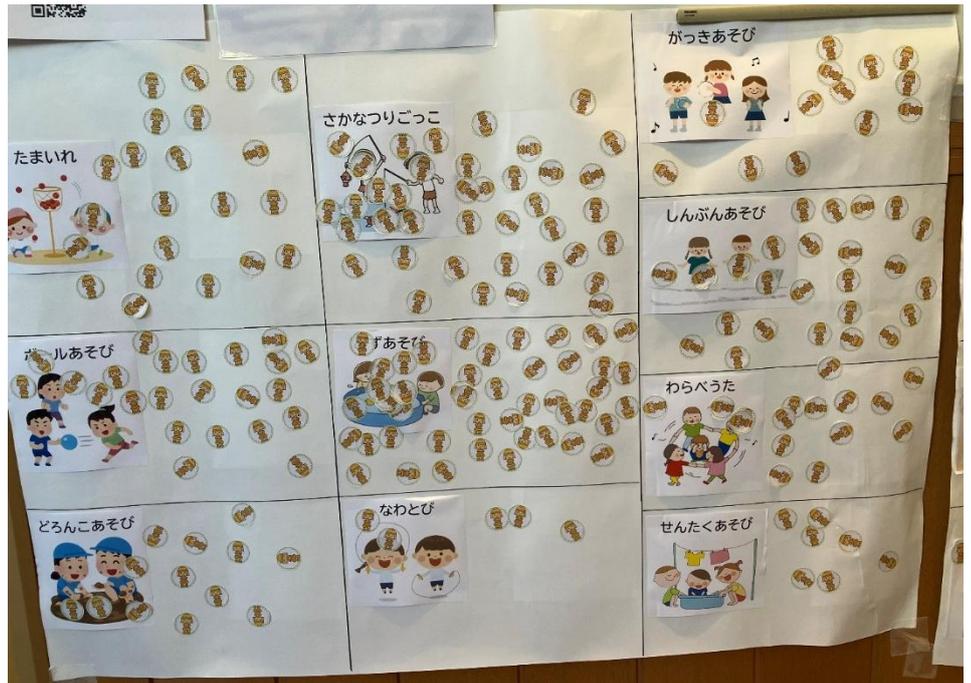
③調査対象者数及び回答数

調査対象者数	回答数
308 人	すきな遊び：209 件 まるごとカンガルーDAY で楽しかった遊び：379 件 ※複数回答可

④調査結果

【すきな遊び】

すきな遊び	件数
みずあそび	46
さかなつりごっこ	39
しんぶんあそび	25
ボール遊び	23
たまいれ	22
わらべうた	16
どろんこあそび	13
がっきあそび	13
せんたくあそび	7
なわとび	5



【まるごとカンガルーDAY で楽しかった遊び】

まるごとカンガルーDAY で楽しかった遊び	件数
ガチャこうさく	78
おめんづくり	64
しゃぼんだま	60
ヨーヨーつり	49
バルーンアート	36
はにたん将棋教室	29
まとあて	23
つくってとぼそう	19
パネルシアター	11
フルーツコンサート	10



(2) 保護者に対するアンケート調査

①調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握、意見表明の機会を設けること及び今後の施設運営の参考とすることを目的に、就学前児童の保護者向けのアンケート調査を実施しました。

②調査方法

調査期間：令和7年9月6日（土）

調査対象：高槻市立子育て総合支援センター（カンガルーの森）のイベント「まるごとカンガルーDAY」に参加した就学前児童の保護者

調査方法：二次元コードを掲示し、Web アンケートを実施

③調査対象者数、回答数及び回答率

調査対象者数	回答数	回答率
239組（各家族につき1回の回答）	144件	60.3%

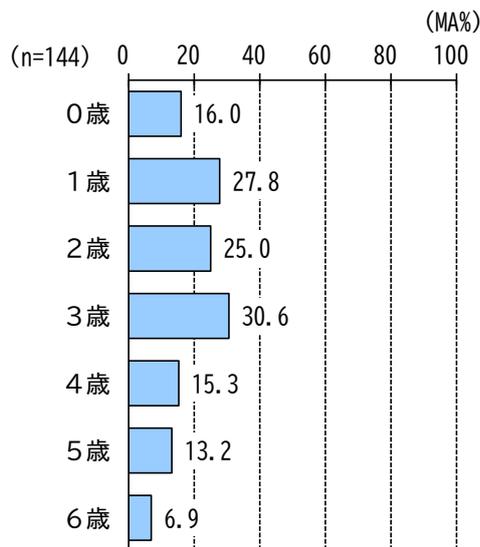
④調査結果

Q1 お子さんの年齢を教えてください。

（お子さんが複数いる場合は、該当する年齢をすべて選択してください。）

【全体】

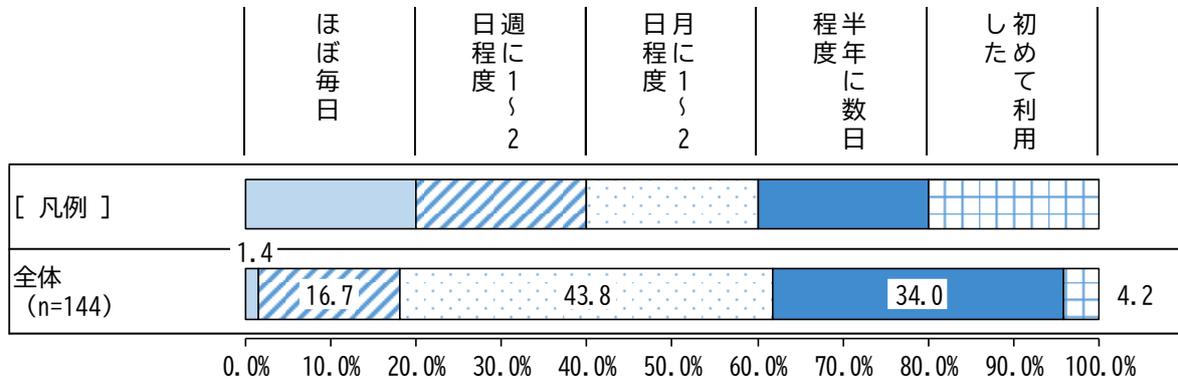
○ 「3歳」が30.6%で最も多く、次いで「1歳」が27.8%、「2歳」が25.0%、「0歳」が16.0%となっています。



Q2 高槻市立子育て総合支援センター（カンガルーの森）の利用頻度を教えてください。
（ひとつを選択）

【全体】

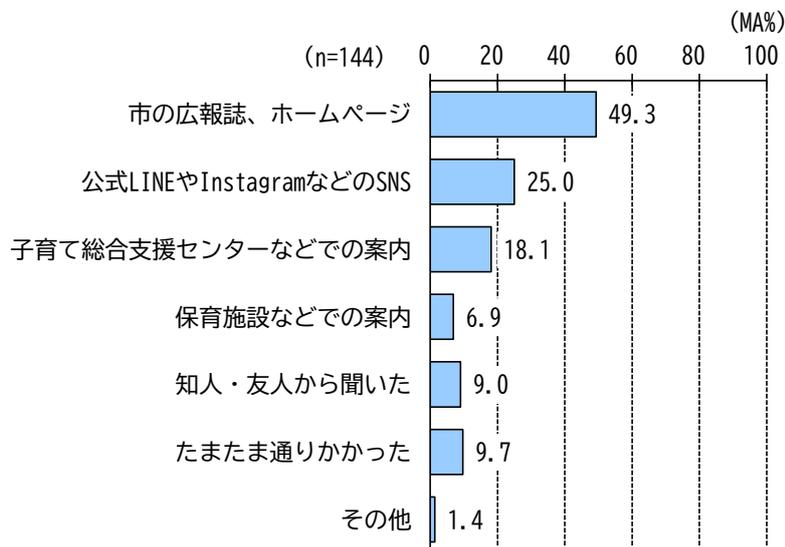
- 「月に1～2日程度」が43.8%で最も多く、次いで「半年に数日程度」が34.0%、「週に1～2日程度」が16.7%、「初めて利用した」が4.2%となっています。



Q3 今回のイベントを知ったきっかけをお聞かせください。（あてはまるものすべてを選択）

【全体】

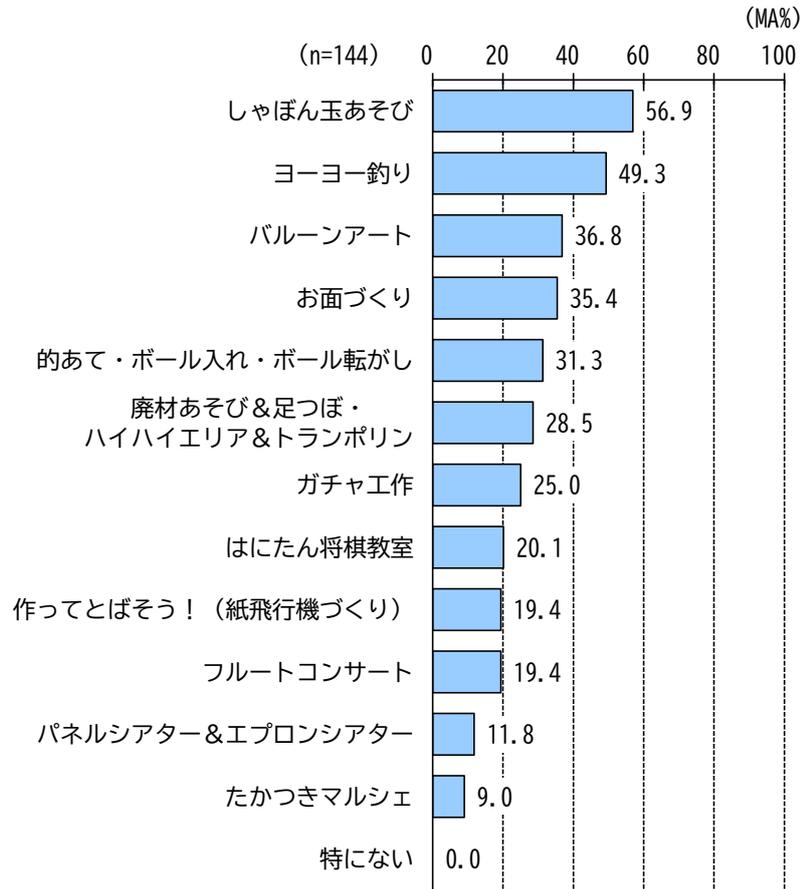
- 「市の広報誌、ホームページ」が49.3%で最も多く、次いで「公式LINEやInstagramなどのSNS」が25.0%、「子育て総合支援センターなどでの案内」が18.1%、「たまたま通りかかった」が9.7%となっています。



Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

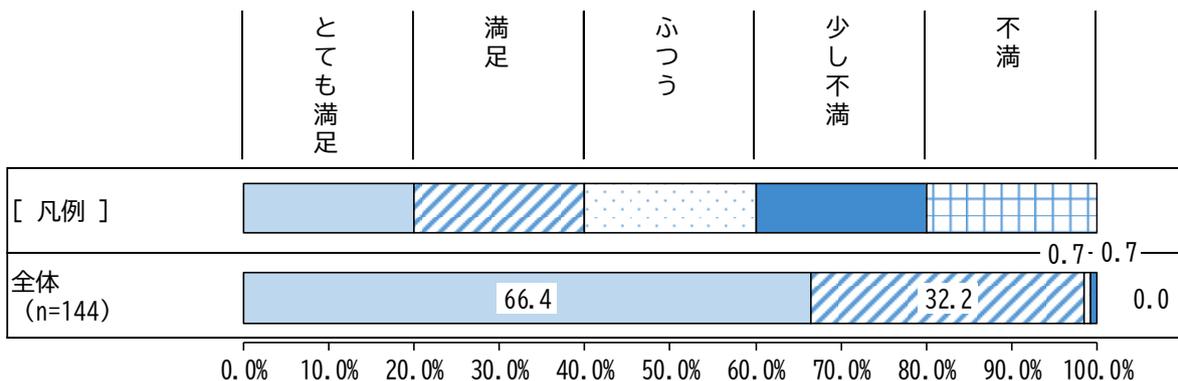
Q4 今回のイベントで、楽しかった・よかったと思うブースをお聞かせください。
(あてはまるものすべてを選択)

【全体】
○ 「しゃぼん玉あそび」が56.9%で最も多く、次いで「ヨーヨー釣り」が49.3%、「バルーンアート」が36.8%、「お面づくり」が35.4%となっています。



Q5 今回のイベントの満足度と、その理由をお聞かせください。(ひとつを選択)

【全体】
○ 「とても満足」が66.4%で最も多く、次いで「満足」が32.2%、「ふつう」「少し不満」がそれぞれ0.7%となっています。



【「とても満足」「満足」と回答した方の理由】

内容	件数
こどもが楽しんでいた	19
イベントのコーナーの種類が豊富	13
親子で楽しめた	8
スタッフの対応がよかった	4
無料で参加できた	3
工作ができた	3
休日開催	2
予約が不要	2
混雑していない・待ち時間が少ない	2
活気があった	2
0歳でも楽しめるあそびを増やしてほしい	2

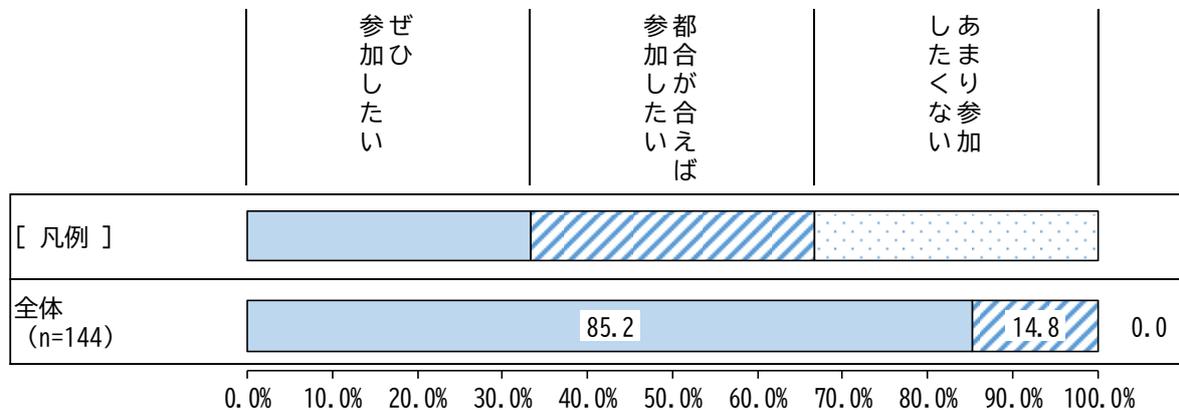
【「ふつう」「少し不満」と回答した方の理由】

内容	件数
人が多くゆっくりできなかった	2
並ぶところがきちんと整備されていなかった	1

Q6 またこのようなイベントがあれば参加したいと思いますか。(ひとつを選択)

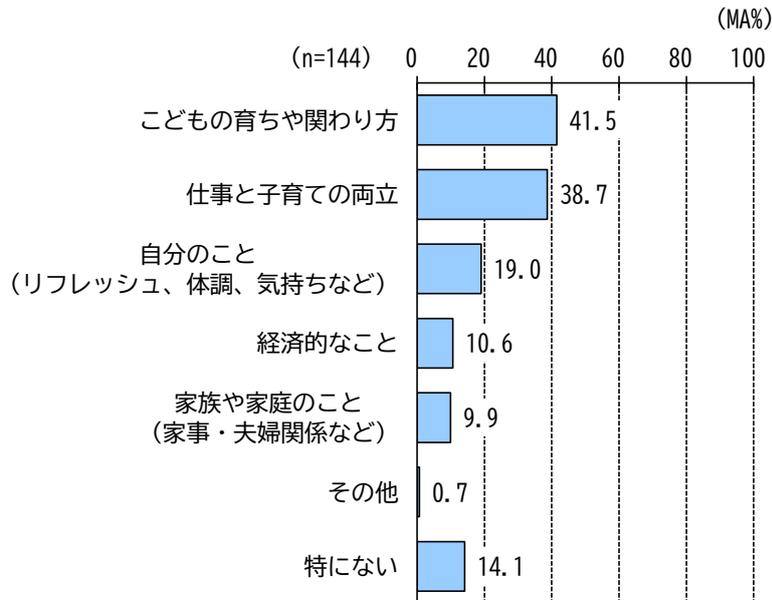
【全体】

○ 「ぜひ参加したい」が85.2%、「都合が合えば参加したい」が14.8%となっています。



Q7 普段、子育てで困っていることや悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてを選択)
また、それはどのようなことですか。

【全体】
○ 「こどもの育ちや関わり方」が41.5%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立」が38.7%、「自分のこと(リフレッシュ、体調、気持ちなど)」が19.0%、「特にない」が14.1%となっています。



こどもの育ちや関わり方
イヤイヤ期や、下の子が産まれた事による赤ちゃん返りへの対応 親がイライラしてしまう
二人目妊娠中のときの講座がほしい(関わりかたや過ごし方等)
叱り方
年齢にあった成長ができていくか。子供への接し方、声の掛け方など
人を噛んで怪我させる事。それは自然な事なのか？相手もそう思えるか。
発達について
早産なので、心配
遊び方
声掛け。
仕事と子育ての両立
両立が忙しい。
仕事が忙しくて子供にあまりかまえない
フルタイムできるのか
今後復職して、やっていけるか不安
育児時間の確保、病気時の仕事の調整
学童と保育園が入れるか
仕事を辞めてしまったので復職したいと思ってもなかなか気力と体力がわからない
日々両立が難しいと感じるため。
突発的な病気が発生した時に周りに迷惑をかけてしまう。
自分のこと (リフレッシュ、体調、気持ちなど)

なかなかリフレッシュ時間を取るの難しい
休日は、ワンオペ育児で1人で家事育児をしているので心が休まる時がありません。 仕事をしているか、家事育児をしているかの状況で、自分の時間が欲しければ、妻と子供が寝た後に睡眠時間を削ってゲームをするしかリフレッシュの方法がありません。 かなり精神的にしんどいです…
余裕がない
経済的なこと
子どもが多く産んで幸せだけど、お金のことが心配。
もっと働きたいが学童や保育園が確保できるか不安
成長して、自分がなくなるまで金銭が保つのか？
物価高で生活費全般に不安
夏場などの光熱費高騰のおおりに受けて子どもに使うお金がなくなってしまう。
家族や家庭のこと（家事・夫婦関係など）
夫婦関係

Q8 高槻市の子育て支援について、「もっとこうしてほしい」ということがあれば、お聞かせください。

内容	件数
こどもの遊び場の充実	9
待機児童の解消	3
学童の拡充	3
今回のようなイベントの開催	3
保育園の充実	2
保育園無償化	1
休日の一時預かりの充実	1
市のキャラクターグッズの販売	1
こども食堂の拡充	1
子育て支援のさらなる充実	1
セミナーの休日開催	1
親のリフレッシュの場の提供	1
JR 高槻駅南口のエレベーターが暑い	1
特になし・満足している	3

2 不登校児童生徒支援室での意見聴取

(1) 調査目的

こども計画の改定に向け、不登校児童生徒支援室に通うこどもの意見聴取を実施しました。

(2) 調査概要

調査期間：令和7年10月2日（木）13:15～14:15

調査対象：高槻市教育センター4階の不登校児童生徒支援室「エスペランサ」に通うこども数名

(3) 調査方法及び実施上の配慮

不登校児童生徒支援室に通うこどもたちが日常的に過ごしている「エスペランサルーム」において実施しました。テーマは、「こども計画について」、「自分が楽しいこと・うれしいこと」、「自分が安心できる場所・理由」、「自分にとって学校とは何か」、「学校に対して「こうなったらいいのに」と思うこと」。

参加した大人は、ファシリテーター1名、記録係1名、不登校児童生徒支援室教職員2名の計4名とし、初対面の大人を必要最小限とすることで、こどもたちが安心して意見を述べられる環境づくりに配慮しました。

実施にあたっては、発言の順番は誰からでもよいこと、話したくないときはパスしてもよいことなどを事前に伝えました。また、意見を整理したり書き留めたりできるよう、付箋及びペンを配付しました。

さらに、以下の約束を最初に説明し、ホワイトボードに掲示し、全員で共有しました。

- ・みんなに聞こえるように話そう
- ・人の話をさえぎらない
- ・人と違って大丈夫
- ・人の話を否定しない
- ・みんな同じくらい話そう



エスペランサルーム

(4) 調査結果

【テーマ①：こども計画について】

- こども計画（やさしい版）3 ページ「話を聴いてくれる」という部分について、「誰が話を聴いてくれるか」がわからない。話を聴いてもらうとしたら、学校で勉強を教えてくれる先生ではなく、心理カウンセラーの先生に相談したい。学校の心理カウンセラーが一人しかいないと、人によって合う・合わないがあったり、また週に1日しかいない心理カウンセラーだと相談したいときに話せないため、いつも話せる常駐の心理カウンセラーを増やしてほしい。家族でないところが大事。
- こども計画（やさしい版）6 ページ「いじめ防止や不登校のこどものみなさんへの支援」はとても良い、助かる。
- こども計画（やさしい版）6 ページ「きめ細やかな学習指導により、「わかる・できる」授業を目指します」という部分について、今後決めていくことなのか、すでに決まっていることなのかかわからない。こどもに伝わっているのかわからない。
- こども計画（やさしい版）4 ページ「①すべてのこどもは大切にされ、～差別されないこと」とあるが、どういう差別のことを指すのか知りたい。「差別」や「権利」の言葉のイメージがわかりにくい。こどもに対して「これは絶対できないだろう」などと決めつけられることが差別と感じる。

【テーマ②：自分が楽しいこと・うれしいこと】

- 高槻まつりなどのお祭りを増やしてほしい。祭りの食べ物が好き。コンビニの商品は高いが、お祭りはたこ焼きなど全体的に安いし、普段食べられない物が食べられる。
- 学校が休みの日や、昼から登校、昼までの日が多いとうれしい。
- スマホゲーム、サイクリングを楽しんでいる。サイクリングはクロスバイクで、風を感じながら近場を走るのが楽しい。
- 「こどもだからできない」など信じてもらえないことが嫌だ。信じてもらえたり、認めてもらえたりするとうれしい。

【テーマ③：自分が安心できる場所・理由】

- 自分の家やエスplanサが安心できる。なじみのある場所で、怖いものがなく安全である。
- セキュリティがしっかりしているところにいると安心する（指紋認証・鍵）。
- 部屋は自分の推しのグッズで囲まれており、そこにいると落ち着く。

【テーマ④：自分にとって学校とは何か】

■ こどもたちの学校に対してのイメージ

- 「人のたまり場」というイメージ。
- 人が多く、何かを決めるときに誰かが必ず我慢する状況がある。
- 勉強する場所。
- 助け合いや協力をする場所。
- 助け合ったりする場であってほしい。

■ 学校で楽しいこと

- 部活が楽しい。大会・コンクールなどに向けてみんなで頑張るのが好き。

Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

- 同じ部活の先輩がいれば、関わりをもつことができる。
- 運動会の部活対抗リレーも楽しかった。
- 給食が好き。年1回の揚げパンが好きで楽しみだった。

【テーマ⑤：学校に対して「こうなったらいいのに」と思うこと】

- 学校のクラスの中には上下関係がある。30人でも多い。
- 人が多い環境が苦手なため、少人数クラス（10人程度）にしてほしい。10人程度であれば上下関係ができにくいと思う。
- 中学校も制服をやめて私服にしてほしい。

3 青少年に対する意見聴取

(1) アンケート調査

①調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に、青少年に対するアンケート調査を実施しました。

②調査方法

調査期間：令和7年9月16日（火）～10月5日（日）

調査対象：高槻市立総合市民交流センター（クロスパル高槻）6階の青少年センター（街角ユースフロア）の利用者

調査方法：二次元コードを配布し、Web アンケートを実施

③配布数、回答数及び回答率

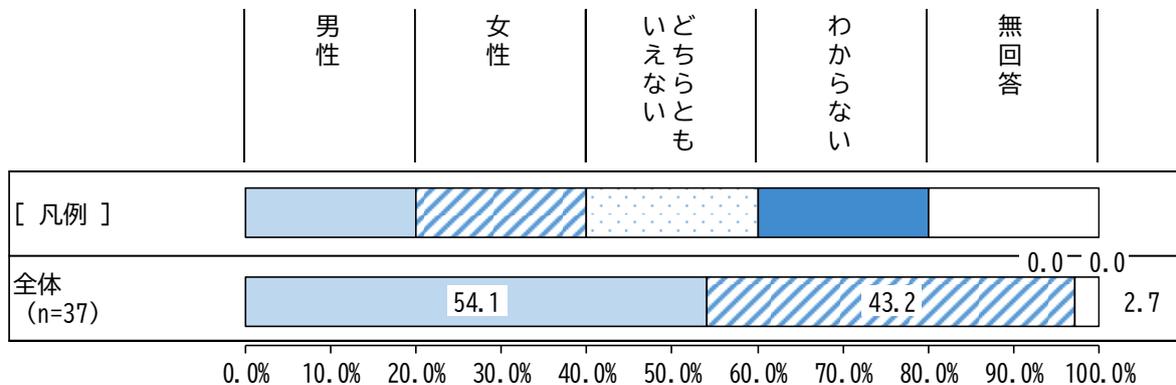
配布数	回答数	回答率
321 件	37 件	11.5%

④調査結果

Q1 あなたの性別について、あてはまるものを選んでください。（ひとつを選択）

【全体】

○ 「男性」が54.1%、「女性」が43.2%となっています。

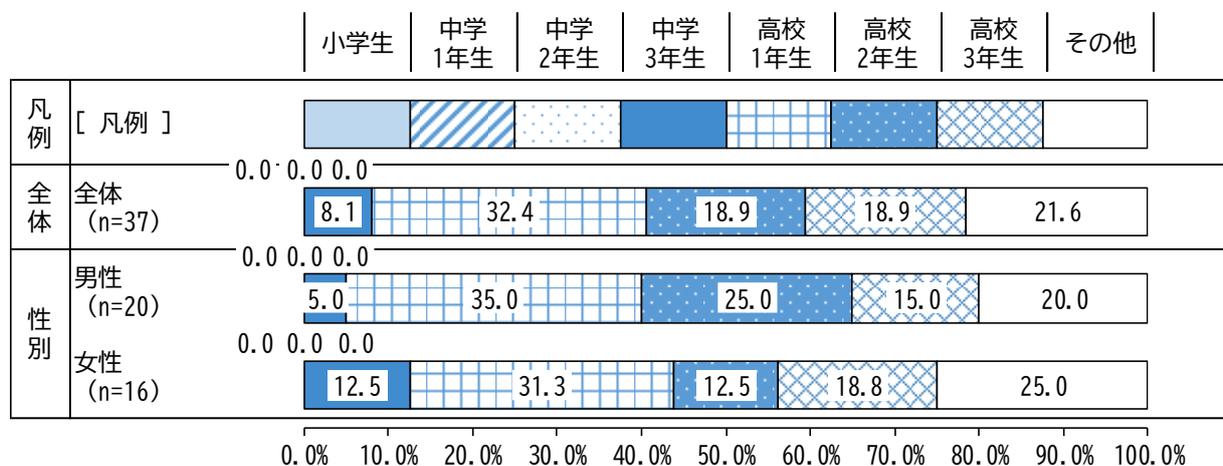


Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

Q2 あなたの年齢について、あてはまるものを選んでください。(ひとつを選択)

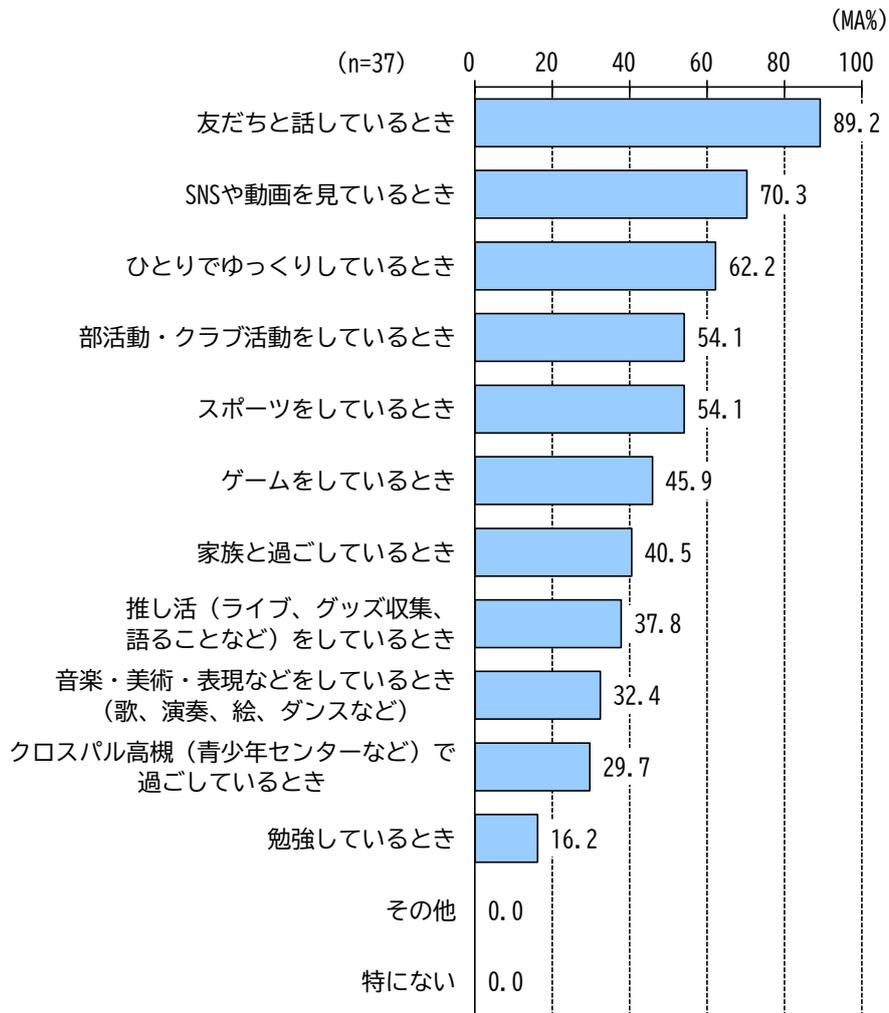
【全体】

- 「高校1年生」が32.4%で最も多く、次いで「その他」が21.6%、「高校2年生」「高校3年生」がそれぞれ18.9%となっています。



Q3 あなたが「楽しい!」と感じるのはどんなときですか? (あてはまるものすべてを選択)

【全体】
 ○ 「友だちと話しているとき」が 89.2%で最も多く、次いで「SNS や動画を見ているとき」が 70.3%、「ひとりでゆっくりしているとき」が 62.2%、「部活動・クラブ活動をしているとき」「スポーツをしているとき」がそれぞれ54.1%となっています。

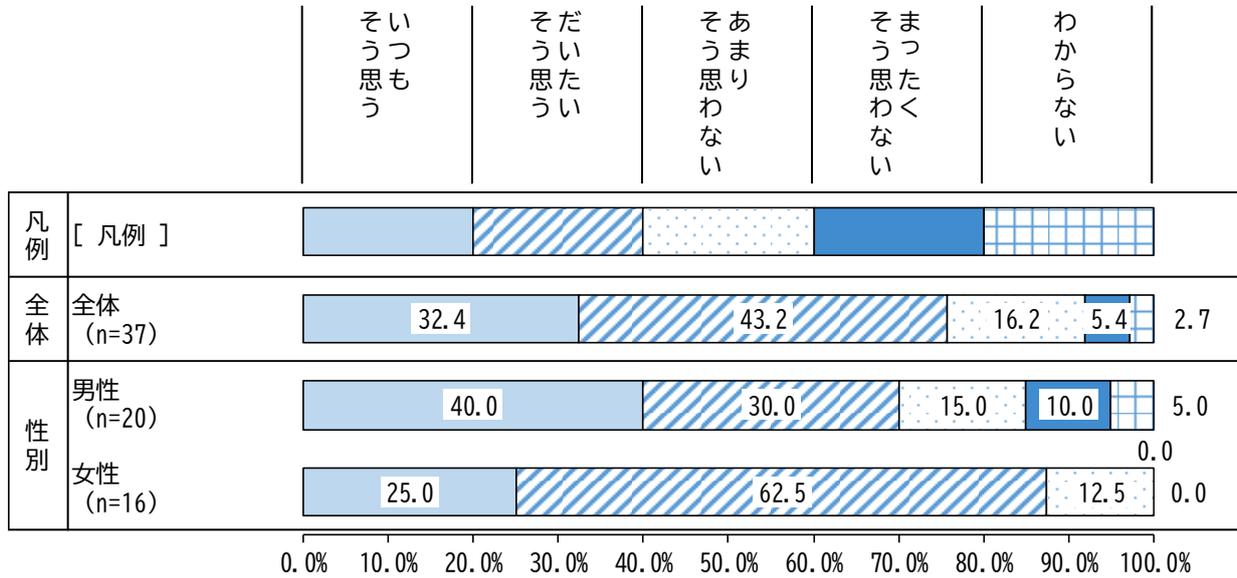


単位: MA%

	母数 (n)	あなたが「楽しい!」と感じるとき												
		友だちと話しているとき	家族と過ごしているとき	部活動・クラブ活動をしているとき	スポーツをしているとき	絵、ダンスなど (音楽・美術・表現など)	ゲームをしているとき	SNS や動画を見ているとき	推し活 (ライブ、グッズ収集、語ることなど) をしているとき	勉強しているとき	クロスパル高槻 (青少年センターなど) で過ごしているとき	ひとりでゆっくりしているとき	その他	特にない
全体	37	89.2	40.5	54.1	54.1	32.4	45.9	70.3	37.8	16.2	29.7	62.2	0.0	0.0
性別	男性	20	90.0	50.0	55.0	60.0	25.0	55.0	65.0	15.0	30.0	60.0	0.0	0.0
	女性	16	93.8	31.3	50.0	43.8	43.8	37.5	81.3	18.8	31.3	62.5	0.0	0.0

Q4 あなたは、ふだんの生活で「ありのままでいることができている」と思いますか？
(ひとつを選択)

【全体】
○ 「だいたいそう思う」が43.2%で最も多く、次いで「いつもそう思う」が32.4%、「あまりそう
思わない」が16.2%、「まったくそう思わない」が5.4%となっています。



※よければ、そう思う理由や、そう思わないときの気持ち、状況なども教えてください。

【「いつもそう思う」「だいたいそう思う」と回答した方】

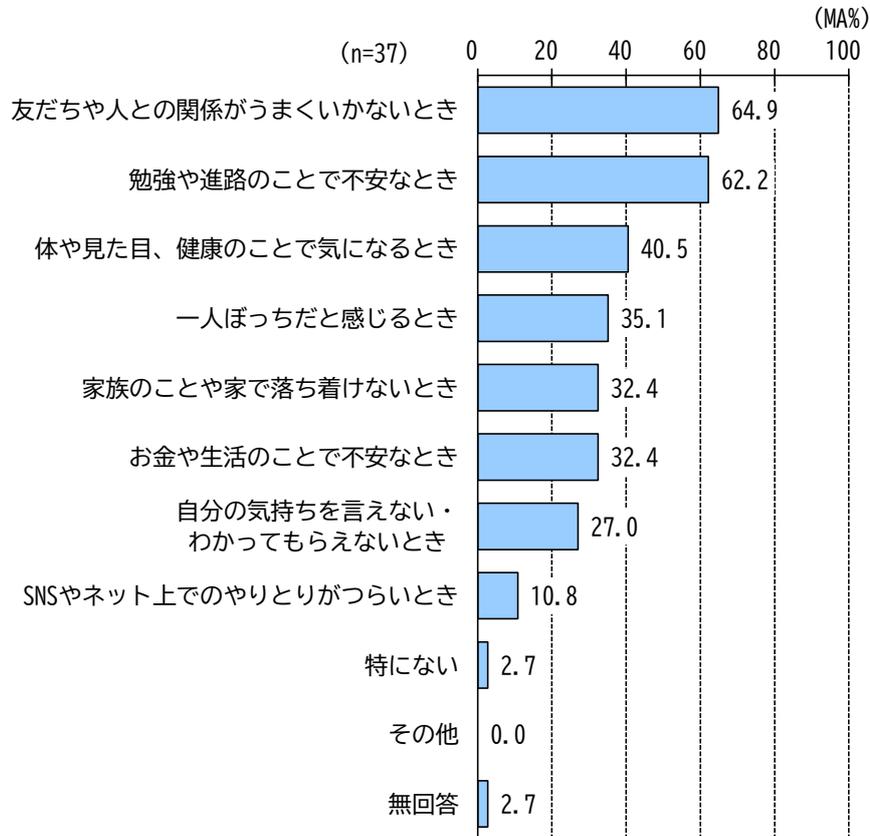
周りの人間を振り回しているから
他人の気を伺わないから
やりたいことを基盤に行きたい道に進む努力ができる環境のため（受験や就職の過程）
毎日楽しいし幸せと感じることができているから！
性格上裏表が少ないので、普段からありのままでいれてると思うから。
学校が少人数で、自分らしさを出さない必要がないから、親が自由で、自分の長所を伸ばす方針だから
ありのままでいられる人と仲良くしているから。
部活や家で過ごしている時に、リラックスできていると感じるから

【「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した方】

自分は表と裏があると思うから
塾行かなければならないから

Q5 ふだん、どんなときに「しんどい」と感じますか？（あてはまるものすべてを選択）

【全体】
 ○ 「友だちや人との関係がうまくいかないとき」が64.9%で最も多く、次いで「勉強や進路のことで不安なとき」が62.2%、「体や見た目、健康のことで気になるとき」が40.5%、「一人ぼっちだと感じるとき」が35.1%となっています。



単位：MA%

	母数 (n)	ふだん、どんなときに「しんどい」と感じるか										
		友だちや人との関係がうまくいかないとき	SNSやネット上でのやりとりのとき	勉強や進路のことで不安なとき	家族のことで落ち着けないとき	自分の気持ちを言えない・わかってもらえないとき	一人ぼっちだと感じるとき	体や見た目、健康のことで気になるとき	不安なとき	お金や生活のことで不安なとき	特になし	その他
全体	37	64.9	10.8	62.2	32.4	27.0	35.1	40.5	32.4	2.7	0.0	2.7
性別	男性	50.0	0.0	55.0	15.0	25.0	35.0	35.0	25.0	5.0	0.0	5.0
	女性	87.5	25.0	68.8	56.3	31.3	37.5	50.0	43.8	0.0	0.0	0.0

Q6 今がんばっていることや、興味をもっていることはありますか？

内容	件数
勉強	13
部活	4
スポーツ	2
その他	7
特になし	1

Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

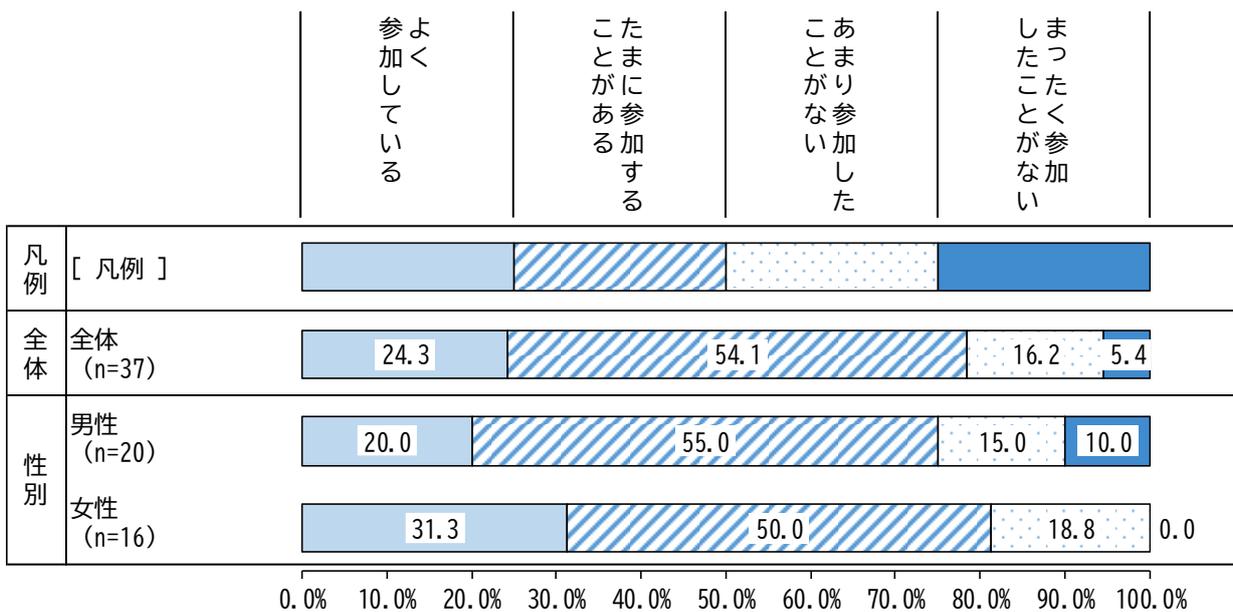
Q7 「高槻市がこうだったらいいのに!」「学校・まちにあったらいいな(設備、イベント・行事、ルールなど)」と思うことがあれば教えてください。

内容	件数
自習室を増やしてほしい	9
茨木市に追いついてほしい(おにクルのような施設など)	2
いじめを減らしてほしい	1
歩道の幅を広げてほしい	1
地下通路の自転車通行を減らしてほしい	1
喫煙所の複数設置・路上での禁煙の徹底	1
その他	3
特になし	4

Q8 あなたは、住んでいる地域や高槻市内で行われるお祭りやイベントなどに参加したことがありますか?(ひとつを選択)

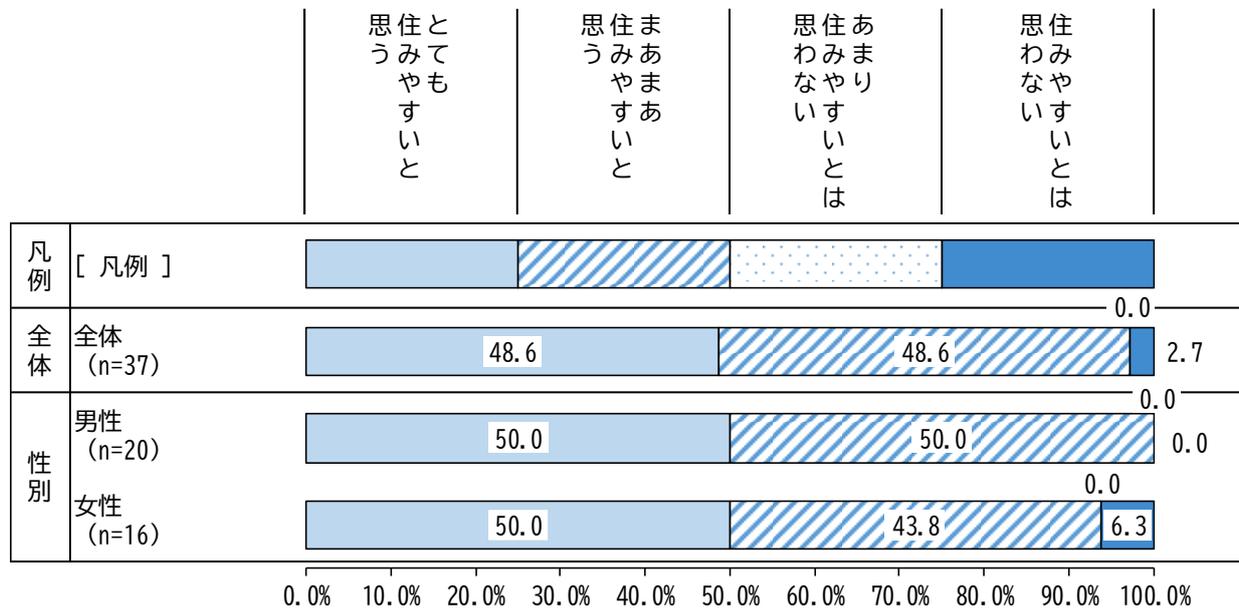
【全体】

- 「たまに参加することがある」が 54.1%で最も多く、次いで「よく参加している」が 24.3%、「あまり参加したことがない」が 16.2%、「まったく参加したことがない」が 5.4%となっています。



Q9 あなたにとって、高槻市は住みやすいまちだと思いますか？（ひとつを選択）

【全体】
 ○ 「とても住みやすいと思う」「まあまあ住みやすいと思う」がそれぞれ48.6%、「住みやすいとは思わない」が2.7%となっています。



また、そのように感じる理由を教えてください。

【「とても住みやすいと思う」「まあまあ住みやすいと思う」と回答した方】

住んでいる人と会話すると高槻はちょうどいいよね便利だよねという話が多いため
お父さんが再就職できたから
阪急高槻市と JR 高槻駅の2つあり、JR は新快速も止まるので、京都、大阪方面にすごく行きやすい。夜も賑わっていて、僕は島本町民だけど好き。
交通の利便性が高いから
交通の便がいい、マナーも悪い人が少ない
おばあちゃんたちも住みやすい町だと思うし、保険で病院代などが無料になっているから
交通の便がいい
駅前が便利。樫田に住んでいるのでバスの本数が不便。
駅から近いし飲食店も多い
暮らしの面では、悪く言いようがないと思っています。大阪の中心地まで 15 分の好立地、大体の暮らしに必要なお店も揃っています。学生からという視点からだと、やはり小中学校の教育の面が少しマイナスになっているかなと感じています。私は中学の頃、起立性調節障害が原因で不登校でした。その時の先生の対応(特にテストについては、少し不満の残るものでした。私が中3になる頃には、支援教室に入れる人が狭められ、それ以外の人は、通級教室(放課後に通える)になり、課題の抱える生徒たちに十分に支援が行き届いているのか?と少し疑問が残ったのを覚えています。
平和だから
商業施設が充実しており、少ない移動時間でも事足りるため。

Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

Q10 あなたの”推し”を教えてください！※アイドル、アニメ、漫画、ゲーム、キャラクター、YouTuber、VtuberなんでもOK！※「なんでその推しが好きなのか」も書いてもらえるとうれしいです！

特にありません
可愛くて癒されるのでドラえもんとドンペン大好きです♡
なにわ男子の大橋和也くん！ 歌、ダンスがとても上手で、努力家で、周りまでハッピーにしちゃうようなとても明るくて優しく、みんなから愛されている大橋くんが大好きです！
チェンソーマンの早川あき TWICE 東京喰種 金木
エヴァンゲリオン 世界観に惹かれた
今日好きのりのんちゃん
特になし
チェンソーマン、ノバマンゲームス、
静御前 頼朝の前で舞った強かさ
西園寺という鉄道系 YouTuber
ブロックブラスト
チェーンソーマン グロいけどおもしろい
ONE OK ROCK、ヒヨゴン
チ。地動説 ストーリーもしっかりしているアニメで、地動説だから難しいかと思いきや内容もずっと入ってくる。初めて天体に興味を持った。
へむへむ 可愛いから
暁のヨナのハク かっこいいから
のどか ・真中まな（フルーツジッパー） どんなステージも明るくて元気をもらえるから。 ・喜多川海夢（その着せ替え人形は恋をする） 上と同様。 ・星野アイ（推しの子） 上と同様。
インターステラー 数年前の映画だけれども、私の一番好きな映画で何回も見てしまう、理科が好きになった理由かも
サカナクション、HANA、新しい学校のリーダーズ
ウマ娘
ルカドンチッチ
毒☆あきお 面白いから
ジョジョの奇妙な冒険 エヴァンゲリオン 薬屋のひとりごと あさぎーによ
Eve 音楽が聴いていて前向きになれるから。
いない
ポケモンのブラッキー、かっこいいけどツンデレな感じが好き

(2) 対面による現場での意見聴取

①調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に、対面による現場での意見聴取を実施しました。

②調査概要

調査期間：令和7年10月5日（日）15:00～16:20

調査対象：（1）アンケート調査回答者のうち、対面による現場での意見聴取（フリートーク会）参加希望者数名

③調査方法及び実施上の配慮

高槻市立総合市民交流センター（クロスパル高槻）4階 402 会議室において実施しました。テーマは、「普段の楽しみについて」、「困っていることや悩んでいること」、「高槻市のイメージ」、「高槻市がもっとこうなってほしい」、「若者のためにやってほしいこと・やりたいこと」。

参加した大人は、ファシリテーター1名、記録係1名の計2名とし、お菓子や飲み物を自由にとりながら、参加者がリラックスした状態で意見を述べやすい環境づくりに配慮しました。

参加者の名前は募集段階からニックネームでの応募を可とし、対面での意見聴取においても実名は控えました。発言の順番は誰からでもよいこと、話したくないときは話さなくてよいことなどを事前に伝えました。

さらに、以下の約束を最初に説明し、全員で共有しました。

- ・みんなに聞こえるように話してください
- ・人の話をさえぎったり、否定したりしないでください
- ・人と違う意見は大歓迎
- ・思ったことは何でも話そう

④調査結果

1. 普段の楽しみについて

● 普段の過ごし方

友達との会話や遊び、一人での YouTube 鑑賞、睡眠、ゲーム、料理（自炊）などが楽しみとして挙げられた。インドア派とアウトドア派の両方の意見が出た。

● 勉強場所

高槻市では自習できる公共施設が少ない中、青少年センターを勉強場所としてよく利用しているという意見があった。家ではゲームやテレビなどがあるため集中できなかったり、学校では友人と話してしまったりするため、より集中できる場所として青少年センターが利用されている。利用し始めた頃は人があまりおらず、ガラガラだったが、この1～2年で爆発的に増えたと感じているようだ。PC作業で充電が必要な時はカフェを利用することもあるとのことだった。

● お気に入りの場所

高槻市で気に入っている場所として、夜の安満遺跡公園（人が少なく景色が綺麗）、あくあびあ芥川近くの公園（夜景が綺麗）、摂津峡（散歩や、昔はバーベキューができた）などが挙げられた。

2. 困っていることや悩んでいること

● 将来・進路への不安

受験までの期間が短く焦る気持ちや、就職活動や面接に対する漠然とした不安、希望する進路のために地元を離れる必要があるかもしれないという不安が語られた。

● 日常の不便・不満

JR 線の混雑（特に普通電車）、バスでのマナーの悪い乗客に対しての不満（列への横入り、ぶつかっても謝らない）など、日頃利用する公共交通機関への意見が挙げられた。

● 身近に迫る違法薬物

身近な友人から高槻駅周辺での薬物関連の噂を聞いたという話があり、ショックを受けるとともに、夜間に駅周辺へ行くのが怖くなったという意見があった。

3. 高槻市のイメージ

● 利便性と住みやすさ

ベッドタウンであり、京都にも大阪にも新快速1本で行ける交通の便の良さが挙げられた。

● 市民性

他の地域と比べて「モラルやマナーがいい」、「協調性が高い」という意見が出た。マジョリティに寄りたいのが多いのか、まとまっている、空気を読んでいる印象。また、地元意識が強く「高槻から離れたくない」という人が多い印象があるようだ。「高槻で仕事を探す」という話も聞くとのことである。

● 受容性

協調性が高い一方で、新しい人が入ってきた時も積極的に話しかけるなど、新しい人・ものを受け入れやすい地域柄だと感じている。

● 子育ての様子

飲食店や公園などで、こどもが走り回ったり他人に迷惑をかけたりしても注意しない親が以前より目立つようになったというイメージが語られた。

4. 高槻市がもっとこうなってほしい

● 路上喫煙の禁止と喫煙環境の整備

駅周辺だけでなく市全体で路上喫煙を禁止し、その代わりに喫煙所を増設してほしいという意見が出た。路上喫煙による臭いやポイ捨てが気になるとのことである。

● 交通・インフラの改善

高齢者が多い坂道の地域で、バス停間の距離が長すぎるため、中間にバス停を新設してほしいという具体的な要望があった。

JR 高槻駅のエレベーターが1台しかなく、車椅子やベビーカー、ヘルプマークの利用者などが重なり混雑するため、駅や駅前のエレベーターを増設してほしいという意見が出た。

梅田などの都市部と比較し、高槻市は駐車場・駐輪場が少ないため、路上駐車を減らすためにも増やしてほしいとのことである。

レンタル電動キックボード（Luup）のポートが高槻市の公共スペースにないので設置してもいいのではないかとという声もあった。

5. 若者のためにやってほしいこと・やりたいこと

● 復活してほしいイベント・新しい取組について

スポーツ・交流：かつて青少年グラウンドで行われていたような、地域の人が交流できるスポーツイベント。

世代間交流：小学生が老人ホームを訪問し、お手玉やめんこなどの昔遊びを教わる機会。

地域のつながり：夏休みのラジオ体操（スタンプラリーやお菓子、豚汁、流しそうめんなどもあった）。公民館の活用が減っているのではないかと指摘もあった。

文化体験：学ランや着物など、今は着る機会が減った服装に触れる（着る）機会がほしい。

コロナ禍前にやっていた地域交流の復活、催しを増やしてほしいという意見があった。また、高齢者と関わる機会が本当にないと感じている。

● イベントの周知と参加について

市のイベントが若者にあまり知られていないため、周知の機会を増やしてほしいという要望があった。

若者が参加しやすい方法として、時間的な制約が少ない企画・アイデア出しの話し合いに参加する形が挙げられた。若者が運営作業だけでなく企画段階から関わることで、「若者が作ったイベント」として他の世代も参加しやすくなるのではないかといった意見や、単純作業なら参加しやすい、催しの企画に若者がその場で自由に参加できる方式を採ってみてはどうか、という意見もあった。

6. 参加者からの意見・質問

● スクールカウンセリングの問題点

カウンセリングを受けたい場合、学校の先生を経由しなければならない仕組みが大きなハードルになっているとの意見があった。先生に相談できないことがある場合、カウンセリングに行きたいと考えていても、この仕組みではカウンセリングを受けることができないということが本末転倒だと感じているとのことだった。

実際に「他言しないでほしい」とカウンセラーに伝えた内容が、先生に共有されてしまった経験が語られ、それ以来、相談する気がなくなったとのことである。

心の不調では保健室にも入りづらく、またカウンセリングルームが校内にあり、保健室も含めて出入りするのを他人に見られること自体が嫌だという意見があった。

対策として、Web フォームなどで気軽に相談できる仕組みや、カウンセラーへの守秘義務に関する署名など「秘密が守られると安心できる証拠」がほしいという提案があった。

● 学校の支援体制について

支援学級に通っていた経験から、不登校や起立性障害の生徒が通う「通級教室」ができたことで、本来の支援の場が狭まっているのではないかと懸念が示された。支援を必要としている人たちに届いていないのではないかと感じているようだ。

Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果

- 若者は多忙である

「学生は勉強やアルバイトなど時間に追われている」ということを話していた。

IV 結果のまとめ・考察

1 「I ふだんの生活に関するアンケート調査結果」について（主だったもの）

（1）子育て当事者（小学5年生・中学2年生保護者）の状況

回答者の約9割を母親が占めており、世帯形態（ふたり親世帯・ひとり親世帯）や経済状況によって、幸福度や社会的な支えの実感、将来への見通しに違いが見られます。

・就労状況および所得構造の違い

就労形態と所得の関係を見ると、所得中央値の2分の1以上の世帯では「フルタイム就労」が多い一方、中央値の2分の1未満の世帯では「パート・アルバイト等」が最多となっています。世帯年収においては、ふたり親世帯では「600万円以上 800万円未満」が最多であるのに対し、ひとり親世帯では「200万円以上 400万円未満」が最多で、等価可処分所得で見ると、ひとり親世帯では「中央値2分の1未満」が4割近くを占めており、ふたり親世帯の約2倍であるなど、世帯構成による違いが表れています。

・地域とのつながりと孤立感

小学5年生・中学2年生ともふたり親世帯では「子育てが地域で支えられている」と思う人が、思わない人よりも多いのに対して、ひとり親世帯では思わない人の方が多くなっています。また、つらいときに助けてくれる人がいると回答した割合も、ひとり親世帯ではふたり親世帯より低く、社会的に孤立している状況がうかがえます。

・幸福感と将来への希望に見られる違い

幸福感については、「しあわせだと感じているか」に対して当てはまるという割合が全体では約9割を占めるなかで、中学2年生のひとり親世帯では約7割にとどまっています。

幸福を感じる場面として、ふたり親世帯に比べてひとり親世帯のほうがほとんどの選択肢で回答割合が低い傾向で、しあわせだと感じる場面の少なさがうかがえます。

将来に明るい希望を持っていると思う人の割合は、小学5年生・中学2年生ともひとり親世帯ではふたり親に比べて大幅に低く、思う人よりも思わない人のほうが上回っており、将来について明るい希望を持つことが難しい傾向が見られます。

（2）小学5年生・中学2年生の状況

こどもたちの回答からも、家庭の経済状況や世帯構成が、悩みの内容や安心感、将来への希望に影響を与えている様子が確認できます。

・世帯構成と生活環境の特徴

世帯人数を見ると、ふたり親世帯では「4人世帯」が最多である一方、ひとり親世帯では「3人世帯」が最多となっています。また、等価可処分所得が低いほど「5人以上」の世帯が多い傾向です。

・悩みの内容と心身への影響

困りごとや悩みがある割合は、小学5年生に比べて中学2年生の方が多くなっています。中学2年生のひとり親世帯ではふたり親世帯に比べてやや多くなっていますが、小学5年生ではほとんど違いはありません。

悩みの内容は、全体では「勉強のこと」が最も多くなっていますが、所得が低い世帯の中学2年生では、「気分や体調、健康のこと（学校へ行こうとするとおなかが痛くなるなど）」と回答した割合が全体より14.1ポイント高くなっており、健康面での不安がうかがえます。また、等価可処分所得が中央値未満の世帯で「家族の世話や家事がいそがしい」と回答した子どもが見られる状況です。

・学校・家庭における安心感の違い

学校や家庭で「自分の意見を聴いてもらえていると思うか」については、小学5年生・中学2年生とも概ねそう思うと回答していますが、中学2年生のひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて「そう思う」の回答が10ポイント以上低くなっています。「学校が大切な居場所の1つであると思うか」については、中学2年生のひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて約10ポイント低くなっています。「安心できる場所がある」についても「ある（当てはまる）」の回答割合が、ひとり親世帯ではふたり親世帯より10ポイント以上低く、安心できる場所が相対的に少ない傾向がうかがえます。

・将来への希望と社会課題への認知

将来に明るい希望を持っていると思う人の割合は、小学5年生・中学2年生とも所得別では所得が低いほどやや少なくなっており、父母の状況別では、ひとり親世帯のほうがふたり親世帯よりも少なくなっています。中学2年生のひとり親世帯で否定的な回答（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」）が、ふたり親世帯より5.9ポイント高くなっています。

ヤングケアラーの認知度のうち「聞いたことがあり、内容も知っている」の回答については、中学2年生では所得が中央値の2分の1以上の世帯、ふたり親世帯で高い傾向が見られ、情報へのアクセスや周囲の大人との対話機会の違いが影響している可能性があります。

（3）15～39歳の状況

この世代は、学生から社会人へ、被扶養者から扶養者へと役割が大きく転換する時期にあたり、ライフステージによって意識や生活実態の違いが比較的顕著に表れていると考えられます。

・雇用と収入の違い

就業者の雇用形態を見ると、男性は「正規職員」の割合が女性より12.1ポイント高い一方、女性は「非正規職員」の割合が男性より14.8ポイント高くなっています。

こうした雇用形態の違いは収入にも反映されており、年収600万円以上の割合は男性が女性より17.7ポイント高く、女性では100万円未満の層が多くなっています。

親と同居している世帯では、非正規職員の割合が全体より19.7ポイント高く、収入についても「100万円未満」の層が多くなっています。学生を含む結果ではありますが、経済的理由から自立が難しく、親と同居している層が一定数含まれている可能性も考えられます。

・家族の世話や家事負担の偏り

悩み（困っていること）の内容として、男女とも「仕事のこと」を半数以上が挙げていますが、女性では「家族の世話や家事が忙しい」と回答した割合が男性より13.9ポイント高い状況です。また、年齢別では、特に30代で「家族の世話や家事が忙しい」の回答傾向が高くなっています。

仕事の悩みは男女とも多い一方で、女性は仕事に加えて家事・育児といった家庭内での負担が大きい状況がうかがえます。

- ・支援が必要なときの支えの違い

つらいときや不安な時に助けてくれる人がいると思う人は、全体では約 85%であるのに対して、世帯類型で単身の人や卒業後無職である人は7割台と低く、支援を必要とする状況に陥ったときに頼れる先の乏しさがうかがえます。こうした層に対するセーフティネットの制度や相談窓口の周知が必要と考えられます。

- ・男性における相談行動の課題

つらいときに助けてくれる人がいないと回答した層に対して、「誰に助けてもらいたいのか」を尋ねたところ、女性では「学校以外の専門家」を挙げる割合が男性より 35.9 ポイント高くなっています。

一方、男性では「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」が最も多い回答となっています。また、回答母数が限られた人数ではありますが、女性に比べて男性は、助けてもらいたいとして挙げている対象が少ない傾向も見られています。

この結果から、男性は困難な状況に置かれた際に、他者に支援を求めること自体に心理的なハードルを感じている可能性があり、支援が届きにくい層であることがうかがえます。若年層においても、「男なら弱音をはいてはいけない」といったジェンダー規範が影響している可能性も考えられます。

- ・幸福感の違い

単身の人や卒業後無職である人は、「あなたは今、しあわせですか」の問いに対して、当てはまらないという回答が多い傾向で、助けてくれる人がいない不安や孤独感が影響している可能性が考えられます。

今、しあわせだと感じている人では、自由な時間や家族関係がよい、心やからだ元気がときにしあわせを感じる人が多くなっていますが、卒業後無職である人は、「心やからだ元気がとき」をあげる人が全体に比べて 20 ポイント以上高く、自分が元気でいられることが幸福感に大きく影響している様子がうかがえます。また、回答母数が少ないものの、しあわせだと感じられていない人においても、卒業後無職である人は、「心やからだ元気が」であれば、しあわせと感じると回答している人が多くなっています。このことから、「心やからだ元気が」であることは、置かれている状況に関わらず、しあわせを感じるために大切なことと感じている傾向が見られます。

- ・自己肯定感の違い

「今の自分が好き」「ありのままできていることができる」かどうかについて、配偶者のいる人（配偶者のみ・配偶者と子ども）は他の世帯類型に比べて、当てはまるの回答が多い一方で、単身者はいずれも当てはまるの回答が少なくなっており、自己肯定感が低い傾向がうかがえます。

また、「自分の将来に明るい希望があるか」という問いに対し、単身者では、そう思わない人が半数近くを占めており、相対的に悲観的な傾向が見られます。

- ・結婚して家族をつくることを希望

単身者と親と同居している人の半数以上は、いずれ結婚するつもりと回答しており、その理由としては、結婚して家族をつくりたいということが多くあげられています。

2 「Ⅱ 市ホームページによる意見募集結果」について

区分単位ではいずれも40件を下回るなど、限られた意見件数ではありますが、小学生・中学生・高校生年代・こどもの保護者といった立場ごとに、関心のある分野や課題意識に一定の違いが見られました。一方で、世代を超えて共通するニーズも確認できます。

①市の建物・公共施設に関する意見の傾向 46件

市の建物や公共施設に関する意見では、図書館などの屋内施設や体育館などのスポーツ施設の拡充を求める声が、複数の世代で見られました。

小学生では、屋内施設と屋外施設の拡充が同程度に挙げられており、日常的に利用できる身近な遊び・学びの場への関心がうかがえます。

中学生・高校生年代では、スポーツ施設への要望があり、身体を動かす活動の場を重視している様子が見られます。

こどもの保護者からは、屋内施設やスポーツ施設に加え、文化施設や自習室の拡充など、多様な機能を求める意見が寄せられており、こどもの成長段階や利用目的に応じた施設整備への期待がうかがえます。

②公園・遊び場・居場所に関する意見の特徴 62件

公園や遊び場に関する意見は、全体の中でも最も件数が多く、関心の高さがうかがえる分野です。

小学生・中学生では「大きな公園がほしい」という意見が多く、広さや規模を重視する傾向が見られます。また、小学生を中心に「屋内で遊べる施設」への要望も多く、天候や季節に左右されない遊び場を意識していると考えられます。

こどもの保護者からは、「こどもの遊び場」や「屋内で遊べる施設」に加え、「屋根付きの休憩場所」「水場の整備」など、安全性や快適性に配慮した公園環境を求める声が挙げられています。これは、気候変動の影響等を背景に、こどもを安全に遊ばせたいという、保護者の立場としての視点が反映されているものと考えられます。

③学校に関する意見の傾向 18件

学校に関する意見は①や②に比べて多くないものの、不登校支援の充実を始め、学校施設の暑さ対策やトイレの衛生環境、学童の環境改善など、教育環境・生活環境の改善を求める具体的な意見が見られます。

高校生年代から意見が出ていない点については、学校に対する関心の表れ方や、意見募集の方法との関係も含め、設問項目内容について今後検討の余地があると考えられます。

④まちづくりに関する意見 13件

まちづくりに関する意見は、主にこどもの保護者から寄せられており、歩道整備や危険な道路への対策といった、安全面に関する要望などが見られます。

⑤保育所・幼稚園・認定こども園に関する意見 11件

保育分野では、こどもの保護者からの意見が中心となっており、保育所・幼稚園に関することや、補助金制度、入園に関する情報提供など、制度や運営に関する声が見られました。

また、保育士の処遇改善に関する意見も挙げられています。

⑥子育てサービスに関する意見 15件

子育てサービスに関する意見では、学童保育や長期休み期間中のこどもの居場所に関する要望が、小学生およびこどもの保護者から寄せられています。

特に、長期休暇中の居場所不足や学童環境への課題意識が見られ、共働き世帯や多様な家庭状況を背景としたニーズが反映されている可能性があります。

⑦その他の意見から見える傾向 11件

「その他」の意見では、小学生からはスポーツや公園環境に関する声が続ぎ見られ、日常的な活動の場への関心の高さが一貫していることがうかがえます。

こどもの保護者からは、「こどもの意見聴取のさらなる充実」や「SNS 等を活用した広報の充実」といった、参加や情報発信のあり方に関する意見が挙げられています。

3 「Ⅲ 対面による現場での意見聴取結果」について

(1) 就学前児童及びその保護者に対する意見聴取

就学前児童への意見聴取に対する懸念が拭い去られる形で多くの意見を聴取できたことに加え、保護者の子育てに関する思いや意見などについて、あわせて把握することができました。

①就学前児童に対する意見聴取

・好きな遊び

好きな遊びでは「みずあそび (46 件)」「さかなつりごっこ (39 件)」「しんぶんあそび (25 件)」が上位となり、ボール遊びなどの運動遊びに比べて、水を使った遊びや想像力を働かせる遊びが好まれている様子がうかがえます。

・イベントで楽しかったこと

今回のイベントで楽しかったこととしては、「ガチャこうさく (78 件)」「おめんづくり (64 件)」「しゃぼんだま (60 件)」が多く挙げられています。いずれも、自分で手を動かして作る過程や、完成後の見た目や動きの変化を楽しめる活動であり、受け身ではなく主体的に関われる点が評価されたと考えられ、創造性や体験性の高い活動が、満足感につながりやすい傾向があると示唆されます。

②保護者に対するアンケート調査結果

・イベントの評価について

イベントに対する満足度は、「とても満足」「満足」を合わせて 98.6%と、非常に高い結果となっています。

満足の理由としては、「こどもが楽しんでいた」「イベントのコーナーの種類が豊富」といった点が多く挙げられており、イベント内容が評価されています。また、無料であることや事前予約がないことも参加のしやすさにつながったと考えられます。

また、「スタッフの対応がよかった」「親子で一緒に楽しめた」といった声から、イベント全体に対しても好印象を持たれた様子がうかがえます。

・子育ての悩み

「普段、子育てで困っていること」の回答からは、保護者が抱える悩みの傾向が読み取れます。

最も多かったのは、「こどもの育ちや関わり方」に関する不安です。自由記述では、イヤイヤ期への対応や叱り方、発達への心配などが挙げられており、身近に相談や参考にできる存在が少ない中で子育てをしている状況がうかがえます。

次いで多かったのが、「仕事と子育ての両立」に関する悩みです。復職への不安や、こどもの体調不良時の対応、十分に関わっていないのではないかという気持ちなど、心理的な負担が見られます。

悩みの中には、「自分のこと (リフレッシュや体調など)」を挙げた回答も一定数見られました。

自由記述では、休日も含めて一人で育児を担う状況が続き、自分の時間を確保することが難しいという声がありました。中には、睡眠時間を削ることではしか気分転換ができないといった記述もあり、心身の負担が蓄積している可能性がうかがえます。

こうした状況から、保護者自身が休息を取ったり、気持ちを切り替えたりするための余地が、日

常生活の中で十分に確保されていないことが示唆されます。

・情報発信のあり方と、行政への期待

イベントを知ったきっかけとしては、「市の広報誌・ホームページ」が最も多かった一方で、「SNS」も一定の割合を占めていました。このことから、従来の広報手段に加え、SNS を含めた複数の媒体を活用した情報発信が有効であることがうかがえます。

また、行政への要望としては、「こどもの遊び場の充実」への意見が相対的に多く、期待感がうかがえます。また、「待機児童の解消」や「学童保育の拡充」を始め、「休日の一時預かり」や「親がりフレッシュできる場」など様々な意見がありました。これらの意見からは、こどもが安心して過ごせる環境だけでなく、保護者が一時的に育児から離れて休息できる仕組みへのニーズが高いことが読み取れます。

(2) 不登校児童生徒支援室での意見聴取

今回の意見聴取では、こども計画への受け止め方に加え、日常生活での楽しさや安心感、学校に対する認識や要望など、参加者が数名と限られた人数ではありますが、こどもたち自身の率直な思いが多く語られました。特に、「話を聴いてもらえる環境」「安心できる居場所」「自分として尊重されること」に関する意見が複数のテーマに共通して見られます。

・こども計画に対する受け止めと課題意識

こども計画（やさしい版）について、「話を聴いてくれる」という表現については、誰が話を聴いてくれる存在なのかが分かりにくく、相談先の具体像がこどもに十分伝わっていない可能性がうかがえます。特に、学校の先生ではなく心理カウンセラーのような専門職に相談したいという意向や、常駐していつでも話せる存在を求める声が挙がっており、家族や担任以外の第三者的な存在の重要性が示唆されています。

また、「いじめ防止や不登校支援」については肯定的に受け止められている一方で、「きめ細やかな学習指導」などの表現については、すでに実施されている取組なのか、今後の方針なのかが分かりにくいという意見があり、計画内容の進捗や位置づけをこどもに分かりやすく示す必要性がうかがえます。

さらに、「差別」や「権利」といった言葉については抽象的でイメージしづらいとの声があり、「こどもだからできないと決めつけられること」が差別と感じられるという具体的な受け止めも示されています。

・楽しいこと・うれしいことから見える価値観

こどもたちが楽しい・うれしいと感じることとしては、祭りや食べ物、スマホゲームといった身近な楽しみに加え、学校の負担が軽くなる時間割や自由な時間への肯定的な反応が見られました。

また、「信じてもらえる」「認めてもらえる」ことがうれしいという意見からは、自分の存在や考えを尊重されることが心理的な充足感につながっている様子がうかがえます。

・安心できる場所に共通する要素

安心できる場所としては、自宅や支援室などの「なじみのある場所」が挙げられており、共通して安全性・予測可能性・自分らしさが保たれる環境が重視されていることが読み取れます。

セキュリティがしっかりしていることや、自分の好きなものに囲まれた空間であることが安心感につながっているという意見からは、他者の目や評価から一時的に距離を置ける環境が、心を落ち着かせる要因となっている可能性が考えられます。

・学校に対する認識の多面性

学校については、「勉強する場所」「助け合いや協力の場」といった前向きなイメージがある一方で、「人が多い」「誰かが我慢しなければならない」といった、集団生活に伴う負担感も語られています。

部活動や行事、給食など、学校生活の中で楽しさを感じている側面も見られ、学校が一様に否定的に捉えられているわけではないことがうかがえます。その一方で、人の多さや人間関係の複雑さが、安心感を損なう要因となっている可能性も示されています。

・安心して過ごせる学習環境への要望

「少人数クラスにしてほしい」「上下関係が生まれにくい環境にしてほしい」といった意見からは、人間関係の固定化や序列化への不安が背景にあると考えられます。少人数であれば安心して過ごせるという認識は、不登校傾向のあるこどもにとって重要な視点といえます。

また、制服の廃止などの意見からは、学校における同質性や画一性への違和感、自分らしさを保ちたいという思いが読み取れます。

(3) 青少年に対する意見聴取

37件と限られた意見件数ではありますが、調査から関心のある分野や課題内容が把握できました。

① アンケート調査結果

・友人関係がもたらす楽しさと負担の両面

調査結果から、若者にとって友人関係は楽しさを感じる大きな要因である一方、精神的な負担につながる場合もあることがうかがえます。

楽しいと感じるときについては、「友だちと話しているとき」が最も高い割合を占めており、他者との交流が日常の充実感に結びついている様子が見られます。

一方で、しんどいと感じるときにおいても、「友だちや人との関係がうまくいかないとき」が多く挙げられており、人間関係が心身の状態に影響を与えやすいことが示されています。

また、楽しいと感じるときの項目には「ひとりでゆっくりしているとき」も多く挙げられており、他者との関わりから一時的に離れる時間が、気持ちを整えるうえで重要な役割を果たしている可能性があります。

・進路への不安と学習環境へのニーズ

市に対する要望として「自習室を増やしてほしい」という意見が相対的に多く見られ、また、近隣市の施設に言及する記述もあり、他自治体と比較して、学習環境の充実を求める声があることがわかります。

がんばっていることでは「勉強」が相対的に多く挙げられている一方、しんどいと感じるときでは「勉強や進路のことで不安なとき」が62.2%と上位となっています。

これらの結果から、進路に対する不安を背景に学習への意識は高いものの、安心して勉強に取り組める場所や環境が十分ではないと感じている若者がいる可能性がうかがえます。

・住みやすさへの評価と学校・支援対応に対する意見

住みやすいまちだと思えるかでは、97.2%の回答者が肯定的に捉えており、高槻市の住環境は概ね良好に評価されていると考えられます。

その理由としては、交通の利便性や商業施設の充実、駅前の便利さなどが挙げられており、生活のしやすさを感じている様子が見られ、まち全体への評価は高くなっています。

・自己肯定感とそれを支える要因

ありのままできていることができているかについては、全体で75.6%と肯定的な回答が多く、多くの若者が一定程度、日常を自然体で過ごせていると感じていることがうかがえます。

その理由としては、「他人の目を気にしすぎない」「自分の性格を受け入れている」といった個人の考え方に加え、「家庭での自由な雰囲気」など、周囲の環境が影響していると考えられます。

一方で、否定的な回答では、「本音と建前を使い分けている」「塾などで時間的な制約がある」といった意見が挙げられており、生活環境や期待される役割が、ありのままできていることができない要因となっている可能性も示されています。

②対面による現場での意見聴取

今回の対面による意見聴取では、青少年の日常生活の楽しみや悩みに加え、高槻市に対するイメージ、今後期待する取組などについて、参加者が数名と限られた人数ではありますが、具体的かつ実感を伴った意見が多く出されました。全体を通して、「安心して過ごせる場所」「将来への不安への向き合い」「若者が関われる仕組み」に関する関心が高いことがうかがえます。

・普段の楽しみや居場所に関する傾向

普段の楽しみとしては、友人との会話や遊び、一人で過ごす時間（YouTube 視聴、ゲーム、睡眠、料理など）が挙げられており、インドア・アウトドアのいずれの過ごし方も大切にされている様子が見られました。

勉強場所については、自宅や学校では集中しにくいという理由から、青少年センターを利用しているという声がありました。青少年センターの利用者がこの1～2年で急増しているという実感も語られており、学習スペースへの需要を高めている可能性がうかがえます。

また、市内のお気に入りの場所として、公園や自然環境、夜景のきれいな場所が挙げられており、人が少なく落ち着ける環境や景観の良さが、心を整える要素となっていると考えられます。

・困りごとや悩みから見える不安の背景

困っていることや悩みとしては、将来や進路に関する不安が多く語られました。受験や就職活動を目前に控えた焦り、進路選択によっては地元を離れる必要があるかもしれないという不安など、人生の転機を意識する世代ならではの声が見られます。

また、日常生活における不便や不満として、公共交通機関の混雑やマナーなど、街中で活動する中での不安の声もありました。

・高槻市に対するイメージの特徴

高槻市については、京都・大阪の双方にアクセスしやすい交通利便性や、住みやすいベッドタウンとしての評価が見られました。

市民性については、モラルやマナーが比較的良く、協調性が高いという印象が語られる一方で、「空気を読む」文化や多数派に合わせる傾向があるという見方も示されています。こうした地域性は、安心感につながる側面がある一方で、個人の意見が表に出にくくなる場合もあるのではないかと感じている様子もうかがえます。

また、子育ての様子については、公共の場での保護者の関わり方に変化を感じているという声があり、世代間での価値観の違いが意識されている可能性も考えられます。

・高槻市に期待する改善点

今後高槻市がより良くなってほしい点としては、生活環境に直結する具体的な提案が多く挙げられました。

路上喫煙については、市全体での禁止と喫煙所の整備をセットで進めてほしいという意見があり、快適さと配慮の両立を求める声が見られます。

交通・インフラ面では、高齢者の多い地域でのバス停新設、駅や駅前のエレベーター増設、駐車・駐輪場の不足解消など、利用者視点に立った改善要望が出されています。これらは、若者自身だけでなく、他世代への配慮を含んだ意見である点が特徴的です。

・若者向け施策・参加のあり方に関する示唆

若者のためにやってほしいこととしては、コロナ禍前に行われていた地域交流イベントの復活や、世代間交流、文化体験など、人と人がつながる機会を求める声が見られました。特に、高齢者と関わる機会がほとんどないという実感が語られており、交流の場の不足が認識されていると考えられます。

また、イベントの周知不足を指摘する声もあり、若者に情報が届きにくい現状がうかがえます。若者が地域交流に参加しやすい形としては、時間的拘束が少ない関わり方や、企画段階から自由に参加できる仕組みが提案されており、若者が「やらされる側」ではなく「関わる側」になることへの期待が感じられます。

・相談・支援体制に関する課題意識

学校での相談や支援体制については、特にスクールカウンセリングの利用のしにくさが指摘されました。担任の先生を経由しなければならない仕組みや、相談内容が直接関係のない学校内の他の先生に共有されてしまった経験から、守秘性への不安が利用の妨げとなっている様子もうかがえます。

また、校内での相談行動が他者の目に触れること自体に抵抗感があるという声もあり、対面型の支援だけでなく、Web フォームなどを活用した相談方法への期待が示されています。

・多忙な若者世代への配慮

「学生は勉強やアルバイトなどで忙しい」という意見からは、若者が時間的・精神的に余裕を持ちにくい状況がうかがえます。これは、①の Web アンケート調査の回答率（11.5%）にも表れていると考えられます。今後、施策や参加の機会を設ける際には、こうした生活実態を踏まえた柔軟な設計が求められます。

高槻市
こども等に関するアンケート・意見聴取
結果報告書

令和8年3月

【発行】高槻市子ども未来部子ども政策課
【住所】〒569-0067 高槻市桃園町2番1号
【電話】072(674)7174